

平成 28 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 28 年度調査）

夜間の看護要員配置における要件等の見直しの影響及び
医療従事者の負担軽減にも資するチーム医療の実施状況調査

報告書

◆◆目 次◆◆

| | |
|------------------------------|-----|
| I. 調査の概要 | 1 |
| II. 調査の結果 | 8 |
| 1. 回収結果 | 8 |
| 2. 施設調査の結果 | 9 |
| (1) 施設の概況（平成 28 年 10 月末現在） | 9 |
| (2) 各診療報酬項目の施設基準の届出状況及び算定件数等 | 28 |
| (3) 医師の勤務状況等 | 59 |
| (4) 看護職員の勤務状況や看護補助者の配置等 | 64 |
| (5) 医師の負担軽減策に関する取組状況等 | 70 |
| (6) 記録に係る負担軽減に関する取組状況等 | 77 |
| 3. 医師調査の結果 | 80 |
| (1) 医師の属性（平成 28 年 10 月末現在） | 80 |
| (2) 医師の勤務状況等 | 84 |
| (3) 実施業務と負担感等 | 89 |
| (4) 他職種との連携の状況や連携に関する考え等 | 96 |
| (5) 現在の勤務状況 | 104 |
| 4. 看護師長調査の結果 | 105 |
| (1) 病棟の概要（平成 28 年 10 月末現在） | 105 |
| (2) 看護職員・看護補助者の勤務状況等 | 114 |
| (3) 看護職員の負担軽減策の取組状況 | 130 |
| (4) 他職種との連携の状況等 | 141 |
| (5) 看護職員の負担軽減策に関する意見 | 154 |
| 5. 薬剤師調査の結果 | 155 |
| (1) 薬剤部責任者調査の結果 | 155 |
| (2) 病棟薬剤師調査の結果 | 164 |

参考資料

I. 調査の概要

1. 目的

平成 28 年度診療報酬改定では、医療従事者の負担を軽減する観点から、医師事務作業補助者や看護補助者の配置に係る評価、特定集中治療室等における薬剤業務に対する評価、栄養サポートチームにおける歯科医師との連携に係る評価等について見直しが行われた。また、看護職員の月平均夜勤時間に係る要件等の見直しや夜間の看護体制の評価等が行われた。

本調査では、このような診療報酬改定の内容を踏まえ、その影響を検証するために、関連した加算等を算定している保険医療機関における診療体制やチーム医療の実施状況等について調査を行う。

<調査のねらい>

- ・ 医療従事者（医師、薬剤師、看護職員、看護補助者）の勤務状況の把握
- ・ 医療従事者の負担軽減のための施設としての取組内容やその効果の把握
- ・ 看護職員の夜間の勤務状況（夜勤回数、夜勤時間等）の把握
- ・ 夜間の看護職員の勤務負担軽減の取組状況やその効果の把握
- ・ チーム医療の実施状況と効果の把握 / 等

2. 調査対象

本調査では、「①施設調査」、「②医師調査」、「③看護師長調査」、「④薬剤師調査（薬剤部責任者調査・病棟薬剤師調査）」を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。

①施設調査

- ・ 1) 全国の病院の中から無作為抽出した 750 施設、2) 病院勤務医・看護職員の負担の軽減を要件とする診療報酬項目並びにチーム医療の推進に関する項目（医師事務作業補助体制加算 1・2、急性期看護補助体制加算、看護職員夜間配置加算、夜間 75 対 1 看護補助加算、病棟薬剤業務実施加算 2）のいずれかを届け出ている病院の中から無作為抽出した 500 施設。1) 2) 合わせて 1,250 施設を調査対象とした。

②医師調査

- ・ 上記①の施設調査の対象施設に 3 年以上勤務する医師。1 施設あたり最大 4 名を調査対象とした。
- ・ 外科系診療科の医師 1 名、救急科（救急部門）の医師 1 名、その他の診療科の医師 2 名を対象とした。

③看護師長調査

- ・ 上記①の施設調査の対象施設の病棟看護師長。1 施設あたり最大 5 名を調査対象とした。

- ・内訳は特定入院料から 1 病棟、一般病棟から 2 病棟、療養病棟から 1 病棟、精神病棟から 1 病棟とするが、該当病棟がない場合は一般病棟の抽出数を増やすこととした。

④薬剤師調査

<薬剤部責任者票>

- ・上記①の施設調査の対象施設における薬剤部責任者 1 名を調査対象とした。

<病棟薬剤師票>

- ・上記①の施設調査の対象施設において、病棟薬剤師が配置されている病棟のうち 4 病棟を調査対象とした。
- ・ICU 等の集中治療室等の病棟の中から 1 病棟、一般病棟の中から 1 病棟、療養または精神病棟の中から 1 病棟、集中治療室以外の特定入院料の病棟の中から 1 病棟としたが、該当病棟がない場合は一般病棟の抽出数を増やすこととした。

3. 調査方法

- ・「施設調査」については、自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・「医師調査」、「看護師長調査」、「薬剤師調査」については、「施設調査」の対象施設を通じて調査票を配布し、それぞれ専用の封筒に入れ、施設票と合わせて施設でとりまとめの上、調査事務局宛の専用返信封筒により郵送で回収とした。
- ・「施設調査」では、施設属性、職員体制と勤務状況、負担軽減策の取組状況とその効果、チーム医療の取組状況等を尋ねる「施設票」を配布した。
- ・「医師調査」では、各診療科における負担軽減策の取組状況や勤務状況等を把握するための「医師票」を作成し、上記「施設票」を配布する際に同封した。
- ・「看護師長調査」では、各病棟の看護職員の負担軽減策の取組状況等を把握するための「看護師長票」を作成し、上記「施設票」を配布する際に同封した。
- ・「薬剤師調査」については、主に病院全体の薬剤業務を把握するための「薬剤部責任者票」と、各病棟業務の状況を把握するための「病棟薬剤師票」の 2 種類を作成し、上記「施設票」を配布する際に同封した。
- ・回答者は、「施設票」については開設者・管理者及びその代理者、「医師票」については対象診療科の医師責任者または対象診療科に属する医師、「看護師長票」については対象病棟の看護師長、「薬剤部責任者票」については薬剤部門責任者、「病棟薬剤師票」については病棟薬剤業務を担当する薬剤師とした。
- ・調査実施時期は平成 28 年 11 月 16 日～平成 29 年 2 月 17 日であった。

4. 調査項目

- ・調査項目は次のとおりである。

| 区分 | 主な調査項目 |
|----------|---|
| (1) 施設調査 | <ul style="list-style-type: none"> ○施設の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・開設者、承認等の状況、標榜診療科、DPC 対応状況、紹介率・逆紹介率、入院基本料の届出、特定入院料等 ・許可病床数、稼働病床数、病床利用率、平均在院日数 ・職員体制 ・入院延べ患者数、一般病棟における入院延べ患者数、時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数、救急搬送により緊急入院した延べ患者数、新入院患者数、退院患者数 ・外来延べ患者数、初診の外来患者数、再診の外来延べ患者数、緊急自動車等により搬送された延べ患者数、時間外・休日・深夜加算の算定件数、時間外選定療養費の徴收件数 ・分娩件数 ・全身麻酔による手術件数 ○各診療報酬項目の施設基準の届出状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・施設基準の届出状況、届出時期、算定件数 ・医師事務作業補助体制加算の届出状況の変化、加算の種類 ・体制の届出時期、医師事務作業補助者の配置人数、配置場所、療養病棟、精神病棟の配置人数 ・感染防止対策加算の届出状況の変化、感染防止対策部門に配置されている職員数、特定抗菌薬についての体制、感染防止対策地域連携加算の届出、取組・効果、届出をしていない場合の理由 ・口腔機能管理や栄養サポートチームの取組、効果、歯科医師との連携、連携していない場合の理由 ・処置・手術の休日・時間外・深夜加算 1 の届出状況、届出対象、届出を行う診療科数、病院全体での届出をしていない場合の理由 ○医師の勤務状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・医師の勤務形態 ・診療実績にかかる手当 ・常勤医師、非常勤医師の平均勤務時間、当直回数、連続当直を行った医師数 ○看護職員の勤務状況及び看護補助者の配置等 <ul style="list-style-type: none"> ・看護職員の勤務形態 ・病棟勤務看護職員の夜勤時間数別人数の変化 |

| | |
|----------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・月平均夜勤時間超過減算の算定の有無、夜勤時間特別入院基本料の算定の有無等 ・看護補助者の配置状況、配置できない場合の理由 ○医師の負担軽減に関する取組状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務医の負担軽減策の取組状況、実施した時期、取組の効果等 ・勤務医の負担軽減及び処遇改善を要件とする診療報酬項目の算定状況、算定の効果 ○記録に係る負担軽減に関する取組状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・入院部門での電子カルテの導入、看護記録等の診療に関する記録の取扱い、記録の省力化への取組 |
| (2) 医師調査 | <ul style="list-style-type: none"> ○医師の基本属性等 <ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、医師経験年数、対象病院での勤続年数 ・主たる所属診療科、担当する主な病棟、役職等、常勤・非常勤別、勤務形態 ・平成 28 年 4 月以降の異動の有無 ○勤務状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・1 か月間の診療時間、勤務時間、当直回数、このうち連続当直回数、オンコール担当回数、このうち病院出勤回数、他病院での勤務状況 ・1 年前と比較した勤務時間、外来の勤務状況（診療時間内）、救急外来の勤務状況（診療時間外）、長時間連続勤務の回数、当直の回数、当直時の平均睡眠時間、オンコールの回数、当直翌日の勤務状況、総合的にみた勤務状況 ○業務と負担感等 <ul style="list-style-type: none"> ・負担軽減策の取組状況、実施した時期、取組の効果 ・業務負担感、他職種との業務分担状況・期待度 ・負担に感じている業務のうち、他職種と役割分担ができる業務 ○他職種との連携状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・主な担当病棟での薬剤師の配置状況、関与状況、その結果、医師の負担軽減・医療の質の向上への効果 ・周術期口腔機能管理における歯科医師との連携状況と期待する効果、連携していない場合の理由 ・栄養サポートチームにおける歯科医師との連携とその期待する効果、連携していない場合の理由 ○勤務状況に関する考え等 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の勤務状況についての認識、改善が必要と判断した場合の最大の理由 ・医師の負担軽減へ繋がる病院の取組 |

| | |
|------------------------|---|
| <p>(3) 看護師長 調査</p> | <p>○病棟の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟の主たる診療科、病棟種別、入院基本料の種類、特定入院料の有無、病床数、当該病棟の病床利用率、1か月間の新規入院患者数、平均在院日数、月平均夜勤時間超過減算の有無 ・看護補助加算・急性期看護補助体制加算・夜間急性期看護補助体制加算、夜間看護体制加算、看護職員夜間配置加算 <p>○看護職員・看護補助者の勤務状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職員の勤務形態 ・看護師、准看護師、看護補助者数、このうち夜勤専従者数 ・看護職員1人あたりの月平均勤務時間、夜勤時間、夜勤回数、平均夜勤体制（配置人数）、日勤における休憩時間、夜勤時間帯、夜勤における休憩時間および仮眠時間 ・平成28年度診療報酬改定前と比較した夜勤に関する状況の変化 ・1年前と比較した看護職員の勤務時間の変化、長時間連続勤務の状況、有給休暇の取得状況、総合的にみた勤務状況 <p>○看護職員の負担軽減策の取組状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職員の負担軽減策の実施状況、実施時期、その効果 ・看護職員の負担軽減につながるその他の取組 <p>○他職種との連携状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者の配置の有無、配置時期、教育体制・運用状況、教育に関する課題 ・業務負担感、看護補助者との業務分担状況、その負担軽減効果、業務委譲により時間が増加した業務 ・薬剤師の病棟配置状況、病棟薬剤師と連携して実施している業務、病棟薬剤師の配置による効果 ・歯科医師・歯科衛生士との連携状況とその効果 <p>○看護職員の負担軽減策に関する考え等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該施設における看護職員の勤務負担軽減のための取組への評価 ・看護職員の業務負担軽減策が図られる取組 ・今後の課題等 |
| <p>(4) 薬剤師調査</p> | <p>【薬剤部責任者票】</p> <p>○施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来の院外処方せん枚数、外来の院内処方せん枚数、入院患者の処方せん枚数 ・レベル2以上のインシデント数、このうち薬剤に関するインシデント数、このうち療養病棟又は精神病棟のインシデント数、このうち集中治療室等のインシデント数 ・病棟数、このうち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・療養病棟・精神病棟の病棟数、このうち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数 ・集中治療室等の病棟数、このうち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数 ・病棟専任の薬剤師数、このうち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数、このうち集中治療室等に配置されている薬剤師数 <p>○薬剤師の各業務の実施状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度以降、新たに薬剤師を配置した病棟の有無・詳細、そのためにとった対応、配置前とどのように変わったか ・病棟薬剤業務実施加算 1 の届出状況、届出をしていない場合はその理由、療養病棟・精神病棟での病棟薬剤業務の実施状況、9 週目以降の療養病棟・精神病棟での病棟薬剤業務の実施状況、実施している場合はその必要度・実施の効果 ・病棟薬剤業務実施加算 2 の届出状況、どこに薬剤師を配置しているか、実施の効果 ・病棟薬剤業務実施加算 2 の届出をしていない場合、その理由 <p>【病棟薬剤師票】</p> <p>○病棟の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟薬剤業務実施加算の算定の有無 ・病棟種別、診療科、病棟の病床数、病棟の平均在院日数、1 週間の入院延べ患者数、このうち特定入院料を算定した入院延べ患者数、算定患者数が最も多い特定入院料 <p>○薬剤師の病棟勤務状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟における薬剤師の 1 週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に該当する時間、実施薬剤師数、業務ごとの実施状況と時間 ・病棟薬剤業務実施による効果、効果に影響を与える業務内容 ・薬剤師の活躍が望ましい業務に関する実施状況、実施している場合の効果に影響を与える業務内容、薬剤師の活躍が望ましい業務をどのように実施すべきと考えるか ・入院時における持参薬の確認状況、医師への情報提供の実施状況、病棟でのカンファレンスへの参加状況、病棟での医師の回診への同行状況、病棟における処方内容の確認や薬剤の交付準備業務をどのように実施しているか ・（病棟薬剤業務実施加算を別途算定できない入院患者のみの病棟で病棟薬剤業務を実施している場合）最も算定回数が多い入院料、病棟薬剤業務の効果、実施の理由、重要だと思ふ点、病棟での実施の必要性 |
|--|---|

5. 調査検討委員会

本調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計・分析、報告書案等の検討を行うため、以下の通り、調査検討委員会を設置・開催した。

【委員】(○は委員長、五十音順、敬称略)

- | | |
|---------|--|
| 伊藤 伸一 | 社会医療法人大雄会 理事長 日本医療法人協会 会長代行 |
| ○ 印南 一路 | 慶應義塾大学総合政策学部 教授 |
| 川上 純一 | 国立大学法人浜松医科大学 教授 医学部附属病院 薬剤部長 |
| 佐々木 啓一 | 東北大学大学院 歯学研究科長 歯学部長 |
| 佐藤 久美子 | 社会医療法人財団石心会 川崎幸病院 副院長兼看護部長 |
| 高村 洋子 | 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 看護副本部長 |
| 津留 英智 | 医療法人社団水光会 宗像水光会総合病院 理事長 全日本病院協会 医療保険・診療報酬委員会 副委員長 |
| 松原 由美 | 早稲田大学人間科学学術院 准教授 |

Ⅱ. 調査の結果

1. 回収結果

「①施設票」の発送数は1,250件であり、有効回答数は367件、有効回答率は29.3%であった。「②医師票」の有効回答数は864件であった。「③看護師長票」の有効回答数は1,153件であった。「④薬剤部責任者票」の有効回答数は359件、「⑤病棟薬剤師票」の有効回答数は726件であった。

図表 1 回収の状況

| | 発送数 | 回収数 | 有効回答数 | 有効回答率 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| ①施設票 | 1,250 | 367 | 367 | 29.3% |
| ②医師票 | — | 976 | 864 | — |
| ③看護師長票 | — | 1,153 | 1,153 | — |
| ④薬剤部責任者票 | 1,250 | 359 | 359 | 28.7% |
| ⑤病棟薬剤師票 | — | 726 | 726 | — |

(注) 医師票は976件の回収があったが、3年未満の勤務者を分析対象から除外し、864件を有効回答とした。

2. 施設調査の結果

【調査対象等】

調査対象：1) 全国の病院の中から無作為抽出した 750 施設、2) 病院勤務医・看護職員の負担の軽減を要件とする診療報酬項目並びにチーム医療の推進に関する項目（医師事務作業補助体制加算 1・2、急性期看護補助体制加算、看護職員夜間配置加算、夜間 75 対 1 看護補助加算、病棟薬剤業務実施加算 2）のいずれかを届け出ている病院の中から無作為抽出した 500 施設。1) 2) 合わせて 1,250 施設。

回答数：367 施設

回答者：管理者

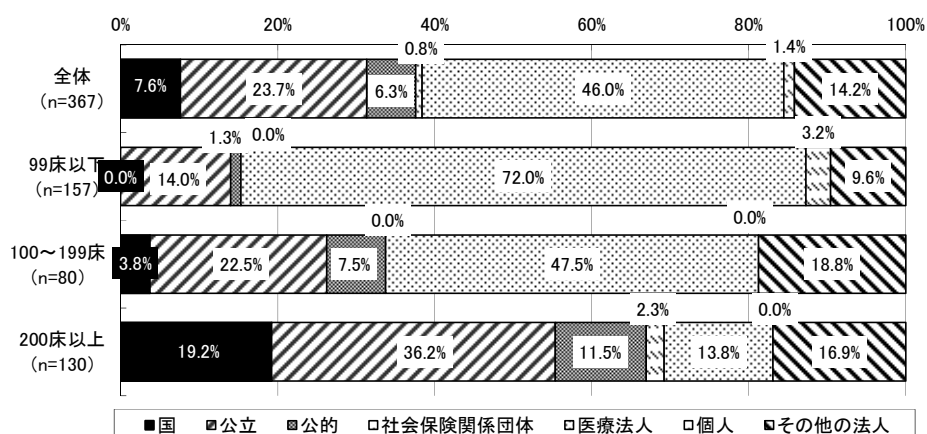
※本調査では、一般病床の規模別に「99 床以下」「100～199 床」「200 床以上」で集計・分析を行っている。

(1) 施設の概況（平成 28 年 10 月末現在）

①開設者

開設者は次のとおりである。

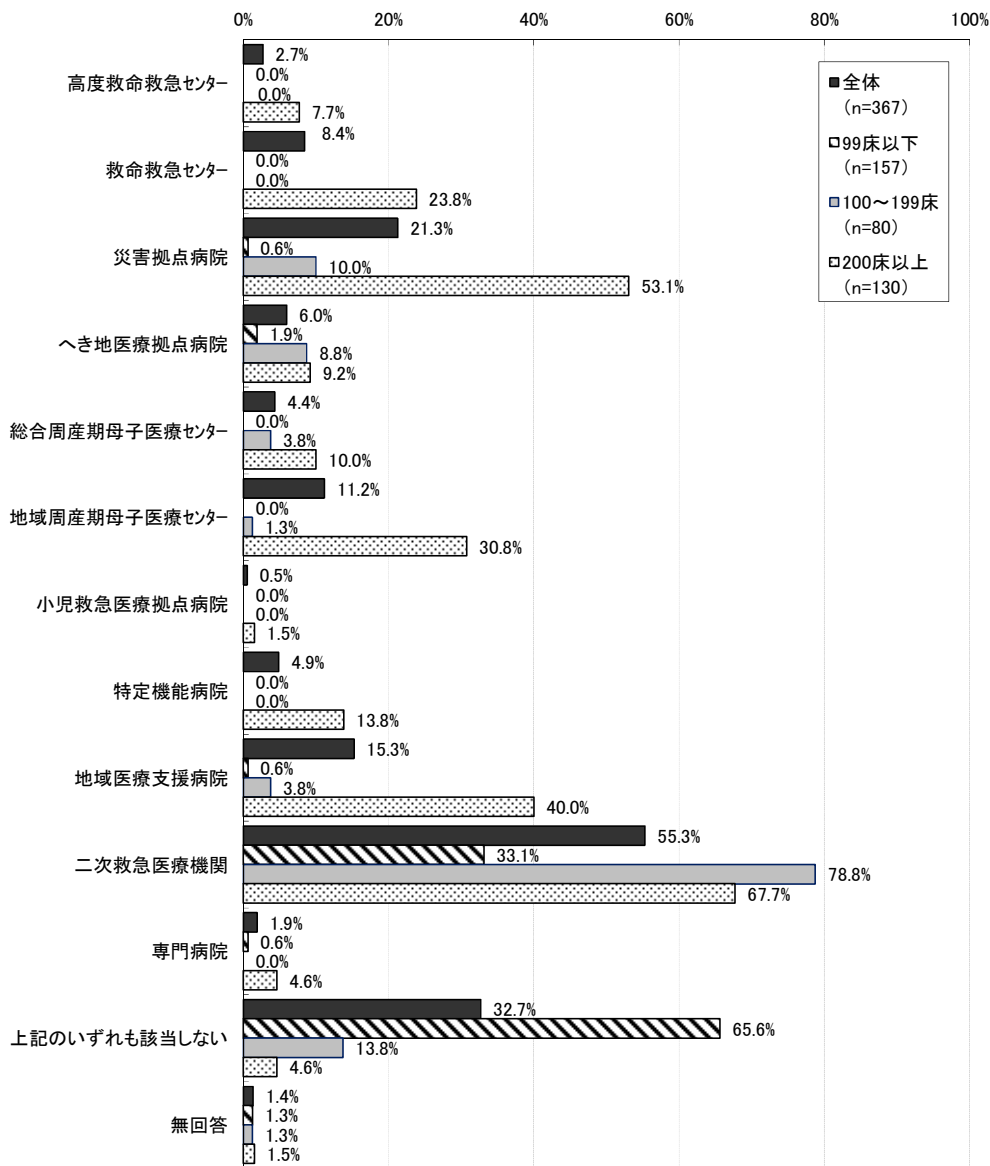
図表 2 開設者



②承認等の状況

承認等の状況は次のとおりである。

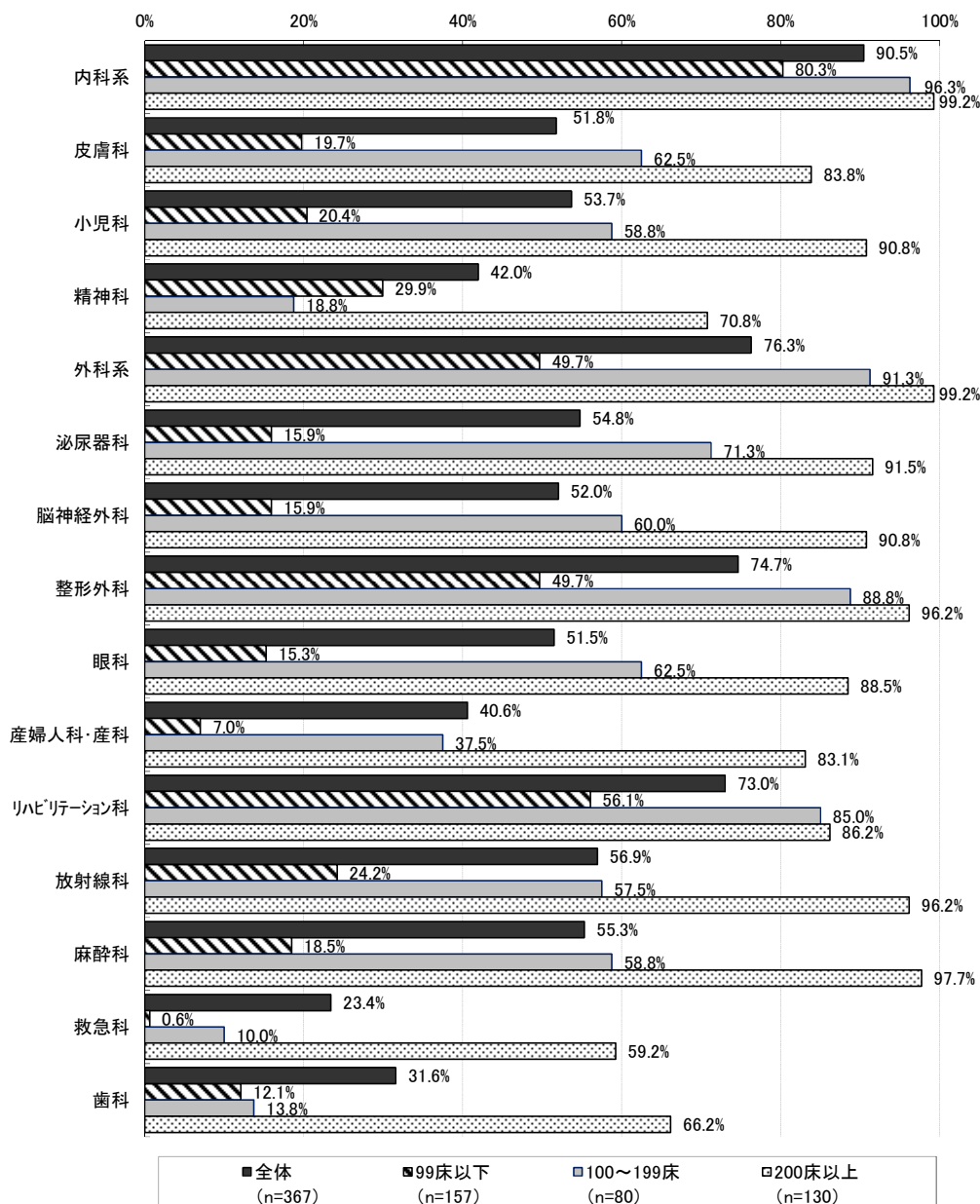
図表 3 承認等の状況（複数回答）



③ 標榜診療科

標榜診療科は次のとおりである。

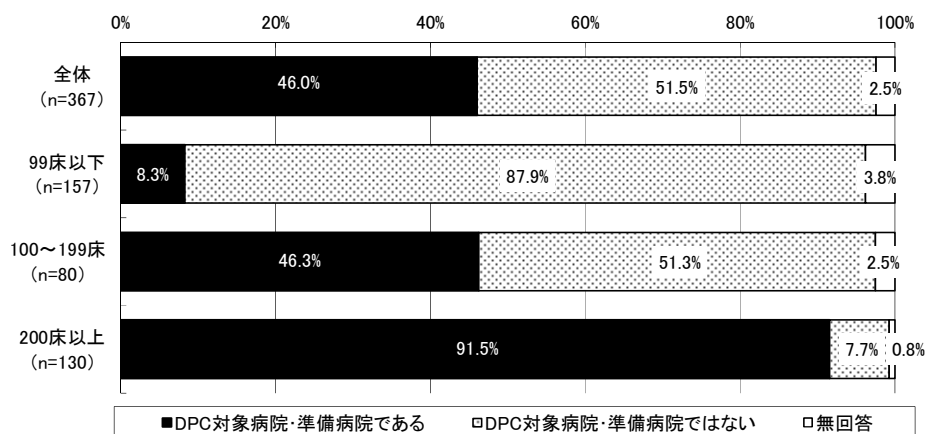
図表 4 標榜診療科（複数回答）



④DPC 対応状況

DPC 対応状況は次のとおりである。

図表 5 DPC 対応状況



⑤紹介率・逆紹介率

紹介率・逆紹介率は次のとおりである。

図表 6 紹介率

(単位：%)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|------|----------|------|------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 304 | 42.1 | 27.7 | 37.0 | 43.5 | 28.6 | 37.7 |
| 99床以下 | 106 | 26.4 | 26.0 | 18.1 | 26.6 | 26.0 | 18.8 |
| 100~199床 | 70 | 31.1 | 19.9 | 27.1 | 32.2 | 20.4 | 28.7 |
| 200床以上 | 128 | 61.0 | 20.5 | 65.9 | 63.8 | 21.0 | 67.1 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに紹介率の記入のあった施設を集計対象とした。

図表 7 逆紹介率

(単位：%)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|------|----------|------|------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 300 | 36.1 | 32.0 | 24.8 | 38.3 | 35.3 | 25.3 |
| 99床以下 | 105 | 19.1 | 24.0 | 11.0 | 19.1 | 24.1 | 11.7 |
| 100~199床 | 68 | 23.4 | 19.1 | 16.9 | 25.0 | 19.7 | 18.8 |
| 200床以上 | 127 | 57.0 | 31.5 | 56.5 | 61.3 | 36.6 | 60.9 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに逆紹介率の記入のあった施設を集計対象とした。

⑥届出を行っている入院基本料

届出を行っている入院基本料は次のとおりである。

図表 8 届出を行っている入院基本料（複数回答）

（単位：上段「件」、下段「%」）

| | 総数 | 一般病棟入院基本料 | | | | 療養病棟入院基本料 | | | 結核病棟入院基本料 | | | 無回答 |
|----------|-------|-----------|------|------|------|-----------|------|------|-----------|------|-------|------|
| | | 7対1 | 10対1 | 13対1 | 15対1 | 20対1 | 25対1 | 7対1 | 10対1 | それ以外 | | |
| 全体 | 367 | 297 | 153 | 129 | 10 | 9 | 78 | 57 | 28 | 18 | 12 | 6 |
| | 100.0 | 80.9 | 51.5 | 43.4 | 3.4 | 3.0 | 21.3 | 73.1 | 35.9 | 4.9 | 66.7 | 33.3 |
| 99床以下 | 157 | 93 | 10 | 68 | 7 | 8 | 51 | 36 | 18 | 0 | 0 | 0 |
| | 100.0 | 59.2 | 10.8 | 73.1 | 7.5 | 8.6 | 32.5 | 70.6 | 35.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 100～199床 | 80 | 77 | 30 | 45 | 3 | 1 | 21 | 18 | 7 | 2 | 2 | 0 |
| | 100.0 | 96.3 | 39.0 | 58.4 | 3.9 | 1.3 | 26.3 | 85.7 | 33.3 | 2.5 | 100.0 | 0.0 |
| 200床以上 | 130 | 127 | 113 | 16 | 0 | 0 | 6 | 3 | 3 | 16 | 10 | 6 |
| | 100.0 | 97.7 | 89.0 | 12.6 | 0.0 | 0.0 | 4.6 | 50.0 | 50.0 | 12.3 | 62.5 | 37.5 |

| | 総数 | 精神病棟入院基本料 | | | | | その他の入院基本料 | | | 無回答 | | |
|----------|-------|-----------|------|------|------|------|-----------|------|------|------|------|-----|
| | | 10対1 | 13対1 | 15対1 | 18対1 | 20対1 | 7対1 | 10対1 | それ以外 | | | |
| 全体 | 367 | 64 | 8 | 17 | 37 | 1 | 2 | 44 | 5 | 20 | 20 | 4 |
| | 100.0 | 17.4 | 12.5 | 26.6 | 57.8 | 1.6 | 3.1 | 12.0 | 11.4 | 45.5 | 45.5 | 1.1 |
| 99床以下 | 157 | 34 | 1 | 1 | 30 | 1 | 2 | 17 | 0 | 3 | 14 | 4 |
| | 100.0 | 21.7 | 2.9 | 2.9 | 88.2 | 2.9 | 5.9 | 10.8 | 0.0 | 17.6 | 82.4 | 2.5 |
| 100～199床 | 80 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 0 | 10 | 4 | 0 |
| | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 17.5 | 0.0 | 71.4 | 28.6 | 0.0 |
| 200床以上 | 130 | 30 | 7 | 16 | 7 | 0 | 0 | 13 | 5 | 7 | 2 | 0 |
| | 100.0 | 23.1 | 23.3 | 53.3 | 23.3 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 38.5 | 53.8 | 15.4 | 0.0 |

⑦届出を行っている特定入院料等

届出を行っている特定入院料等は次のとおりである。

図表 9 届出を行っている特定入院料等（複数回答）

（単位：上段「件」、下段「%」）

| | 総数 | 救命救急入院料 | 特定集中治療室管理料 | ハイケアユニット入院医療管理料 | 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 | 小児特定集中治療室管理料 | 新生児特定集中治療室管理料 | 総合周産期特定集中治療室管理料 | 新生児治療回復室入院医療管理料 | 小児入院医療管理料 | 回復期リハビリテーション病棟入院料 | 地域包括ケア病棟入院料 | 地域包括ケア入院医療管理料 |
|----------|-------|---------|------------|-----------------|------------------|--------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------|-------------------|-------------|---------------|
| | | 全体 | 367 | 40 | 75 | 47 | 20 | 1 | 29 | 19 | 30 | 98 | 68 |
| | 100.0 | 10.9 | 20.4 | 12.8 | 5.4 | 0.3 | 7.9 | 5.2 | 8.2 | 26.7 | 18.5 | 15.0 | 13.6 |
| 99床以下 | 157 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 24 | 8 | 27 |
| | 100.0 | 0.6 | 0.0 | 0.6 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 15.3 | 5.1 | 17.2 |
| 100～199床 | 80 | 1 | 3 | 7 | 3 | 0 | 2 | 2 | 3 | 8 | 26 | 22 | 22 |
| | 100.0 | 1.3 | 3.8 | 8.8 | 3.8 | 0.0 | 2.5 | 2.5 | 3.8 | 10.0 | 32.5 | 27.5 | 27.5 |
| 200床以上 | 130 | 38 | 72 | 39 | 15 | 1 | 27 | 17 | 27 | 88 | 18 | 25 | 1 |
| | 100.0 | 29.2 | 55.4 | 30.0 | 11.5 | 0.8 | 20.8 | 13.1 | 20.8 | 67.7 | 13.8 | 19.2 | 0.8 |

| | 総数 | 特殊疾患病棟入院料 | 緩和ケア病棟入院料 | 精神科救急入院料 | 精神科急性期治療病棟入院料 | 精神科救急・合併症入院料 | 児童・思春期精神科入院医療管理料 | 精神療養病棟入院料 | 認知症治療病棟入院料 | 地域移行機能強化病棟入院料 | 短期滞在手術等基本料 | 無回答 |
|----------|-------|-----------|-----------|----------|---------------|--------------|------------------|-----------|------------|---------------|------------|------|
| | | 全体 | 367 | 6 | 36 | 7 | 16 | 1 | 4 | 19 | 11 | 0 |
| | 100.0 | 1.6 | 9.8 | 1.9 | 4.4 | 0.3 | 1.1 | 5.2 | 3.0 | 0.0 | 11.7 | 23.2 |
| 99床以下 | 157 | 4 | 1 | 5 | 14 | 0 | 2 | 19 | 11 | 0 | 10 | 65 |
| | 100.0 | 2.5 | 0.6 | 3.2 | 8.9 | 0.0 | 1.3 | 12.1 | 7.0 | 0.0 | 6.4 | 41.4 |
| 100～199床 | 80 | 2 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 14 |
| | 100.0 | 2.5 | 13.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 13.8 | 17.5 |
| 200床以上 | 130 | 0 | 24 | 2 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 22 | 6 |
| | 100.0 | 0.0 | 18.5 | 1.5 | 1.5 | 0.8 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.9 | 4.6 |

⑧許可病床数・稼動病床数・病床利用率・平均在院日数

1) 許可病床数

許可病床数は次のとおりである。

図表 10 許可病床数 (n=367) 【全体】

(単位：床)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 一般病床 | 211.7 | 236.2 | 130.0 | 210.3 | 236.2 | 127.0 |
| 療養病床 | 23.2 | 43.6 | 0.0 | 23.7 | 44.7 | 0.0 |
| 精神病床 | 30.0 | 86.3 | 0.0 | 29.7 | 86.1 | 0.0 |
| 結核病床 | 1.6 | 8.0 | 0.0 | 1.6 | 8.0 | 0.0 |
| 感染症病床 | 0.7 | 2.2 | 0.0 | 0.7 | 2.2 | 0.0 |
| 病院全体 | 267.1 | 231.7 | 194.0 | 265.9 | 231.8 | 192.0 |

図表 11 許可病床数 (n=157) 【99床以下】

(単位：床)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-------|----------|-------|------|----------|-------|------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 一般病床 | 39.0 | 35.0 | 42.0 | 38.2 | 33.6 | 41.0 |
| 療養病床 | 37.1 | 54.6 | 0.0 | 37.7 | 55.8 | 0.0 |
| 精神病床 | 57.1 | 124.5 | 0.0 | 56.8 | 124.2 | 0.0 |
| 結核病床 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 |
| 感染症病床 | 0.1 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.5 | 0.0 |
| 病院全体 | 133.2 | 113.7 | 98.0 | 132.7 | 113.6 | 98.0 |

図表 12 許可病床数 (n=80) 【100～199床】

(単位：床)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-------|----------|------|-------|----------|------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 一般病床 | 147.2 | 32.4 | 144.0 | 145.6 | 29.7 | 143.0 |
| 療養病床 | 26.0 | 36.7 | 0.0 | 26.9 | 38.7 | 0.0 |
| 精神病床 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 |
| 結核病床 | 1.0 | 6.7 | 0.0 | 1.0 | 6.7 | 0.0 |
| 感染症病床 | 0.3 | 1.3 | 0.0 | 0.3 | 1.1 | 0.0 |
| 病院全体 | 174.5 | 50.6 | 161.5 | 173.8 | 50.1 | 161.5 |

図表 13 許可病床数 (n=130) 【200床以上】

(単位：床)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 一般病床 | 459.8 | 235.1 | 404.0 | 457.9 | 236.6 | 404.0 |
| 療養病床 | 4.6 | 19.1 | 0.0 | 4.7 | 19.7 | 0.0 |
| 精神病床 | 15.9 | 27.3 | 0.0 | 15.4 | 26.8 | 0.0 |
| 結核病床 | 3.8 | 12.0 | 0.0 | 3.8 | 12.0 | 0.0 |
| 感染症病床 | 1.6 | 3.4 | 0.0 | 1.6 | 3.4 | 0.0 |
| 病院全体 | 485.7 | 244.6 | 421.5 | 483.4 | 246.5 | 420.5 |

2) 稼働病床数

稼働病床数は次のとおりである。

図表 14 稼働病床数 (n=367) 【全体】

(単位：床)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 一般病床 | 202.2 | 229.1 | 124.0 | 200.6 | 228.4 | 122.0 |
| 療養病床 | 22.6 | 43.0 | 0.0 | 23.0 | 44.0 | 0.0 |
| 精神病床 | 28.9 | 84.0 | 0.0 | 28.5 | 83.6 | 0.0 |
| 結核病床 | 1.1 | 5.3 | 0.0 | 1.1 | 5.3 | 0.0 |
| 感染症病床 | 0.6 | 2.2 | 0.0 | 0.6 | 2.2 | 0.0 |
| 病院全体 | 255.4 | 224.8 | 180.0 | 253.8 | 224.1 | 180.0 |

図表 15 稼働病床数 (n=157) 【99床以下】

(単位：床)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-------|----------|-------|------|----------|-------|------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 一般病床 | 36.7 | 32.4 | 41.0 | 36.2 | 31.7 | 40.0 |
| 療養病床 | 36.9 | 54.6 | 0.0 | 37.3 | 55.7 | 0.0 |
| 精神病床 | 55.2 | 121.1 | 0.0 | 54.7 | 120.7 | 0.0 |
| 結核病床 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 |
| 感染症病床 | 0.1 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.5 | 0.0 |
| 病院全体 | 128.8 | 111.9 | 98.0 | 128.2 | 111.7 | 97.0 |

図表 16 稼働病床数 (n=80) 【100～199床】

(単位：床)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-------|----------|------|-------|----------|------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 一般病床 | 138.3 | 37.5 | 134.5 | 137.1 | 34.8 | 136.0 |
| 療養病床 | 24.3 | 33.8 | 0.0 | 25.0 | 35.3 | 0.0 |
| 精神病床 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 |
| 結核病床 | 0.7 | 3.8 | 0.0 | 0.7 | 3.8 | 0.0 |
| 感染症病床 | 0.3 | 1.1 | 0.0 | 0.2 | 0.9 | 0.0 |
| 病院全体 | 163.5 | 52.1 | 159.0 | 162.9 | 49.9 | 156.5 |

図表 17 稼働病床数 (n=130) 【200床以上】

(単位：床)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 一般病床 | 441.4 | 230.8 | 386.0 | 438.4 | 231.6 | 380.0 |
| 療養病床 | 4.3 | 18.9 | 0.0 | 4.4 | 19.5 | 0.0 |
| 精神病床 | 14.9 | 26.4 | 0.0 | 14.4 | 26.0 | 0.0 |
| 結核病床 | 2.7 | 8.2 | 0.0 | 2.6 | 8.2 | 0.0 |
| 感染症病床 | 1.6 | 3.4 | 0.0 | 1.6 | 3.4 | 0.0 |
| 病院全体 | 464.8 | 240.0 | 410.0 | 461.4 | 241.2 | 405.5 |

3) 病床利用率

病床利用率は次のとおりである。

図表 18 病床利用率【一般病床】

(単位：％)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|------|----------|------|------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 286 | 76.5 | 14.4 | 79.9 | 75.7 | 14.6 | 78.4 |
| 99床以下 | 90 | 74.4 | 18.0 | 79.7 | 72.6 | 18.9 | 77.4 |
| 100～199床 | 72 | 74.9 | 14.7 | 78.3 | 75.2 | 14.3 | 76.8 |
| 200床以上 | 124 | 79.0 | 10.4 | 80.4 | 78.2 | 10.1 | 79.3 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに一般病床の病床利用率について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 19 病床利用率【病院全体】

(単位：％)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|------|----------|------|------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 296 | 77.9 | 14.0 | 80.5 | 77.2 | 14.7 | 79.3 |
| 99床以下 | 113 | 78.9 | 16.8 | 84.7 | 78.1 | 18.5 | 84.4 |
| 100～199床 | 64 | 75.0 | 14.0 | 76.2 | 74.7 | 14.0 | 76.7 |
| 200床以上 | 119 | 78.4 | 10.8 | 80.1 | 77.7 | 10.4 | 78.3 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに病院全体の病床利用率について記入のあった施設を集計対象とした。

4) 平均在院日数

平均在院日数は次のとおりである。

図表 20 平均在院日数【一般病床】

(単位：日)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|------|----------|-------|------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 285 | 24.9 | 57.7 | 15.0 | 25.2 | 73.3 | 14.7 |
| 99床以下 | 89 | 40.5 | 98.1 | 17.9 | 42.4 | 126.9 | 17.2 |
| 100～199床 | 73 | 23.0 | 28.7 | 18.3 | 22.6 | 29.8 | 17.5 |
| 200床以上 | 123 | 14.8 | 5.4 | 13.3 | 14.4 | 4.4 | 13.4 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに一般病床の平均在院日数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 21 平均在院日数【病院全体】

(単位：日)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|-------|------|----------|-------|------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 291 | 81.2 | 374.8 | 17.1 | 76.9 | 343.6 | 16.9 |
| 99床以下 | 109 | 185.7 | 599.4 | 34.0 | 175.3 | 548.8 | 36.2 |
| 100～199床 | 64 | 24.2 | 17.1 | 19.8 | 23.3 | 16.1 | 18.9 |
| 200床以上 | 118 | 15.5 | 6.1 | 14.0 | 15.1 | 5.4 | 13.7 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月ともに病院全体の平均在院日数について記入のあった施設を集計対象とした。

⑨職員数

1) 職員数

1 施設あたりの平均職員数は次のとおりである。

図表 22 1施設あたりの平均職員数 (n=333)【全体】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | 平成28年10月 | |
|-------------|----------|------|----------|------|
| | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 |
| 医師 | 57.7 | 12.8 | 58.6 | 13.3 |
| 歯科医師 | 2.3 | 0.6 | 2.4 | 0.6 |
| 保健師・助産師・看護師 | 196.3 | 12.0 | 199.2 | 12.3 |
| 准看護師 | 10.0 | 2.1 | 9.3 | 2.0 |
| 看護補助者 | 20.6 | 9.8 | 20.0 | 9.6 |
| 歯科衛生士 | 1.0 | 0.3 | 1.1 | 0.2 |
| 薬剤師 | 11.5 | 0.5 | 11.9 | 0.5 |
| 臨床検査技師 | 14.1 | 1.3 | 14.3 | 1.3 |
| 管理栄養士 | 3.6 | 0.3 | 3.7 | 0.4 |
| 理学療法士 | 11.2 | 0.1 | 11.7 | 0.2 |
| 作業療法士 | 5.8 | 0.1 | 6.1 | 0.1 |
| 言語聴覚士 | 2.5 | 0.1 | 2.5 | 0.1 |
| 医師事務作業補助者 | 4.5 | 3.1 | 4.8 | 3.2 |
| MSW(社会福祉士等) | 3.3 | 0.2 | 3.4 | 0.2 |
| その他 | 57.6 | 13.3 | 59.0 | 13.4 |
| 合計 | 402.0 | 56.4 | 408.0 | 57.3 |

(注) すべての職員数について記入のあった333施設を集計対象とした。

図表 23 1施設あたりの平均職員数 (n=134) 【99床以下】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | 平成28年10月 | |
|-------------|----------|------|----------|------|
| | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 |
| 医師 | 6.4 | 3.7 | 6.3 | 3.5 |
| 歯科医師 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.0 |
| 保健師・助産師・看護師 | 42.3 | 3.9 | 42.9 | 4.1 |
| 准看護師 | 13.7 | 1.5 | 12.9 | 1.5 |
| 看護補助者 | 19.5 | 2.6 | 18.9 | 2.8 |
| 歯科衛生士 | 0.2 | 0.1 | 0.2 | 0.1 |
| 薬剤師 | 2.5 | 0.3 | 2.5 | 0.4 |
| 臨床検査技師 | 2.0 | 0.3 | 2.1 | 0.3 |
| 管理栄養士 | 1.7 | 0.1 | 1.8 | 0.1 |
| 理学療法士 | 7.1 | 0.1 | 7.0 | 0.1 |
| 作業療法士 | 4.9 | 0.1 | 5.1 | 0.1 |
| 言語聴覚士 | 1.6 | 0.0 | 1.6 | 0.0 |
| 医師事務作業補助者 | 0.7 | 0.2 | 0.8 | 0.2 |
| MSW(社会福祉士等) | 2.4 | 0.1 | 2.5 | 0.1 |
| その他 | 18.7 | 2.8 | 19.3 | 2.7 |
| 合計 | 124.0 | 15.8 | 124.0 | 15.9 |

(注) すべての職員数について記入のあった134施設を集計対象とした。

図表 24 1施設あたりの平均職員数 (n=75) 【100～199床】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | 平成28年10月 | |
|-------------|----------|------|----------|------|
| | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 |
| 医師 | 17.2 | 5.5 | 17.3 | 5.5 |
| 歯科医師 | 0.3 | 0.1 | 0.3 | 0.1 |
| 保健師・助産師・看護師 | 98.1 | 9.1 | 99.8 | 9.5 |
| 准看護師 | 11.6 | 2.2 | 10.9 | 2.1 |
| 看護補助者 | 19.9 | 4.9 | 19.5 | 4.6 |
| 歯科衛生士 | 0.6 | 0.1 | 0.5 | 0.1 |
| 薬剤師 | 6.2 | 0.4 | 6.1 | 0.5 |
| 臨床検査技師 | 7.4 | 0.6 | 7.5 | 0.7 |
| 管理栄養士 | 2.8 | 0.1 | 3.0 | 0.1 |
| 理学療法士 | 12.1 | 0.1 | 13.0 | 0.1 |
| 作業療法士 | 5.7 | 0.1 | 5.7 | 0.1 |
| 言語聴覚士 | 2.1 | 0.1 | 2.1 | 0.1 |
| 医師事務作業補助者 | 2.9 | 1.2 | 3.2 | 1.4 |
| MSW(社会福祉士等) | 2.6 | 0.1 | 2.6 | 0.1 |
| その他 | 39.7 | 7.0 | 41.8 | 7.4 |
| 合計 | 229.1 | 31.6 | 233.2 | 32.4 |

(注) すべての職員数について記入のあった75施設を集計対象とした。

図表 25 1施設あたりの平均職員数 (n=124) 【200床以上】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | 平成28年10月 | |
|-------------|----------|-------|----------|-------|
| | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 |
| 医師 | 137.7 | 27.2 | 140.1 | 28.5 |
| 歯科医師 | 5.9 | 1.4 | 6.1 | 1.5 |
| 保健師・助産師・看護師 | 422.2 | 22.3 | 428.2 | 22.7 |
| 准看護師 | 4.9 | 2.7 | 4.5 | 2.4 |
| 看護補助者 | 22.3 | 20.5 | 21.5 | 20.0 |
| 歯科衛生士 | 2.1 | 0.5 | 2.3 | 0.5 |
| 薬剤師 | 24.3 | 0.7 | 25.4 | 0.8 |
| 臨床検査技師 | 31.3 | 2.7 | 31.6 | 2.9 |
| 管理栄養士 | 6.1 | 0.6 | 6.1 | 0.8 |
| 理学療法士 | 15.0 | 0.2 | 16.0 | 0.2 |
| 作業療法士 | 6.8 | 0.1 | 7.3 | 0.1 |
| 言語聴覚士 | 3.6 | 0.2 | 3.8 | 0.2 |
| 医師事務作業補助者 | 9.5 | 7.3 | 10.2 | 7.4 |
| MSW(社会福祉士等) | 4.7 | 0.3 | 4.9 | 0.3 |
| その他 | 110.4 | 28.5 | 112.4 | 28.6 |
| 合計 | 807.0 | 115.3 | 820.5 | 117.0 |

(注) すべての職員数について記入のあった124施設を集計対象とした。

2) 外来業務のみを担当する医師数

外来業務のみを担当する医師数は次のとおりである。

図表 26 外来業務のみを担当する医師数【常勤】(平成28年10月)

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|--------|-----|------|-----|
| 全体 | 210 | 1.1 | 3.6 | 0.0 |
| 99床以下 | 82 | 0.5 | 1.6 | 0.0 |
| 100～199床 | 51 | 1.1 | 2.5 | 0.0 |
| 200床以上 | 77 | 1.8 | 5.2 | 0.0 |

(注) 外来業務のみを担当する医師数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 27 外来業務のみを担当する医師数【非常勤】(平成28年10月)

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|--------|-----|------|-----|
| 全体 | 222 | 2.6 | 4.1 | 1.0 |
| 99床以下 | 89 | 1.3 | 2.7 | 0.3 |
| 100～199床 | 50 | 3.6 | 3.6 | 3.2 |
| 200床以上 | 83 | 3.4 | 5.1 | 0.9 |

(注) 外来業務のみを担当する医師数について記入のあった施設を集計対象とした。

3) 一般病棟勤務の看護師・准看護師数

一般病棟勤務の看護師・准看護師数は次のとおりである。

図表 28 一般病棟勤務の看護師数【常勤】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 313 | 117.5 | 150.2 | 46.0 | 118.1 | 150.7 | 47.0 |
| 99床以下 | 127 | 13.4 | 13.7 | 12.0 | 13.2 | 13.6 | 12.0 |
| 100～199床 | 68 | 55.4 | 29.4 | 53.0 | 56.6 | 29.3 | 51.5 |
| 200床以上 | 118 | 265.4 | 153.0 | 229.0 | 266.3 | 153.6 | 235.5 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月ともに一般病棟勤務の常勤の看護師数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 29 一般病棟勤務の看護師数【非常勤】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 308 | 3.8 | 9.4 | 1.3 | 3.9 | 9.1 | 1.1 |
| 99床以下 | 124 | 1.3 | 2.4 | 0.0 | 1.3 | 2.5 | 0.0 |
| 100～199床 | 68 | 3.0 | 3.3 | 2.0 | 3.1 | 3.0 | 2.4 |
| 200床以上 | 116 | 7.0 | 14.4 | 3.0 | 7.2 | 13.8 | 3.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月ともに一般病棟勤務の非常勤の看護師数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 30 一般病棟勤務の准看護師数【常勤】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 313 | 3.1 | 4.7 | 1.0 | 2.8 | 4.3 | 1.0 |
| 99床以下 | 124 | 2.6 | 3.6 | 1.0 | 2.4 | 3.3 | 1.0 |
| 100～199床 | 70 | 5.7 | 6.4 | 4.0 | 5.2 | 5.7 | 3.0 |
| 200床以上 | 119 | 2.1 | 3.9 | 0.0 | 1.9 | 3.8 | 0.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月ともに一般病棟勤務の常勤の准看護師数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 31 一般病棟勤務の准看護師数【非常勤】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 308 | 0.5 | 1.5 | 0.0 | 0.5 | 1.4 | 0.0 |
| 99床以下 | 122 | 0.4 | 1.1 | 0.0 | 0.4 | 1.1 | 0.0 |
| 100～199床 | 68 | 0.4 | 0.7 | 0.0 | 0.4 | 0.8 | 0.0 |
| 200床以上 | 118 | 0.8 | 2.1 | 0.0 | 0.6 | 1.8 | 0.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに一般病棟勤務の非常勤の准看護師数について記入のあった施設を集計対象とした。

4) 短時間正職員制度利用者数（看護職員）

看護職員（看護師・准看護師）のうち、短時間正職員制度利用者数は次のとおりである。

200 床以上の病院では、短時間正職員制度利用者数は平均 11.0 人から平均 12.1 人と増加している。

図表 32 看護職員（看護師・准看護師）のうち、短時間正職員制度利用者数

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 278 | 5.2 | 13.0 | 0.0 | 5.7 | 13.7 | 0.0 |
| 99床以下 | 107 | 0.9 | 1.7 | 0.0 | 0.8 | 1.6 | 0.0 |
| 100～199床 | 62 | 2.6 | 5.4 | 0.5 | 3.2 | 5.8 | 1.0 |
| 200床以上 | 109 | 11.0 | 18.9 | 2.0 | 12.1 | 19.9 | 2.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに短時間正職員制度利用者数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 33 週 30 時間以上の短時間正職員制度利用者数

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 277 | 3.4 | 10.2 | 0.0 | 3.6 | 10.1 | 0.0 |
| 99床以下 | 107 | 0.7 | 1.6 | 0.0 | 0.7 | 1.4 | 0.0 |
| 100～199床 | 62 | 2.0 | 5.1 | 0.0 | 2.5 | 5.3 | 0.0 |
| 200床以上 | 108 | 6.8 | 15.1 | 0.0 | 7.0 | 15.0 | 0.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに週 30 時間以上の短時間正職員制度利用者数について記入のあった施設を集計対象とした。

5) 看護職員の中の夜勤専従者数

看護職員（看護師・准看護師）のうち、夜勤専従者数は次のとおりである。

200床以上の病院では、常勤の夜勤専従者は平均1.9人から平均2.3人とやや増加している。

図表 34 看護職員（看護師・准看護師）のうち、夜勤専従者数【常勤】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 268 | 1.7 | 5.4 | 0.0 | 1.8 | 5.5 | 0.0 |
| 99床以下 | 104 | 1.8 | 6.1 | 0.0 | 1.7 | 5.9 | 0.0 |
| 100～199床 | 61 | 1.3 | 2.7 | 0.0 | 1.2 | 2.4 | 0.0 |
| 200床以上 | 103 | 1.9 | 5.9 | 0.0 | 2.3 | 6.4 | 0.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月ともに、常勤の夜勤専従者数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 35 看護職員（看護師・准看護師）のうち、夜勤専従者数【非常勤】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 261 | 0.3 | 1.1 | 0.0 | 0.5 | 1.4 | 0.0 |
| 99床以下 | 98 | 0.4 | 1.4 | 0.0 | 0.5 | 1.4 | 0.0 |
| 100～199床 | 60 | 0.3 | 0.9 | 0.0 | 0.4 | 1.1 | 0.0 |
| 200床以上 | 103 | 0.3 | 1.0 | 0.0 | 0.5 | 1.6 | 0.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月ともに、非常勤の夜勤専従者数について記入のあった施設を集計対象とした。

6) 病棟専任（または担当）薬剤師数

病棟専任（または担当）薬剤師数は次のとおりである。

200床以上の病院では、常勤の病棟専任（または担当）薬剤師数は平均10.1人から平均11.0人とやや増加している。

図表 36 病棟専任（または担当）薬剤師数【常勤】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 274 | 4.6 | 7.7 | 1.0 | 4.9 | 8.6 | 1.0 |
| 99床以下 | 109 | 0.7 | 1.1 | 0.0 | 0.7 | 1.1 | 0.0 |
| 100～199床 | 62 | 2.3 | 2.6 | 1.5 | 2.3 | 2.6 | 2.0 |
| 200床以上 | 103 | 10.1 | 10.2 | 9.0 | 11.0 | 11.4 | 9.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月ともに、常勤の病棟専任（または担当）薬剤師数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 37 病棟専任（または担当）薬剤師数【非常勤】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 306 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 0.0 |
| 99床以下 | 121 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 0.0 |
| 100～199床 | 72 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 0.0 |
| 200床以上 | 113 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに、非常勤の病棟専任（または担当）薬剤師数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 38 非常勤の薬剤師の実人数（平成 28 年 10 月）

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|--------|-----|------|-----|
| 全体 | 332 | 0.9 | 2.0 | 0.0 |
| 99床以下 | 139 | 0.7 | 1.2 | 0.0 |
| 100～199床 | 74 | 0.9 | 2.0 | 0.0 |
| 200床以上 | 119 | 1.1 | 2.6 | 0.0 |

(注) 非常勤の薬剤師数について記入のあった施設を集計対象とした。

⑩入院患者数

平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の入院患者数は次のとおりである。

図表 39 1 か月間の入院患者数【全体】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | | 増減率 |
|----------------------|--------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|-------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | |
| ①入院延べ患者数 | 298 | 6,842.3 | 6,057.8 | 4,849.0 | 6,776.7 | 6,028.5 | 4,911.5 | -1.0% |
| ②(うち)一般病棟における入院延べ患者数 | 246 | 5,737.6 | 5,821.7 | 3,455.0 | 5,604.1 | 5,784.6 | 3,281.5 | -2.3% |
| ③時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数 | 298 | 124.4 | 358.8 | 28.0 | 130.9 | 354.5 | 29.0 | 5.2% |
| ④救急搬送により緊急入院した延べ患者数 | 298 | 115.3 | 382.8 | 23.5 | 122.8 | 400.1 | 23.5 | 6.5% |
| ⑤新入院患者数 | 298 | 378.8 | 463.0 | 190.0 | 386.5 | 479.0 | 205.0 | 2.0% |
| ⑥退院患者数 | 298 | 389.9 | 475.2 | 199.0 | 384.8 | 476.9 | 197.5 | -1.3% |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の入院患者数についてすべて記入のあった施設を集計対象とした。ただし、一般病棟がない施設もあるため、「②うち、一般病棟における入院延べ患者数」については一般病棟がある施設に限定した。

図表 40 1 か月間の入院患者数【99 床以下】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | | 増減率 |
|----------------------|--------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|-------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | |
| ①入院延べ患者数 | 116 | 3,519.1 | 3,321.3 | 2,387.0 | 3,502.9 | 3,364.8 | 2,267.5 | -0.5% |
| ②(うち)一般病棟における入院延べ患者数 | 70 | 1,201.9 | 609.9 | 1,185.5 | 1,153.0 | 613.4 | 1,122.0 | -4.1% |
| ③時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数 | 116 | 11.3 | 22.1 | 3.0 | 12.4 | 25.8 | 3.0 | 9.2% |
| ④救急搬送により緊急入院した延べ患者数 | 116 | 7.8 | 13.6 | 3.0 | 11.5 | 38.6 | 3.0 | 47.8% |
| ⑤新入院患者数 | 116 | 65.9 | 65.1 | 51.5 | 62.9 | 61.1 | 49.0 | -4.6% |
| ⑥退院患者数 | 116 | 66.0 | 63.2 | 49.5 | 62.3 | 59.9 | 47.0 | -5.6% |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の入院患者数についてすべて記入のあった施設を集計対象とした。ただし、一般病棟がない施設もあるため、「②うち、一般病棟における入院延べ患者数」については一般病棟がある施設に限定した。

図表 41 1 か月間の入院患者数【100～199 床】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | | 増減率 |
|----------------------|--------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|-------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | |
| ①入院延べ患者数 | 68 | 4,027.2 | 1,394.6 | 3,944.5 | 4,050.8 | 1,469.9 | 3,916.0 | 0.6% |
| ②(うち)一般病棟における入院延べ患者数 | 65 | 2,662.3 | 1,135.8 | 2,717.0 | 2,577.4 | 1,160.9 | 2,690.0 | -3.2% |
| ③時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数 | 68 | 57.9 | 121.9 | 26.0 | 61.5 | 121.2 | 26.0 | 6.1% |
| ④救急搬送により緊急入院した延べ患者数 | 68 | 46.7 | 86.5 | 23.0 | 54.2 | 102.5 | 24.5 | 16.2% |
| ⑤新入院患者数 | 68 | 194.4 | 143.2 | 175.0 | 197.6 | 165.3 | 187.0 | 1.6% |
| ⑥退院患者数 | 68 | 200.7 | 155.6 | 177.5 | 202.6 | 177.4 | 187.5 | 0.9% |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の入院患者数についてすべて記入のあった施設を集計対象とした。ただし、一般病棟がない施設もあるため、「②うち、一般病棟における入院延べ患者数」については一般病棟がある施設に限定した。

図表 42 1 か月間の入院患者数【200 床以上】

(単位：人)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | | 増減率 |
|----------------------|--------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|-------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | |
| ①入院延べ患者数 | 114 | 11,903.1 | 6,490.5 | 10,848.5 | 11,734.0 | 6,515.4 | 10,686.5 | -1.4% |
| ②(うち)一般病棟における入院延べ患者数 | 111 | 10,398.8 | 5,822.3 | 9,572.0 | 10,183.5 | 5,858.8 | 9,317.0 | -2.1% |
| ③時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数 | 114 | 279.1 | 537.7 | 131.0 | 292.9 | 526.4 | 133.0 | 5.0% |
| ④救急搬送により緊急入院した延べ患者数 | 114 | 265.6 | 585.6 | 105.5 | 276.9 | 611.2 | 107.0 | 4.3% |
| ⑤新入院患者数 | 114 | 807.3 | 490.7 | 708.5 | 828.4 | 507.1 | 732.0 | 2.6% |
| ⑥退院患者数 | 114 | 832.4 | 498.3 | 732.0 | 821.7 | 506.0 | 724.0 | -1.3% |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の入院患者数についてすべて記入のあった施設を集計対象とした。ただし、一般病棟がない施設もあるため、「②うち、一般病棟における入院延べ患者数」については一般病棟がある施設に限定した。

⑪外来患者数

平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の外来患者数は次のとおりである。

図表 43 1 か月間の外来患者数 (n=268)【全体】

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | | 増減率 |
|-------------------------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | |
| ①外来延べ患者数(人) | 11,180.0 | 13,603.6 | 5,969.5 | 10,660.8 | 13,055.4 | 5,697.5 | -4.6% |
| ②初診の外来患者数(人) | 1,086.1 | 1,205.6 | 714.0 | 1,013.8 | 1,107.4 | 677.0 | -6.7% |
| ③再診の外来延べ患者数(人) | 9,971.7 | 12,608.5 | 5,281.5 | 9,530.4 | 12,098.7 | 4,979.0 | -4.4% |
| ④緊急自動車等により搬送された延べ患者数(人) | 89.3 | 132.8 | 33.0 | 95.9 | 146.2 | 36.5 | 7.4% |
| ⑤時間外・休日・深夜加算の算定件数(件) | 259.1 | 404.7 | 91.0 | 280.6 | 453.6 | 94.0 | 8.3% |
| ⑥時間外選定療養費の徴収件数(件) | 29.1 | 137.7 | 0.0 | 29.7 | 130.9 | 0.0 | 1.9% |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の外来患者数についてすべて記入のあった施設を集計対象とした。

図表 44 1 か月間の外来患者数 (n=103) 【99 床以下】

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | | 増減率 |
|-------------------------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | |
| ①外来延べ患者数(人) | 3,651.7 | 7,454.2 | 2,830.0 | 3,466.9 | 7,291.2 | 2,603.0 | -5.1% |
| ②初診の外来患者数(人) | 405.1 | 680.7 | 207.0 | 386.0 | 663.9 | 186.0 | -4.7% |
| ③再診の外来延べ患者数(人) | 3,157.5 | 6,962.5 | 2,416.0 | 2,995.6 | 6,778.6 | 2,310.0 | -5.1% |
| ④緊急自動車等により搬送された延べ患者数(人) | 14.3 | 24.9 | 4.0 | 20.0 | 68.7 | 3.0 | 39.2% |
| ⑤時間外・休日・深夜加算の算定件数(件) | 63.0 | 264.7 | 14.0 | 65.1 | 252.5 | 17.0 | 3.3% |
| ⑥時間外選定療養費の徴収件数(件) | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0% |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の外来患者数についてすべて記入のあった施設を集計対象とした。

図表 45 1 か月間の外来患者数 (n=62) 【100~199 床以下】

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | | 増減率 |
|-------------------------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | |
| ①外来延べ患者数(人) | 6,841.0 | 3,274.0 | 5,969.5 | 6,510.6 | 3,149.6 | 5,681.0 | -4.8% |
| ②初診の外来患者数(人) | 781.3 | 460.0 | 683.5 | 739.5 | 446.6 | 638.0 | -5.4% |
| ③再診の外来延べ患者数(人) | 5,930.4 | 2,949.3 | 5,244.5 | 5,658.8 | 2,861.7 | 5,036.0 | -4.6% |
| ④緊急自動車等により搬送された延べ患者数(人) | 68.0 | 76.5 | 36.5 | 74.6 | 93.0 | 41.5 | 9.8% |
| ⑤時間外・休日・深夜加算の算定件数(件) | 144.8 | 136.7 | 100.5 | 149.4 | 134.9 | 97.5 | 3.2% |
| ⑥時間外選定療養費の徴収件数(件) | 1.8 | 10.3 | 0.0 | 2.0 | 11.5 | 0.0 | 10.8% |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の外来患者数についてすべて記入のあった施設を集計対象とした。

図表 46 1 か月間の外来患者数 (n=103) 【200 床以上】

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | | 増減率 |
|-------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | |
| ①外来延べ患者数(人) | 21,320.3 | 15,809.4 | 16,774.0 | 20,352.9 | 15,148.6 | 15,768.0 | -4.5% |
| ②初診の外来患者数(人) | 1,950.6 | 1,391.1 | 1,644.0 | 1,806.7 | 1,253.6 | 1,508.0 | -7.4% |
| ③再診の外来延べ患者数(人) | 19,218.5 | 14,808.8 | 14,619.0 | 18,395.5 | 14,167.7 | 14,041.0 | -4.3% |
| ④緊急自動車等により搬送された延べ患者数(人) | 177.2 | 168.2 | 126.0 | 184.6 | 179.0 | 130.0 | 4.2% |
| ⑤時間外・休日・深夜加算の算定件数(件) | 523.9 | 479.5 | 392.0 | 575.0 | 564.9 | 453.0 | 9.8% |
| ⑥時間外選定療養費の徴収件数(件) | 74.6 | 214.9 | 0.0 | 76.0 | 203.1 | 0.0 | 1.8% |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の外来患者数についてすべて記入のあった施設を集計対象とした。

⑫分娩件数

平成27年10月、平成28年10月1か月間の分娩件数は次のとおりである。

図表 47 1か月間の分娩件数

(単位：件)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|------|------|----------|------|------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 298 | 16.8 | 35.7 | 0.0 | 16.1 | 34.8 | 0.0 |
| 99床以下 | 114 | 3.9 | 28.9 | 0.0 | 3.5 | 26.2 | 0.0 |
| 100～199床 | 64 | 9.3 | 32.0 | 0.0 | 9.5 | 36.1 | 0.0 |
| 200床以上 | 120 | 33.1 | 37.2 | 23.0 | 31.5 | 35.6 | 25.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の分娩件数についてすべて記入のあった施設を集計対象とした。

⑬全身麻酔による手術件数

平成27年10月、平成28年10月1か月間の全身麻酔による手術件数は次のとおりである。

図表 48 1か月間の全身麻酔による手術件数

(単位：件)

| | 施設数(件) | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------|--------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 309 | 81.4 | 123.5 | 26.0 | 79.1 | 121.8 | 24.0 |
| 99床以下 | 117 | 5.8 | 12.0 | 0.0 | 5.6 | 12.1 | 0.0 |
| 100～199床 | 70 | 25.7 | 25.0 | 21.0 | 25.2 | 25.8 | 16.5 |
| 200床以上 | 122 | 185.8 | 141.5 | 148.0 | 180.6 | 141.3 | 153.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の全身麻酔の件数についてすべて記入のあった施設を集計対象とした。

(2) 各診療報酬項目の施設基準の届出状況及び算定件数等

①施設基準の届出状況

施設基準の届出状況は次のとおりである。

図表 49 届出のある施設基準等（複数回答）

(単位：上段「件」、下段「%」)

| | 総数 | 総合入院 体制加算1 | 総合入院 体制加算2 | 総合入院 体制加算3 | 25対1急性 期看護補 助体制加 算(看護補 助者5割以 上) | 25対1急性 期看護補 助体制加 算(看護補 助者5割未 満) | 50対1急性 期看護補 助体制加 算 | 75対1急性 期看護補 助体制加 算 | 夜間30対1 急性期看 護補助体 制加算 | 夜間50対1 急性期看 護補助体 制加算 | 夜間100対 1急性期看 護補助体 制加算 | 夜間看護 体制加算 (急性期看 護補助体 制加算) | 夜間看護 体制加算 (看護補助 加算) |
|----------|-------|---------------|---------------|---------------|--|--|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|
| 全体 | 367 | 3 | 15 | 24 | 106 | 29 | 90 | 8 | 7 | 26 | 23 | 26 | 5 |
| | 100.0 | 0.8 | 4.1 | 6.5 | 28.9 | 7.9 | 24.5 | 2.2 | 1.9 | 7.1 | 6.3 | 7.1 | 1.4 |
| 99床以下 | 157 | 0 | 0 | 0 | 23 | 2 | 10 | 3 | 3 | 5 | 2 | 6 | 3 |
| | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.6 | 1.3 | 6.4 | 1.9 | 1.9 | 3.2 | 1.3 | 3.8 | 1.9 |
| 100～199床 | 80 | 0 | 0 | 1 | 38 | 5 | 21 | 1 | 4 | 15 | 7 | 6 | 2 |
| | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 47.5 | 6.3 | 26.3 | 1.3 | 5.0 | 18.8 | 8.8 | 7.5 | 2.5 |
| 200床以上 | 130 | 3 | 15 | 23 | 45 | 22 | 59 | 4 | 0 | 6 | 14 | 14 | 0 |
| | 100.0 | 2.3 | 11.5 | 17.7 | 34.6 | 16.9 | 45.4 | 3.1 | 0.0 | 4.6 | 10.8 | 10.8 | 0.0 |

| | 総数 | 看護職員 夜間12対1 配置加算1 | 看護職員 夜間12対1 配置加算2 | 看護職員 夜間16対1 配置加算 | 看護補助 加算1 | 看護補助 加算2 | 看護補助 加算3 | 夜間75対1 看護補助 加算 | 看護職員 配置加算 | 看護補助 者配置加 算 | 感染防止 対策加算 1・2 | 精神科リエ ンチーム加 算 | 栄養サポ ートチ ーム加算 |
|----------|-------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-------------|-------------|-------------|----------------------|--------------|-------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 全体 | 367 | 24 | 14 | 24 | 32 | 33 | 1 | 5 | 35 | 20 | 259 | 19 | 103 |
| | 100.0 | 6.5 | 3.8 | 6.5 | 8.7 | 9.0 | 0.3 | 1.4 | 9.5 | 5.4 | 70.6 | 5.2 | 28.1 |
| 99床以下 | 157 | 0 | 0 | 1 | 24 | 15 | 1 | 5 | 14 | 8 | 67 | 0 | 10 |
| | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 15.3 | 9.6 | 0.6 | 3.2 | 8.9 | 5.1 | 42.7 | 0.0 | 6.4 |
| 100～199床 | 80 | 5 | 4 | 6 | 3 | 3 | 0 | 0 | 14 | 11 | 70 | 0 | 22 |
| | 100.0 | 6.3 | 5.0 | 7.5 | 3.8 | 3.8 | 0.0 | 0.0 | 17.5 | 13.8 | 87.5 | 0.0 | 27.5 |
| 200床以上 | 130 | 19 | 10 | 17 | 5 | 15 | 0 | 0 | 7 | 1 | 122 | 19 | 71 |
| | 100.0 | 14.6 | 7.7 | 13.1 | 3.8 | 11.5 | 0.0 | 0.0 | 5.4 | 0.8 | 93.8 | 14.6 | 54.6 |

| | 総数 | 栄養サポ ートチ ーム加算 歯科医師 連携加算 | ハイリスク分娩 管理加算 | 呼吸ケアチ ーム加算 | 病棟薬剤 業務実施 加算1 | 病棟薬剤 業務実施 加算2 | 救命救急 入院料注3 加算 | 脳卒中ケ アユニット 入院医 療管理料 | 小児特定 集中治療 室管理料 | 総合周産 期特定集 中治療室 管理料 | 小児入院 医療管理 料1 | 小児入院 医療管理 料2 | 移植後患 者指導管 理料 |
|----------|-------|-------------------------------------|-----------------|---------------|---------------------|---------------------|---------------------|------------------------------|----------------------|-----------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 全体 | 367 | 24 | 80 | 48 | 116 | 35 | 35 | 21 | 3 | 19 | 13 | 27 | 32 |
| | 100.0 | 6.5 | 21.8 | 13.1 | 31.6 | 9.5 | 9.5 | 5.7 | 0.8 | 5.2 | 3.5 | 7.4 | 8.7 |
| 99床以下 | 157 | 1 | 2 | 0 | 21 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 100.0 | 0.6 | 1.3 | 0.0 | 13.4 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.0 |
| 100～199床 | 80 | 2 | 7 | 1 | 23 | 0 | 0 | 3 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 |
| | 100.0 | 2.5 | 8.8 | 1.3 | 28.8 | 0.0 | 0.0 | 3.8 | 0.0 | 2.5 | 2.5 | 0.0 | 2.5 |
| 200床以上 | 130 | 21 | 71 | 47 | 72 | 35 | 35 | 16 | 3 | 17 | 11 | 26 | 30 |
| | 100.0 | 16.2 | 54.6 | 36.2 | 55.4 | 26.9 | 26.9 | 12.3 | 2.3 | 13.1 | 8.5 | 20.0 | 23.1 |

| | 総数 | 糖尿病透 析予防指 導管理料 | 院内ト ー ジ実施料 | がん患者指 導管理料1 | がん患者指 導管理料2 | がん患者指 導管理料3 | 画像診断 管理加算1 | 画像診断 管理加算2 | 手術にお ける休日 加算1 | 手術にお ける時間 外加算1 | 手術にお ける深夜 加算1 | 処置にお ける休日 加算1 | 処置にお ける時間 外加算1 |
|----------|-------|----------------------|------------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|---------------------|----------------------|---------------------|---------------------|----------------------|
| 全体 | 367 | 116 | 101 | 112 | 111 | 80 | 80 | 103 | 32 | 32 | 32 | 26 | 26 |
| | 100.0 | 31.6 | 27.5 | 30.5 | 30.2 | 21.8 | 21.8 | 28.1 | 8.7 | 8.7 | 8.7 | 7.1 | 7.1 |
| 99床以下 | 157 | 6 | 5 | 3 | 3 | 0 | 5 | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 100.0 | 3.8 | 3.2 | 1.9 | 1.9 | 0.0 | 3.2 | 3.2 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 |
| 100～199床 | 80 | 29 | 20 | 13 | 13 | 4 | 8 | 15 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 100.0 | 36.3 | 25.0 | 16.3 | 16.3 | 5.0 | 10.0 | 18.8 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 |
| 200床以上 | 130 | 81 | 76 | 96 | 95 | 76 | 67 | 83 | 28 | 28 | 28 | 22 | 22 |
| | 100.0 | 62.3 | 58.5 | 73.8 | 73.1 | 58.5 | 51.5 | 63.8 | 21.5 | 21.5 | 21.5 | 16.9 | 16.9 |

施設調査

| | 総数 | 処置における深夜加算 1 | 認知症ケア 加算1 | 薬剤管理 指導料 | 薬剤総合 評価調整 加算 | 特定薬剤 治療管理 料 | 歯科医療 機関連携 加算 | 周術期口 腔機能管 理料 | 周術期口 腔機能管 理後手術 加算 | 在宅患者 訪問看護・ 指導料3 | 在宅患者 訪問薬剤 管理指導 料 | 在宅患者 訪問褥瘡 管理指導 料 | 無回答 |
|----------|--------------|-----------------|--------------|-------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------|---------------------------|------------|
| 全体 | 367 100.0 | 26 7.1 | 24 6.5 | 271 73.8 | 62 16.9 | 140 38.1 | 45 12.3 | 59 16.1 | 65 17.7 | 47 12.8 | 41 11.2 | 8 2.2 | 35 9.5 |
| 99床以下 | 157 100.0 | 2 1.3 | 6 3.8 | 82 52.2 | 20 12.7 | 51 32.5 | 11 7.0 | 9 5.7 | 10 6.4 | 9 5.7 | 8 5.1 | 1 0.6 | 34 21.7 |
| 100～199床 | 80 100.0 | 2 2.5 | 3 3.8 | 70 87.5 | 11 13.8 | 25 31.3 | 8 10.0 | 8 10.0 | 10 12.5 | 8 10.0 | 8 10.0 | 3 3.8 | 0 0.0 |
| 200床以上 | 130 100.0 | 22 16.9 | 15 11.5 | 119 91.5 | 31 23.8 | 64 49.2 | 26 20.0 | 42 32.3 | 45 34.6 | 30 23.1 | 25 19.2 | 4 3.1 | 1 0.8 |

②届出時期

各施設基準の届出時期は次のとおりである。

図表 50 各診療報酬項目の施設基準の届出時期

| | 届出施設 | 平成28年3月以前 | | 平成28年4月以降 | | 無回答 | |
|----------------------------|------|-----------|--------|-----------|--------|--------|-------|
| | | 施設数(件) | 構成割合 | 施設数(件) | 構成割合 | 施設数(件) | 構成割合 |
| 総合入院体制加算1 | 3 | 0 | 0.0% | 3 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| 総合入院体制加算2 | 15 | 11 | 73.3% | 4 | 26.7% | 0 | 0.0% |
| 総合入院体制加算3 | 24 | 14 | 58.3% | 10 | 41.7% | 0 | 0.0% |
| 25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割以上) | 106 | 83 | 78.3% | 20 | 18.9% | 3 | 2.8% |
| 25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割未満) | 29 | 17 | 58.6% | 10 | 34.5% | 2 | 6.9% |
| 50対1急性期看護補助体制加算 | 90 | 76 | 84.4% | 12 | 13.3% | 2 | 2.2% |
| 75対1急性期看護補助体制加算 | 8 | 8 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 夜間30対1急性期看護補助体制加算 | 7 | 5 | 71.4% | 2 | 28.6% | 0 | 0.0% |
| 夜間50対1急性期看護補助体制加算 | 26 | 20 | 76.9% | 4 | 15.4% | 2 | 7.7% |
| 夜間100対1急性期看護補助体制加算 | 23 | 19 | 82.6% | 4 | 17.4% | 0 | 0.0% |
| 夜間看護体制加算(急性期看護補助体制加算) | 26 | 8 | 30.8% | 17 | 65.4% | 1 | 3.8% |
| 夜間看護体制加算(看護補助加算) | 5 | 1 | 20.0% | 4 | 80.0% | 0 | 0.0% |
| 看護職員夜間12対1配置加算1 | 24 | 2 | 8.3% | 22 | 91.7% | 0 | 0.0% |
| 看護職員夜間12対1配置加算2 | 15 | 10 | 66.7% | 5 | 33.3% | 0 | 0.0% |
| 看護職員夜間16対1配置加算 | 24 | 1 | 4.2% | 23 | 95.8% | 0 | 0.0% |
| 看護補助加算1 | 32 | 29 | 90.6% | 3 | 9.4% | 0 | 0.0% |
| 看護補助加算2 | 33 | 31 | 93.9% | 2 | 6.1% | 0 | 0.0% |
| 看護補助加算3 | 1 | 1 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 夜間75対1看護補助加算 | 5 | 0 | 0.0% | 5 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| 看護職員配置加算 | 35 | 25 | 71.4% | 8 | 22.9% | 2 | 5.7% |
| 看護補助者配置加算 | 20 | 16 | 80.0% | 3 | 15.0% | 1 | 5.0% |
| 感染防止対策加算1・2 | 259 | 238 | 91.9% | 11 | 4.2% | 10 | 3.9% |
| 精神科リエゾンチーム加算 | 19 | 11 | 57.9% | 6 | 31.6% | 2 | 10.5% |
| 栄養サポートチーム加算 | 103 | 90 | 87.4% | 11 | 10.7% | 2 | 1.9% |
| ハイリスク分娩管理加算 | 80 | 78 | 97.5% | 0 | 0.0% | 2 | 2.5% |
| 呼吸ケアチーム加算 | 48 | 44 | 91.7% | 2 | 4.2% | 2 | 4.2% |
| 病棟薬剤業務実施加算1 | 116 | 89 | 76.7% | 23 | 19.8% | 4 | 3.4% |
| 救命救急入院料 注3加算 | 35 | 34 | 97.1% | 1 | 2.9% | 0 | 0.0% |
| 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 | 21 | 19 | 90.5% | 1 | 4.8% | 1 | 4.8% |
| 小児特定集中治療室管理料 | 3 | 3 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 総合周産期特定集中治療室管理料 | 19 | 17 | 89.5% | 1 | 5.3% | 1 | 5.3% |
| 小児入院医療管理料1 | 13 | 13 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 小児入院医療管理料2 | 27 | 23 | 85.2% | 1 | 3.7% | 3 | 11.1% |
| 移植後患者指導管理料 | 32 | 31 | 96.9% | 1 | 3.1% | 0 | 0.0% |
| 糖尿病透析予防指導管理料 | 116 | 106 | 91.4% | 8 | 6.9% | 2 | 1.7% |
| 院内トリアージ実施料 | 101 | 95 | 94.1% | 3 | 3.0% | 3 | 3.0% |
| がん患者指導管理料1 | 112 | 106 | 94.6% | 2 | 1.8% | 4 | 3.6% |
| がん患者指導管理料2 | 111 | 104 | 93.7% | 3 | 2.7% | 4 | 3.6% |
| がん患者指導管理料3 | 80 | 67 | 83.8% | 8 | 10.0% | 5 | 6.3% |
| 画像診断管理加算1 | 80 | 72 | 90.0% | 3 | 3.8% | 5 | 6.3% |
| 画像診断管理加算2 | 103 | 96 | 93.2% | 2 | 1.9% | 5 | 4.9% |
| 手術における休日加算1 | 32 | 28 | 87.5% | 2 | 6.3% | 2 | 6.3% |
| 手術における時間外加算1 | 32 | 28 | 87.5% | 2 | 6.3% | 2 | 6.3% |
| 手術における深夜加算1 | 32 | 28 | 87.5% | 2 | 6.3% | 2 | 6.3% |
| 処置における休日加算1 | 26 | 22 | 84.6% | 2 | 7.7% | 2 | 7.7% |
| 処置における時間外加算1 | 26 | 22 | 84.6% | 2 | 7.7% | 2 | 7.7% |
| 処置における深夜加算1 | 26 | 22 | 84.6% | 2 | 7.7% | 2 | 7.7% |
| 薬剤管理指導料 | 271 | 243 | 89.7% | 8 | 3.0% | 20 | 7.4% |
| 在宅患者訪問褥瘡管理指導料 | 8 | 5 | 62.5% | 1 | 12.5% | 2 | 25.0% |

③算定件数

各診療報酬項目の算定件数は次のとおりである。

1) 精神科リエゾンチーム加算

図表 51 精神科リエゾンチーム加算の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|------|------|------|------------|------|------|------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 12 | 27.6 | 27.0 | 26.5 | 17 | 27.8 | 26.4 | 18.0 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 100～199床 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 200床以上 | 12 | 27.6 | 27.0 | 26.5 | 17 | 27.8 | 26.4 | 18.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

2) 栄養サポートチーム加算

図表 52 栄養サポートチーム加算の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|------|------|------|------------|------|------|------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 91 | 38.2 | 42.5 | 28.0 | 97 | 40.5 | 43.6 | 26.0 |
| 99床以下 | 8 | 7.7 | 11.2 | 1.1 | 9 | 29.4 | 29.7 | 24.0 |
| 100～199床 | 20 | 42.8 | 48.5 | 26.5 | 21 | 38.0 | 41.2 | 26.0 |
| 200床以上 | 63 | 40.6 | 41.9 | 31.0 | 67 | 42.8 | 46.1 | 26.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 53 栄養サポートチーム加算 歯科医師連携加算の算定件数（平成28年10月）

(届出施設)

(単位：件)

| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|--------|------|------|------|
| 全体 | 23 | 31.6 | 27.0 | 25.0 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - |
| 100～199床 | 2 | 18.0 | 22.6 | 18.0 |
| 200床以上 | 21 | 32.9 | 27.5 | 25.0 |

(注) 平成28年10月1か月間の算定件数について記入のあった施設を集計対象とした。

3) ハイリスク分娩管理加算

図表 54 ハイリスク分娩管理加算の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|------|-------|------|------------|------|------|------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 74 | 23.0 | 43.7 | 8.0 | 74 | 25.6 | 44.2 | 9.0 |
| 99床以下 | 1 | 26.0 | - | 26.0 | 1 | 17.0 | - | 17.0 |
| 100～199床 | 6 | 66.7 | 102.0 | 6.0 | 6 | 57.0 | 80.3 | 10.5 |
| 200床以上 | 67 | 19.0 | 33.7 | 8.0 | 67 | 22.9 | 39.7 | 9.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

4) 呼吸ケアチーム加算

図表 55 呼吸ケアチーム加算の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 46 | 2.9 | 4.6 | 1.0 | 46 | 2.9 | 3.8 | 1.5 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 100～199床 | 1 | 0.0 | - | 0.0 | 1 | 3.0 | - | 3.0 |
| 200床以上 | 45 | 3.0 | 4.6 | 1.0 | 45 | 2.9 | 3.9 | 1.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

5) 病棟薬剤業務実施加算

図表 56 病棟薬剤業務実施加算1の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|----------|---------|-------|-------|----------|---------|-------|-------|
| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 99 | 758.3 | 869.4 | 424.0 | 106 | 828.7 | 846.9 | 502.0 |
| 99床以下 | 15 | 117.5 | 97.3 | 154.0 | 16 | 153.9 | 88.5 | 145.0 |
| 100～199床 | 18 | 276.3 | 218.2 | 292.5 | 22 | 340.4 | 171.0 | 356.0 |
| 200床以上 | 66 | 1,035.3 | 942.5 | 811.0 | 68 | 1,145.5 | 907.8 | 941.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 57 病棟薬剤業務実施加算2の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|--------|-------|-------|-------|
| 全体 | 33 | 257.8 | 399.5 | 133.0 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - |
| 100～199床 | 0 | - | - | - |
| 200床以上 | 33 | 257.8 | 399.5 | 133.0 |

(注) 平成28年10月1か月間の算定件数について記入のあった施設を集計対象とした。

6) 救命救急入院料 注3 加算

図表 58 救命救急入院料 注3 加算の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-------|-------|------|------------|-------|-------|-------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 33 | 144.6 | 134.7 | 92.0 | 34 | 164.5 | 181.1 | 108.5 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 100～199床 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 200床以上 | 33 | 144.6 | 134.7 | 92.0 | 34 | 164.5 | 181.1 | 108.5 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

7) 脳卒中ケアユニット入院医療管理料

図表 59 脳卒中ケアユニット入院医療管理料の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|------|------|------|------------|------|------|------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 18 | 50.2 | 49.7 | 31.5 | 19 | 62.0 | 51.2 | 39.0 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - | 1 | 92.0 | - | 92.0 |
| 100～199床 | 3 | 73.7 | 83.5 | 28.0 | 3 | 71.0 | 84.3 | 30.0 |
| 200床以上 | 15 | 45.5 | 43.1 | 35.0 | 15 | 58.2 | 47.5 | 39.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

8) 小児特定集中治療室管理料

図表 60 小児特定集中治療室管理料の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|------|------|------|------------|------|------|------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 2 | 67.0 | 46.7 | 67.0 | 2 | 57.5 | 29.0 | 57.5 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 100～199床 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 200床以上 | 2 | 67.0 | 46.7 | 67.0 | 2 | 57.5 | 29.0 | 57.5 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

9) 総合周産期特定集中治療室管理料

図表 61 総合周産期特定集中治療室管理料の算定件数（届出施設）

（単位：件）

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 17 | 223.8 | 412.3 | 61.0 | 17 | 224.5 | 386.5 | 60.0 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 100～199床 | 2 | 393.0 | 55.2 | 393.0 | 2 | 434.0 | 43.8 | 434.0 |
| 200床以上 | 15 | 201.3 | 435.2 | 56.0 | 15 | 196.5 | 404.3 | 49.0 |

（注）平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

10) 小児入院医療管理料

図表 62 小児入院医療管理料1の算定件数（届出施設）

（単位：件）

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-------|-------|-------|------------|---------|---------|---------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 12 | 601.3 | 946.7 | 190.5 | 12 | 691.4 | 1074.4 | 178.0 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 100～199床 | 2 | 855.0 | 922.1 | 855.0 | 2 | 1,066.0 | 1,265.7 | 1,066.0 |
| 200床以上 | 10 | 550.6 | 991.8 | 168.5 | 10 | 616.5 | 1,093.4 | 176.0 |

（注）平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 63 小児入院医療管理料2の算定件数（届出施設）

（単位：件）

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-------|-------|-------|------------|---------|-------|---------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 25 | 395.6 | 401.2 | 147.0 | 26 | 433.5 | 421.5 | 177.0 |
| 99床以下 | 1 | 991.0 | - | 991.0 | 1 | 1,218.0 | - | 1,218.0 |
| 100～199床 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 200床以上 | 24 | 370.8 | 389.8 | 142.0 | 25 | 402.2 | 398.0 | 164.0 |

（注）平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

11) 移植後患者指導管理料

図表 64 移植後患者指導管理料の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|------|-------|------|------------|------|-------|------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 30 | 61.4 | 110.7 | 11.0 | 31 | 69.7 | 127.2 | 10.0 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 100～199床 | 2 | 12.0 | 12.7 | 12.0 | 2 | 12.5 | 16.3 | 12.5 |
| 200床以上 | 28 | 64.9 | 113.9 | 11.0 | 29 | 73.7 | 130.7 | 10.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

12) 糖尿病透析予防指導管理料

図表 65 糖尿病透析予防指導管理料の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 105 | 6.3 | 11.6 | 2.0 | 106 | 6.2 | 9.6 | 2.0 |
| 99床以下 | 3 | 4.7 | 8.1 | 0.0 | 3 | 5.7 | 9.8 | 0.0 |
| 100～199床 | 25 | 5.6 | 10.1 | 1.0 | 26 | 5.3 | 7.4 | 2.5 |
| 200床以上 | 77 | 6.6 | 12.2 | 2.0 | 77 | 6.5 | 10.3 | 2.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

13) 院内トリアージ実施料

図表 66 院内トリアージ実施料の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-------|-------|------|------------|-------|-------|------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 92 | 169.9 | 324.3 | 28.0 | 93 | 200.5 | 351.9 | 41.0 |
| 99床以下 | 4 | 463.0 | 926.0 | 0.0 | 4 | 441.0 | 882.0 | 0.0 |
| 100～199床 | 16 | 22.8 | 72.5 | 3.5 | 16 | 8.8 | 14.4 | 0.0 |
| 200床以上 | 72 | 186.4 | 295.7 | 49.5 | 73 | 229.3 | 336.9 | 86.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

14) がん患者指導管理料

図表 67 がん患者指導管理料 1 の算定件数 (届出施設)

(単位: 件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 105 | 7.3 | 13.7 | 1.0 | 105 | 8.8 | 13.3 | 3.0 |
| 99床以下 | 2 | 0.0 | - | 0.0 | 2 | 0.0 | - | 0.0 |
| 100~199床 | 11 | 2.1 | 3.6 | 1.0 | 11 | 2.5 | 2.9 | 2.0 |
| 200床以上 | 92 | 8.1 | 14.5 | 1.0 | 92 | 9.7 | 13.9 | 3.5 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 68 がん患者指導管理料 2 の算定件数 (届出施設)

(単位: 件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 101 | 4.5 | 9.2 | 0.0 | 101 | 5.6 | 10.5 | 1.0 |
| 99床以下 | 2 | 0.0 | - | 0.0 | 2 | 0.0 | - | 0.0 |
| 100~199床 | 11 | 3.4 | 6.8 | 0.0 | 11 | 1.7 | 2.9 | 0.0 |
| 200床以上 | 88 | 4.7 | 9.6 | 1.0 | 88 | 6.2 | 11.0 | 2.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 69 がん患者指導管理料 3 の算定件数 (届出施設)

(単位: 件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|------|------|------|------------|------|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 73 | 13.8 | 22.3 | 6.0 | 75 | 16.5 | 25.1 | 8.0 |
| 99床以下 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 100~199床 | 4 | 9.3 | 6.8 | 10.5 | 4 | 7.5 | 5.8 | 8.0 |
| 200床以上 | 69 | 14.0 | 22.9 | 6.0 | 71 | 17.1 | 25.7 | 8.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

15) 画像診断管理加算

図表 70 画像診断管理加算 1 の算定件数 (届出施設)

(単位: 件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-------|--------|-------|------------|-------|---------|-------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 76 | 763.5 | 1013.8 | 369.5 | 75 | 826.6 | 1025.7 | 454.0 |
| 99床以下 | 4 | 189.8 | 378.2 | 1.0 | 3 | 418.3 | 292.2 | 382.0 |
| 100~199床 | 7 | 246.3 | 305.0 | 29.0 | 8 | 349.1 | 295.0 | 451.5 |
| 200床以上 | 65 | 854.5 | 1063.4 | 483.0 | 64 | 905.4 | 1,086.3 | 470.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 71 画像診断管理加算 2 の算定件数 (届出施設)

(単位: 件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|---------|---------|---------|------------|---------|---------|---------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 96 | 1,544.3 | 1,078.6 | 1,365.5 | 96 | 1,500.2 | 1,069.0 | 1,361.0 |
| 99床以下 | 3 | 356.3 | 203.1 | 406.0 | 3 | 310.0 | 280.7 | 383.0 |
| 100~199床 | 14 | 400.5 | 240.6 | 444.5 | 14 | 408.6 | 251.1 | 421.5 |
| 200床以上 | 79 | 1,792.1 | 1,027.1 | 1,822.0 | 79 | 1,738.8 | 1,026.3 | 1,752.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

16) 手術における休日・時間外・深夜加算 1

図表 72 手術における休日加算 1 の算定件数 (届出施設)

(単位: 件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 27 | 7.7 | 10.7 | 4.0 | 27 | 7.9 | 9.2 | 4.0 |
| 99床以下 | 2 | 5.5 | 4.9 | 5.5 | 2 | 7.5 | 10.6 | 7.5 |
| 100~199床 | 2 | 6.5 | 9.2 | 6.5 | 2 | 4.5 | 4.9 | 4.5 |
| 200床以上 | 23 | 8.0 | 11.4 | 4.0 | 23 | 8.2 | 9.6 | 4.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 73 手術における時間外加算 1 の算定件数（届出施設）

（単位：件）

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 28 | 8.3 | 11.0 | 3.0 | 28 | 8.6 | 11.7 | 3.0 |
| 99床以下 | 2 | 4.5 | 2.1 | 4.5 | 2 | 6.0 | 1.4 | 6.0 |
| 100～199床 | 2 | 8.5 | 2.1 | 8.5 | 2 | 4.5 | 2.1 | 4.5 |
| 200床以上 | 24 | 8.6 | 11.8 | 3.0 | 24 | 9.1 | 12.5 | 3.0 |

（注）平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 74 手術における深夜加算 1 の算定件数（届出施設）

（単位：件）

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 27 | 5.7 | 6.6 | 4.0 | 27 | 5.9 | 7.6 | 3.0 |
| 99床以下 | 2 | 2.0 | 2.8 | 2.0 | 2 | 3.0 | 2.8 | 3.0 |
| 100～199床 | 2 | 1.5 | 0.7 | 1.5 | 2 | 1.0 | - | 1.0 |
| 200床以上 | 23 | 6.3 | 6.9 | 5.0 | 23 | 6.6 | 8.0 | 3.0 |

（注）平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

17) 処置における休日・時間外・深夜加算 1

図表 75 処置における休日加算 1 の算定件数（届出施設）

（単位：件）

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 23 | 3.0 | 6.6 | 0.0 | 23 | 2.5 | 4.8 | 0.0 |
| 99床以下 | 2 | 0.0 | - | 0.0 | 2 | 0.0 | - | 0.0 |
| 100～199床 | 2 | 0.5 | 0.7 | 0.5 | 2 | 0.0 | - | 0.0 |
| 200床以上 | 19 | 3.6 | 7.2 | 0.0 | 19 | 3.1 | 5.2 | 0.0 |

（注）平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 76 処置における時間外加算 1 の算定件数（届出施設）

（単位：件）

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 23 | 2.8 | 6.3 | 0.0 | 23 | 1.9 | 3.5 | 0.0 |
| 99床以下 | 2 | 0.0 | - | 0.0 | 2 | 0.0 | - | 0.0 |
| 100～199床 | 2 | 1.0 | 1.4 | 1.0 | 2 | 0.5 | 0.7 | 0.5 |
| 200床以上 | 19 | 3.3 | 6.9 | 1.0 | 19 | 2.3 | 3.8 | 0.0 |

（注）平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 77 処置における深夜加算1の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-------|-------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 22 | 1.7 | 4.1 | 0.0 | 23 | 86.7 | 409.9 | 0.0 |
| 99床以下 | 2 | 0.0 | - | 0.0 | 2 | 0.5 | 0.7 | 0.5 |
| 100～199床 | 2 | 0.0 | - | 0.0 | 2 | 0.0 | - | 0.0 |
| 200床以上 | 18 | 2.1 | 4.5 | 0.5 | 19 | 104.8 | 450.9 | 0.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

18) 認知症ケア加算1

図表 78 認知症ケア加算1の算定件数（届出施設）（平成28年10月）

(単位：件)

| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|--------|---------|---------|-------|
| 全体 | 18 | 302.3 | 676.4 | 72.0 |
| 99床以下 | 3 | 1,182.3 | 1,507.5 | 616.0 |
| 100～199床 | 3 | 244.3 | 374.9 | 57.0 |
| 200床以上 | 12 | 96.8 | 100.2 | 59.5 |

(注) 平成28年10月1か月間の算定件数について記入のあった施設を集計対象とした。

19) 薬剤管理指導料

図表 79 薬剤管理指導料の算定件数（届出施設）

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 251 | 342.0 | 470.3 | 167.0 | 251 | 362.1 | 494.6 | 180.0 |
| 99床以下 | 73 | 77.9 | 105.4 | 32.0 | 73 | 83.7 | 103.1 | 51.0 |
| 100～199床 | 66 | 149.9 | 154.5 | 80.0 | 66 | 157.1 | 170.6 | 98.5 |
| 200床以上 | 112 | 627.5 | 571.7 | 497.0 | 112 | 664.3 | 599.1 | 489.5 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

20) 薬剤総合評価調整加算

図表 80 薬剤総合評価調整加算の算定件数（平成28年10月）

(単位：件)

| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|--------|------|-------|-----|
| 全体 | 62 | 15.3 | 113.2 | 0.0 |
| 99床以下 | 20 | 1.3 | 1.8 | 0.0 |
| 100～199床 | 11 | 0.5 | 1.2 | 0.0 |
| 200床以上 | 31 | 29.5 | 160.1 | 0.0 |

(注) 平成28年10月1か月間の算定件数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 81 薬剤総合評価調整加算の算定件数（平成 28 年 10 月）（0 除く）

（単位：件）

| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|--------|------|-------|-----|
| 全体 | 22 | 43.1 | 189.6 | 2.0 |
| 99床以下 | 9 | 2.9 | 1.7 | 2.0 |
| 100～199床 | 3 | 2.0 | 1.7 | 1.0 |
| 200床以上 | 10 | 91.6 | 281.2 | 2.0 |

（注）平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数について「0」という回答を除いた施設を集計対象とした。

21) 特定薬剤治療管理料

図表 82 特定薬剤治療管理料の算定件数

（単位：件）

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|----------|-------|-------|------|----------|-------|-------|------|
| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 136 | 110.1 | 247.5 | 26.0 | 139 | 107.4 | 236.6 | 28.0 |
| 99床以下 | 47 | 27.7 | 59.9 | 7.0 | 50 | 27.6 | 53.4 | 9.0 |
| 100～199床 | 25 | 19.8 | 22.3 | 13.0 | 25 | 17.9 | 20.8 | 10.0 |
| 200床以上 | 64 | 206.0 | 332.9 | 72.5 | 64 | 204.7 | 320.0 | 73.5 |

（注）平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

22) 歯科医療機関連携加算（診療情報提供料 I の加算）

図表 83 歯科医療機関連携加算（診療情報提供料 I の加算）の算定件数

（単位：件）

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|----------|-----|------|-----|----------|-----|------|-----|
| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 44 | 0.8 | 3.8 | 0.0 | 44 | 1.4 | 5.5 | 0.0 |
| 99床以下 | 10 | 0.0 | - | 0.0 | 10 | 0.2 | 0.6 | 0.0 |
| 100～199床 | 8 | 3.3 | 8.8 | 0.0 | 8 | 4.3 | 12.0 | 0.0 |
| 200床以上 | 26 | 0.3 | 0.8 | 0.0 | 26 | 1.0 | 2.8 | 0.0 |

（注）平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

23) 周術期口腔機能管理料

図表 84 周術期口腔機能管理料の算定件数

（単位：件）

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|----------|------|------|------|----------|------|-------|------|
| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 58 | 45.7 | 87.1 | 5.0 | 59 | 59.9 | 102.9 | 6.0 |
| 99床以下 | 9 | 0.0 | - | 0.0 | 9 | 0.0 | - | 0.0 |
| 100～199床 | 8 | 2.3 | 4.5 | 0.0 | 8 | 2.4 | 3.7 | 0.0 |
| 200床以上 | 41 | 64.2 | 98.0 | 26.0 | 42 | 83.6 | 113.8 | 32.5 |

（注）平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

24) 周術期口腔機能管理後手術加算

図表 85 周術期口腔機能管理後手術加算の算定件数

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|------|------|-----|------------|------|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 55 | 7.9 | 13.7 | 0.0 | 57 | 10.2 | 15.9 | 1.0 |
| 99床以下 | 9 | 0.0 | - | 0.0 | 10 | 0.1 | 0.3 | 0.0 |
| 100～199床 | 8 | 0.6 | 1.8 | 0.0 | 8 | 1.1 | 2.2 | 0.0 |
| 200床以上 | 38 | 11.3 | 15.3 | 3.5 | 39 | 14.6 | 17.5 | 6.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

25) 在宅患者訪問看護・指導料3

図表 86 在宅患者訪問看護・指導料3の算定件数

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 45 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 47 | 0.2 | 0.7 | 0.0 |
| 99床以下 | 8 | 0.0 | - | 0.0 | 9 | 0.0 | - | 0.0 |
| 100～199床 | 7 | 0.0 | - | 0.0 | 8 | 0.1 | 0.4 | 0.0 |
| 200床以上 | 30 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 30 | 0.2 | 0.8 | 0.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

26) 在宅患者訪問薬剤管理指導料

図表 87 在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定件数

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 41 | 0.0 | - | 0.0 | 41 | 0.1 | 0.9 | 0.0 |
| 99床以下 | 8 | 0.0 | - | 0.0 | 8 | 0.0 | - | 0.0 |
| 100～199床 | 8 | 0.0 | - | 0.0 | 8 | 0.8 | 2.1 | 0.0 |
| 200床以上 | 25 | 0.0 | - | 0.0 | 25 | 0.0 | - | 0.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

27) 在宅患者訪問褥瘡管理指導料

図表 88 在宅患者訪問褥瘡管理指導料の算定件数

(単位：件)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 6 | 0.0 | - | 0.0 | 6 | 0.0 | - | 0.0 |
| 99床以下 | 1 | 0.0 | - | 0.0 | 1 | 0.0 | - | 0.0 |
| 100～199床 | 3 | 0.0 | - | 0.0 | 3 | 0.0 | - | 0.0 |
| 200床以上 | 2 | 0.0 | - | 0.0 | 2 | 0.0 | - | 0.0 |

(注) 平成27年10月、平成28年10月1か月間の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

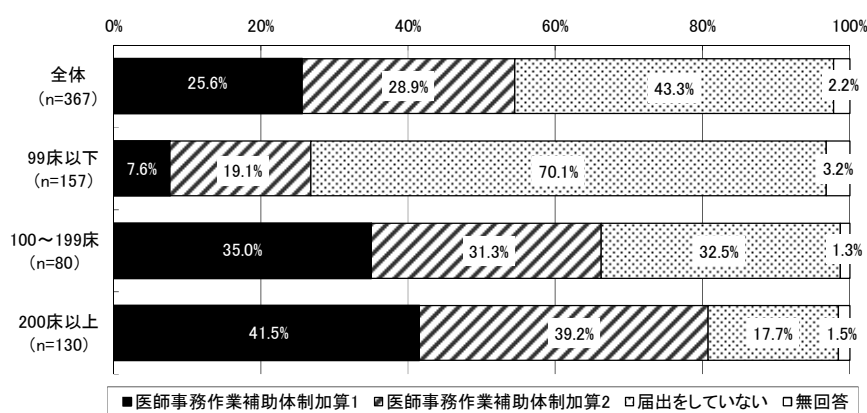
④ 医師事務作業補助体制加算

1) 医師事務作業補助体制加算の届出状況

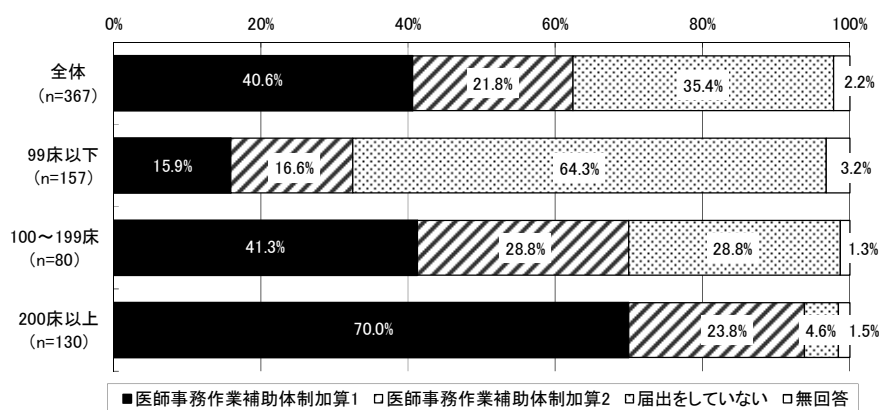
平成 28 年 10 月の医師事務作業補助体制加算の届出状況をみると、平成 27 年 10 月と比較して、「医師事務作業補助体制加算 1」の割合が高くなり、「届出をしていない」の割合が低くなった。

病床規模の大きい施設ほど「医師事務作業補助体制加算 1」と「医師事務作業補助体制加算 2」を合わせた割合が高くなる傾向がみられた。

図表 89 医師事務作業補助体制加算の届出状況（平成 27 年 10 月）



図表 90 医師事務作業補助体制加算の届出状況（平成 28 年 10 月）



図表 91 医師事務作業補助体制加算の届出状況（内訳）（平成 27 年 10 月）

| | 医師事務作業補助体制加算1 | | 医師事務作業補助体制加算2 | | 届出なし | | 無回答 | | 全体 | |
|--------|---------------|-------|---------------|-------|--------|-------|--------|------|--------|--------|
| | 施設数(件) | 構成割合 | 施設数(件) | 構成割合 | 施設数(件) | 構成割合 | 施設数(件) | 構成割合 | 施設数(件) | 構成割合 |
| 100対1 | 2 | 0.5% | 6 | 1.6% | - | - | - | - | 8 | 2.2% |
| 75対1 | 10 | 2.7% | 9 | 2.5% | - | - | - | - | 19 | 5.2% |
| 50対1 | 10 | 2.7% | 21 | 5.7% | - | - | - | - | 31 | 8.4% |
| 40対1 | 9 | 2.5% | 16 | 4.4% | - | - | - | - | 25 | 6.8% |
| 30対1 | 4 | 1.1% | 13 | 3.5% | - | - | - | - | 17 | 4.6% |
| 25対1 | 25 | 6.8% | 19 | 5.2% | - | - | - | - | 44 | 12.0% |
| 20対1 | 10 | 2.7% | 8 | 2.2% | - | - | - | - | 18 | 4.9% |
| 15対1 | 24 | 6.5% | 12 | 3.3% | - | - | - | - | 36 | 9.8% |
| 無回答 | 0 | 0.0% | 2 | 0.5% | - | - | - | - | 2 | 0.5% |
| 届出施設合計 | 94 | 25.6% | 106 | 28.9% | - | - | - | - | 200 | 54.5% |
| 届出なし | - | - | - | - | 159 | 43.3% | - | - | 159 | 43.3% |
| 無回答 | - | - | - | - | - | - | 8 | 2.2% | 8 | 2.2% |
| 全体 | 94 | 25.6% | 106 | 28.9% | 159 | 43.3% | 8 | 2.2% | 367 | 100.0% |

図表 92 医師事務作業補助体制加算の届出状況（内訳）（平成 28 年 10 月）

| | 医師事務作業補助体制加算1 | | 医師事務作業補助体制加算2 | | 届出なし | | 無回答 | | 全体 | |
|--------|---------------|-------|---------------|-------|--------|-------|--------|------|--------|--------|
| | 施設数(件) | 構成割合 | 施設数(件) | 構成割合 | 施設数(件) | 構成割合 | 施設数(件) | 構成割合 | 施設数(件) | 構成割合 |
| 100対1 | 5 | 1.4% | 5 | 1.4% | - | - | - | - | 10 | 2.7% |
| 75対1 | 15 | 4.1% | 9 | 2.5% | - | - | - | - | 24 | 6.5% |
| 50対1 | 18 | 4.9% | 17 | 4.6% | - | - | - | - | 35 | 9.5% |
| 40対1 | 18 | 4.9% | 14 | 3.8% | - | - | - | - | 32 | 8.7% |
| 30対1 | 10 | 2.7% | 8 | 2.2% | - | - | - | - | 18 | 4.9% |
| 25対1 | 21 | 5.7% | 12 | 3.3% | - | - | - | - | 33 | 9.0% |
| 20対1 | 31 | 8.4% | 5 | 1.4% | - | - | - | - | 36 | 9.8% |
| 15対1 | 31 | 8.4% | 9 | 2.5% | - | - | - | - | 40 | 10.9% |
| 無回答 | 0 | 0.0% | 1 | 0.3% | - | - | - | - | 1 | 0.3% |
| 届出施設合計 | 149 | 40.6% | 80 | 21.8% | - | - | - | - | 229 | 62.4% |
| 届出なし | - | - | - | - | 130 | 35.4% | - | - | 130 | 35.4% |
| 無回答 | - | - | - | - | - | - | 8 | 2.2% | 8 | 2.2% |
| 全体 | 149 | 40.6% | 80 | 21.8% | 130 | 35.4% | 8 | 2.2% | 367 | 100.0% |

図表 93 医師事務作業補助体制加算の届出状況（内訳）と届出時期
【特定機能病院】（平成 28 年 10 月）

| | 施設数(件) | 構成割合 | | 施設数(件) | 構成割合 |
|---------------|--------|--------|----------|--------|--------|
| 医師事務作業補助体制加算1 | 17 | 94.4% | 平成28年4月 | 7 | 41.2% |
| 100対1 | 2 | 11.1% | 平成28年5月 | 2 | 11.8% |
| 75対1 | 5 | 27.8% | 平成28年6月 | 2 | 11.8% |
| 50対1 | 2 | 11.1% | 平成28年7月 | 2 | 11.8% |
| 40対1 | 6 | 33.3% | 平成28年8月 | 1 | 5.9% |
| 30対1 | 0 | 0.0% | 平成28年9月 | 2 | 11.8% |
| 25対1 | 2 | 11.1% | 平成28年10月 | 1 | 5.9% |
| 20対1 | 0 | 0.0% | 届出なし | 1 | 5.6% |
| 15対1 | 0 | 0.0% | 合計 | 17 | 100.0% |
| 届出なし | 1 | 5.6% | | | |
| 合計 | 18 | 100.0% | | | |

2) 医師事務作業補助者の配置人数

図表 94 医師事務作業補助者の配置人数（届出施設、n=221）【病院全体】

(単位：人)

| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|---------|------|------|-----|
| 外来 | 7.0 | 9.4 | 3.0 |
| 病棟 | 2.0 | 4.0 | 0.0 |
| 医局・事務室等 | 2.9 | 6.3 | 1.0 |
| 合計 | 11.9 | 12.1 | 8.0 |

(注) 医師事務作業補助者の配置人数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 95 医師事務作業補助者の配置人数（届出施設、n=50）【99床以下】

(単位：人)

| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|---------|-----|------|-----|
| 外来 | 1.3 | 1.6 | 1.0 |
| 病棟 | 0.7 | 0.9 | 0.3 |
| 医局・事務室等 | 0.7 | 1.0 | 0.0 |
| 合計 | 2.7 | 1.4 | 2.0 |

(注) 医師事務作業補助者の配置人数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 96 医師事務作業補助者の配置人数（届出施設、n=55）【100～199床】

(単位：人)

| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|---------|-----|------|-----|
| 外来 | 3.6 | 3.7 | 3.0 |
| 病棟 | 1.3 | 1.9 | 0.0 |
| 医局・事務室等 | 1.4 | 2.4 | 0.2 |
| 合計 | 6.3 | 4.4 | 5.0 |

(注) 医師事務作業補助者の配置人数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 97 医師事務作業補助者の配置人数（届出施設、n=116）【200床以上】

(単位：人)

| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|---------|------|------|------|
| 外来 | 11.1 | 11.2 | 8.4 |
| 病棟 | 3.0 | 5.1 | 0.0 |
| 医局・事務室等 | 4.6 | 8.2 | 2.0 |
| 合計 | 18.6 | 13.2 | 15.9 |

(注) 医師事務作業補助者の配置人数について記入のあった施設を集計対象とした。

3) 療養病棟に配置されている医師事務作業補助者数

図表 98 療養病棟に配置されている医師事務作業補助者数（届出施設）【病院全体】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|-----|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 23 | 0.7 | 1.9 | 0.0 | 25 | 0.8 | 3.0 | 0.0 |
| 非常勤 | 22 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 24 | 0.1 | 0.3 | 0.0 |

(注)平成27年10月、平成28年10月の医師事務作業補助者数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 99 療養病棟に配置されている医師事務作業補助者数（届出施設）【99床以下】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|-----|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 9 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 11 | 0.2 | 0.4 | 0.0 |
| 非常勤 | 9 | 0.0 | - | 0.0 | 11 | 0.0 | - | 0.0 |

(注)平成27年10月、平成28年10月の医師事務作業補助者数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 100 療養病棟に配置されている医師事務作業補助者数（届出施設）【100～199床】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|-----|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 10 | 1.2 | 2.8 | 0.0 | 10 | 1.8 | 4.7 | 0.0 |
| 非常勤 | 10 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 10 | 0.2 | 0.4 | 0.0 |

(注)平成27年10月、平成28年10月の医師事務作業補助者数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 101 療養病棟に配置されている医師事務作業補助者数（届出施設）【200床以上】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|-----|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 4 | 0.3 | 0.5 | 0.0 | 4 | 0.3 | 0.5 | 0.0 |
| 非常勤 | 3 | 0.0 | - | 0.0 | 3 | 0.0 | - | 0.0 |

(注)平成27年10月、平成28年10月の医師事務作業補助者数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

4) 精神病棟に配置されている医師事務作業補助者数

図表 102 精神病棟に配置されている医師事務作業補助者数（届出施設）【病院全体】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|-----|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 27 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 28 | 0.1 | 0.3 | 0.0 |
| 非常勤 | 27 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 29 | 0.3 | 0.7 | 0.0 |

(注)平成27年10月、平成28年10月の医師事務作業補助者数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 103 精神病棟に配置されている医師事務作業補助者数（届出施設）【99床以下】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|-----|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 5 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 5 | 0.2 | 0.4 | 0.0 |
| 非常勤 | 5 | 0.0 | - | 0.0 | 6 | 0.7 | 1.2 | 0.0 |

(注)平成27年10月、平成28年10月の医師事務作業補助者数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 104 精神病棟に配置されている医師事務作業補助者数（届出施設）【100～199床】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|-----|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |
| 非常勤 | 0 | - | - | - | 0 | - | - | - |

(注)平成27年10月、平成28年10月の医師事務作業補助者数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 105 精神病棟に配置されている医師事務作業補助者数（届出施設）【200床以上】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|-----|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 22 | 0.0 | - | 0.0 | 23 | 0.1 | 0.2 | 0.0 |
| 非常勤 | 22 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 23 | 0.2 | 0.5 | 0.0 |

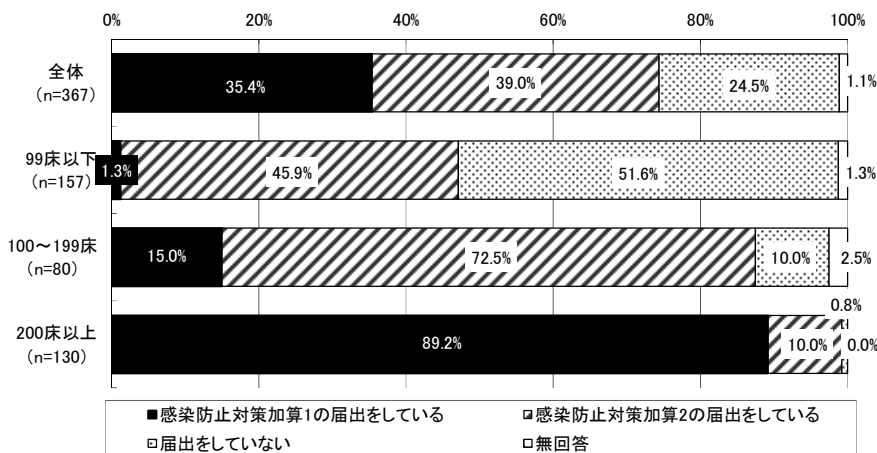
(注)平成27年10月、平成28年10月の医師事務作業補助者数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

⑤ 感染防止対策加算

1) 感染防止対策加算の届出状況

平成 28 年 10 月の感染防止対策加算の届出状況をみると、病床規模の大きい施設ほど「感染防止対策加算 1 の届出をしている」の割合が高かった。

図表 106 感染防止対策加算の届出状況（平成 28 年 10 月）



2) 感染防止対策部門に配置されている職員数（実人数）

平成 28 年 10 月時点で感染防止対策部門に配置されている職員数は次のとおりである。

図表 107 感染防止対策部門に配置されている職員数（感染防止対策加算届出施設、n=236）
【病院全体】

（単位：人）

| | 専従 | | | 専任 | | |
|--------|-----|------|-----|-----|------|-----|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 医師 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 1.6 | 1.1 | 1.0 |
| 看護師 | 0.6 | 0.7 | 0.0 | 1.7 | 2.4 | 1.0 |
| 薬剤師 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.3 | 0.6 | 1.0 |
| 臨床検査技師 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.3 | 0.6 | 1.0 |
| その他 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 1.0 | 2.2 | 0.0 |
| 合計 | 0.7 | 1.2 | 0.5 | 6.9 | 5.0 | 5.0 |

（注）感染防止対策部門に配置されている職員数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 108 感染防止対策部門に配置されている職員数（感染防止対策加算届出施設、n=61）
【99床以下】

(単位：人)

| | 専従 | | | 専任 | | |
|--------|-----|------|-----|-----|------|-----|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 医師 | 0.0 | - | 0.0 | 1.6 | 0.8 | 1.0 |
| 看護師 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 3.0 | 3.1 | 2.0 |
| 薬剤師 | 0.0 | - | 0.0 | 1.1 | 0.3 | 1.0 |
| 臨床検査技師 | 0.0 | - | 0.0 | 1.2 | 0.5 | 1.0 |
| その他 | 0.0 | - | 0.0 | 1.9 | 3.0 | 0.0 |
| 合計 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 8.8 | 6.2 | 6.0 |

(注) 感染防止対策部門に配置されている職員数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 109 感染防止対策部門に配置されている職員数（感染防止対策加算届出施設、n=60）
【100～199床】

(単位：人)

| | 専従 | | | 専任 | | |
|--------|-----|------|-----|-----|------|-----|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 医師 | 0.0 | - | 0.0 | 1.6 | 1.1 | 1.0 |
| 看護師 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 2.4 | 2.6 | 1.0 |
| 薬剤師 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.2 | 0.5 | 1.0 |
| 臨床検査技師 | 0.0 | - | 0.0 | 1.2 | 0.4 | 1.0 |
| その他 | 0.0 | - | 0.0 | 1.5 | 2.4 | 0.0 |
| 合計 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 7.7 | 5.5 | 5.0 |

(注) 感染防止対策部門に配置されている職員数について記入のあった施設を集計対象とした。

図表 110 感染防止対策部門に配置されている職員数（感染防止対策加算届出施設、n=115）
【200床以上】

(単位：人)

| | 専従 | | | 専任 | | |
|--------|-----|------|-----|-----|------|-----|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 医師 | 0.1 | 0.5 | 0.0 | 1.7 | 1.2 | 1.0 |
| 看護師 | 1.1 | 0.6 | 1.0 | 0.6 | 1.0 | 0.0 |
| 薬剤師 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 1.5 | 0.7 | 1.0 |
| 臨床検査技師 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 1.4 | 0.8 | 1.0 |
| その他 | 0.2 | 0.5 | 0.0 | 0.3 | 1.2 | 0.0 |
| 合計 | 1.4 | 1.4 | 1.0 | 5.5 | 3.3 | 5.0 |

(注) 感染防止対策部門に配置されている職員数について記入のあった施設を集計対象とした。

3) 感染防止対策加算 1・2 の算定件数

感染防止対策加算 1・2 の算定件数をみると、200 床以上の病院では平成 28 年 10 月の算定件数は平成 27 年 10 月と比較して増加している。

図表 111 感染防止対策加算 1・2 の算定件数（届出施設）

(単位：件)

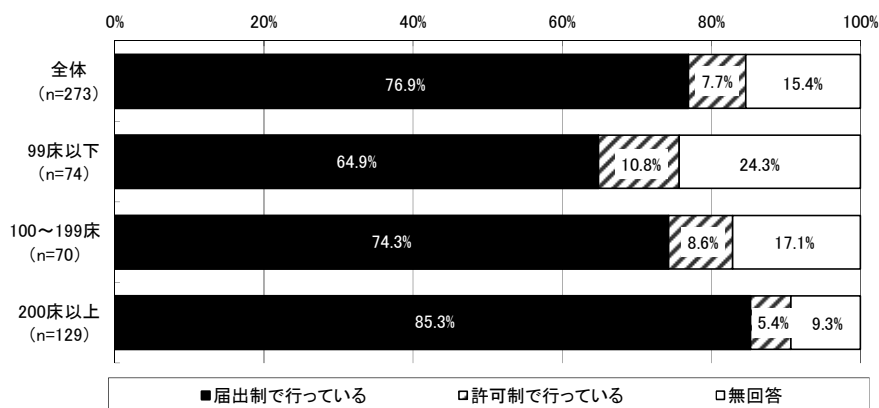
| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|----------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|
| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 224 | 337.6 | 373.8 | 192.0 | 229 | 358.7 | 476.2 | 190.0 |
| 99床以下 | 52 | 52.5 | 47.9 | 42.0 | 54 | 51.4 | 40.2 | 44.0 |
| 100～199床 | 62 | 155.7 | 77.2 | 149.0 | 64 | 154.2 | 83.0 | 144.5 |
| 200床以上 | 110 | 575.0 | 408.7 | 481.0 | 111 | 626.2 | 567.8 | 483.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月の感染防止対策加算 1・2 の算定件数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

4) 特定抗菌薬についての体制

特定抗菌薬についての体制をみると、「届出制で行っている」が過半数となった。特に 200 床以上では 85.3%と多かった。

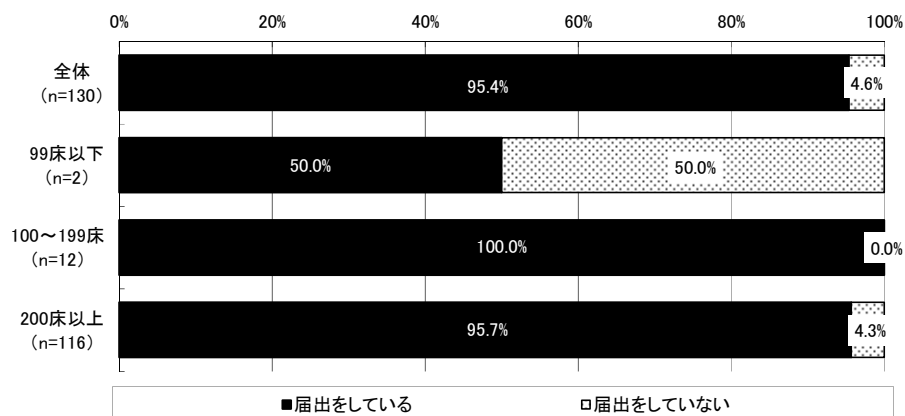
図表 112 特定抗菌薬についての体制（届出施設）



5) 感染防止対策地域連携加算の届出状況

感染防止対策地域連携加算の届出状況をみると、200床以上では「届出をしている」が95.7%であった。

図表 113 感染防止対策地域連携加算の届出状況（感染防止対策加算1の届出施設）



6) 感染防止対策地域連携加算の算定にあたり、具体的な取組・効果

感染防止対策地域連携加算の算定にあたり、具体的な取組・効果として、以下の内容が挙げられた。

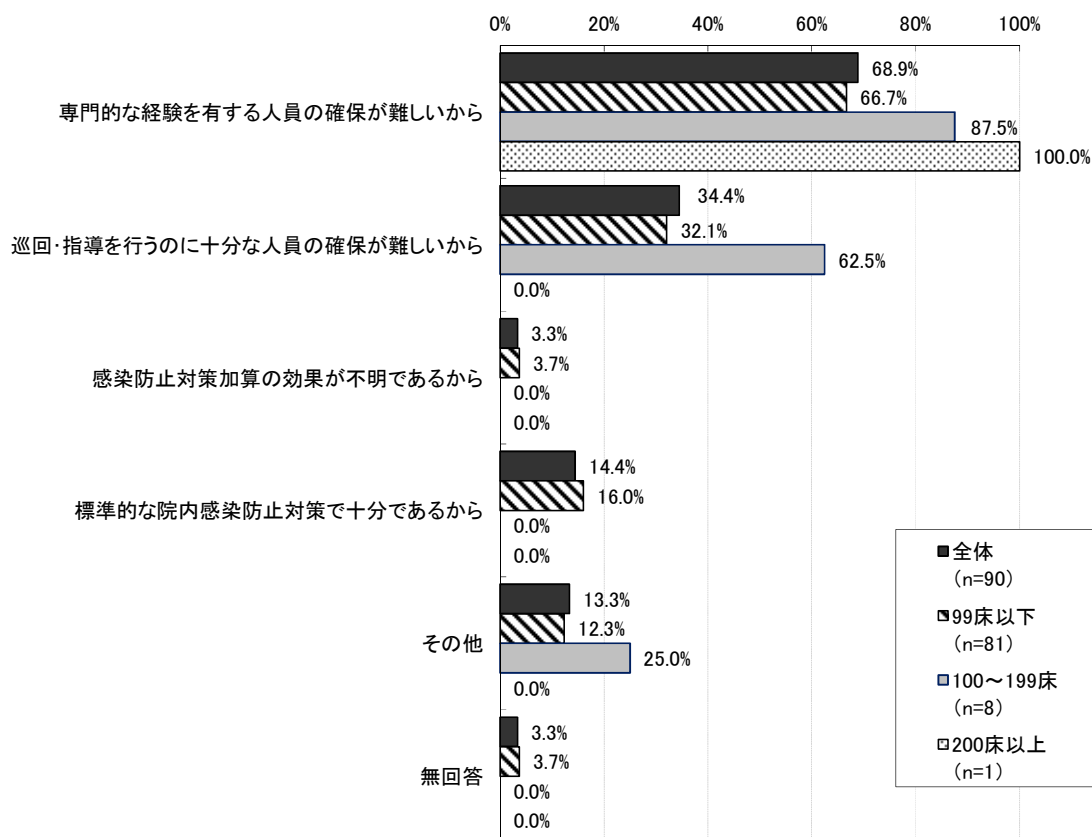
図表 114 感染防止対策地域連携加算の算定にあたり、具体的な取組・効果
(感染防止対策地域連携加算の届出施設、自由記述式)

- ・加算 1 施設同士での相互ラウンドを行うことで、院内だけでは対応策の検討が進まない問題について（特にノロウィルスの集団発生、セラチア菌感染症例）感染対策の専門家として第三者の立場から問題解決と一緒に取り組んでもらえた。
- ・相互ラウンドの際に院内施設をチェックしてもらうことで、感染対策物品や施設整備品の見直し（水跳ねの少ない手洗いシンクへの更新、透析室への個室設置、医療廃棄物の分別の見直しなど）ができ有意義であった。
- ・他施設からのラウンドで指摘を受けることで、改善がしやすくなった。また、職員の意識の向上にもつながっている。
- ・相互チェックによる指摘事項により消毒薬の期限の設定、生物学的インジケータの導入ができた。
- ・相互の病院ラウンドによって感染防止対策の推進につながっている。具体的には①内視鏡の適切な管理（集約化、トレイサビリティ、洗浄消毒に関する教育）、②个人防护具の適切な使用の推進などが挙げられる。加算 1 施設同士で手指衛生の回数などをお互いに知ることは自院への刺激にもつながる。
- ・連携病院からの指摘があり以下の点が改善。適した容量の足踏みタイプ廃棄容器の導入、点滴ラインから針を切り離して廃棄することを中止、包交車の改善、カルバペネム系抗菌薬の届出制の体制作り、感染管理体制（組織図）の見直し、研修会参加率の改善。
- ・感染対策マニュアルの定期的な改訂により新しい知見を取り入れ、年に 4 回前後の院内感染対策講習会を全職員に実施することで全職員の感染対策に関する知識の底上げが得られている。
- ・感染制御チームにより、院内の抗菌薬の適正使用を監視し、また MRSA を始めとした種々の耐性菌の検出状況もモニタリングしている。その結果 MRSA の新規検出数が減少傾向にあることが明らかとなっている。
- ・毎週病棟の定期ラウンドを実施しかつ耐性菌検出時には都度ラウンドを追加することで、院内感染のアウトブレイクを未然に防ぎ、病棟との信頼関係を構築することに成功している。
- ・近隣施設の感染症等の発生状況を把握することができる。
- ・相互の情報の共有により薬剤、検査、看護部門それぞれのデータを分析することで感染対策の向上となっている。 / 等

7) 感染防止対策加算の届出をしていない理由

感染防止対策加算の届出をしていない理由は次のとおりである。

図表 115 感染防止対策加算の届出をしていない理由（届出をしていない施設、複数回答）



(注) 「その他」の内容として、「近隣の病院と連携したが、定期ミーティングが19時からで時間の制約と課題が重荷となり取り下げた」、「介護療養型医療施設のため」、「今後取得予定」、「施設基準上算定できないから」、「同一法人の医療機関で算定しているため」、「連携病院がない」等が挙げられた。

⑥栄養サポートチーム

1) 入院患者に対する口腔機能管理や栄養サポートチームの取組に参加している院外の歯科医師数

図表 116 入院患者に対する口腔機能管理や栄養サポートチームの取組に参加している院外の歯科医師数

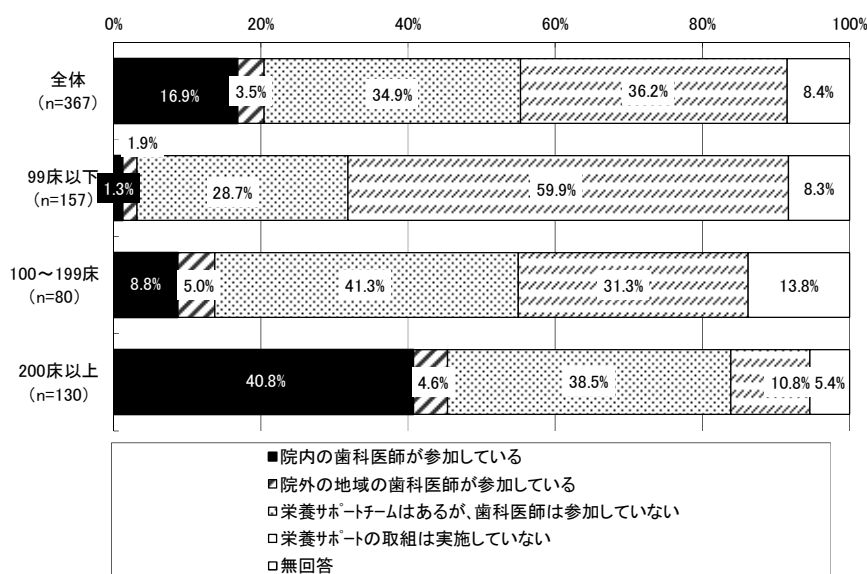
(単位：人)

| | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|--------|-----|------|-----|
| 全体 | 324 | 0.4 | 1.5 | 0.0 |
| 99床以下 | 134 | 0.2 | 0.9 | 0.0 |
| 100～199床 | 69 | 0.6 | 2.0 | 0.0 |
| 200床以上 | 121 | 0.5 | 1.6 | 0.0 |

2) 栄養サポートチームにおける歯科医師の参加状況

栄養サポートチームにおける歯科医師の参加状況をみると、99床以下の病院では「栄養サポートチームの取組は実施していない」が59.9%で最も多かった。また、100～199床の病院では「栄養サポートチームはあるが、歯科医師は参加していない」が41.3%で最も多かった。200床以上の病院では「院内の歯科医師が参加している」が40.8%で最も多かった。

図表 117 栄養サポートチームに対する歯科医師の参加状況



3) 栄養サポートチームに歯科医師が参加する効果

栄養サポートチームに歯科医師が参加する効果として、以下の内容が挙げられた。

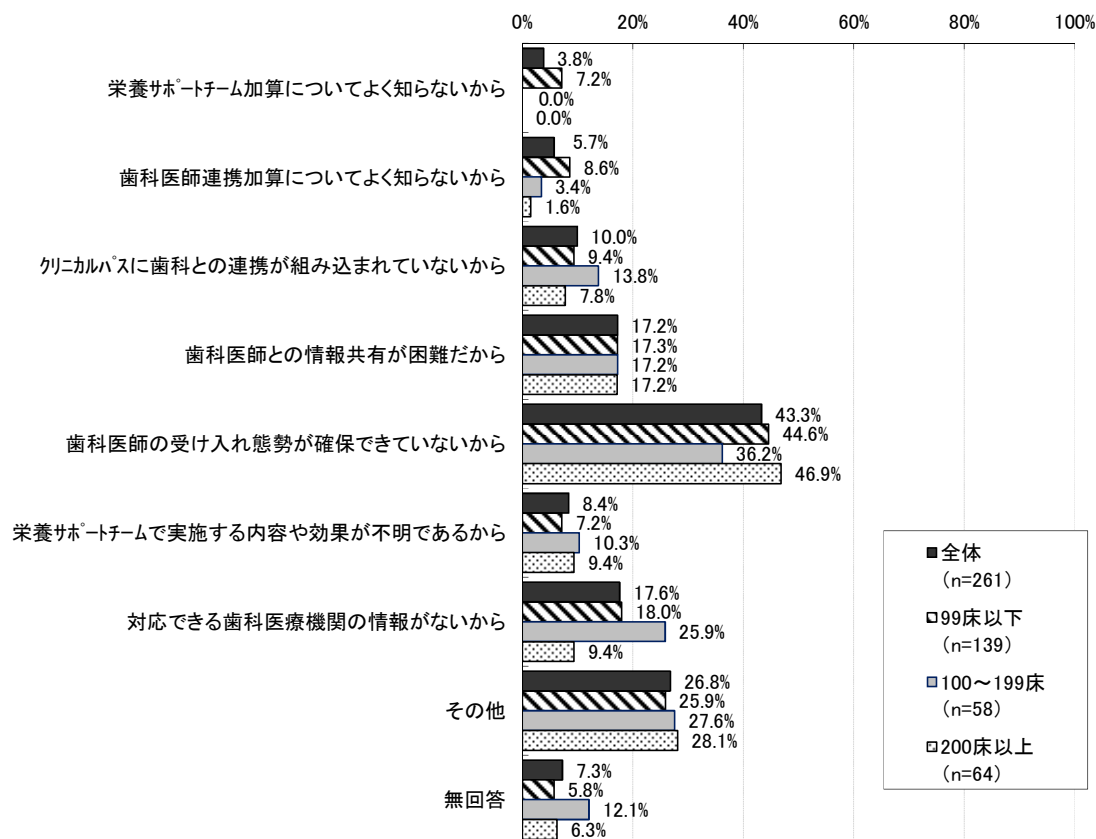
図表 118 栄養サポートチームに歯科医師が参加する効果
(歯科医師が参加している施設、自由記述式)

- 適切な治療の実施
 - ・義歯の調整や口腔ケアなど摂食に必要な口腔管理を適切に行えるようになった。
 - ・義歯の確認、調整、適切な使用方法等の指導により、食事形態の調整を行うことができた。
 - ・他の職員にとって口腔ケアの勉強になり、知識や技術が向上する。
 - ・口腔内の環境が専門的な視点で診ることができるため、歯科治療の必要性の判断基準が得られる。 / 等
- 口腔内環境の向上による食事摂取の改善、誤嚥性肺炎の予防
 - ・NST に参加することで栄養に障害のある患者の口腔環境の向上、栄養状態の改善につながっている。
 - ・口腔内環境の改善により、誤嚥性肺炎の予防に繋がっている。
 - ・義歯調整により食欲向上。
 - ・NST 介入依頼理由で最も多いのが嚥下障害。歯科医師がチームに参加していることで NST 回診の際に、その場で口腔内の確認、義歯等の有無や状態の把握が可能となり、スムーズに口腔ケア・摂食嚥下訓練が開始されることで早期の経口摂取の開始に繋がっている。
 - ・当初困難と見られていた経口栄養補給が歯科医師の参加で可能になるケースもでてきている。 / 等
- その他
 - ・口腔内評価と肺炎起因菌に関する学会発表を行うことができた。
 - ・歯科医師が、NST が主体的に行う臨床研究に参画し、口腔内評価に関するアウトカムが設定できた。
 - ・咬合不全による咀嚼障害の評価が可能となる。
 - ・嚥下障害スクリーニング、口腔状態スクリーニングの結果を点数化し、点数に応じて摂食機能療法の訓練担当者として歯科衛生士、言語聴覚士、看護師の 3 職種へ振り分ける体制となっている。
 - ・情報共有がしやすくなった。 / 等

4) 栄養サポートチームにおいて歯科医師と連携していない理由

栄養サポートチームにおいて歯科医師と連携していない理由をみると、病床規模に関わらず、「歯科医師の受け入れ態勢が確保できていないから」が最も多かった。

図表 119 栄養サポートチームにおいて歯科医師と連携していない理由
(歯科医師と連携していない施設、複数回答)



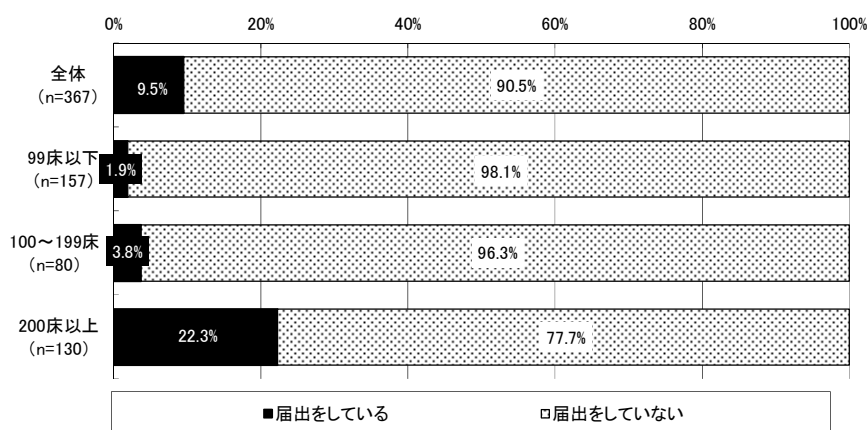
(注) 「その他」の内容として、「栄養サポートチーム加算の要件を満たしていないため」、「時間的調整が困難」、「院内のNST活動が十分に行われていないため」、「歯科医師不足」、「専任の従事者の確保が困難なため」、「担当の職種が研修を受けていないため」、「必要時に同一法人内の歯科医師に相談し、往診を依頼している。(主治医の判断)」等が挙げられた。

⑦処置・手術の休日・時間外・深夜加算 1

1) 処置・手術の休日・時間外・深夜加算 1 の届出状況

平成 28 年 10 月時点の処置・手術の休日・時間外・深夜加算 1 の届出状況を見ると、200 床以上の病院でも「届出をしている」が 22.3%であった。他の病院では「届出をしている」施設はほとんどなかった。

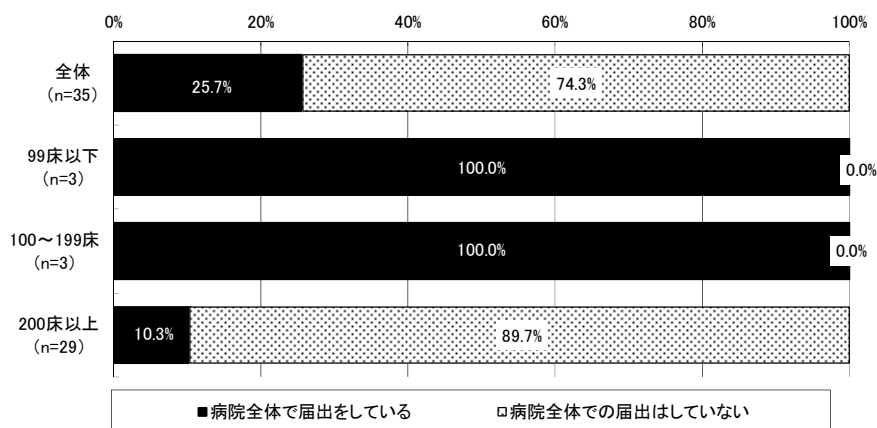
図表 120 処置・手術の休日・時間外・深夜加算 1 の届出状況（平成 28 年 10 月）



2) 処置・手術の休日・時間外・深夜加算 1 の届出対象

処置・手術の休日・時間外・深夜加算 1 の届出対象を見ると、200 床以上の病院では「病院全体での届出はしていない」が 89.7%が多かったが、その他の病院ではすべて「病院全体で届出をしている」という回答であった。

図表 121 処置・手術の休日・時間外・深夜加算 1 処置・手術の休日・時間外・深夜加算 1 の届出状況（平成 28 年 10 月）



3) 処置・手術の休日・時間外・深夜加算1の算定診療科

処置・手術の休日・時間外・深夜加算1の算定診療科をみると、病院の標榜診療科数は平均28.1診療科であるが、このうち、処置・手術の休日・時間外・深夜加算1の算定を行う診療科は平均3.6診療科であった。

図表 122 処置・手術の休日・時間外・深夜加算1の算定診療科 (n=20)
(病院全体での届出はしていない施設)

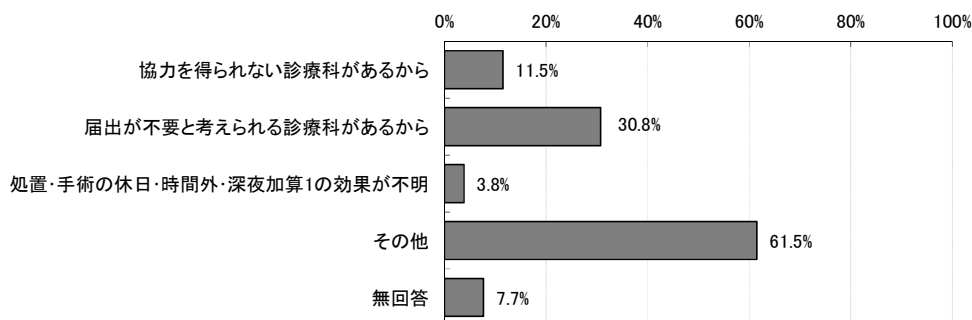
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-----------|------|------|------|
| 病院の標榜診療科数 | 28.1 | 6.9 | 26.5 |
| 算定診療科数 | 3.6 | 2.4 | 3.0 |

(注) 処置・手術の休日・時間外・深夜加算1について病院全体での届出はしていない施設のうち、診療科数について記載があった20施設を集計対象とした。すべて200床以上の病院であった。

4) 処置・手術の休日・時間外・深夜加算1について病院全体での届出をしていない理由

処置・手術の休日・時間外・深夜加算1について病院全体での届出をしていない理由をみると、「届出が不要と考えられる診療科があるから」が30.8%で最も多く、次いで「協力を得られない診療科があるから」(11.5%)であった。

図表 123 処置・手術の休日・時間外・深夜加算1について病院全体での届出をしていない理由 (病院全体での届出はしていない施設、複数回答、n=26)



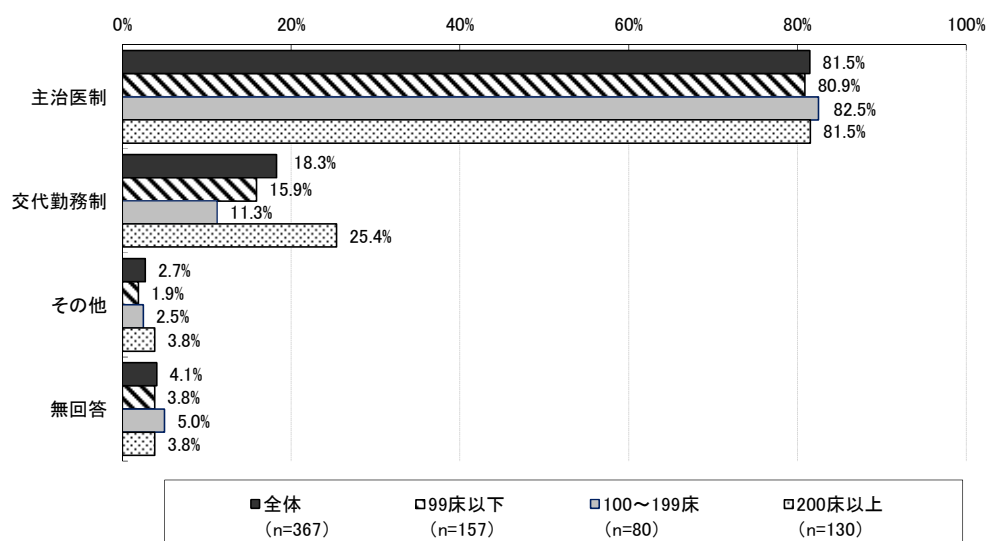
(注) 「その他」の内容として、「医師の確保が困難なため」、「運用できる体制が整えられない」、「外来診療を行っていないため」、「障害者等入院基本料に加算できないから」、「診療科により、『予定手術前の当直の免除』に対する体制が困難であるため」等が挙げられた。

(3) 医師の勤務状況等

① 医師の勤務形態

医師の勤務形態をみると、「主治医制」が最も多い。200床以上の病院では「交代勤務制」が25.4%であった。

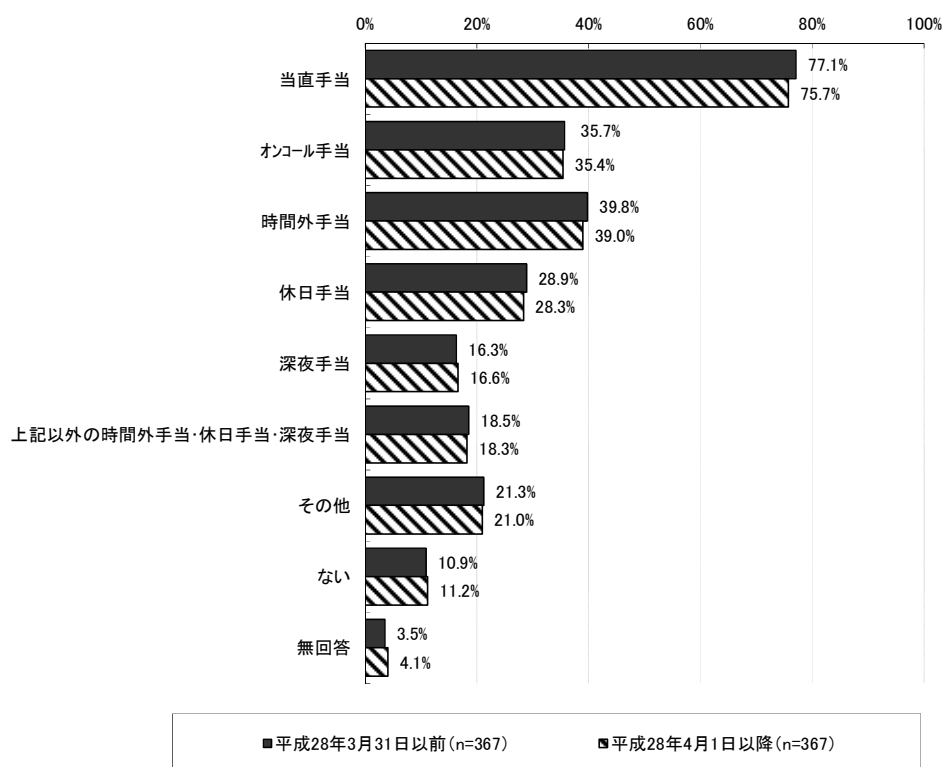
図表 124 医師の勤務形態（複数回答）



②診療実績にかかる手当

診療実績にかかる手当をみると、「当直手当」が最も多く、次いで「時間外手当」、「オンコール手当」であった。平成28年度診療報酬改定前後で変化はみられなかった。

図表 125 診療実績にかかる手当（複数回答）

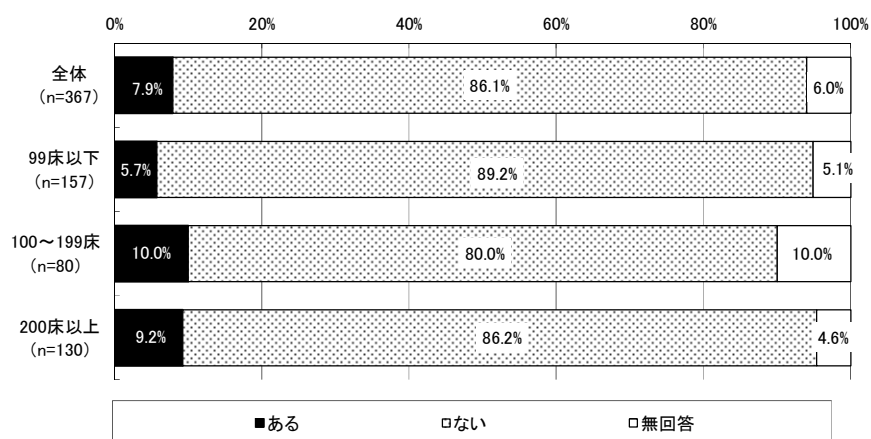


(注) 「その他」の内容として、「救急勤務手当」、「医員、レジデントのみ時間外手当支給あり」、「医師等派遣手当」、「放射線取扱手当」、「医務手当」、「分娩介助業務手当」、「平日夜間急病診療業務手当」、「インセンティブ手当」、「外来、入院患者担当数に応じた当直手当に対する加算」、「管理職の医師呼出手当」、「ドクターカー等搭乗救急医療手当」、「緊急手術等手当」、「新生児担当医手当」、「研修医指導手当」、「死体検案手当」、「主治医手当」、「待機手当」等が挙げられた。

③増額した診療実績にかかる手当

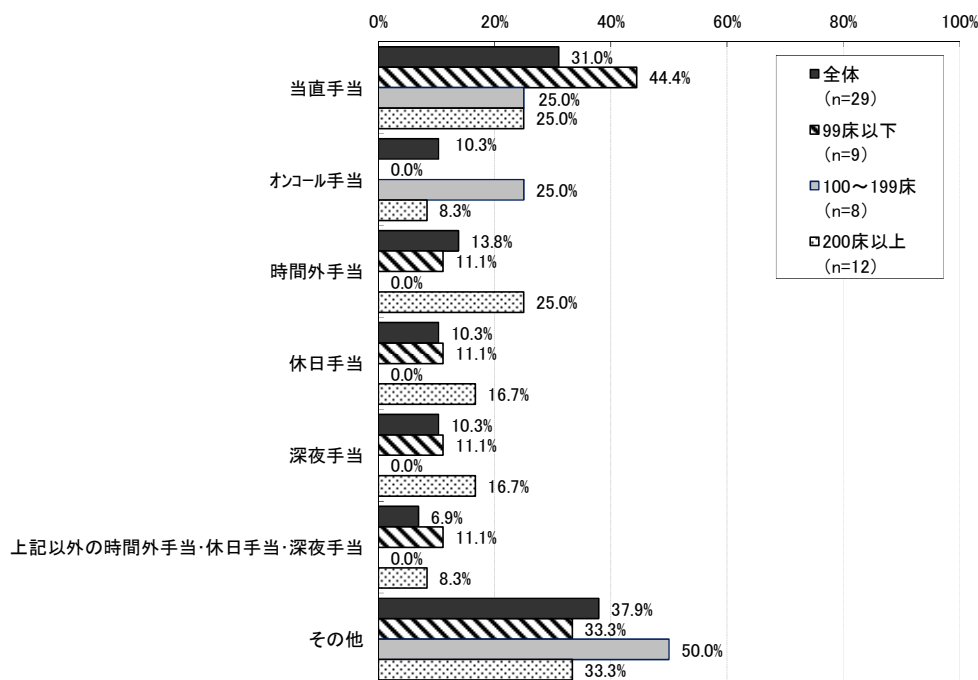
増額した診療実績にかかる手当の有無をみると、「ある」の割合は、99床以下では5.7%、100～199床では10.0%、200床以上では9.2%であった。

図表 126 増額した診療実績にかかる手当の有無



増額した診療実績にかかる手当をみると、全体では「当直手当」が31.0%で最も多かった。

図表 127 増額した診療実績にかかる手当（「ある」と回答した施設、複数回答）



④医師の勤務実績

1) 1 か月間の平均勤務時間

平成 28 年 10 月 1 か月間の平均勤務時間をみると、常勤の医師では平成 27 年 10 月と比較すると、やや減少している。

図表 128 1 か月間の平均勤務時間【常勤】

(単位：時間)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-------|------|-------|------------|-------|------|-------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 293 | 175.4 | 31.3 | 173.6 | 297 | 172.0 | 31.8 | 170.8 |
| 99床以下 | 122 | 164.2 | 31.7 | 160.0 | 124 | 160.6 | 33.5 | 160.0 |
| 100～199床 | 65 | 175.4 | 28.5 | 177.1 | 66 | 174.1 | 29.3 | 172.2 |
| 200床以上 | 106 | 188.4 | 27.6 | 184.5 | 107 | 183.9 | 26.5 | 179.7 |

(注)平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の平均勤務時間についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 129 1 か月間の平均勤務時間【非常勤】

(単位：時間)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|------|------|------|------------|------|------|------|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 271 | 45.9 | 57.1 | 23.6 | 274 | 46.3 | 52.4 | 25.0 |
| 99床以下 | 115 | 38.1 | 56.3 | 25.8 | 117 | 37.8 | 43.7 | 27.7 |
| 100～199床 | 60 | 29.4 | 34.5 | 20.0 | 61 | 31.3 | 36.5 | 20.3 |
| 200床以上 | 96 | 65.5 | 64.0 | 29.5 | 96 | 66.1 | 63.8 | 31.2 |

(注)平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の平均勤務時間についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

2) 1 か月間の平均当直回数

平成 28 年 10 月 1 か月間の平均当直回数をみると、常勤の医師では平成 27 年 10 月と比較して変化はみられないが、非常勤の医師では増加している。

図表 130 1 か月間の平均当直回数【常勤】

(単位：回)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 312 | 2.5 | 1.6 | 2.2 | 314 | 2.5 | 1.6 | 2.2 |
| 99床以下 | 122 | 3.0 | 1.9 | 3.0 | 124 | 3.0 | 2.1 | 3.0 |
| 100～199床 | 70 | 2.4 | 1.3 | 2.4 | 71 | 2.4 | 1.3 | 2.4 |
| 200床以上 | 120 | 2.1 | 1.1 | 1.9 | 119 | 2.1 | 1.1 | 1.9 |

(注)平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月 1 か月間の平均当直回数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 131 1 か月間の平均当直回数【非常勤】

(単位：回)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 295 | 1.5 | 1.4 | 1.3 | 296 | 1.5 | 1.4 | 1.3 |
| 99床以下 | 120 | 2.0 | 1.5 | 2.0 | 122 | 1.9 | 1.4 | 2.0 |
| 100～199床 | 66 | 1.3 | 1.2 | 1.0 | 65 | 1.3 | 1.3 | 0.8 |
| 200床以上 | 109 | 1.1 | 1.3 | 0.5 | 109 | 1.2 | 1.4 | 0.5 |

(注)平成27年10月、平成28年10月1か月間の平均当直回数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

3) 1 か月間における連続当直を行った医師数

平成28年10月1か月間における連続当直を行った医師数をみると、常勤、非常勤ともに平成27年10月と比較して変化はみられなかった。

図表 132 1 か月間の連続当直を行った医師数【常勤】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 310 | 3.2 | 14.0 | 0.0 | 314 | 3.2 | 13.8 | 0.0 |
| 99床以下 | 121 | 0.4 | 1.0 | 0.0 | 124 | 0.5 | 1.0 | 0.0 |
| 100～199床 | 70 | 0.3 | 0.7 | 0.0 | 72 | 0.3 | 0.8 | 0.0 |
| 200床以上 | 119 | 7.7 | 21.9 | 0.0 | 118 | 7.8 | 21.8 | 0.0 |

(注)平成27年10月、平成28年10月1か月間の連続当直を行った医師数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

図表 133 1 か月間の連続当直を行った医師数【非常勤】

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | | 平成28年10月 | | | |
|----------|------------|-----|------|-----|------------|-----|------|-----|
| | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 施設数 (件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 301 | 2.1 | 9.1 | 0.0 | 300 | 2.1 | 9.3 | 0.0 |
| 99床以下 | 122 | 0.9 | 1.5 | 0.0 | 122 | 0.9 | 1.5 | 0.0 |
| 100～199床 | 68 | 0.6 | 1.4 | 0.0 | 68 | 0.6 | 1.3 | 0.0 |
| 200床以上 | 111 | 4.4 | 14.7 | 0.0 | 110 | 4.5 | 15.0 | 0.0 |

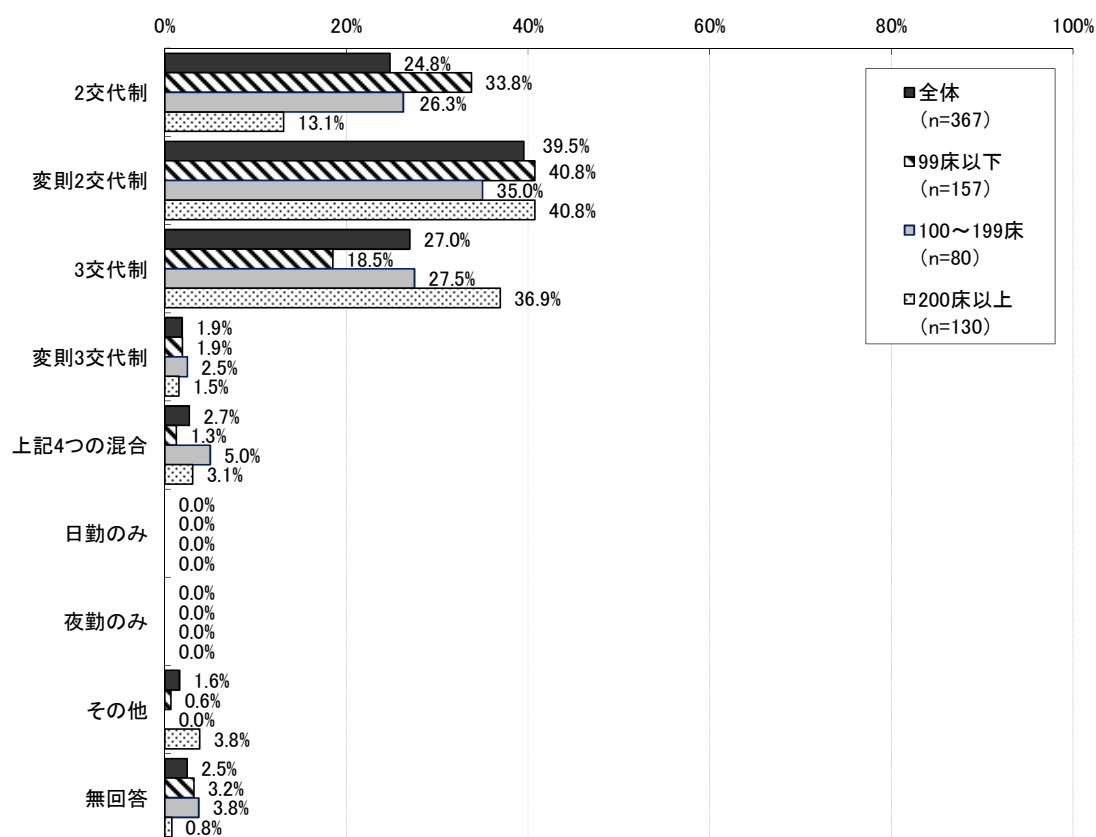
(注)平成27年10月、平成28年10月1か月間の連続当直を行った医師数についてそれぞれ記入のあった施設を集計対象とした。

(4) 看護職員の勤務状況や看護補助者の配置等

①病棟看護職員の主たる勤務形態

病棟看護職員の主たる勤務形態をみると、99床以下の病院では「変則2交代制」が40.8%で最も多く、次いで「2交代制」が33.8%、「3交代制」が18.5%であった。100～199床の病院では、「変則2交代制」が35.0%で最も多く、次いで「3交代制」が27.5%、「2交代制」が26.3%であった。200床以上の病院では「変則2交代制」が40.8%で最も多く、次いで「3交代制」が36.9%、「2交代制」が13.1%であった。

図表 134 病棟看護職員の主たる勤務形態（単数回答）



②夜勤時間数別の病棟勤務の看護職員数

夜勤時間数別の病棟勤務看護職員数の分布は次のとおりである。平成27年10月、平成28年10月ともに「64時間以上～72時間未満」が最も多かった。夜勤時間が72時間以上の看護職員数の割合は平成27年10月が38.9%、平成28年10月が37.3%であり、1.6ポイント減少した。

図表 135 夜勤時間数別の病棟勤務の看護職員数分布
～一般病棟、療養病棟、結核病棟又は精神病棟の勤務者（n=266）～

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-----------------|----------|--------|--------|----------|--------|--------|
| | 平均値 | 合計値 | 割合 | 平均値 | 合計値 | 割合 |
| ～8時間未満 | 12.2 | 3,253 | 8.6% | 12.2 | 3,246 | 8.8% |
| 8時間以上～16時間未満 | 4.3 | 1,157 | 3.1% | 4.4 | 1,161 | 3.2% |
| 16時間以上～24時間未満 | 6.7 | 1,783 | 4.7% | 6.5 | 1,740 | 4.7% |
| 24時間以上～32時間未満 | 7.2 | 1,912 | 5.1% | 6.2 | 1,659 | 4.5% |
| 32時間以上～40時間未満 | 6.9 | 1,841 | 4.9% | 6.7 | 1,771 | 4.8% |
| 40時間以上～48時間未満 | 4.9 | 1,299 | 3.4% | 4.5 | 1,198 | 3.3% |
| 48時間以上～56時間未満 | 9.3 | 2,485 | 6.6% | 9.6 | 2,549 | 6.9% |
| 56時間以上～64時間未満 | 12.2 | 3,238 | 8.6% | 12.5 | 3,326 | 9.0% |
| 64時間以上～72時間未満 | 23.0 | 6,112 | 16.2% | 24.1 | 6,411 | 17.4% |
| 72時間以上～80時間未満 | 19.8 | 5,279 | 14.0% | 18.3 | 4,868 | 13.2% |
| 80時間以上～88時間未満 | 17.1 | 4,539 | 12.0% | 16.1 | 4,270 | 11.6% |
| 88時間以上～96時間未満 | 7.5 | 1,986 | 5.3% | 7.1 | 1,889 | 5.1% |
| 96時間以上～104時間未満 | 5.7 | 1,508 | 4.0% | 5.3 | 1,407 | 3.8% |
| 104時間以上～112時間未満 | 2.0 | 535 | 1.4% | 1.9 | 502 | 1.4% |
| 112時間以上～120時間未満 | 1.7 | 448 | 1.2% | 1.7 | 440 | 1.2% |
| 120時間以上～128時間未満 | 0.6 | 147 | 0.4% | 0.4 | 104 | 0.3% |
| 128時間以上～136時間未満 | 0.4 | 107 | 0.3% | 0.4 | 104 | 0.3% |
| 136時間以上～144時間未満 | 0.2 | 61 | 0.2% | 0.2 | 64 | 0.2% |
| 144時間以上～ | 0.3 | 92 | 0.2% | 0.3 | 83 | 0.2% |
| 合計人数 | 142.0 | 37,782 | 100.0% | 138.3 | 36,792 | 100.0% |
| (72時間以上の合計人数) | 55.3 | 14,702 | 38.9% | 51.6 | 13,731 | 37.3% |

(注)・平成27年10月、平成28年10月ともに記入のあった施設を集計対象とした。

・療養病棟は入院基本料1を除く。

図表 136 夜勤時間数別の病棟勤務の看護職員数分布
 ～図表 135 のうち、7 対 1 又は 10 対 1 病棟の勤務者～

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-----------------|----------|--------|--------|----------|--------|--------|
| | 平均値 | 合計値 | 割合 | 平均値 | 合計値 | 割合 |
| ～8時間未満 | 12.2 | 2,692 | 8.7% | 11.8 | 2,557 | 8.9% |
| 8時間以上～16時間未満 | 4.1 | 894 | 2.9% | 3.7 | 809 | 2.8% |
| 16時間以上～24時間未満 | 7.1 | 1,569 | 5.1% | 6.9 | 1,499 | 5.2% |
| 24時間以上～32時間未満 | 6.8 | 1,493 | 4.8% | 4.6 | 988 | 3.4% |
| 32時間以上～40時間未満 | 7.2 | 1,576 | 5.1% | 6.1 | 1,330 | 4.6% |
| 40時間以上～48時間未満 | 5.2 | 1,133 | 3.7% | 4.8 | 1,038 | 3.6% |
| 48時間以上～56時間未満 | 10.1 | 2,221 | 7.2% | 9.4 | 2,035 | 7.1% |
| 56時間以上～64時間未満 | 12.3 | 2,705 | 8.8% | 12.6 | 2,732 | 9.5% |
| 64時間以上～72時間未満 | 23.4 | 5,143 | 16.6% | 23.2 | 5,038 | 17.5% |
| 72時間以上～80時間未満 | 19.0 | 4,177 | 13.5% | 18.1 | 3,925 | 13.7% |
| 80時間以上～88時間未満 | 16.9 | 3,715 | 12.0% | 15.9 | 3,444 | 12.0% |
| 88時間以上～96時間未満 | 7.4 | 1,638 | 5.3% | 7.2 | 1,557 | 5.4% |
| 96時間以上～104時間未満 | 5.0 | 1,093 | 3.5% | 4.7 | 1,017 | 3.5% |
| 104時間以上～112時間未満 | 1.7 | 372 | 1.2% | 1.7 | 363 | 1.3% |
| 112時間以上～120時間未満 | 1.1 | 232 | 0.8% | 0.9 | 205 | 0.7% |
| 120時間以上～128時間未満 | 0.4 | 95 | 0.3% | 0.3 | 67 | 0.2% |
| 128時間以上～136時間未満 | 0.3 | 62 | 0.2% | 0.2 | 39 | 0.1% |
| 136時間以上～144時間未満 | 0.2 | 36 | 0.1% | 0.1 | 18 | 0.1% |
| 144時間以上～ | 0.2 | 54 | 0.2% | 0.2 | 50 | 0.2% |
| 合計人数 | 140.5 | 30,900 | 100.0% | 132.3 | 28,711 | 100.0% |
| (72時間以上の合計人数) | 52.2 | 11,474 | 37.1% | 49.2 | 10,685 | 37.2% |

(注)・平成 27 年 10 月は 220 施設、平成 28 年 10 月は 217 施設の数値である。

・療養病棟は入院基本料 1 を除く。

図表 137 夜勤時間数別の病棟勤務の看護職員数分布
 ～図表 135 のうち、7 対 1 又は 10 対 1 病棟以外の病棟勤務者～

(単位：人)

| | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-----------------|----------|-------|--------|----------|-------|--------|
| | 平均値 | 合計値 | 割合 | 平均値 | 合計値 | 割合 |
| ～8時間未満 | 4.0 | 698 | 9.8% | 3.8 | 681 | 9.8% |
| 8時間以上～16時間未満 | 1.3 | 236 | 3.3% | 1.6 | 290 | 4.2% |
| 16時間以上～24時間未満 | 1.7 | 301 | 4.2% | 1.5 | 270 | 3.9% |
| 24時間以上～32時間未満 | 3.0 | 527 | 7.4% | 1.8 | 320 | 4.6% |
| 32時間以上～40時間未満 | 2.5 | 438 | 6.2% | 1.7 | 299 | 4.3% |
| 40時間以上～48時間未満 | 1.5 | 271 | 3.8% | 1.1 | 196 | 2.8% |
| 48時間以上～56時間未満 | 2.1 | 367 | 5.2% | 2.0 | 350 | 5.0% |
| 56時間以上～64時間未満 | 2.8 | 490 | 6.9% | 2.8 | 498 | 7.2% |
| 64時間以上～72時間未満 | 5.6 | 988 | 13.9% | 6.1 | 1,083 | 15.6% |
| 72時間以上～80時間未満 | 4.6 | 804 | 11.3% | 4.6 | 813 | 11.7% |
| 80時間以上～88時間未満 | 4.4 | 764 | 10.8% | 4.6 | 812 | 11.7% |
| 88時間以上～96時間未満 | 2.0 | 358 | 5.0% | 2.3 | 412 | 5.9% |
| 96時間以上～104時間未満 | 2.1 | 374 | 5.3% | 2.1 | 377 | 5.4% |
| 104時間以上～112時間未満 | 1.1 | 184 | 2.6% | 0.9 | 166 | 2.4% |
| 112時間以上～120時間未満 | 0.8 | 145 | 2.0% | 1.2 | 219 | 3.1% |
| 120時間以上～128時間未満 | 0.3 | 52 | 0.7% | 0.3 | 47 | 0.7% |
| 128時間以上～136時間未満 | 0.2 | 39 | 0.5% | 0.3 | 56 | 0.8% |
| 136時間以上～144時間未満 | 0.1 | 20 | 0.3% | 0.2 | 27 | 0.4% |
| 144時間以上～ | 0.2 | 43 | 0.6% | 0.2 | 39 | 0.6% |
| 合計人数 | 40.6 | 7,099 | 100.0% | 39.1 | 6,955 | 100.0% |
| (72時間以上の合計人数) | 15.9 | 2,783 | 39.2% | 16.7 | 2,968 | 42.7% |

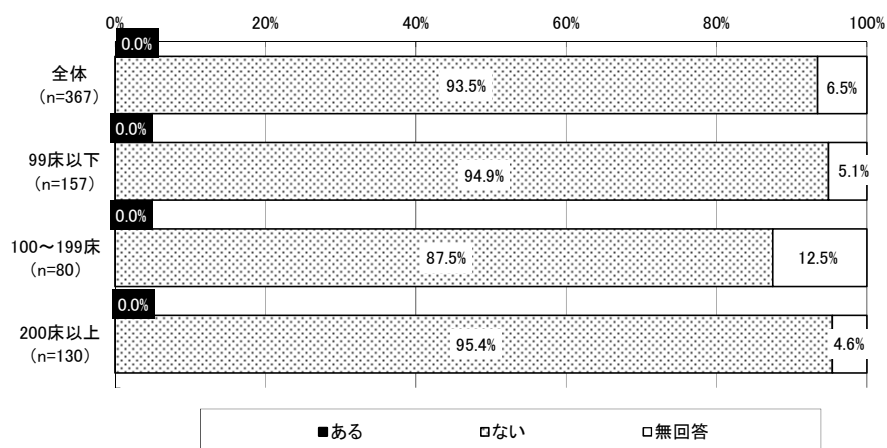
(注)・平成 27 年 10 月は 175 施設、平成 28 年 10 月は 178 施設の数値である。

・療養病棟は入院基本料 1 を除く。

③月平均夜勤時間超過減算を算定した病棟の有無

平成 28 年 4 月～10 月までの間に、月平均夜勤時間 72 時間要件を満たせないため、「月平均夜勤時間超過減算」を算定した病棟がある施設はなかった。

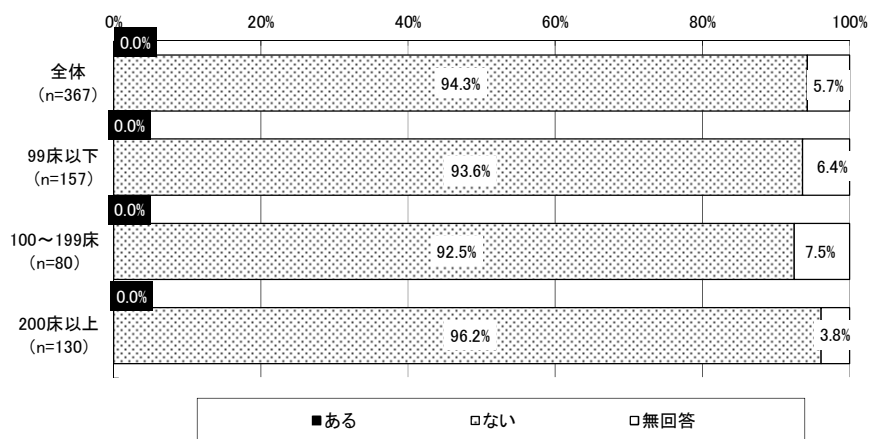
図表 138 月平均夜勤時間超過減算を算定した病棟の有無



④夜勤時間特別入院基本料の算定の有無

平成 28 年 4 月以降の夜勤時間特別入院基本料の算定の有無をみると、「ある」はなかった。

図表 139 夜勤時間特別入院基本料の算定の有無

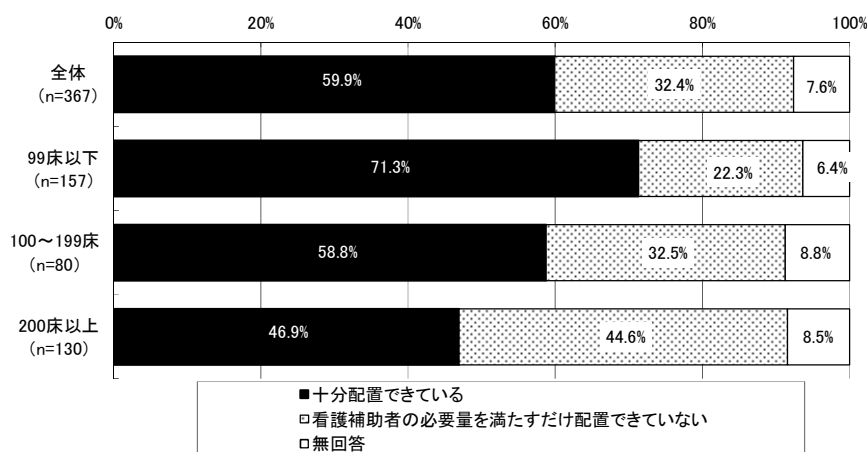


⑤看護補助者の配置状況等

1) 看護補助者の配置状況

看護補助者の配置状況を見ると、病床規模が大きくなるほど「十分配置できている」の割合が低くなり、「看護補助者の必要量を満たすだけ配置できていない」の割合が高くなる傾向がみられた。

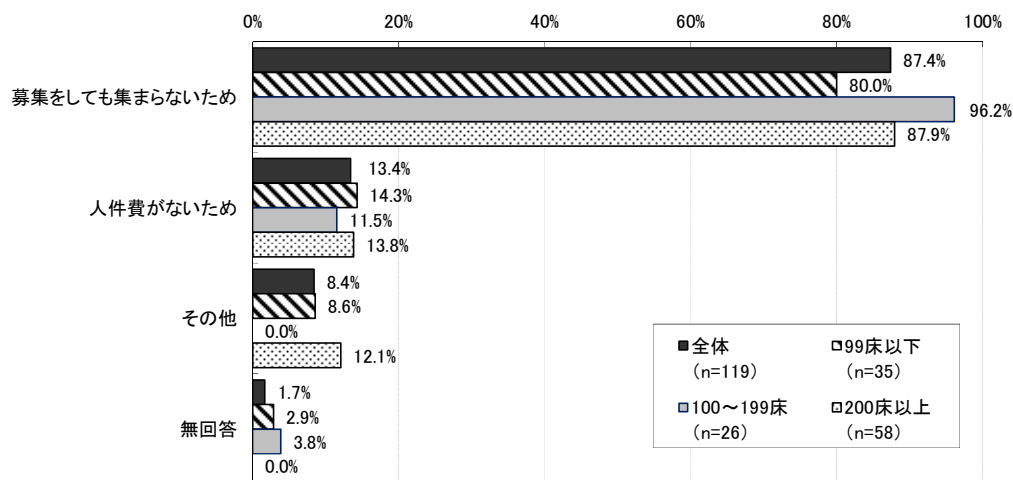
図表 140 看護補助者の配置状況



2) 看護補助者の必要量を満たすだけ看護補助者を配置できていない理由

看護補助者の必要量を満たすだけ看護補助者を配置できていない理由をみると、「募集をしても集まらないため」が最も多かった。

図表 141 看護補助者の必要量を満たすだけ看護補助者を配置できていない理由
(「看護補助者の必要量を満たすだけ配置できていない」と回答した施設、複数回答)

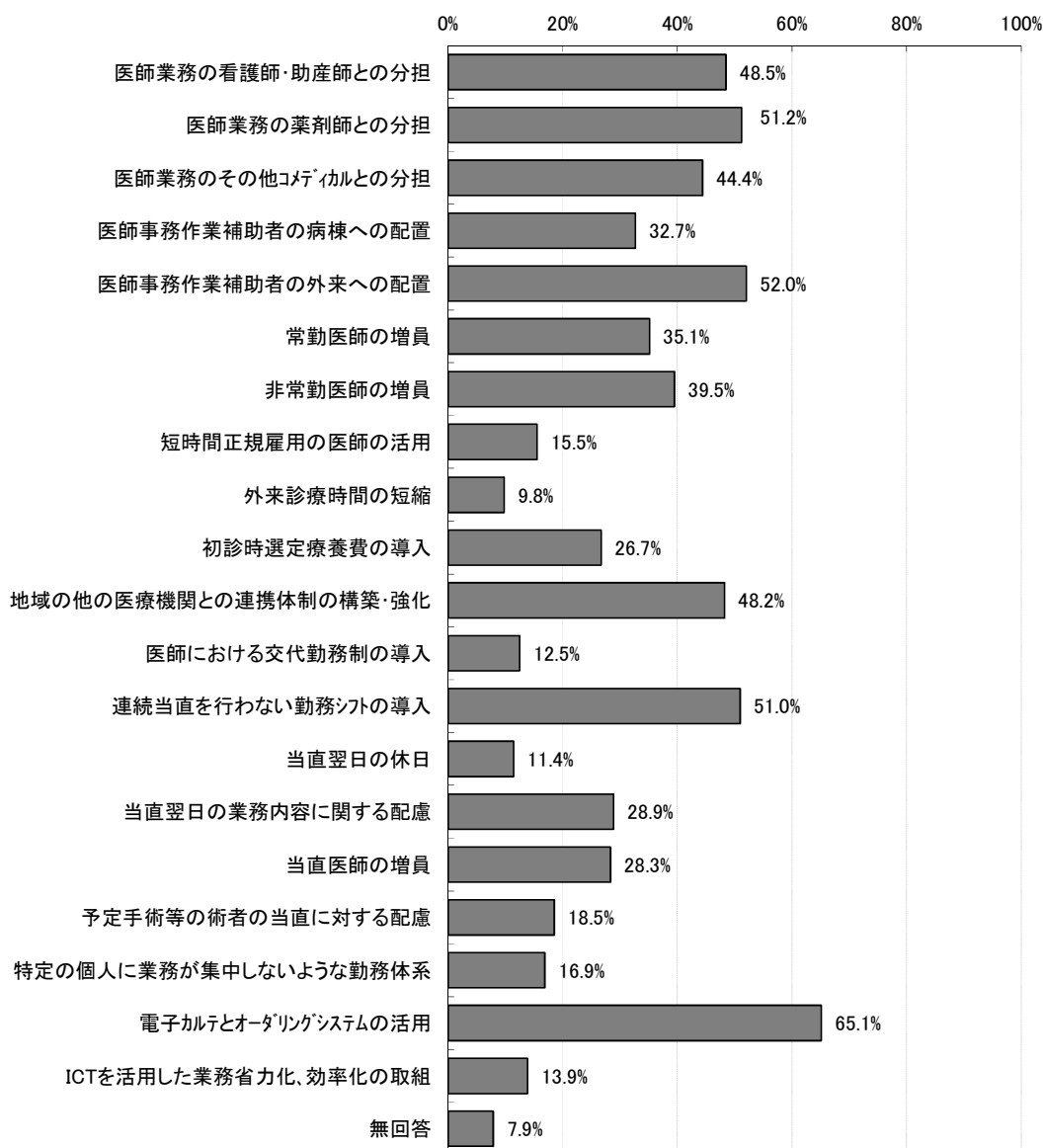


(5) 医師の負担軽減策に関する取組状況等

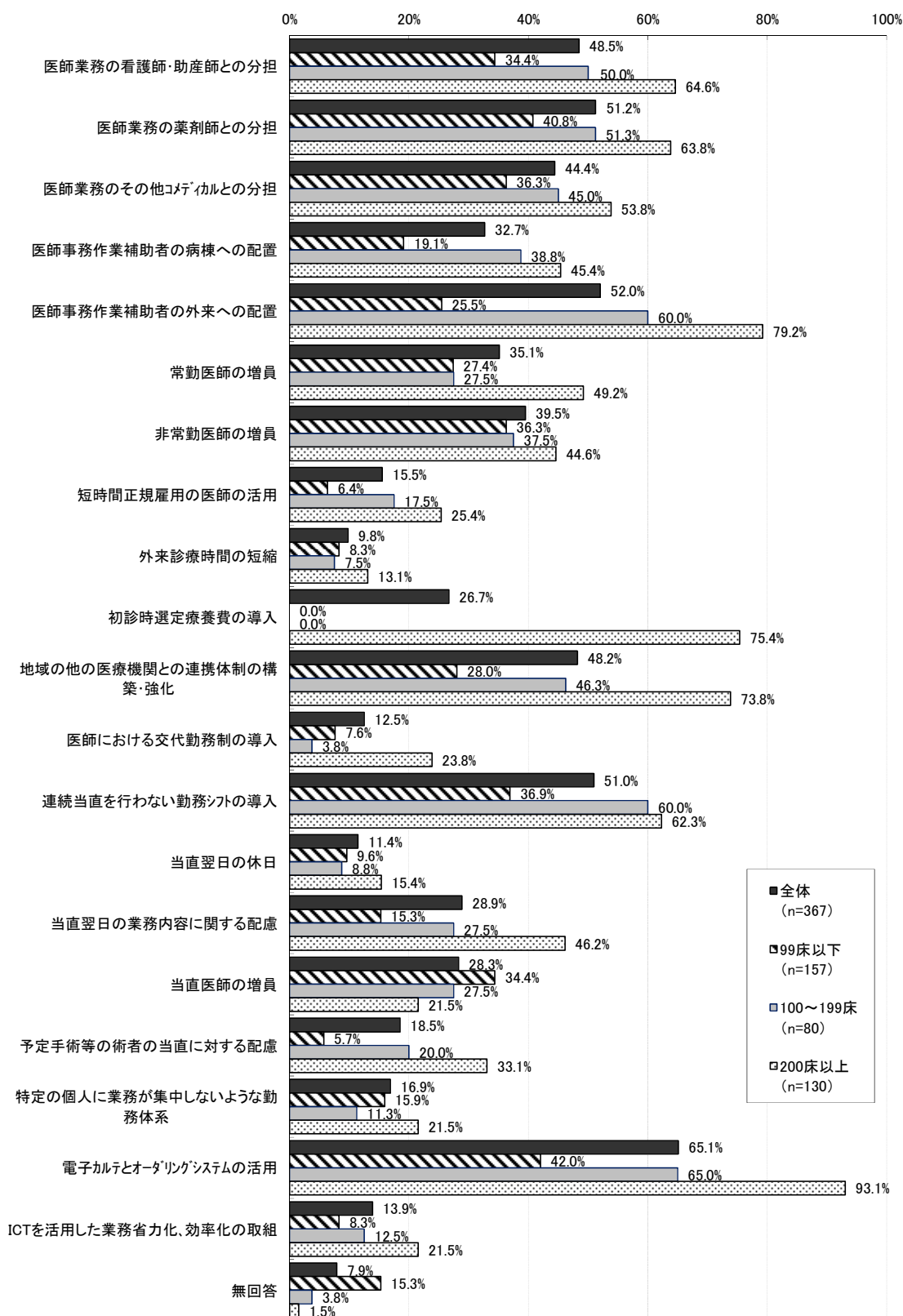
①実施している医師の負担軽減策

実施している医師の負担軽減策をみると、「電子カルテとオーダーリングシステムの活用」が 65.1%で最も多く、次いで「医師事務作業補助者の外来への配置」(52.0%)、「医師業務の薬剤師との分担」(51.2%)、「医師業務の連続当直を行わない勤務シフトの導入」(51.0%)であった。

図表 142 実施している医師の負担軽減策（複数回答、n=367）



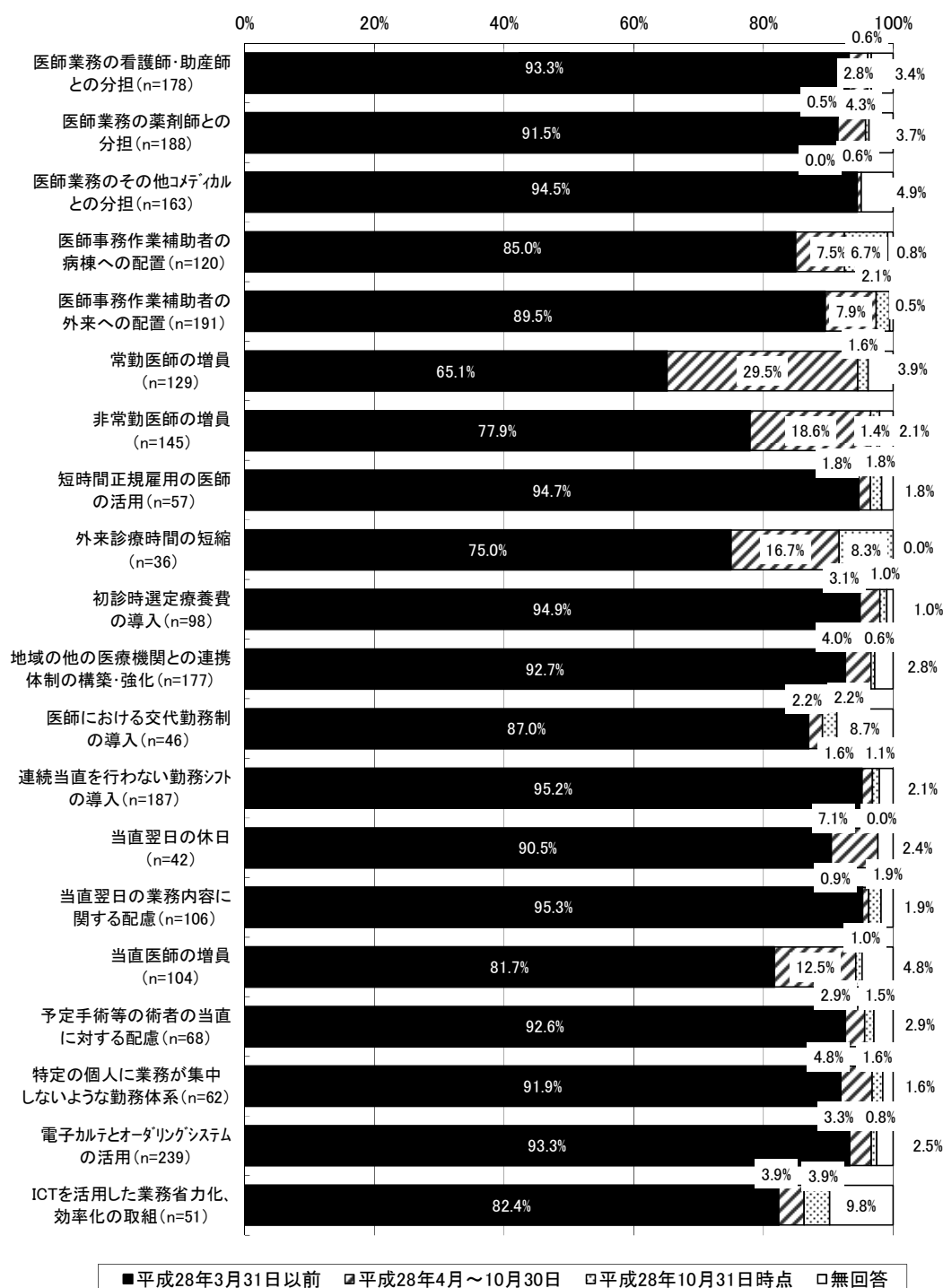
図表 143 実施している医師の負担軽減策（病床規模別、複数回答）



②医師の負担軽減策を実施した時期

医師の負担軽減策を実施した時期は次のとおりである。「常勤医師の増員」は平成28年4月以降が約3割あった。

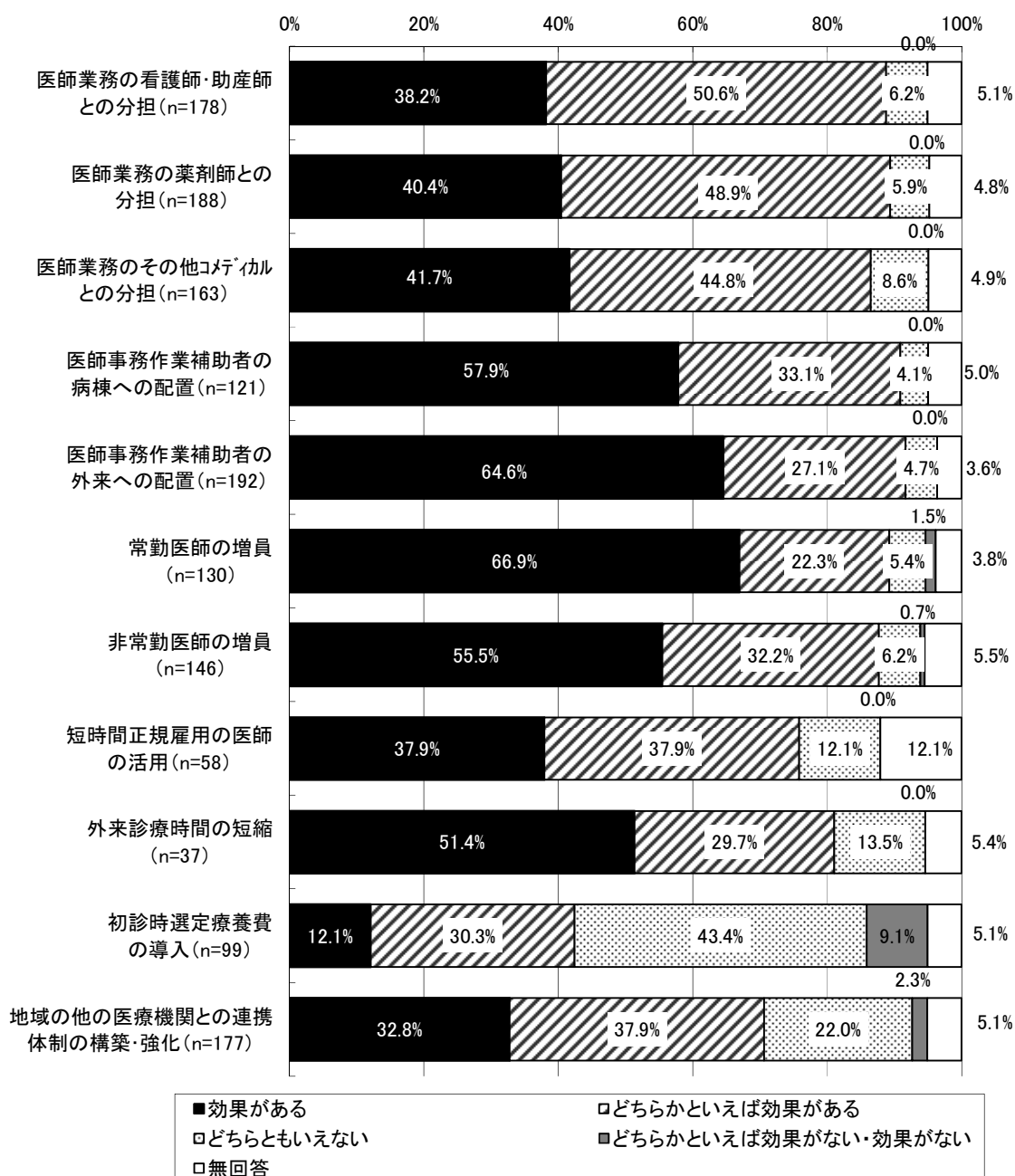
図表 144 医師の負担軽減策を実施した時期（各取組を実施している施設）



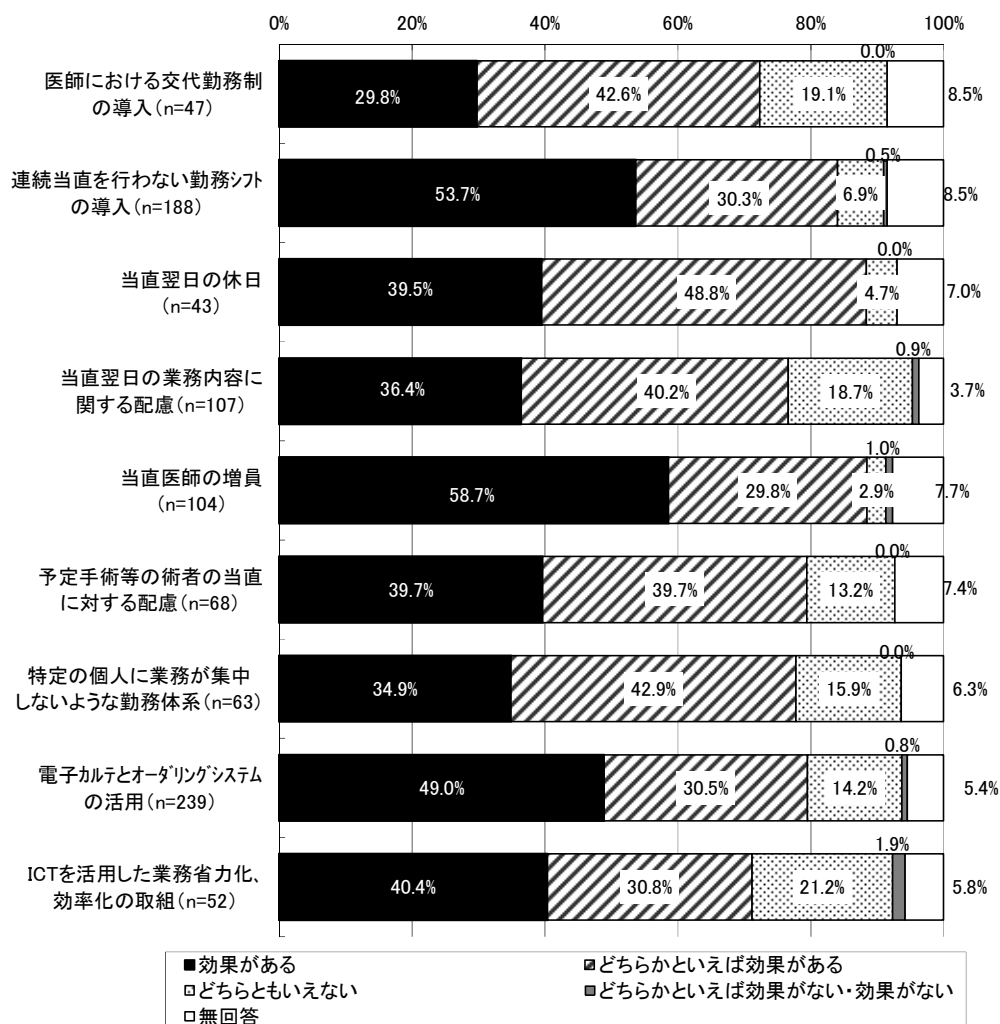
③医師の負担軽減策の効果

医師の負担軽減策の効果を見ると、「効果がある」「どちらかといえば効果がある」を合わせた割合は「初診時選定療養費の導入」を除くと7割を超えている。

図表 145 医師の負担軽減策の効果（各取組を実施している施設）①



図表 146 医師の負担軽減策の効果（各取組を実施している施設）②



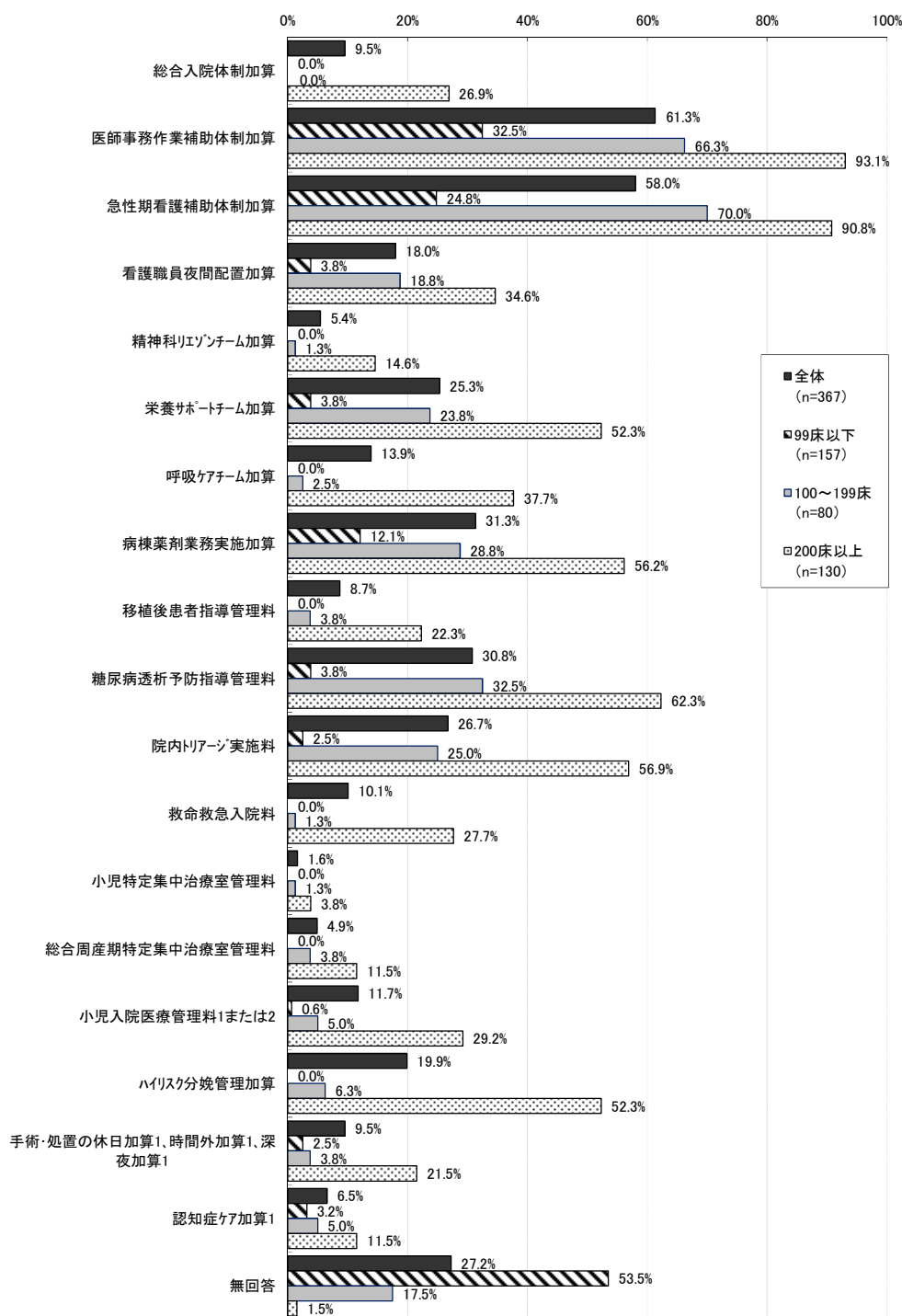
図表 147 その他の効果のある医師負担軽減策（自由記述式）

- ・クレーム対応要員の配置。
- ・夜間時間外におけるトラブル等の対応を回避するため、警備員を配置。
- ・予約システムの導入。
- ・在宅療養支援病院として新たに病院を開設（急性期病院としての機能が高まり、平均在院日数が短縮）。
- ・レセプト点検についてシステムを導入。
- ・統計の入力等についての補助者の配置。
- ・電子カルテの更新による利便性の向上。
- ・超過勤務が多い医師については、各科主任部長に勤務実態を提示。
- ・臨床心理士によるメンタルサポート。

④病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善を要件とする診療報酬項目の算定状況等

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善を要件とする各診療報酬項目の算定状況等をみると、病床規模が大きいほど算定している割合が高かった。

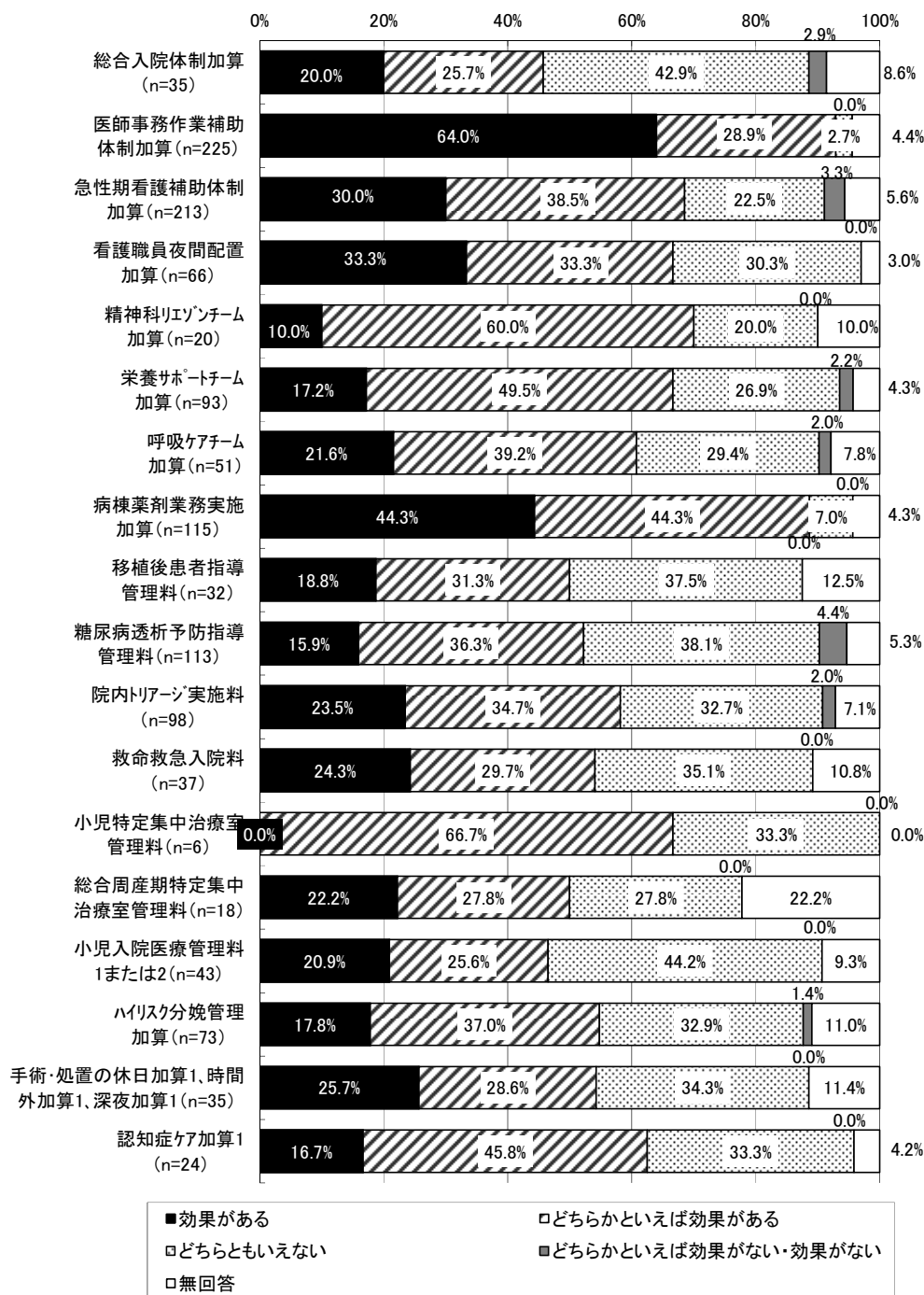
図表 148 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善を要件とする各診療報酬項目の算定状況（複数回答）



⑤病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善を要件とする診療報酬項目の効果

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善を要件とする診療報酬項目の効果を見ると、「効果がある」の割合が最も高かったのは「医師事務作業補助体制加算」(64.0%)で、次いで「病棟薬剤業務実施加算」(44.3%)であった。

図表 149 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善を要件とする診療報酬項目の効果 (算定施設)



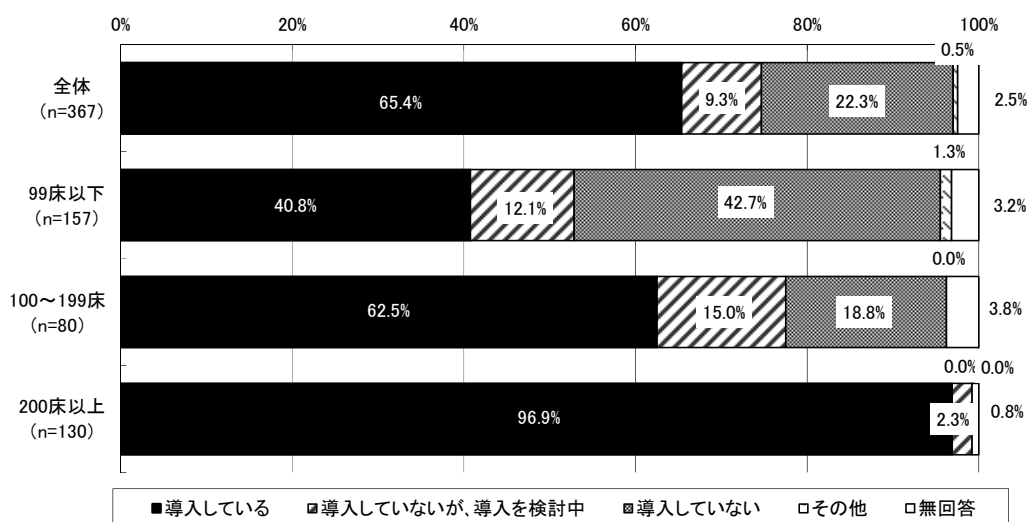
(6) 記録に係る負担軽減に関する取組状況等

①入院部門における電子カルテの導入状況

入院部門における電子カルテの導入状況をみると、99床以下の病院では「導入している」が40.8%、「導入していないが、導入を検討中」が12.1%、「導入していない」が42.7%であった。100～199床の病院では「導入している」が62.5%、「導入していないが、導入を検討中」が15.0%、「導入していない」が18.8%であった。200床以上の病院では「導入している」が96.9%、「導入していないが、導入を検討中」が2.3%であった。

病床規模が小さいほど導入している施設の割合が低かった。

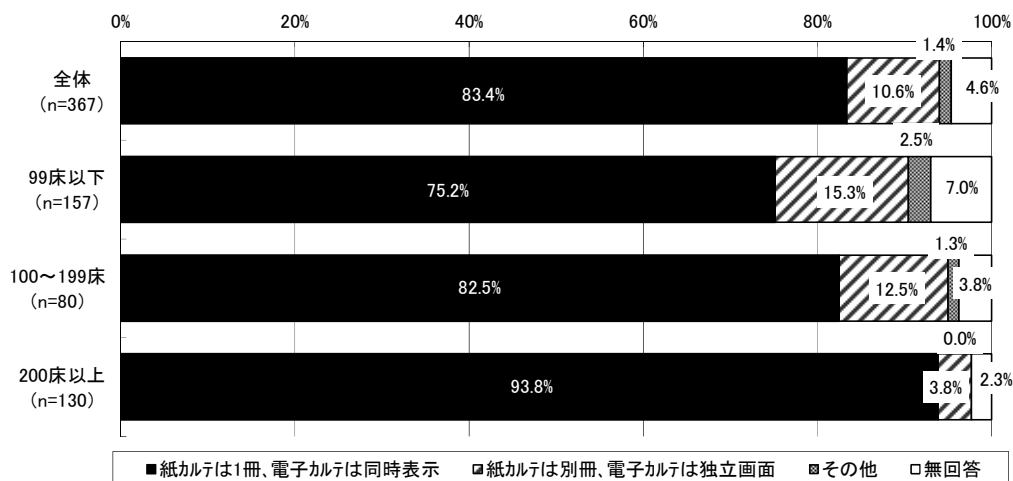
図表 150 入院部門における電子カルテの導入状況



②看護記録等の診療に関する記録の取扱い

看護記録等の診療に関する記録の取扱いは次のとおりである。
 病床規模が小さいほど別冊、独立となっている割合が高かった。

図表 151 看護記録等の診療に関する記録の取扱い



(注) 上記の凡例（選択肢）について調査票上の記載は次のとおり。

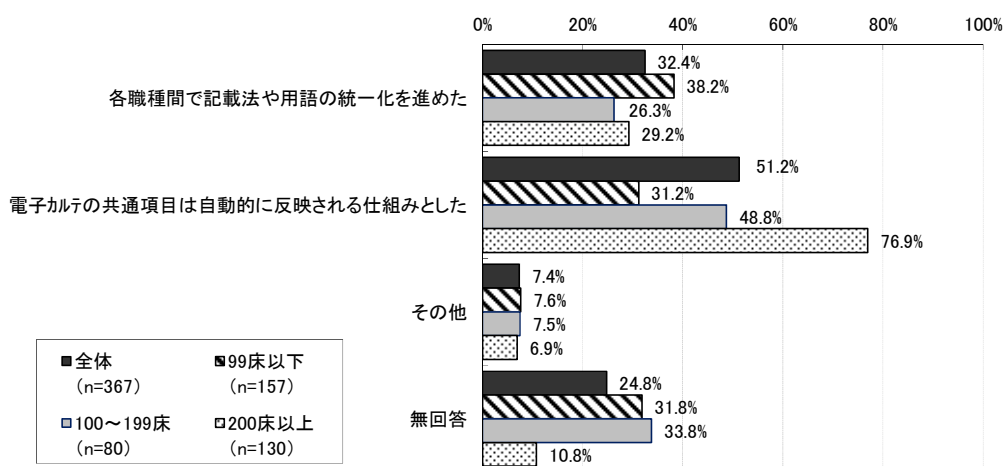
「紙カルテは1冊、電子カルテは同時表示」：診療録や看護記録等の診療に関する記録が合わせて1冊となっている（紙カルテの場合）、あるいは、診療録や看護記録等の診療に関する記録を同時表示・閲覧できるようになっている（電子カルテの場合）。

「紙カルテは別冊、電子カルテは独立画面」：診療録や看護記録等の診療に関する記録が別冊となっている（紙カルテの場合）、あるいは、診療録や看護記録等の診療に関する記録が独立した画面でしか表示・閲覧できない（電子カルテの場合）。

③記録の省力化の取組として実施していること

記録の省力化の取組として実施していることをみると、200床以上の病院では「電子カルテの共通項目は自動的に反映される仕組みとした」が76.9%であったが、病床規模が小さい病院ではこの割合は低かった。

図表 152 記録の省力化の取組として実施していること（複数回答）



(注) 上記の凡例（選択肢）について調査票上の記載は次のとおり。

「電子カルテの共通項目は自動的に反映される仕組みとした」:電子カルテにおいて、患者名、病名、ADL等、各記録に共通する項目については自動的に反映される仕組みとした。

3. 医師調査の結果

【調査対象等】

調査対象：外科系診療科の医師1名、救急科（救急部門）の医師1名、その他の診療科の医師2名、1施設につき最大4名。

回答数：864名

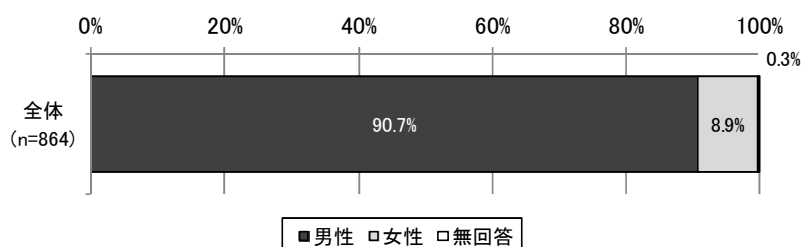
回答者：対象施設に3年以上勤務する医師

(1) 医師の属性（平成28年10月末現在）

①性別

性別は次のとおりである。

図表 153 性別



②年齢

年齢は次のとおりである。

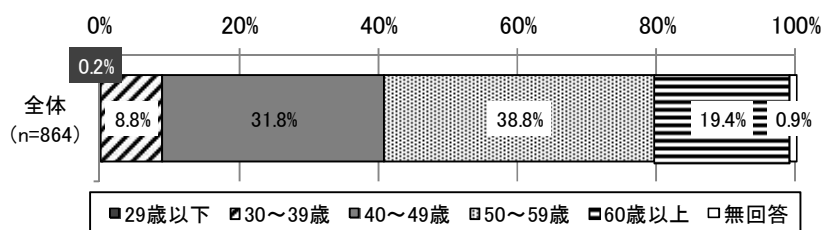
図表 154 年齢

(単位：歳)

| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------|------|------|------|
| 856 | 51.8 | 9.2 | 52.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

図表 155 年齢（分布）



③ 医師経験年数

医師経験年数は次のとおりである。

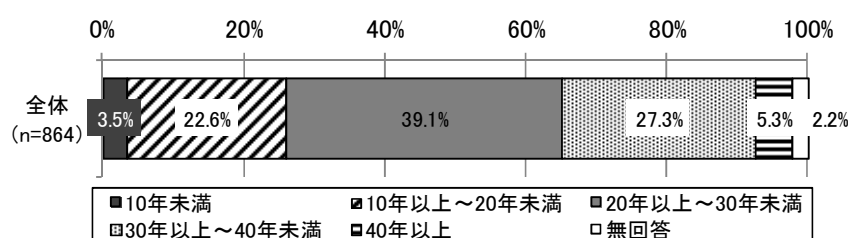
図表 156 医師経験年数

(単位：年)

| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------|------|------|------|
| 845 | 25.7 | 8.9 | 25.5 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

図表 157 医師経験年数（分布）



④ 対象施設での勤続年数

対象施設での勤続年数は次のとおりである。

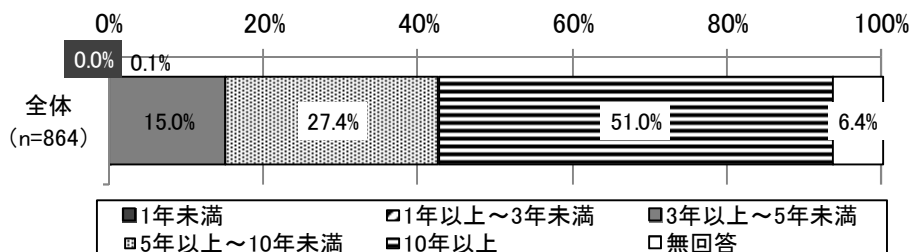
図表 158 対象施設での勤続年数

(単位：年)

| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------|------|------|------|
| 809 | 12.3 | 7.8 | 10.6 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

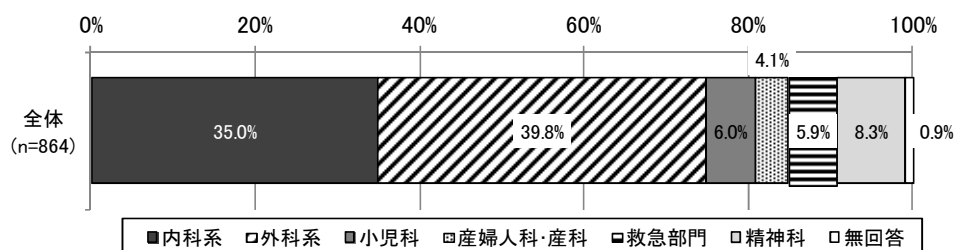
図表 159 対象施設での勤続年数（分布）



⑤主たる所属診療科

主たる所属診療科は次のとおりである。

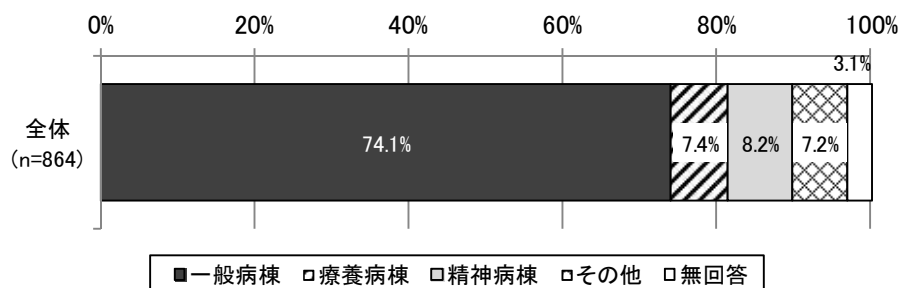
図表 160 主たる所属診療科



⑥担当する主な病棟

担当する主な病棟は次のとおりである。

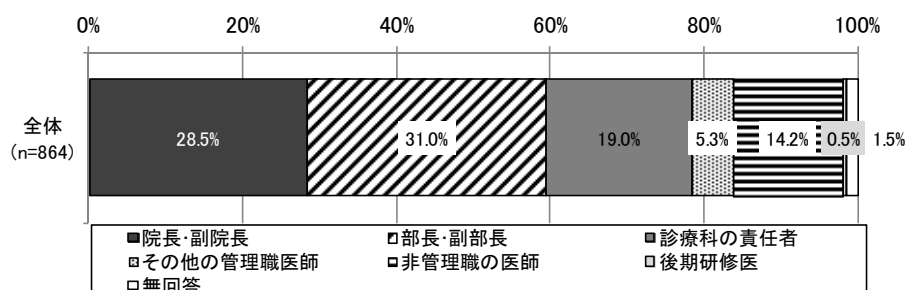
図表 161 担当する主な病棟



⑦役職等

役職等は次のとおりである。

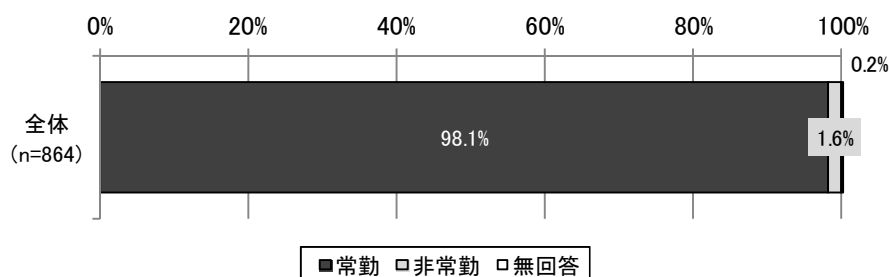
図表 162 役職等



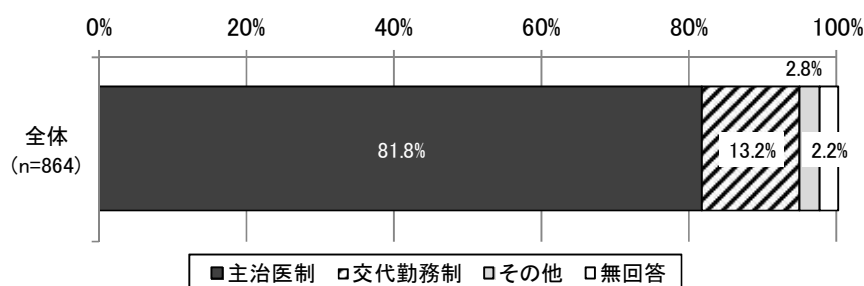
⑧勤務形態

勤務形態は次のとおりである。

図表 163 常勤・非常勤の別



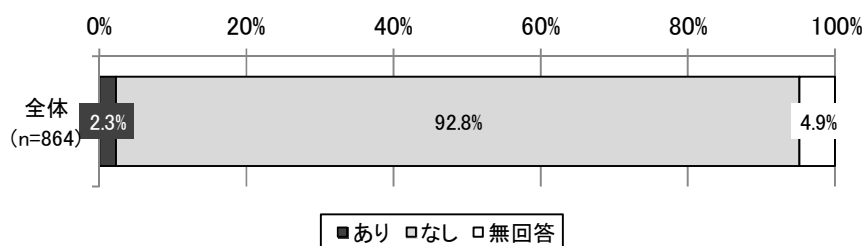
図表 164 勤務の形態



⑨平成 28 年 4 月以降の異動の有無

平成 28 年 4 月以降の異動の有無は次のとおりである。

図表 165 平成 28 年 4 月以降の異動の有無



(2) 医師の勤務状況等

①勤務状況

1) 1か月間の診療時間

1か月間の診療時間についてみると、平均143.3時間であった。

図表 166 1か月間の診療時間（対象施設での診療時間、平成28年10月）

(単位：時間)

| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------|-------|------|-------|
| 769 | 143.3 | 60.3 | 155.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

2) 1か月間の勤務時間

1か月間の勤務時間についてみると、平成27年10月は平均191.5時間、平成28年10月は平均190.2時間であった。平成27年と平成28年を比較するとやや減少していた。

図表 167 1か月間の勤務時間（対象施設での勤務時間）

(単位：時間)

| | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|------|-------|------|-------|
| 平成27年10月 | 769 | 191.5 | 62.3 | 190.7 |
| 平成28年10月 | | 190.2 | 60.9 | 190.0 |

(注) 平成27年10月と平成28年10月の両方に記入のあった回答者を集計対象とした。

3) 1か月間の当直回数

1か月間の当直回数についてみると、平成27年10月は、当直回数が平均2.4回、このうち連続当直回数が平均0.1回であった。平成28年10月は、当直回数が平均2.4回、このうち連続当直回数が平均0.1回であった。平成27年と平成28年で変化はなかった。

図表 168 1か月間の当直回数と連続当直回数（対象施設での回数）

(単位：回)

| | | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----------|-----------|------|-----|------|-----|
| 平成27年10月 | 1か月間の当直回数 | 804 | 2.4 | 2.3 | 2.0 |
| | うち、連続当直回数 | | 0.1 | 0.5 | 0.0 |
| 平成28年10月 | 1か月間の当直回数 | | 2.4 | 2.4 | 2.0 |
| | うち、連続当直回数 | | 0.1 | 0.5 | 0.0 |

(注) 平成27年10月と平成28年10月の両方に記入のあった回答者を集計対象とした。

4) 1 か月間のオンコール担当回数

1 か月間のオンコール担当回数についてみると、平成 27 年 10 月は、オンコール担当回数が平均 4.9 回、このうち呼出で病院に出勤した回数が平均 1.1 回であった。平成 28 年 10 月は、オンコール担当回数が平均 4.7 回、このうち呼出で病院に出勤した回数が平均 1.1 回であった。平成 27 年と平成 28 年を比較すると、オンコール担当回数がやや減少していた。

図表 169 1 か月間のオンコール担当回数と呼出で病院に出勤した回数（対象施設での回数）

(単位：回)

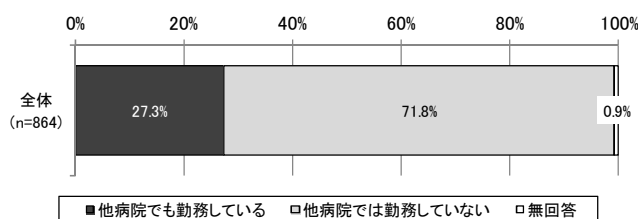
| | | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-----------------|-----------------|------|-----|------|-----|
| 平成 27 年 10 月 | 1 か月間のオンコール担当回数 | 740 | 4.9 | 7.3 | 1.0 |
| | うち、呼出で病院に出勤した回数 | | 1.1 | 2.1 | 0.0 |
| 平成 28 年 10 月 | 1 か月間のオンコール担当回数 | | 4.7 | 7.3 | 1.0 |
| | うち、呼出で病院に出勤した回数 | | 1.1 | 2.0 | 0.0 |

(注) 平成 27 年 10 月と平成 28 年 10 月の両方に記入のあった回答者を集計対象とした。

5) 対象施設以外の病院での勤務状況

対象施設以外の病院での勤務状況は次のとおりである。

図表 170 対象施設以外の病院での勤務状況



図表 171 対象施設以外の病院での 1 か月間の勤務時間

(平成 28 年 10 月、他病院でも勤務している医師)

(単位：時間)

| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------|------|------|------|
| 230 | 29.3 | 30.0 | 24.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

図表 172 対象施設以外の病院での当直回数と連続当直回数

(平成 28 年 10 月、他病院でも勤務している医師)

(単位：回)

| | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------------|------|-----|------|-----|
| 1 か月間の当直回数 | 217 | 0.9 | 1.7 | 0.0 |
| うち、連続当直回数 | | 0.1 | 0.5 | 0.0 |

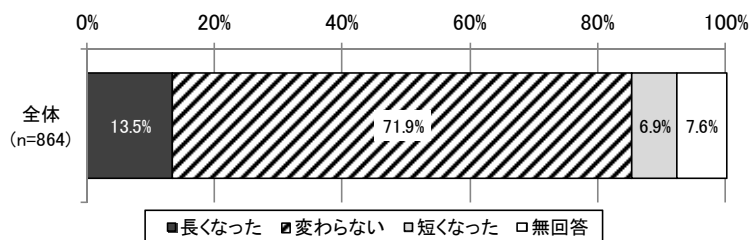
(注) 上記の両項目について記入のあった回答者を集計対象とした。

②1年前と比較した勤務状況の変化

1) 勤務時間の変化

勤務時間の変化をみると、「長くなった」が13.5%、「変わらない」が71.9%、「短くなった」が6.9%であった。

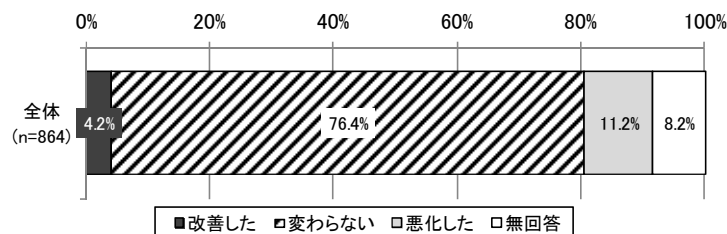
図表 173 勤務時間の変化



2) 外来の勤務状況（診療時間内）の変化

外来の勤務状況（診療時間内）の変化をみると、「改善した」が4.2%、「変わらない」が76.4%、「悪化した」が11.2%であった。

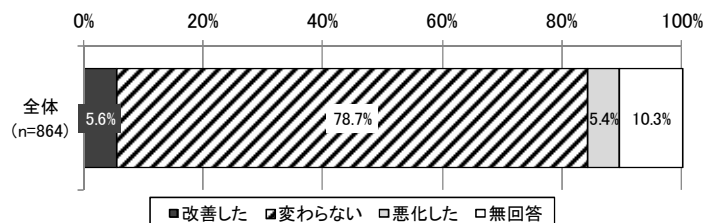
図表 174 外来の勤務状況（診療時間内）の変化



3) 救急外来の勤務状況（診療時間外）の変化

救急外来の勤務状況（診療時間外）の変化をみると、「改善した」が5.6%、「変わらない」が78.7%、「悪化した」が5.4%であった。

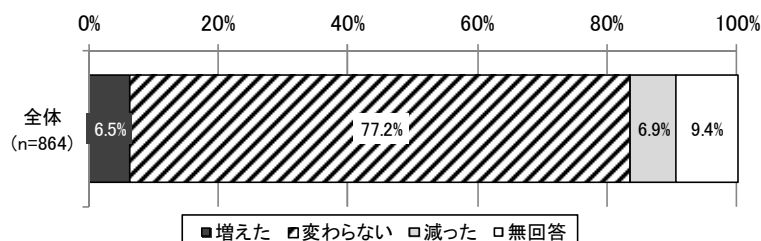
図表 175 救急外来の勤務状況（診療時間外）の変化



4) 長時間連続勤務の回数の変化

長時間連続勤務の回数の変化をみると、「増えた」が 6.5%、「変わらない」が 77.2%、「減った」が 6.9%であった。

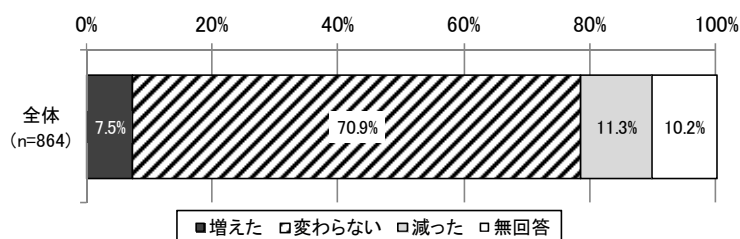
図表 176 長時間連続勤務の回数の変化



5) 当直の回数の変化

当直の回数の変化をみると、「増えた」が 7.5%、「変わらない」が 70.9%、「減った」が 11.3%であった。

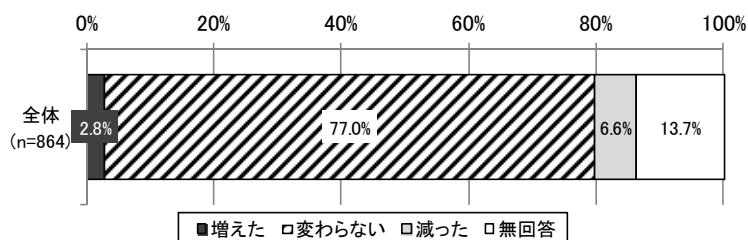
図表 177 当直の回数の変化



6) 当直時の平均睡眠時間の変化

当直時の平均睡眠時間の変化をみると、「増えた」が 2.8%、「変わらない」が 77.0%、「減った」が 6.6%であった。

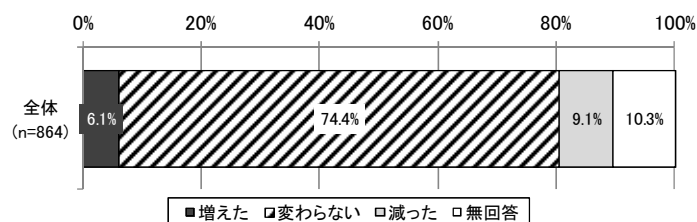
図表 178 当直時の平均睡眠時間の変化



7) オンコールの回数の変化

オンコールの回数の変化をみると、「増えた」が 6.1%、「変わらない」が 74.4%、「減った」が 9.1%であった。

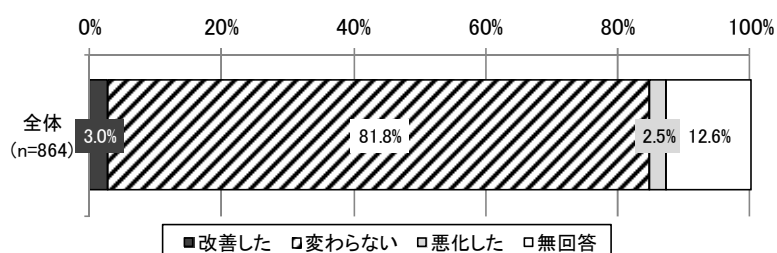
図表 179 オンコールの回数の変化



8) 当直翌日の勤務状況の変化

当直翌日の勤務状況の変化をみると、「改善した」が 3.0%、「変わらない」が 81.8%、「悪化した」が 2.5%であった。

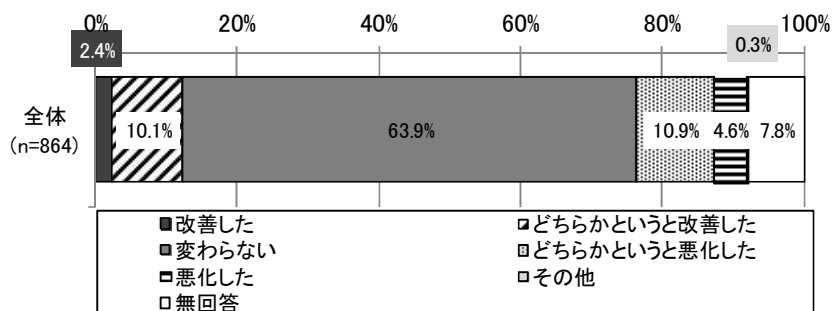
図表 180 当直翌日の勤務状況の変化



9) 総合的にみた勤務状況の変化

総合的にみた勤務状況の変化についてみると、「改善した」「どちらかというと改善した」を合わせた割合 (12.5%) よりも、「悪化した」「どちらかというと悪化した」を合わせた割合 (15.5%) の方が 3.0 ポイント高かった。

図表 181 総合的にみた勤務状況の変化



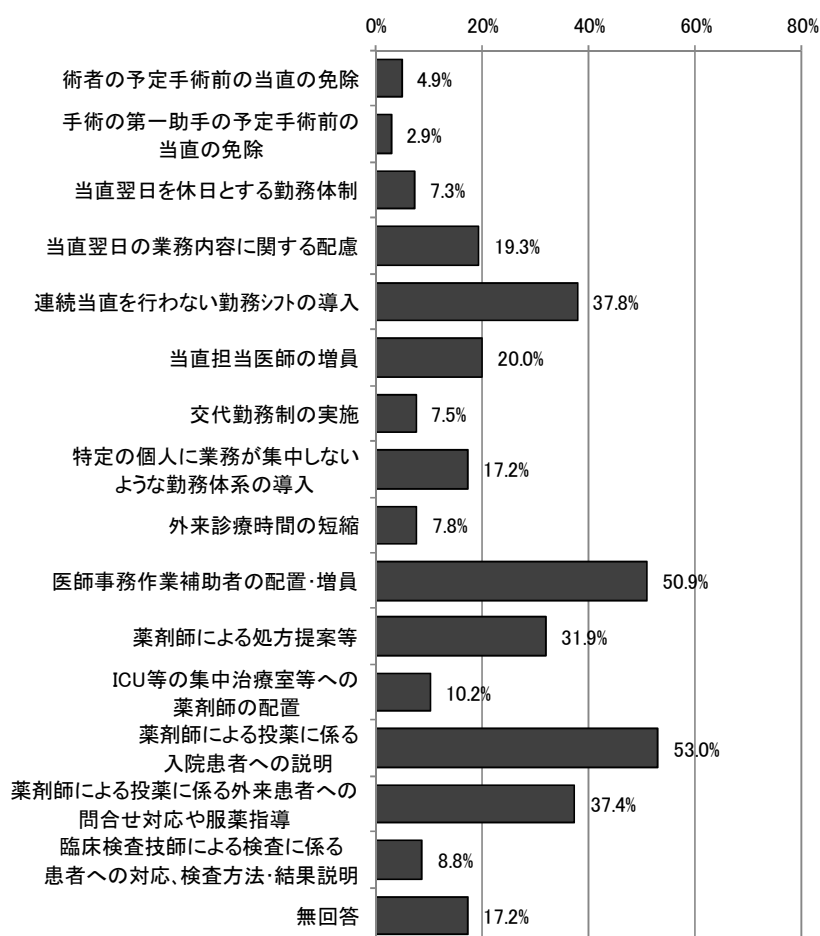
(3) 実施業務と負担感等

① 診療科で実施している勤務医の負担軽減策とその効果

1) 診療科で実施している勤務医の負担軽減策

診療科で実施している勤務医の負担軽減策についてみると、「薬剤師による投薬に係る入院患者への説明」が53.0%で最も多く、次いで「医師事務作業補助者の配置・増員」(50.9%)であった。

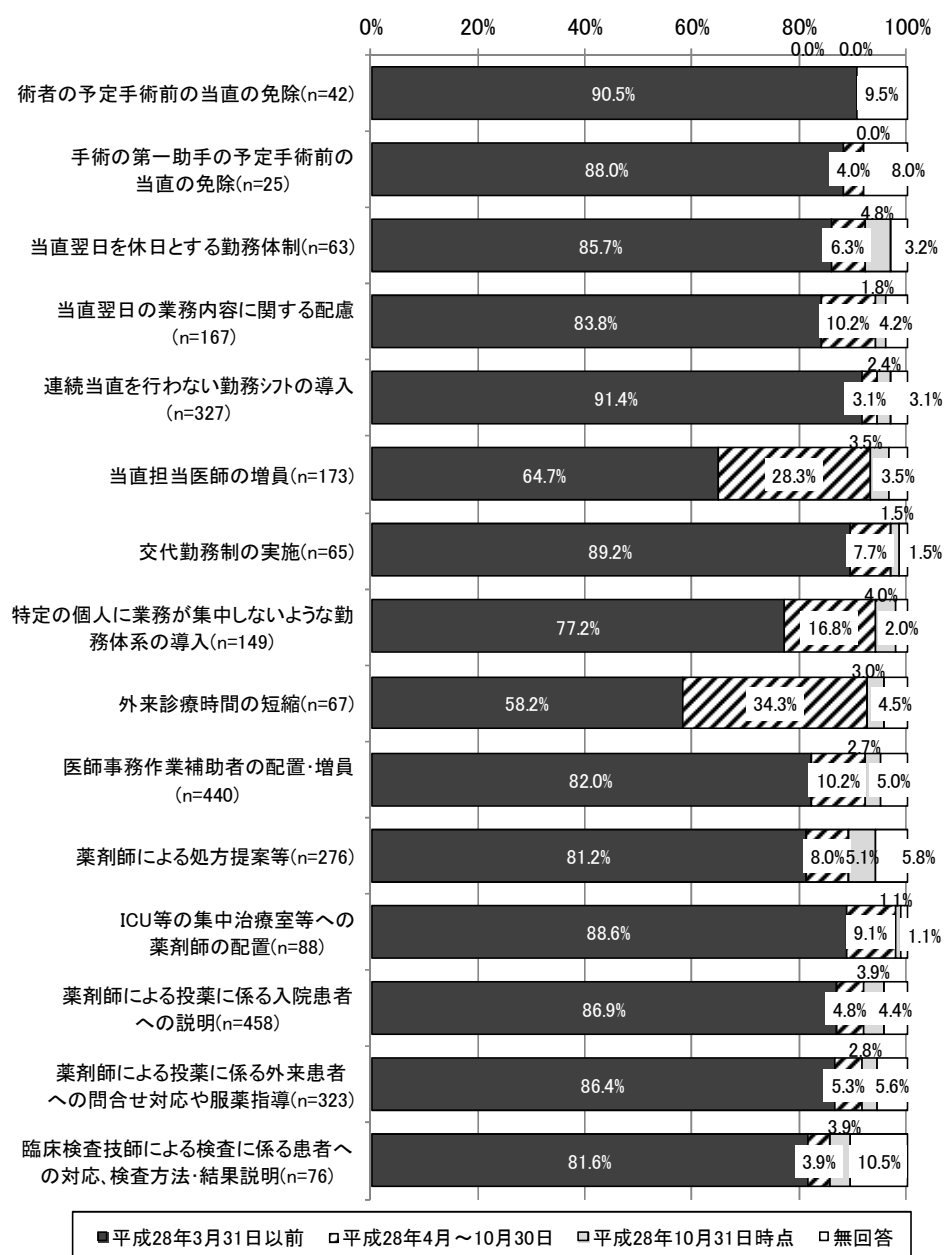
図表 182 診療科で実施している勤務医の負担軽減策（複数回答、n=864）



2) 診療科で実施している勤務医の負担軽減策の実施時期

診療科で実施している勤務医の負担軽減策の実施時期についてみると、平成28年4月以降の実施が最も多いのは「外来診療時間の短縮」(34.3%)で、次いで「当直担当医師の増員」(28.3%)であった。

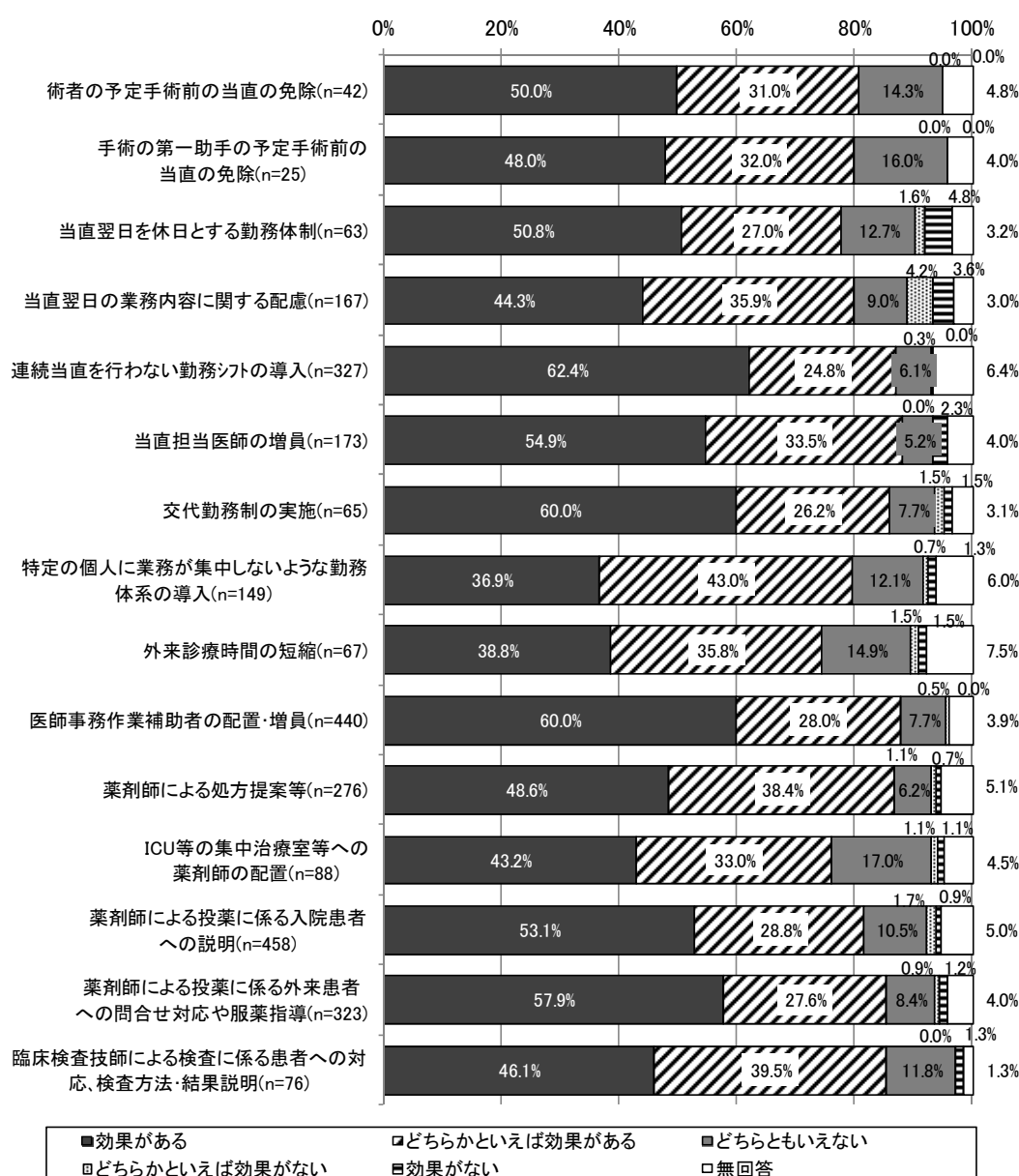
図表 183 診療科で実施している勤務医の負担軽減策の実施時期
(当該負担軽減策を実施している診療科に所属する医師)



3) 診療科で実施している勤務医の負担軽減策の効果

診療科で実施している勤務医の負担軽減策の効果についてみると、「効果がある」の割合が6割以上となったのは、「連続当直を行わない勤務シフトの導入」(62.4%)、「交代勤務制の実施」(60.0%)、「医師事務作業補助者の配置・増員」(60.0%)であった。

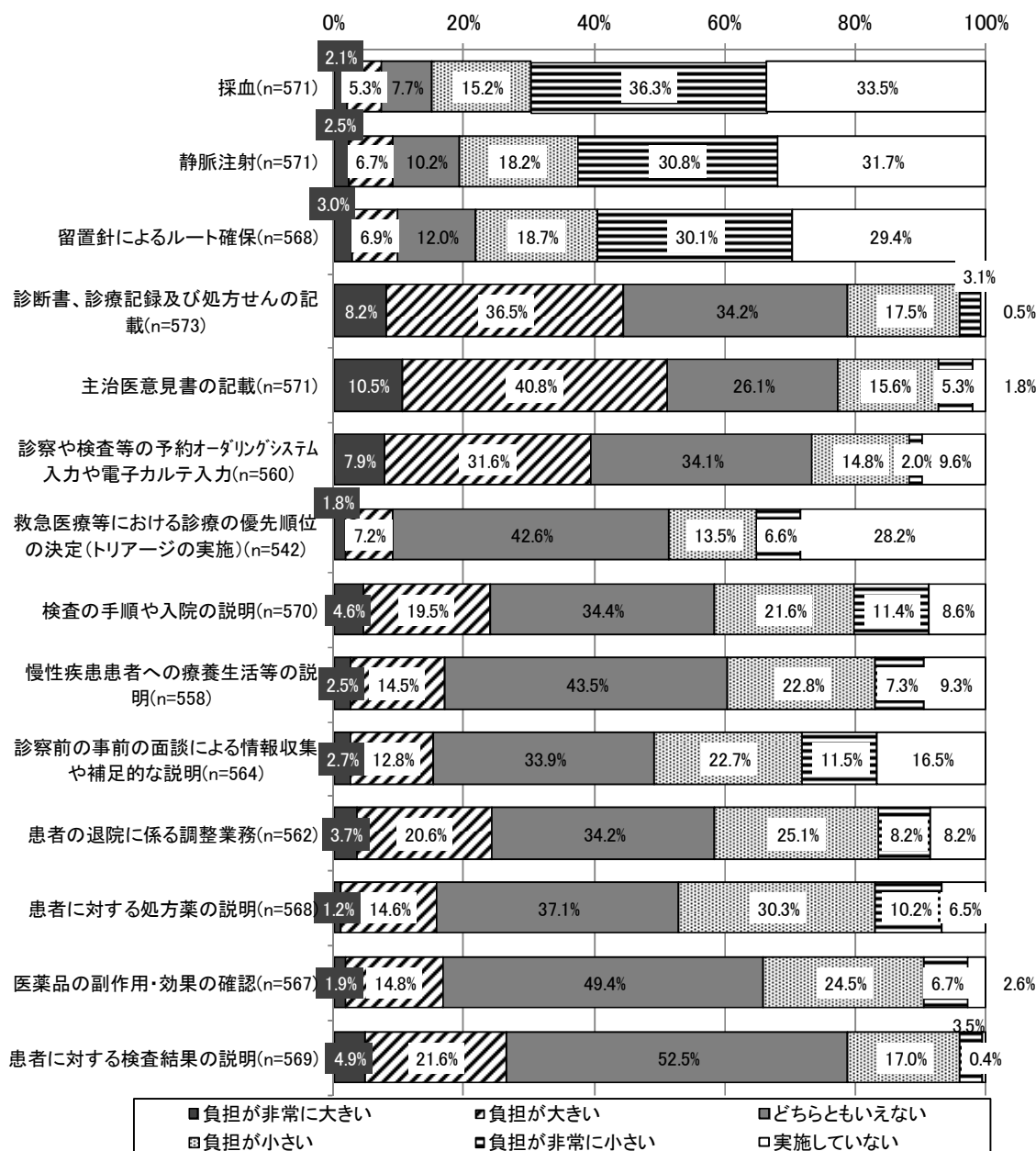
図表 184 診療科で実施している勤務医の負担軽減策の効果
(当該負担軽減策を実施している診療科に所属する医師)



②各業務の負担感

各業務の負担感についてみると、「負担が非常に大きい」「負担が大きい」を合わせた割合は、「主治医意見書の記載」(51.3%)が最も高く、次いで「診断書、診療記録及び処方せんの記載」(44.7%)、「診察や検査等の予約オーダーリングシステム入力や電子カルテ入力」(39.5%)であった。

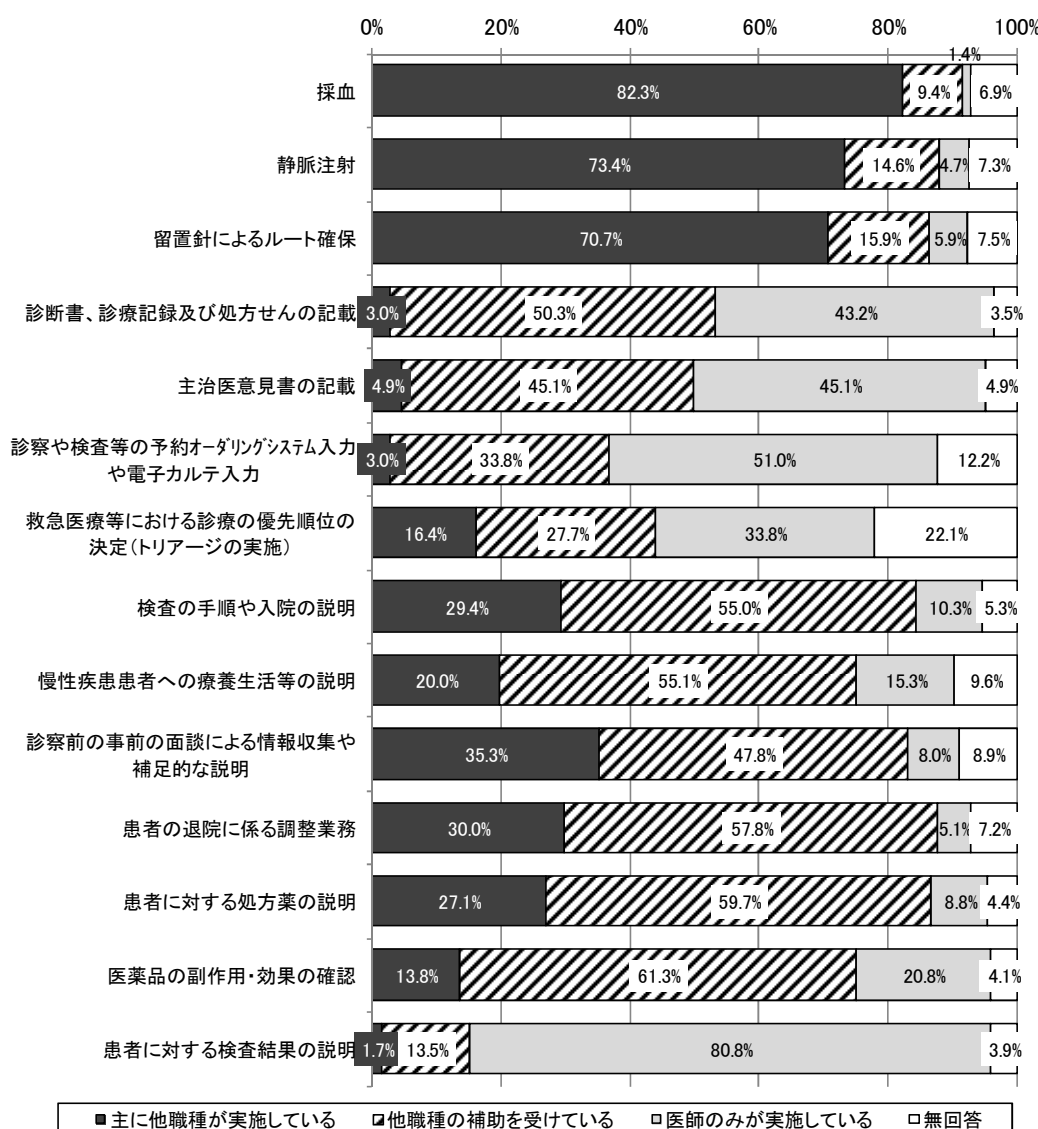
図表 185 各業務の負担感（無回答除く）



③各業務の他職種との業務分担の取組状況

各業務の他職種との業務分担の取組状況についてみると、「主に他職種で実施している」の割合が高かったのは、「採血」（82.3%）、「静脈注射」（73.4%）、「留置針によるルート確保」（70.7%）であった。「他職種の補助を受けている」の割合が高かったのは、「医薬品の副作用・効果の確認」（61.3%）、「患者に対する処方薬の説明」（59.7%）、「患者の退院に係る調整業務」（57.8%）であった。「医師のみが実施している」の割合が高かったのは、「患者に対する検査結果の説明」（80.8%）であった。

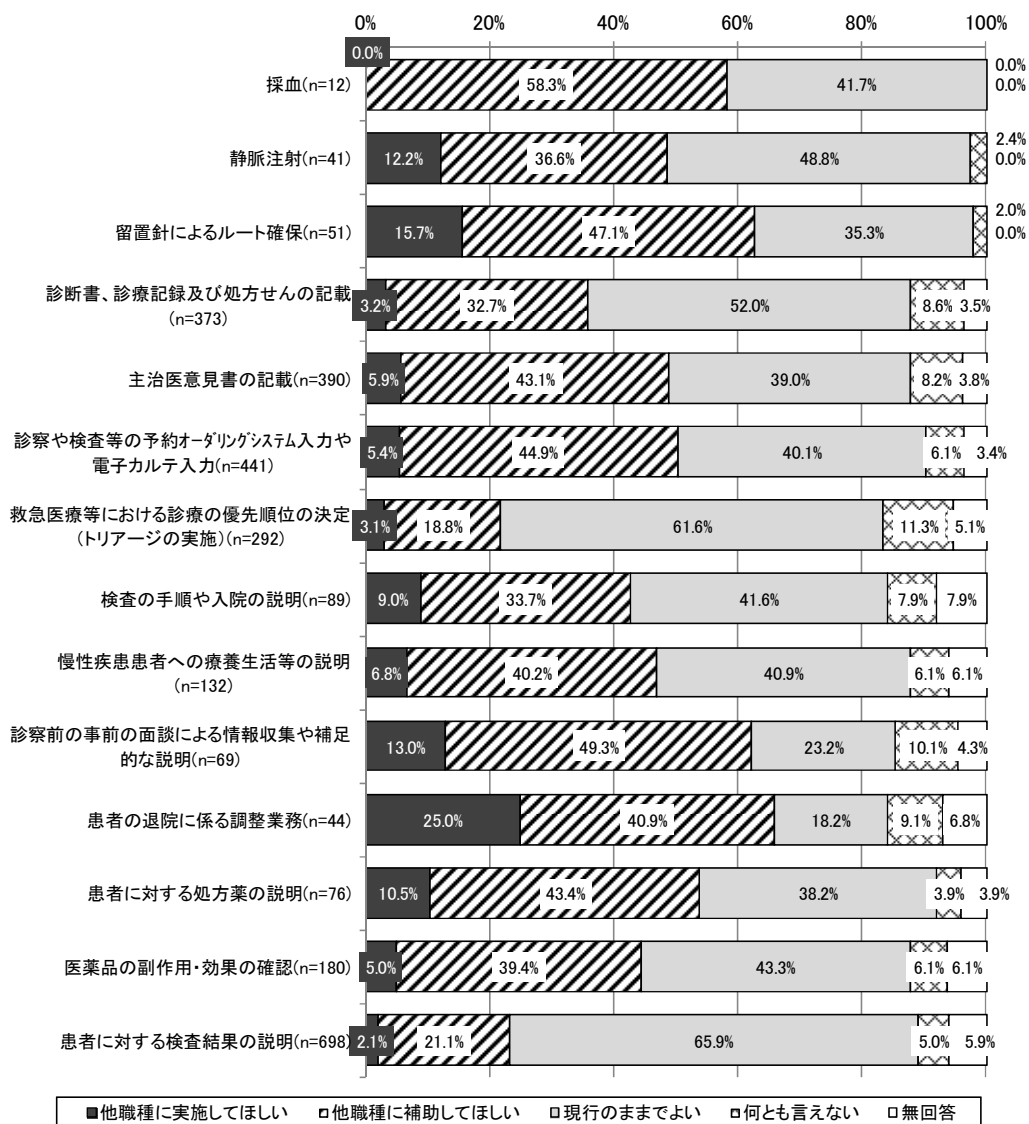
図表 186 各業務の他職種との業務分担の取組状況（n=864）



④各業務に関する他職種への期待

医師のみが実施している場合の各業務に関する他職種への期待についてみると、「他職種に実施してほしい」の割合が高かったのは、「患者の退院に係る調整業務」(25.0%)、「留置針によるルート確保」(15.7%)であった。「他職種に補助してほしい」の割合が高かったのは、「採血」(58.3%)、「診察前の事前の面談による情報収集や補足的な説明」(49.3%)であった。

図表 187 各業務に関する他職種への期待（医師のみが実施している場合）



⑤負担に感じている業務で医師以外の職員と役割分担できる業務

負担に感じている業務で医師以外の職員と役割分担できる業務として、以下の内容が挙げられた。

図表 188 負担に感じている業務で医師以外の職員と役割分担できる業務（自由記述式）

○事務作業

- ・ 紹介状の発行、紹介先の検索。
- ・ 他院への診療情報提供書の補助等。
- ・ 院内感染対策チームにおけるサーベイランスの集計や入力。
- ・ 当直表の作成。
- ・ 病歴要約・手術記録・療養計画書等の書類作成・入力業務。
- ・ 学会発表・論文作成等におけるデータ収集。 / 等

○患者対応

- ・ 患者に対する病状説明や家族説明の入力・記載。
- ・ 検査日の日程調整、次回外来予約。
- ・ 介護保険主治医意見書の家庭での ADL や認知機能の問診。
- ・ 診察前の予診。
- ・ 患者の呼び込み、誘導、退室補助。
- ・ 患者搬送業務。 / 等

○診療の補助

- ・ 化学療法時の投薬や点滴の作製。
- ・ ポート針の交換、化学療法時の静脈ラインの確保、ボトル交換。
- ・ 医療器具の検査室への移動。 / 等

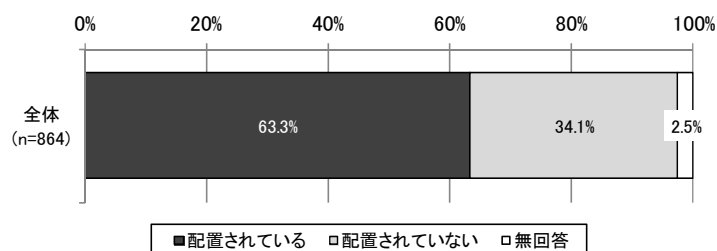
(4) 他職種との連携の状況や連携に関する考え等

①病棟における薬剤師の配置

1) 病棟における薬剤師の配置状況

病棟における薬剤師の配置状況についてみると、「配置されている」が 63.3%、「配置されていない」が 34.1%であった。

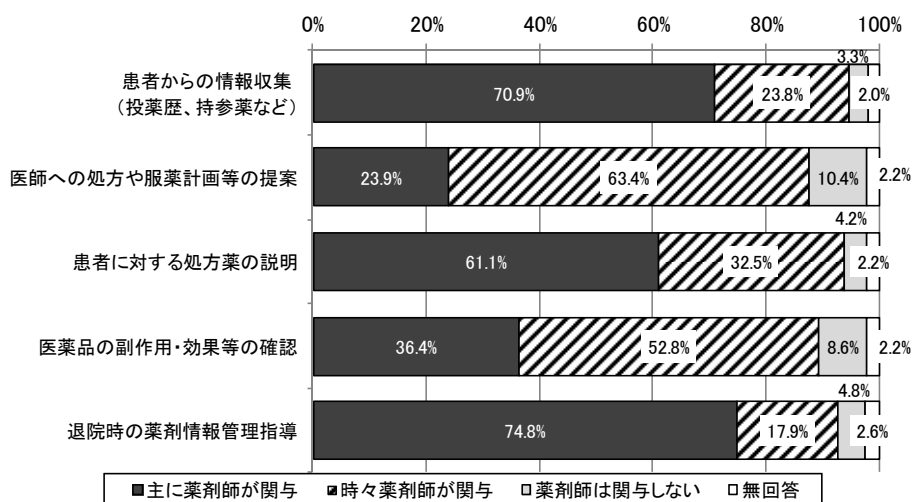
図表 189 病棟における薬剤師の配置状況



2) 病棟における薬剤師の関与の状況

病棟における薬剤師の関与の状況についてみると、「主に薬剤師が関与」の割合が高かったのは、「退院時の薬剤情報管理指導」(74.8%)、「患者からの情報収集(投薬歴、持参薬など)」(70.9%)、「患者に対する処方薬の説明」(61.1%)であった。

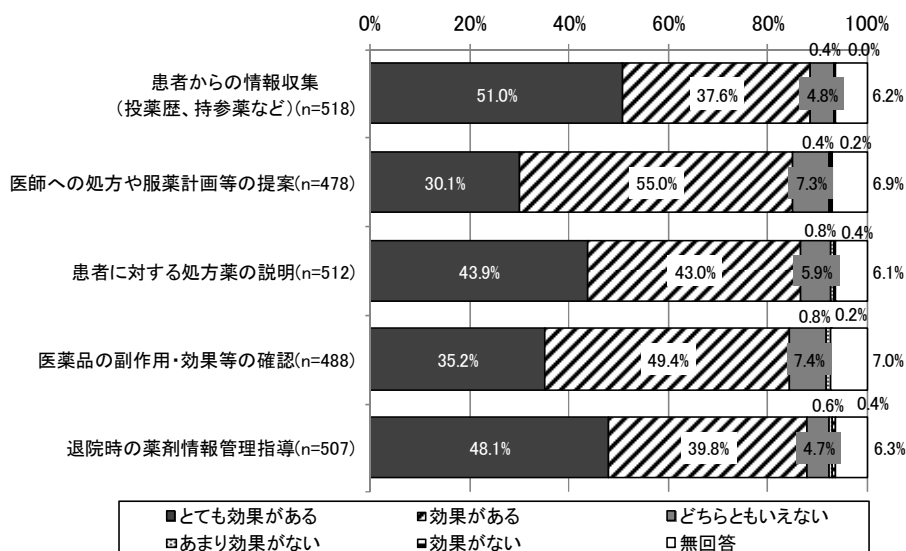
図表 190 病棟における薬剤師の関与の状況(病棟に薬剤師が配置されている医師、n=547)



3) 病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果

病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果についてみると、すべての項目で「とても効果がある」「効果がある」を合わせた割合が8割を超えた。

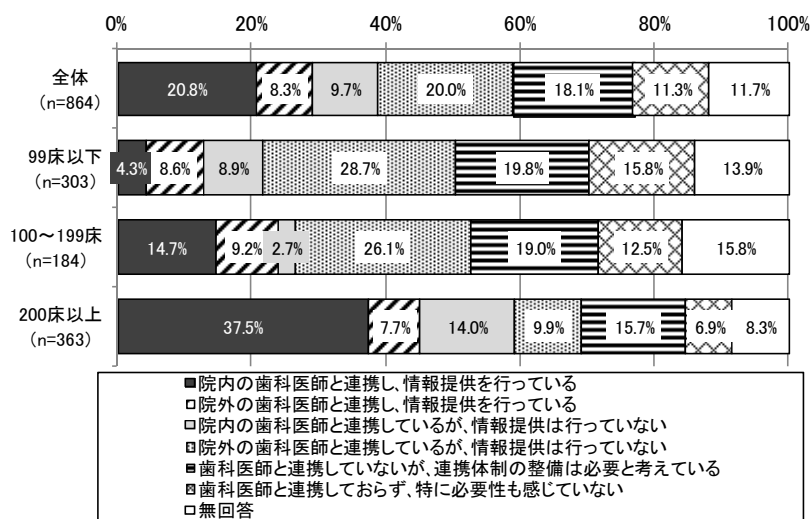
図表 191 病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果
(薬剤師が関与している場合)



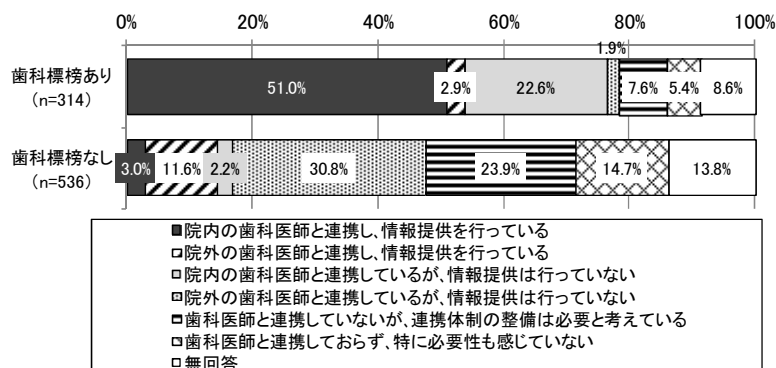
②周術期口腔機能管理における歯科医師との連携状況

周術期口腔機能管理における歯科医師との連携状況についてみると、全体では、歯科医師と連携し、情報提供を行っているのは 29.1%であった。病床規模が大きくなるほど、歯科医師と連携し情報提供を行っている割合が高くなる傾向がみられた。

図表 192 周術期口腔機能管理の必要性を感じ、歯科医師と連携しているか

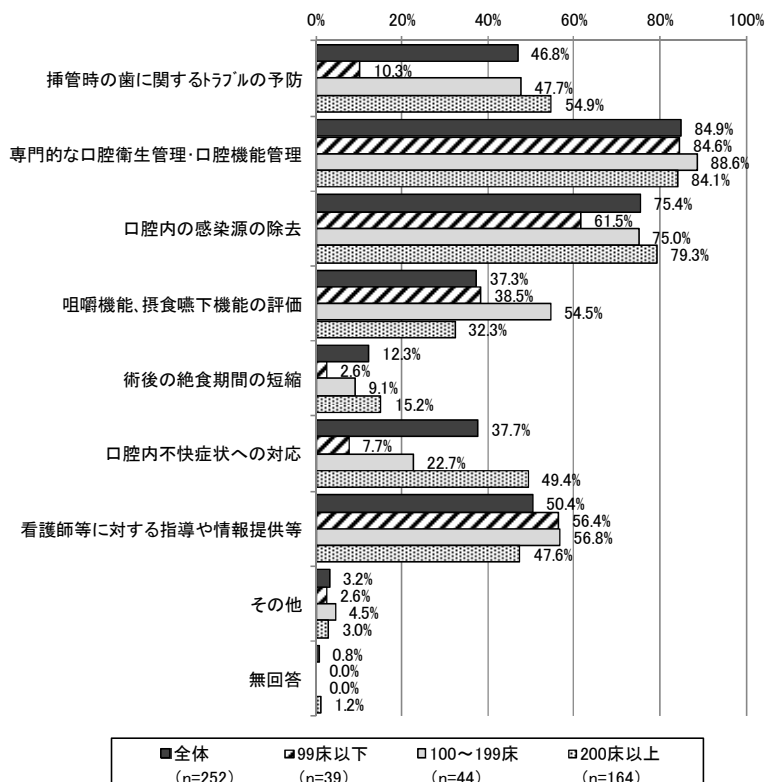


図表 193 周術期口腔機能管理の必要性を感じ、歯科医師と連携しているか
(歯科の標榜有無別)

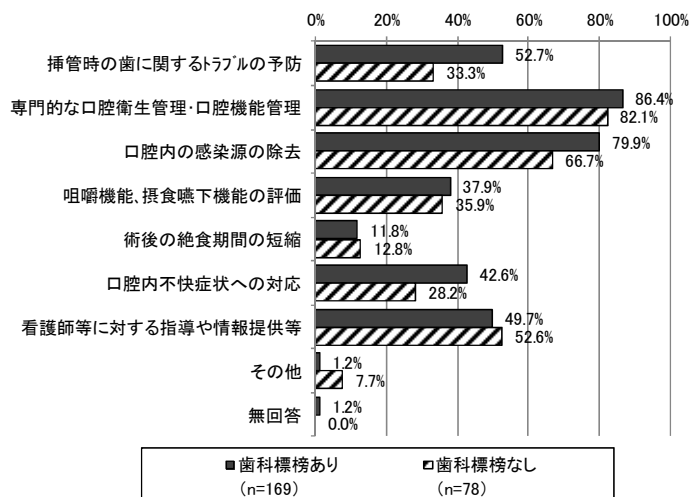


周術期口腔機能管理について院内又は院外の歯科医師と連携している医師が歯科医師との連携の効果として期待していることについてみると、全体では、「専門的な口腔衛生管理・口腔機能管理」が 84.9%で最も高く、次いで「口腔内の感染源の除去」(75.4%)であった。

図表 194 歯科医師との連携の効果として期待していること
(周術期口腔機能管理について院内又は院外の歯科医師と連携している医師、複数回答)

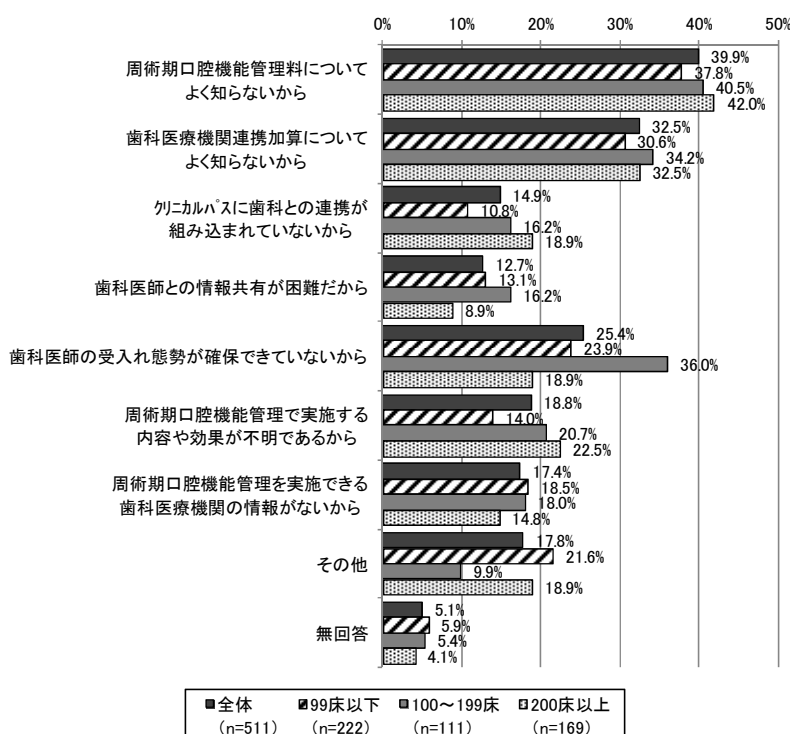


図表 195 歯科医師との連携の効果として期待していること（歯科の標榜有無別）（周術期口腔機能管理について院内又は院外の歯科医師と連携している医師、複数回答）

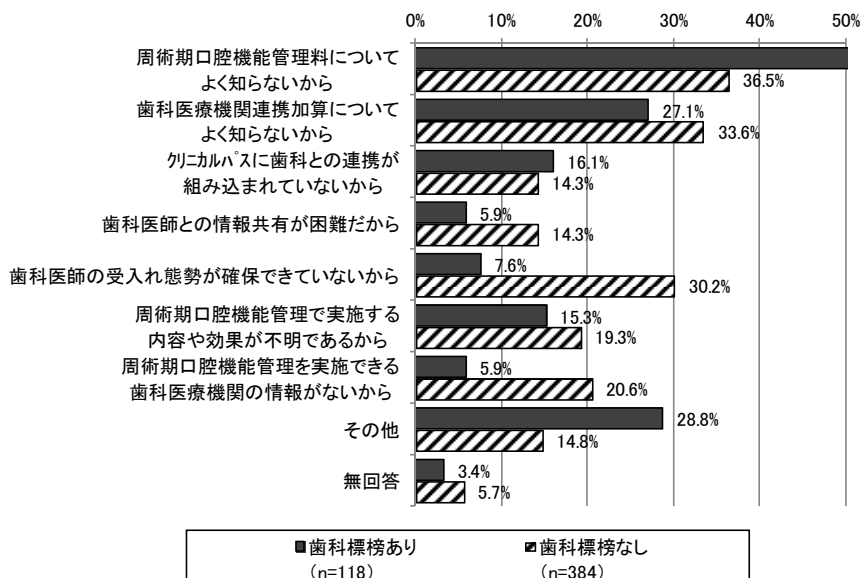


周術期口腔機能管理について歯科医師と連携していない医師が歯科医師との連携をしていない理由についてみると、全体では、「周術期口腔機能管理料についてよく知らないから」が39.9%で最も高く、次いで「歯科医療機関連携加算についてよく知らないから」(32.5%)であった。

図表 196 歯科医師との連携していない理由（周術期口腔機能管理について歯科医師と連携していない医師、複数回答）



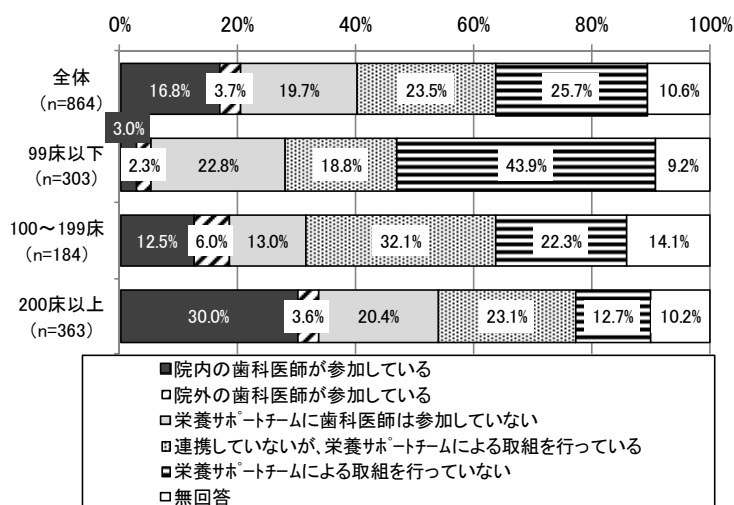
図表 197 歯科医師との連携していない理由（歯科の標榜有無別）（周術期口腔機能管理について歯科医師と連携していない医師、複数回答）



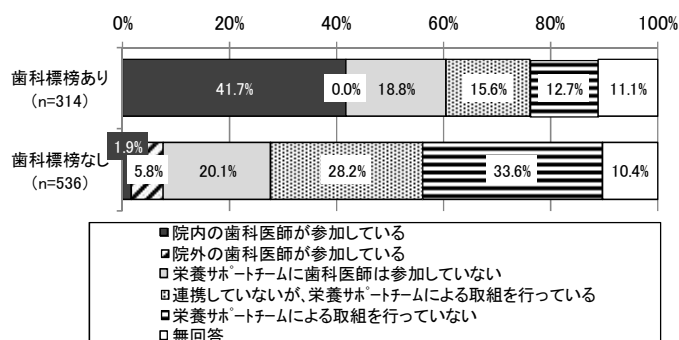
③栄養サポートチームにおける歯科医師との連携状況

栄養サポートチームにおける歯科医師との連携状況についてみると、全体では、歯科医師が参加しているのは 20.5%であった。病床規模が大きくなるほど、歯科医師が参加している割合が高くなる傾向がみられた。

図表 198 栄養サポートチームにおいて歯科医師と連携しているか

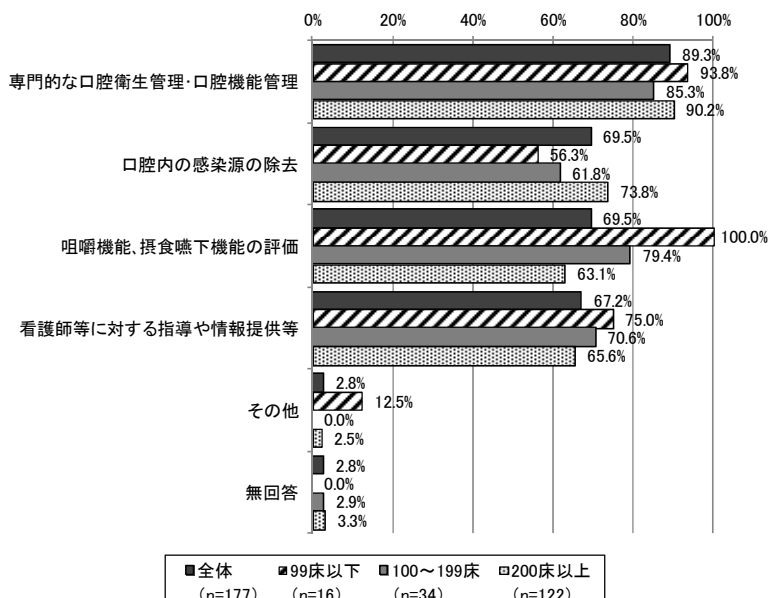


図表 199 栄養サポートチームにおいて歯科医師と連携しているか（歯科の標榜有無別）

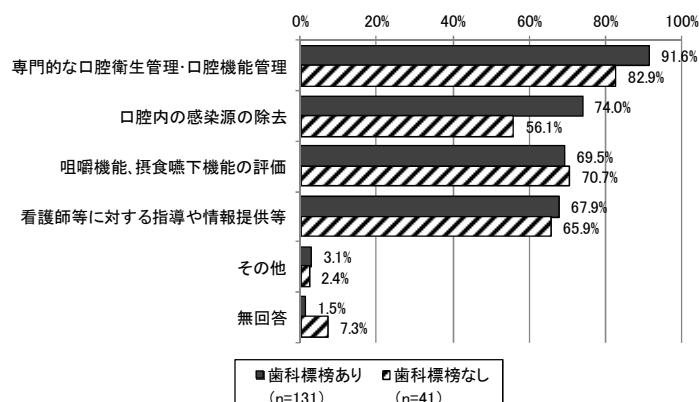


栄養サポートチームについて院内又は院外の歯科医師と連携している医師が歯科医師との連携の効果として期待していることについてみると、全体では、「専門的な口腔衛生管理・口腔機能管理」が 89.3%で最も高く、次いで「口腔内の感染源の除去」「咀嚼機能、摂食嚥下機能の評価」（いずれも 69.5%）、「看護師等に対する指導や情報提供等」（67.2%）であった。

図表 200 歯科医師との連携の効果として期待していること（栄養サポートチームについて院内又は院外の歯科医師と連携している医師、複数回答）

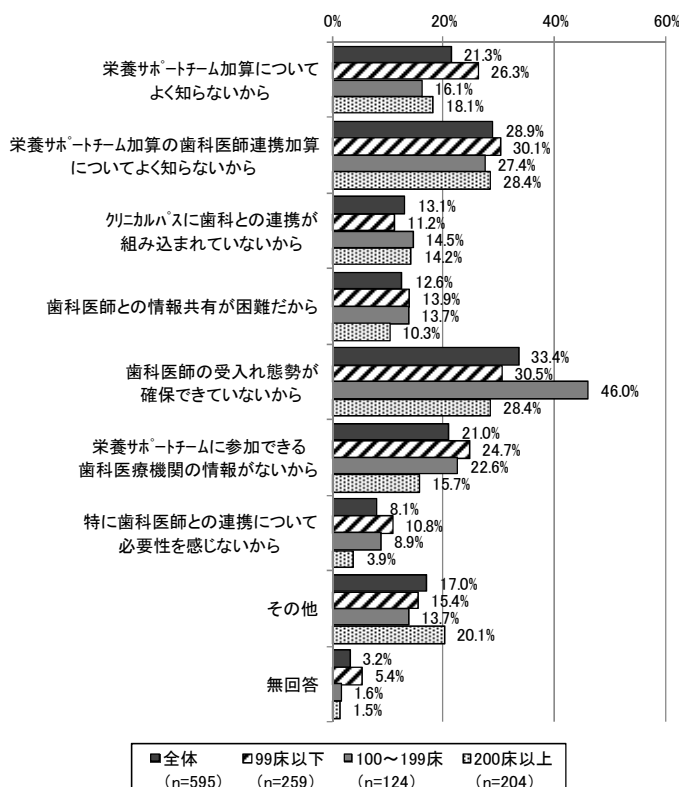


図表 201 歯科医師との連携の効果として期待していること（歯科標榜の有無別）（栄養サポートチームについて院内又は院外の歯科医師と連携している医師、複数回答）

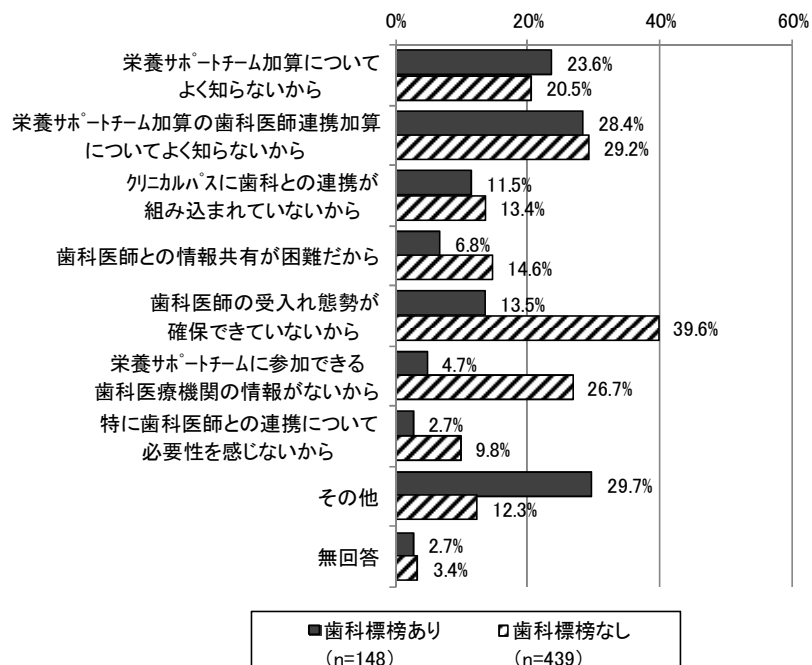


栄養サポートチームについて歯科医師と連携していない医師が歯科医師との連携していない理由についてみると、全体では、「歯科医師の受入れ態勢が確保できていないから」が33.4%で最も高く、次いで「栄養サポートチーム加算の歯科医師連携加算についてよく知らないから」（28.9%）であった。

図表 202 歯科医師との連携していない理由（栄養サポートチームについて歯科医師と連携していない医師、複数回答）



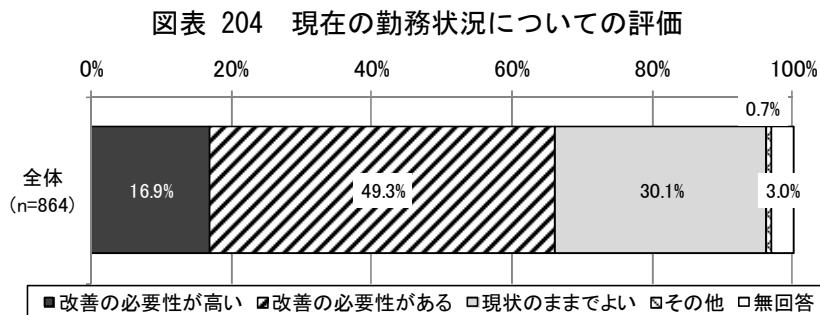
図表 203 歯科医師との連携していない理由（歯科標榜の有無別）（栄養サポートチームについて歯科医師と連携していない医師、複数回答）



(5) 現在の勤務状況

①現在の勤務状況についての評価

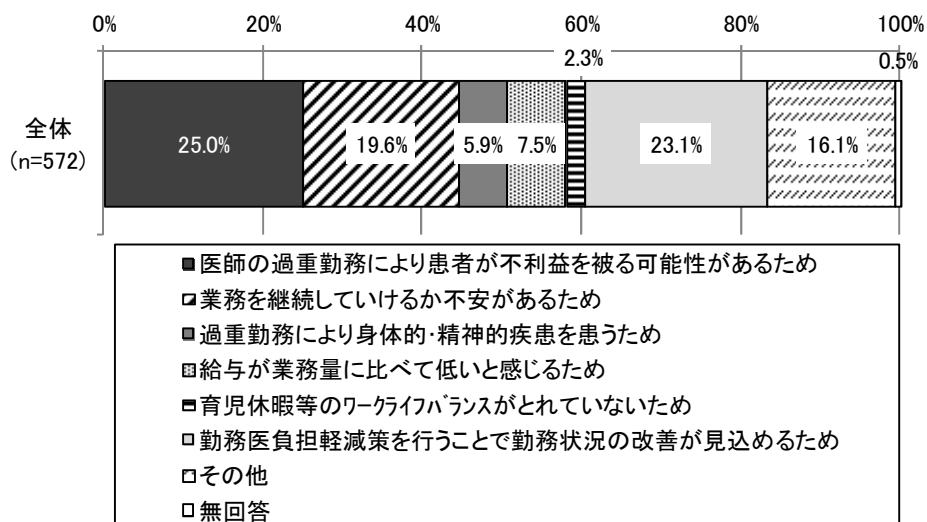
現在の勤務状況についての評価をみると、「改善の必要性が高い」が16.9%、「改善の必要性がある」が49.3%で、改善の必要性がある医師は合わせて66.2%であった。



②現在の勤務状況について改善の必要性があると評価した最大の理由

現在の勤務状況について改善の必要性があると評価した最大の理由をみると、「医師の過重勤務により患者が不利益を被る可能性があるため」が25.0%で最も高く、次いで「勤務医負担軽減策を行うことで勤務状況の改善が見込めるため」(23.1%)であった。

図表 205 現在の勤務状況について改善の必要性があると評価した最大の理由
 (「改善の必要性が高い」「改善の必要性がある」と回答した医師、単数回答)



4. 看護師長調査の結果

【調査対象等】

調査対象：対象施設の病棟のうち、特定入院料の病棟の看護師長1名、一般病棟の看護師長2名、療養病棟の看護師長1名、精神病棟の看護師長1名、1施設につき最大5名。なお、該当病棟がない場合は一般病棟の抽出数を増やすこととした。

回答数：1,153名

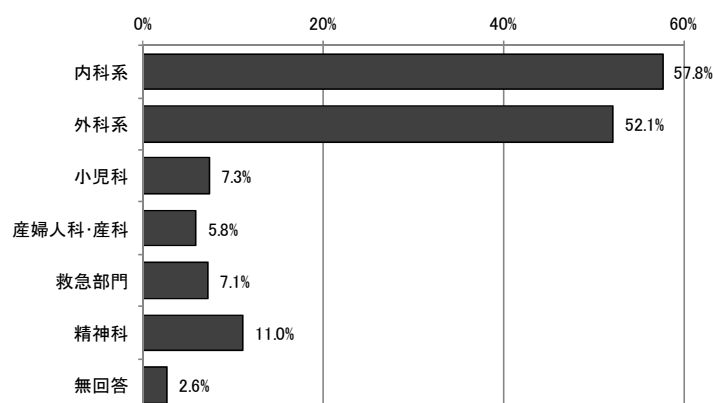
回答者：看護師長

(1) 病棟の概要（平成28年10月末現在）

①病棟の主たる診療科

病棟の主たる診療科は次のとおりである。

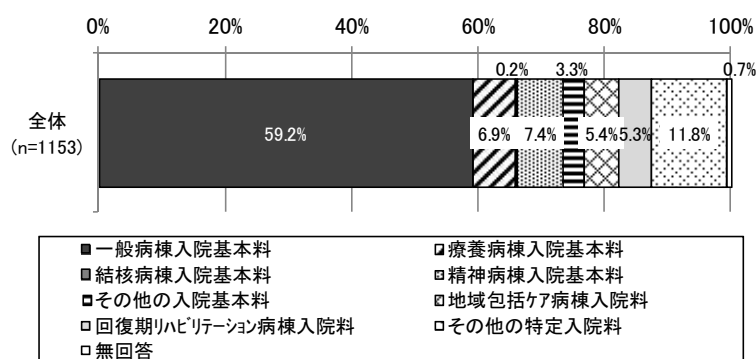
図表 206 病棟の主たる診療科（複数回答、n=1,153）



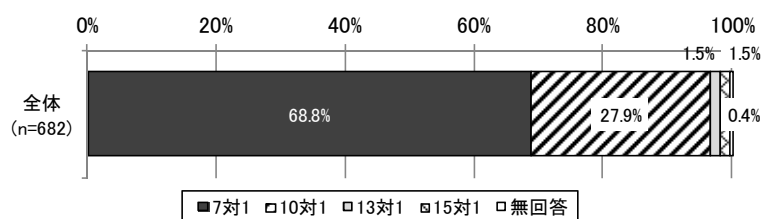
②診療報酬上の病棟の種類

診療報酬上の病棟の種類は次のとおりである。

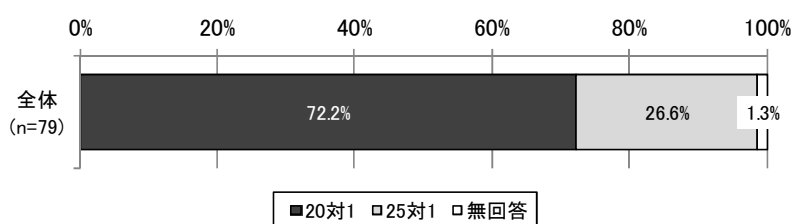
図表 207 診療報酬上の病棟の種類別



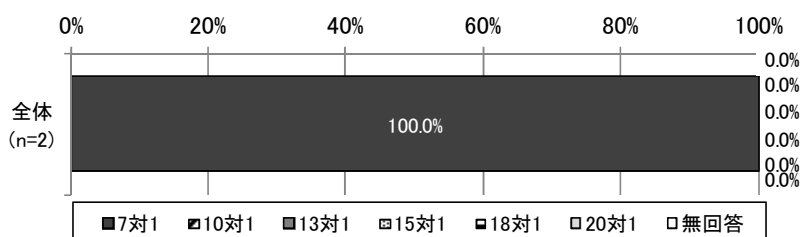
図表 208 一般病棟入院基本料の詳細



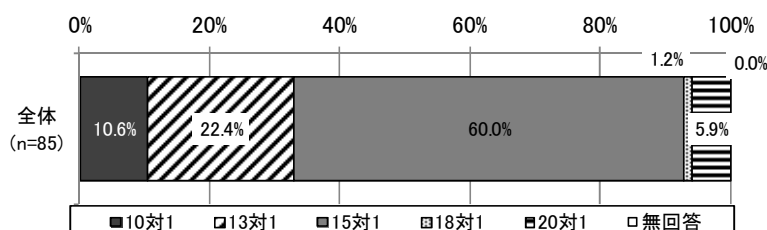
図表 209 療養病棟入院基本料の詳細



図表 210 結核病棟入院基本料の詳細



図表 211 精神病棟入院基本料の詳細



③病棟の許可病床数

病棟の許可病床数は次のとおりである。

図表 212 病棟の許可病床数

(単位：床)

| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-------|------|------|------|
| 1,127 | 43.8 | 13.1 | 47.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

④病棟の病床利用率

病棟の病床利用率は次のとおりである。

図表 213 病棟の病床利用率

(単位：%)

| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-------|------|------|------|
| 1,115 | 79.4 | 15.7 | 82.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

⑤平成 28 年 10 月 1 か月間における病棟の新規入院患者数

平成 28 年 10 月 1 か月間における病棟の新規入院患者数は次のとおりである。

図表 214 平成 28 年 10 月 1 か月間における病棟の新規入院患者数

(単位：人)

| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-------|------|------|------|
| 1,130 | 66.5 | 79.6 | 58.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

⑥病棟の平均在院日数

病棟の平均在院日数は次のとおりである。

図表 215 病棟の平均在院日数（病棟の種類別）

（単位：日）

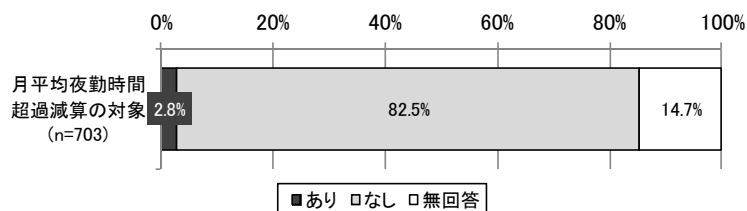
| | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-------|------|-------|-------|-------|
| 一般病棟 | 660 | 15.4 | 8.9 | 13.9 |
| 療養病棟 | 66 | 269.2 | 295.8 | 185.8 |
| 精神病棟 | 76 | 377.5 | 559.6 | 131.2 |
| その他病棟 | 286 | 139.8 | 432.1 | 26.5 |

- (注)・記入のあった回答者を集計対象とした。
 ・一般病棟、療養病棟、精神病棟、その他病棟は、診療報酬上の病棟の種類について、それぞれ一般病棟入院基本料、療養病棟入院基本料、精神病棟入院基本料、その他の入院基本料及び特定入院料を選択した回答者とした。

⑦月平均夜勤時間超過減算（平成 28 年 4 月以降）の有無

月平均夜勤時間超過減算（平成 28 年 4 月以降）についてみると、月平均夜勤時間超過減算の対象病棟では、「あり」が 2.8%であった。

図表 216 月平均夜勤時間超過減算（平成 28 年 4 月以降）の有無

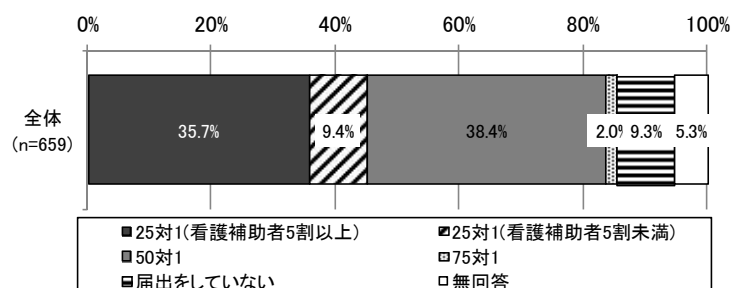


- (注)「月平均夜勤超過減算の対象」は、特定機能病院以外の施設で、診療報酬上の病棟の種類として一般病棟入院基本料、療養病棟入院基本料（25 対 1）、結核病棟入院基本料、精神病棟入院基本料を選択した回答者とした。

⑧急性期看護補助体制加算の届出状況

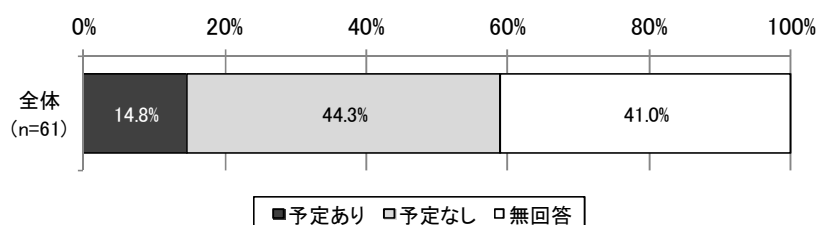
急性期看護補助体制加算の届出状況についてみると、「25 対 1（看護補助者 5 割以上）」が 35.7%、「25 対 1（看護補助者 5 割未満）」が 9.4%、「50 対 1」が 38.4%、「75 対 1」が 2.0%、「届出をしていない」が 9.3%であった。

図表 217 急性期看護補助体制加算の届出状況

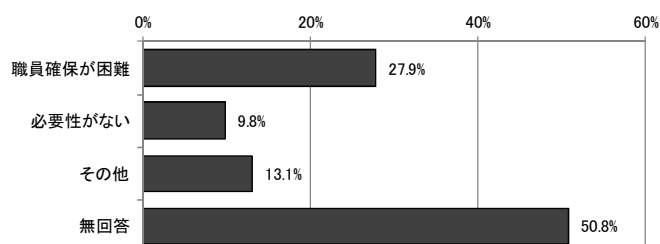


急性期看護補助体制加算の届出をしていない病棟の届出の予定についてみると、「予定なし」が 44.3%であった。届出をしていない理由についてみると、「職員確保が困難」が 27.9%で最も多かった。

図表 218 急性期看護補助体制加算の届出の予定
(急性期看護補助体制加算の届出をしていない病棟)



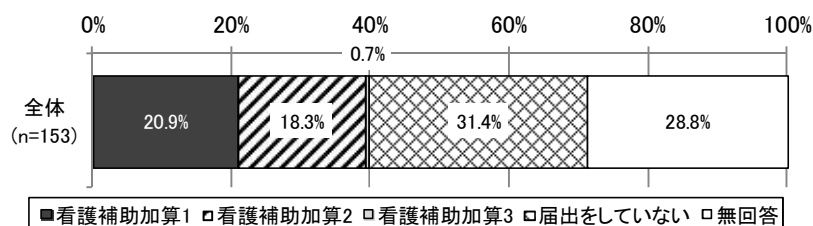
図表 219 急性期看護補助体制加算の届出をしていない理由
(急性期看護補助体制加算の届出をしていない病棟、複数回答、n=61)



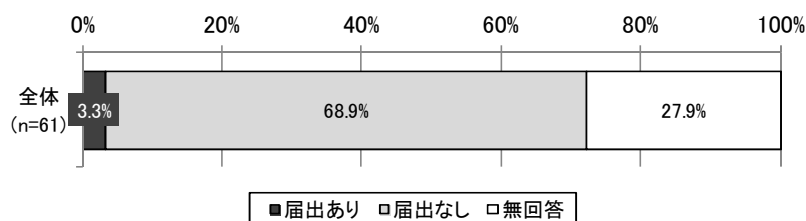
⑨看護補助加算の届出状況

看護補助加算の届出状況についてみると、「看護補助加算 1」が 20.9%、「看護補助加算 2」が 18.3%、「看護補助加算 3」が 0.7%、「届出をしていない」が 31.4%であった。

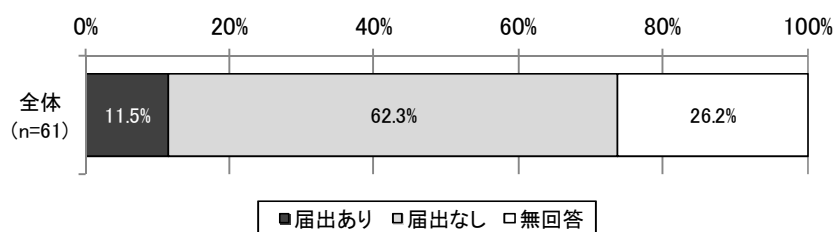
図表 220 看護補助加算の届出状況
(13 対 1、15 対 1、18 対 1、20 対 1 入院基本料を算定する病棟)



図表 221 夜間 75 対 1 看護補助加算の届出状況 (看護補助加算の算定病棟)

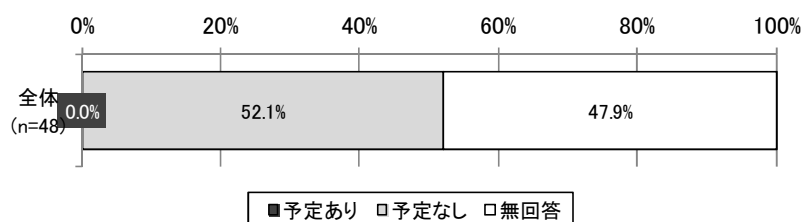


図表 222 夜間看護体制加算の届出状況 (看護補助加算の算定病棟)

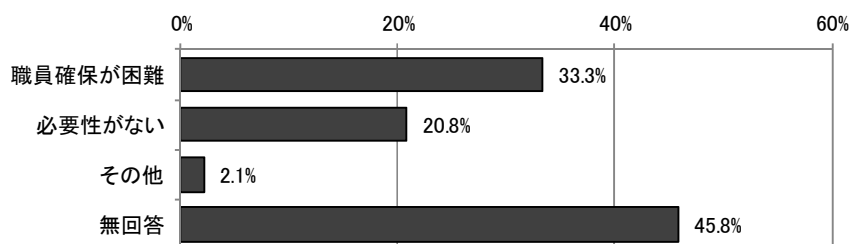


看護補助加算の届出をしていない病棟の届出の予定についてみると、「予定あり」は0.0%であった。届出をしていない理由についてみると、「職員確保が困難」が33.3%で最も多かった。

図表 223 看護補助加算の届出の予定（看護補助加算の届出をしていない病棟）



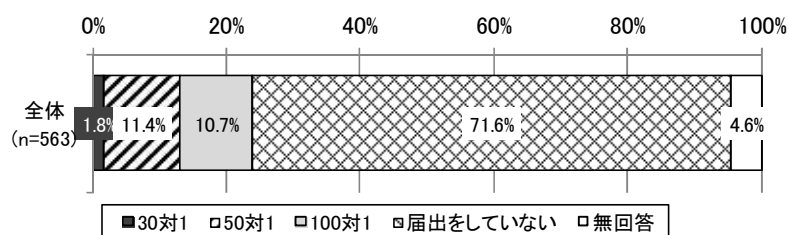
図表 224 看護補助加算の届出をしていない理由
（看護補助加算の届出をしていない病棟、複数回答、n=48）



⑩夜間急性期看護補助体制加算の届出状況

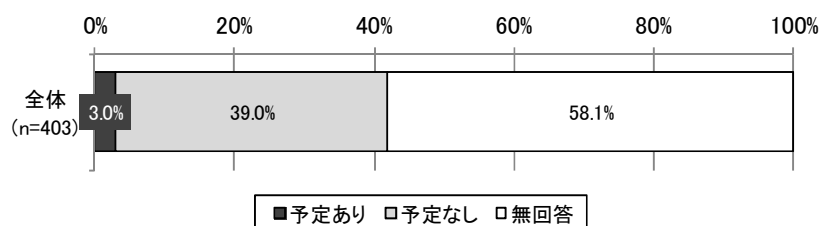
夜間急性期看護補助体制加算の届出状況についてみると、「30対1」が1.8%、「50対1」が11.4%、「100対1」が10.7%、「届出をしていない」が71.6%であった。

図表 225 夜間急性期看護補助体制加算の届出状況
（急性期看護補助体制加算を算定する病棟）

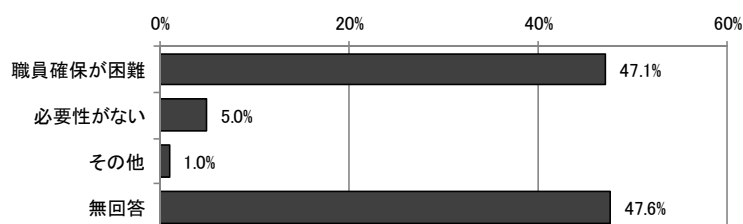


夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない病棟の届出の予定についてみると、「予定なし」が39.0%であった。届出をしていない理由についてみると、「職員確保が困難」が47.1%で最も多かった。

図表 226 夜間急性期看護補助体制加算の届出の予定
(夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない病棟)



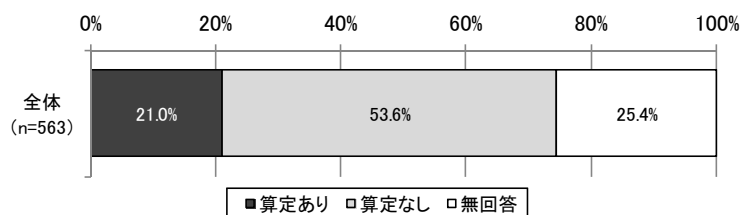
図表 227 夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない理由
(夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない病棟、複数回答、n=403)



⑪夜間看護体制加算（急性期看護補助体制加算）の算定状況

夜間看護体制加算（急性期看護補助体制加算）の算定状況についてみると、「算定あり」が21.0%、「算定なし」が53.6%であった。

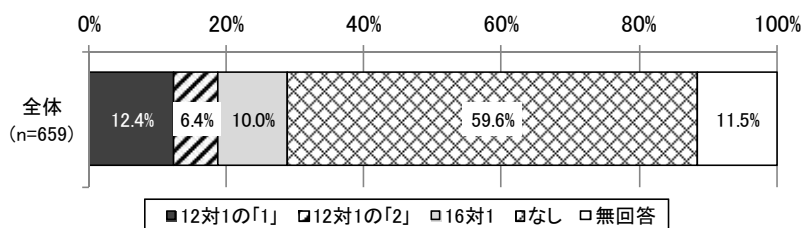
図表 228 夜間看護補助体制加算（急性期看護補助体制加算）の算定状況
(急性期看護補助体制加算を算定する病棟)



⑫看護職員夜間配置加算の届出状況

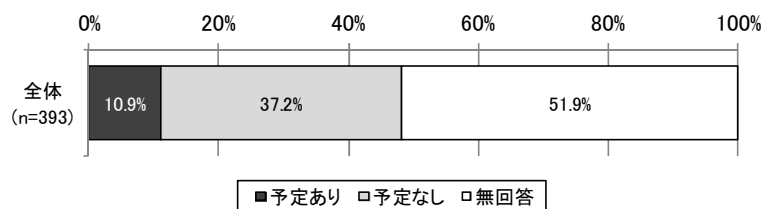
看護職員夜間配置加算の届出状況についてみると、「12対1の『1』」が12.4%、「12対1の『2』」が6.4%、「16対1」が10.0%、「なし」が59.6%であった。

図表 229 看護職員夜間配置加算の届出状況
(7対1、10対1入院基本料を算定する病棟)

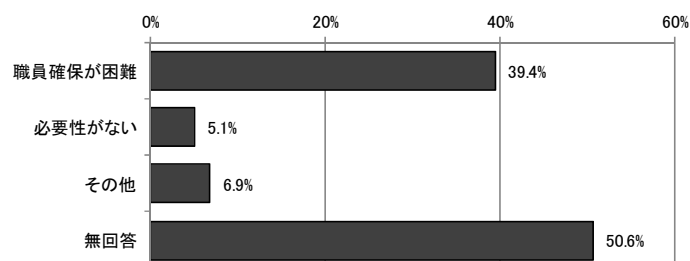


看護職員夜間配置加算の届出をしていない病棟の届出の予定についてみると、「予定なし」が37.2%であった。届出をしていない理由についてみると、「職員確保が困難」が39.4%で最も多かった。

図表 230 看護職員夜間配置加算の届出の予定
(看護職員夜間配置加算の届出をしていない病棟)



図表 231 看護職員夜間配置加算の届出をしていない理由
(看護職員夜間配置加算の届出をしていない病棟、複数回答、n=393)

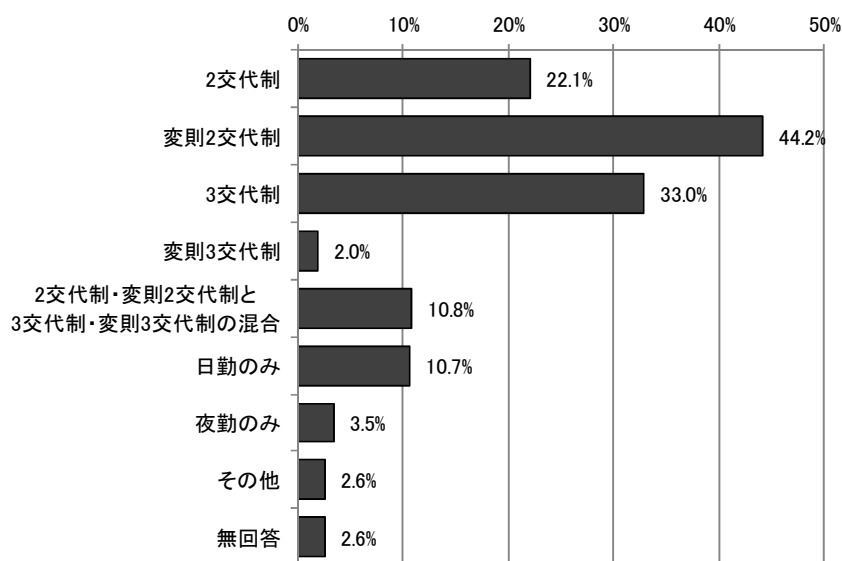


(2) 看護職員・看護補助者の勤務状況等

①看護職員の勤務形態

看護職員の勤務形態は次のとおりである。

図表 232 看護職員の勤務形態（複数回答、n=1,153）



(注) 定義は以下のとおりである。

2交代制：日勤・夜勤が12時間ずつ等といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが同じになる交代勤務。

変則2交代制：日勤8時間、夜勤16時間といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務。

3交代制：日勤・準夜勤・深夜勤が8時間ずつの交代勤務。

変則3交代制：日勤9時間、準夜勤7時間、深夜勤8時間といった日勤・準夜勤・深夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務。

②看護職員・看護補助者の勤務状況等

1) 病棟の職員数（夜勤専従者は除く）

病棟の職員数（夜勤専従者は除く）についてみると、平成 27 年 10 月における常勤の看護師は平均 21.7 人、常勤の准看護師は平均 1.9 人、常勤の看護補助者は平均 3.7 人であった。平成 28 年 10 月における常勤の看護師は平均 21.9 人、常勤の准看護師は平均 1.7 人、常勤の看護補助者は平均 3.6 人であった。

平成 27 年 10 月における非常勤の看護師は平均 1.0 人、非常勤の准看護師は平均 0.2 人、非常勤の看護補助者は平均 1.6 人であった。平成 28 年 10 月における非常勤の看護師は平均 1.1 人、非常勤の准看護師は平均 0.2 人、非常勤の看護補助者は平均 1.6 人であった。

図表 233 病棟の職員数（夜勤専従者は除く）

（単位：人）

| | | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | |
|-----|-------|-------|--------------|------|------|--------------|------|------|
| | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 看護師 | 1,087 | 21.7 | 9.6 | 22.0 | 21.9 | 9.5 | 22.0 |
| | 准看護師 | | 1.9 | 3.7 | 0.0 | 1.7 | 3.0 | 0.0 |
| | 看護補助者 | | 3.7 | 4.6 | 2.0 | 3.6 | 4.6 | 2.0 |
| 非常勤 | 看護師 | | 1.0 | 2.3 | 0.0 | 1.1 | 2.1 | 0.0 |
| | 准看護師 | | 0.2 | 0.6 | 0.0 | 0.2 | 0.7 | 0.0 |
| | 看護補助者 | | 1.6 | 2.4 | 0.8 | 1.6 | 2.5 | 0.8 |

（注）・平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。
 ・非常勤は常勤換算人数。

2) 看護職員の勤務時間等（夜勤専従者は除く）

看護職員の勤務時間等（夜勤専従者は除く）についてみると、全体では、常勤の看護職員における平成 27 年 10 月の月平均勤務時間は平均 158.2 時間、月平均夜勤時間は平均 66.5 時間であった。平成 28 年 10 月の月平均勤務時間は平均 155.4 時間、月平均夜勤時間は平均 66.2 時間であった。平成 27 年と平成 28 年を比較すると、月平均勤務時間は 2.8 時間減少した。

非常勤の看護職員では、平成 27 年 10 月の月平均勤務時間は平均 101.9 時間、月平均夜勤時間は平均 15.2 時間であった。平成 28 年 10 月の月平均勤務時間は平均 97.8 時間、月平均夜勤時間は平均 13.9 時間であった。平成 27 年と平成 28 年を比較すると、月平均勤務時間は 4.1 時間、月平均夜勤時間は 1.3 時間減少した。

図表 234 常勤看護職員の勤務時間等（夜勤専従者は除く）

（単位：時間）

| | | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | |
|------------------------|-----------|------|--------------|------|-------|--------------|------|-------|
| | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 平均勤務時間/月 | 854 | 158.2 | 22.8 | 161.0 | 155.4 | 23.0 | 159.0 |
| | 平均夜勤時間/月 | | 66.5 | 14.4 | 67.7 | 66.2 | 14.7 | 67.1 |
| | 夜勤時間(最小値) | | 31.9 | 18.7 | 30.0 | 32.4 | 18.8 | 32.0 |
| | 夜勤時間(最大値) | | 90.7 | 24.8 | 88.5 | 89.7 | 25.0 | 88.6 |
| 【再掲】 72時間要件 の対象 | 平均勤務時間/月 | 614 | 159.1 | 22.5 | 161.9 | 155.7 | 23.3 | 159.0 |
| | 平均夜勤時間/月 | | 65.6 | 13.4 | 67.2 | 64.8 | 13.6 | 66.3 |
| | 夜勤時間(最小値) | | 31.2 | 18.0 | 28.8 | 31.0 | 18.5 | 30.6 |
| | 夜勤時間(最大値) | | 90.4 | 24.8 | 88.0 | 89.1 | 25.0 | 88.3 |
| 【再掲】 72時間要件 の対象外 | 平均勤務時間/月 | 236 | 155.6 | 23.3 | 160.1 | 154.6 | 22.4 | 159.1 |
| | 平均夜勤時間/月 | | 68.7 | 16.5 | 70.1 | 69.5 | 16.8 | 69.4 |
| | 夜勤時間(最小値) | | 33.4 | 20.2 | 31.5 | 35.8 | 19.4 | 32.0 |
| | 夜勤時間(最大値) | | 91.2 | 24.7 | 90.2 | 91.3 | 25.0 | 91.5 |

（注）・平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。

- ・「72 時間要件の対象」は、診療報酬上の病棟の種別として入院基本料（療養病棟入院基本料（20 対 1）を除く）を選択した回答者とした。「72 時間要件の対象外」は、診療報酬上の病棟の種別として療養病棟入院基本料（20 対 1）及び特定入院料を選択した回答者とした。
- ・勤務時間：実際に勤務した時間（残業時間も含む）。
- ・夜勤時間は、延べ夜勤時間数÷夜勤従事者の合計数で算出（夜勤従事者=夜勤時間帯に病棟で勤務する時間÷夜勤時間帯に病院内（病棟+病棟外）で勤務する時間）。なお、次の該当者は除外した。a）夜勤専従者（専ら夜勤時間帯に従事する者）、b）7 対 1 入院基本料病棟及び 10 対 1 入院基本料の病棟の場合は月夜勤時間数が 16 時間未満及び短時間正職員で月夜勤時間数が 12 時間未満の者、c）7 対 1 入院基本料病棟及び 10 対 1 入院基本料の病棟以外の病棟の場合は、月夜勤時間数が 8 時間未満の者。
- ・最小値は 1 か月の夜勤時間が最も短かった看護職員の夜勤時間。最大値は 1 か月の夜勤時間が最も長かった看護職員の夜勤時間とする（夜勤に従事していない人は除く）。

図表 235 非常勤看護職員の勤務時間等（夜勤専従者は除く）

(単位：時間)

| | | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | |
|------------------------|-----------|------|--------------|------|-------|--------------|------|-------|
| | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 平均勤務時間/月 | 352 | 101.9 | 45.1 | 110.3 | 97.8 | 45.5 | 105.5 |
| | 平均夜勤時間/月 | | 15.2 | 25.6 | 0.0 | 13.9 | 25.1 | 0.0 |
| | 夜勤時間(最小値) | | 11.0 | 21.5 | 0.0 | 11.8 | 23.3 | 0.0 |
| | 夜勤時間(最大値) | | 17.9 | 30.4 | 0.0 | 18.4 | 33.0 | 0.0 |
| 【再掲】 72時間要件 の対象 | 平均勤務時間/月 | 235 | 104.3 | 44.9 | 114.1 | 98.3 | 46.2 | 105.0 |
| | 平均夜勤時間/月 | | 14.9 | 25.1 | 0.0 | 13.5 | 25.1 | 0.0 |
| | 夜勤時間(最小値) | | 10.3 | 19.7 | 0.0 | 11.6 | 22.8 | 0.0 |
| | 夜勤時間(最大値) | | 17.2 | 29.7 | 0.0 | 17.8 | 33.0 | 0.0 |
| 【再掲】 72時間要件 の対象外 | 平均勤務時間/月 | 112 | 98.1 | 44.3 | 107.2 | 96.7 | 43.7 | 106.7 |
| | 平均夜勤時間/月 | | 16.6 | 26.9 | 0.0 | 15.5 | 25.5 | 0.0 |
| | 夜勤時間(最小値) | | 12.9 | 25.3 | 0.0 | 12.6 | 24.6 | 0.0 |
| | 夜勤時間(最大値) | | 20.3 | 32.3 | 0.0 | 20.4 | 33.6 | 0.0 |

(注)・平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。

- ・「72 時間要件の対象」は、診療報酬上の病棟の種別として入院基本料（療養病棟入院基本料（20 対 1）を除く）を選択した回答者とした。「72 時間要件の対象外」は、診療報酬上の病棟の種別として療養病棟入院基本料（20 対 1）及び特定入院料を選択した回答者とした。
- ・勤務時間：実際に勤務した時間（残業時間も含む）。
- ・夜勤時間は、延べ夜勤時間数÷夜勤従事者の合計数で算出（夜勤従事者=夜勤時間帯に病棟で勤務する時間÷夜勤時間帯に病院内（病棟+病棟外）で勤務する時間）。なお、次の該当者は除外した。a) 夜勤専従者（専ら夜勤時間帯に従事する者）、b) 7 対 1 入院基本料病棟及び 10 対 1 入院基本料の病棟の場合は月夜勤時間数が 16 時間未満及び短時間正職員で月夜勤時間数が 12 時間未満の者、c) 7 対 1 入院基本料病棟及び 10 対 1 入院基本料の病棟以外の病棟の場合は、月夜勤時間数が 8 時間未満の者。
- ・最小値は 1 か月の夜勤時間が最も短かった看護職員の夜勤時間。最大値は 1 か月の夜勤時間が最も長かった看護職員の夜勤時間とする（夜勤に従事していない人は除く）。

3) 病棟の看護職員の夜勤専従者

病棟の看護職員の夜勤専従者数についてみると、平成 27 年 10 月における常勤の看護師の夜勤専従者は平均 0.9 人、常勤の准看護師の夜勤専従者は平均 0.2 人であった。平成 28 年 10 月における常勤の看護師の夜勤専従者は平均 0.9 人、常勤の准看護師の夜勤専従者は平均 0.2 人であった。

平成 27 年 10 月における非常勤の看護師の夜勤専従者は平均 0.1 人、非常勤の准看護師の夜勤専従者は平均 0.0 人であった。平成 28 年 10 月における非常勤の看護師の夜勤専従者は平均 0.2 人、非常勤の准看護師の夜勤専従者は平均 0.0 人であった。

図表 236 病棟の看護職員の夜勤専従者

(単位：人)

| | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | |
|-----|------------|--------------|------|-----|--------------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 看護師の夜勤専従者 | 0.9 | 3.3 | 0.0 | 0.9 | 3.3 | 0.0 |
| | 准看護師の夜勤専従者 | 0.2 | 0.9 | 0.0 | 0.2 | 0.9 | 0.0 |
| 非常勤 | 看護師の夜勤専従者 | 0.1 | 0.9 | 0.0 | 0.2 | 1.0 | 0.0 |
| | 准看護師の夜勤専従者 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.0 |

(注)・平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。

・非常勤は常勤換算人数。

4) 看護職員の夜勤専従者の勤務時間等

看護職員の夜勤専従者の勤務時間等についてみると、常勤では、平成 27 年 10 月の月平均勤務時間は平均 142.4 時間、月平均夜勤時間は平均 139.0 時間であった。平成 28 年 10 月の月平均勤務時間は平均 143.3 時間、月平均夜勤時間は平均 138.1 時間であった。

非常勤では、平成 27 年 10 月の月平均勤務時間は平均 75.4 時間、月平均夜勤時間は平均 74.6 時間であった。平成 28 年 10 月の月平均勤務時間は平均 77.4 時間、月平均夜勤時間は平均 75.4 時間であった。

図表 237 看護職員の夜勤専従者の勤務時間等

(単位：時間)

| | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | |
|-----|-----------|--------------|------|-------|--------------|------|-------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 平均勤務時間/月 | 142.4 | 26.0 | 144.0 | 143.3 | 27.4 | 144.0 |
| | 平均夜勤時間/月 | 139.0 | 26.7 | 144.0 | 138.1 | 29.5 | 144.0 |
| | 夜勤時間(最小値) | 131.9 | 33.9 | 143.0 | 132.8 | 32.4 | 144.0 |
| | 夜勤時間(最大値) | 142.6 | 31.6 | 144.0 | 141.5 | 31.9 | 144.0 |
| 非常勤 | 平均勤務時間/月 | 75.4 | 41.4 | 63.0 | 77.4 | 40.8 | 65.7 |
| | 平均夜勤時間/月 | 74.6 | 38.2 | 68.2 | 75.4 | 37.0 | 65.7 |
| | 夜勤時間(最小値) | 63.8 | 45.3 | 47.3 | 61.6 | 43.4 | 46.5 |
| | 夜勤時間(最大値) | 89.9 | 42.6 | 82.0 | 89.8 | 40.8 | 86.8 |

(注)・平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。

・勤務時間：実際に勤務した時間（残業時間も含む）。

・夜勤時間は、延べ夜勤時間数÷夜勤従事者の合計数で算出（※夜勤従事者=夜勤時間帯に病棟で勤務する時間÷夜勤時間帯に病院内（病棟+病棟外）で勤務する時間）。

・最小値は 1 か月の夜勤時間が最も短かった看護職員の夜勤専従者の夜勤時間、最大値は 1 か月の夜勤時間が最も長かった看護職員の夜勤専従者の夜勤時間とする。

5) 看護職員 1 人あたりの月平均夜勤回数

看護職員 1 人あたりの月平均夜勤回数についてみると、2 交代・変則 2 交代の全体では、常勤職員においては、平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに平均 4.7 回であった。

非常勤職員においては、平成 27 年 10 月は平均 0.7 回、平成 28 年 10 月は平均 0.8 回であった。

図表 238 常勤看護職員 1 人あたりの月平均夜勤回数【2 交代・変則 2 交代】

(単位：回)

| | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | |
|-----------------|------|--------------|------|-----|--------------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 600 | 4.7 | 1.5 | 4.3 | 4.7 | 1.5 | 4.3 |
| 【再掲】72 時間要件の対象 | 430 | 4.6 | 1.4 | 4.2 | 4.6 | 1.4 | 4.2 |
| 【再掲】72 時間要件の対象外 | 166 | 4.9 | 1.7 | 4.6 | 5.0 | 1.6 | 4.8 |

(注)・平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。

・「72 時間要件の対象」は、診療報酬上の病棟の種別として入院基本料（療養病棟入院基本料（20 対 1）を除く）を選択した回答者とした。「72 時間要件の対象外」は、診療報酬上の病棟の種別として療養病棟入院基本料（20 対 1）及び特定入院料を選択した回答者とした。

図表 239 非常勤看護職員 1 人あたりの月平均夜勤回数【2 交代・変則 2 交代】

(単位：回)

| | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | |
|-----------------|------|--------------|------|-----|--------------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 429 | 0.7 | 1.8 | 0.0 | 0.8 | 1.8 | 0.0 |
| 【再掲】72 時間要件の対象 | 317 | 0.6 | 1.6 | 0.0 | 0.7 | 1.7 | 0.0 |
| 【再掲】72 時間要件の対象外 | 111 | 1.1 | 2.2 | 0.0 | 1.1 | 2.2 | 0.0 |

(注)・平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。

・「72 時間要件の対象」は、診療報酬上の病棟の種別として入院基本料（療養病棟入院基本料（20 対 1）を除く）を選択した回答者とした。「72 時間要件の対象外」は、診療報酬上の病棟の種別として療養病棟入院基本料（20 対 1）及び特定入院料を選択した回答者とした。

3交代・変則3交代の全体では、常勤職員においては、平成27年10月、平成28年10月はいずれも準夜勤で平均4.2回、深夜勤で平均4.1回であった。

非常勤職員においては、平成27年10月は準夜勤で平均0.8回、深夜勤で平均0.8回であった。平成28年10月は準夜勤で平均0.8回、深夜勤で平均1.1回であった。

図表 240 常勤看護職員1人あたりの月平均夜勤回数【3交代・変則3交代】

(単位：回)

| | | 回答者数 | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------------|-----|------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 準夜勤 | 287 | 4.2 | 1.0 | 4.0 | 4.2 | 1.0 | 4.0 |
| | 深夜勤 | 286 | 4.1 | 1.1 | 4.0 | 4.1 | 1.1 | 4.0 |
| 【再掲】72時間要件の対象 | 準夜勤 | 215 | 4.1 | 0.9 | 4.0 | 4.2 | 1.0 | 4.0 |
| | 深夜勤 | 214 | 4.0 | 1.0 | 4.0 | 4.0 | 1.0 | 4.0 |
| 【再掲】72時間要件の対象外 | 準夜勤 | 72 | 4.2 | 1.1 | 4.1 | 4.3 | 1.3 | 4.1 |
| | 深夜勤 | 72 | 4.2 | 1.2 | 4.0 | 4.3 | 1.4 | 4.0 |

(注)・平成27年10月、平成28年10月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。

- ・「72時間要件の対象」は、診療報酬上の病棟の種別として入院基本料（療養病棟入院基本料（20対1）を除く）を選択した回答者とした。「72時間要件の対象外」は、診療報酬上の病棟の種別として療養病棟入院基本料（20対1）及び特定入院料を選択した回答者とした。

図表 241 非常勤看護職員1人あたりの月平均夜勤回数【3交代・変則3交代】

(単位：回)

| | | 回答者数 | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------------|-----|------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全体 | 準夜勤 | 178 | 0.8 | 2.1 | 0.0 | 0.8 | 2.0 | 0.0 |
| | 深夜勤 | 178 | 0.8 | 2.1 | 0.0 | 1.1 | 2.4 | 0.0 |
| 【再掲】72時間要件の対象 | 準夜勤 | 135 | 1.0 | 2.3 | 0.0 | 1.0 | 2.2 | 0.0 |
| | 深夜勤 | 134 | 0.8 | 2.2 | 0.0 | 1.0 | 2.4 | 0.0 |
| 【再掲】72時間要件の対象外 | 準夜勤 | 43 | 0.4 | 1.2 | 0.0 | 0.3 | 1.1 | 0.0 |
| | 深夜勤 | 44 | 0.8 | 1.9 | 0.0 | 1.1 | 2.5 | 0.0 |

(注)・平成27年10月、平成28年10月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。

- ・「72時間要件の対象」は、診療報酬上の病棟の種別として入院基本料（療養病棟入院基本料（20対1）を除く）を選択した回答者とした。「72時間要件の対象外」は、診療報酬上の病棟の種別として療養病棟入院基本料（20対1）及び特定入院料を選択した回答者とした。

図表 242 (参考) 看護職員 1 人あたりの月平均夜勤回数
 【2 交代・変則 2 交代と 3 交代・変則 3 交代の混合】
 (2 交代・3 交代別に記載があった場合)

(単位：回)

| | | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | |
|-----|------|------|--------------|------|-----|--------------|------|-----|
| | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 常勤 | 2 交代 | 55 | 4.2 | 2.4 | 4.0 | 4.5 | 2.2 | 4.3 |
| | 3 交代 | 55 | 5.0 | 3.2 | 5.0 | 5.3 | 3.1 | 5.6 |
| 非常勤 | 2 交代 | 42 | 0.5 | 2.5 | 0.0 | 0.4 | 2.4 | 0.0 |
| | 3 交代 | 43 | 0.6 | 2.2 | 0.0 | 0.3 | 1.6 | 0.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。

図表 243 (参考) 看護職員 1 人あたりの月平均夜勤回数
 【2 交代・変則 2 交代と 3 交代・変則 3 交代の混合】
 (2 交代及び 3 交代の準夜勤・深夜勤別に記載があった場合)

(単位：回)

| | | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | | |
|-----|------|------|--------------|------|-----|--------------|------|-----|-----|
| | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | |
| 常勤 | 2 交代 | 30 | 4.5 | 3.3 | 4.1 | 4.7 | 3.3 | 4.3 | |
| | 3 交代 | 準夜勤 | 41 | 3.9 | 1.1 | 4.0 | 3.7 | 1.3 | 4.0 |
| | | 深夜勤 | 40 | 3.8 | 1.2 | 4.0 | 3.7 | 1.3 | 4.0 |
| 非常勤 | 2 交代 | 23 | 0.0 | - | 0.0 | 0.2 | 0.8 | 0.0 | |
| | 3 交代 | 準夜勤 | 25 | 1.0 | 2.3 | 0.0 | 0.3 | 1.6 | 0.0 |
| | | 深夜勤 | 25 | 0.3 | 1.6 | 0.0 | 0.4 | 1.8 | 0.0 |

(注) 平成 27 年 10 月、平成 28 年 10 月ともに記入のあった回答者を集計対象とした。

6) 平均夜勤体制 (配置人数)

平均夜勤体制 (配置人数) は次のとおりである。

図表 244 平均夜勤体制 (配置人数)

(単位：人)

| | | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-------|-----|-------|-----|------|-----|
| 看護職員 | 準夜帯 | 1,089 | 3.0 | 1.7 | 3.0 |
| | 深夜帯 | 1,100 | 2.9 | 1.6 | 3.0 |
| 看護補助者 | 準夜帯 | 942 | 0.5 | 0.6 | 0.0 |
| | 深夜帯 | 943 | 0.4 | 0.6 | 0.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

7) 日勤における休憩時間

日勤における休憩時間は次のとおりである。

図表 245 日勤における休憩時間

(単位：時間)

| | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-------|-------|-----|------|-----|
| 看護職員 | 1,098 | 1.0 | 0.1 | 1.0 |
| 看護補助者 | 1,020 | 0.9 | 0.2 | 1.0 |

(注)・記入のあった回答者を集計対象とした。

- ・休憩時間とは、1回の勤務にあたり施設の所定勤務時間において規定されている休憩時間である。

8) 夜勤の設定時間

夜勤の設定時間は次のとおりである。

図表 246 夜勤の設定時間

(単位：時・24時間制で表記)

| | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------|-------|------|------|------|
| 開始時間 | 1,021 | 16.8 | 2.6 | 16.5 |
| 終了時間 | 1,019 | 8.6 | 1.6 | 9.0 |

(注)・記入のあった回答者を集計対象とした。

- ・夜勤の設定時間とは、病院で任意に設定している22時～翌5時を含む連続する16時間である。

9) 夜勤における休憩時間および仮眠時間

夜勤における休憩時間および仮眠時間は次のとおりである。

図表 247 夜勤における休憩時間および仮眠時間 (2交代・変則2交代の場合)

(単位：時間)

| | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-------|------|-----|------|-----|
| 仮眠・休憩 | 553 | 1.8 | 0.5 | 2.0 |
| 休憩 | 217 | 0.8 | 0.3 | 1.0 |
| 仮眠 | | 1.6 | 0.5 | 1.5 |

(注)・記入のあった回答者を集計対象とした。

- ・休憩および仮眠時間をまとめて付与している場合は「休憩・仮眠」として回答。いずれかのみ、またはそれぞれ付与の場合は「休憩」「仮眠」それぞれで回答。
- ・休憩時間とは、1回の勤務にあたり施設の所定勤務時間において規定されている休憩時間である。

図表 248 夜勤における休憩時間および仮眠時間（3交代・変則3交代の場合）

（単位：時間）

| | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-----|------|-----|------|-----|
| 準夜帯 | 406 | 0.9 | 0.2 | 1.0 |
| 深夜帯 | 404 | 0.9 | 0.2 | 1.0 |

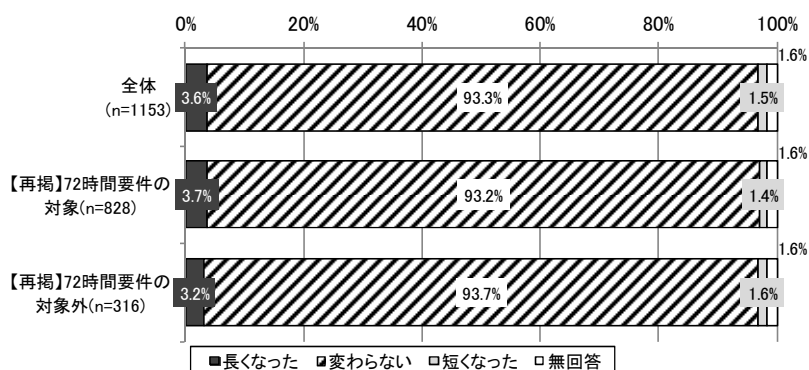
- （注）・記入のあった回答者を集計対象とした。
 ・休憩時間のみ回答。
 ・休憩時間とは、1回の勤務にあたり施設の所定勤務時間において規定されている休憩時間である。

③診療報酬改定前後での夜勤に関する状況の変化

1) 夜勤時間の長さ

夜勤時間の長さについてみると、全体では、「長くなった」が3.6%、「変わらない」が93.3%、「短くなった」が1.5%であった。

図表 249 夜勤時間の長さ

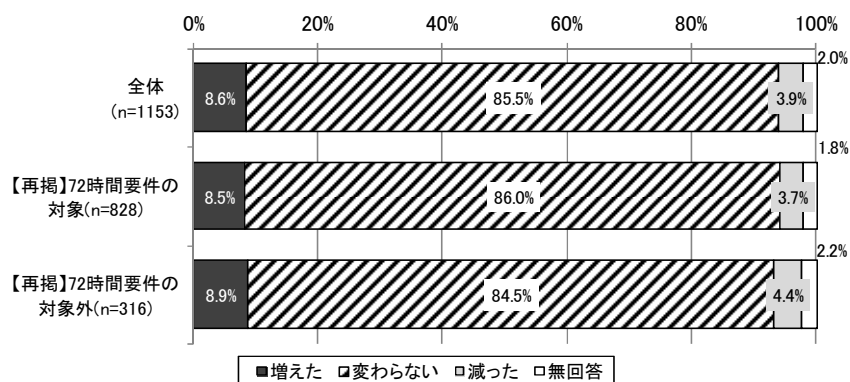


- （注）「72時間要件の対象」は、診療報酬上の病棟の種別として入院基本料（療養病棟入院基本料（20対1）を除く）を選択した回答者とした。「72時間要件の対象外」は、診療報酬上の病棟の種別として療養病棟入院基本料（20対1）及び特定入院料を選択した回答者とした（以下、2）～10）においても同様）。

2) 夜勤の回数

夜勤の回数についてみると、全体では、「増えた」が8.6%、「変わらない」が85.5%、「減った」が3.9%であった。

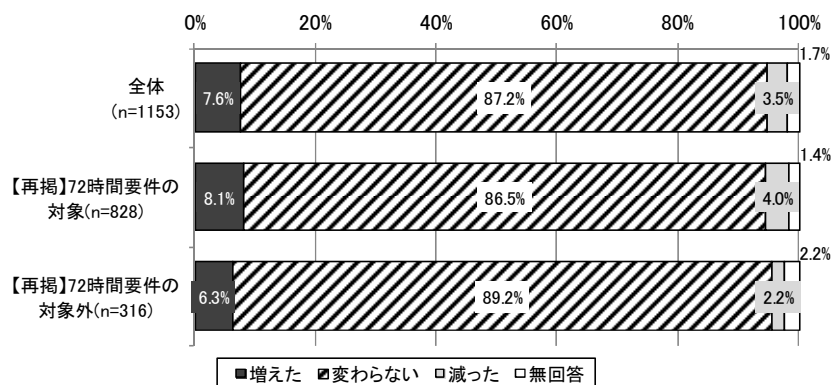
図表 250 夜勤の回数



3) 夜勤時の受け持ち患者数

夜勤時の受け持ち患者数についてみると、全体では、「増えた」が7.6%、「変わらない」が87.2%、「減った」が3.5%であった。

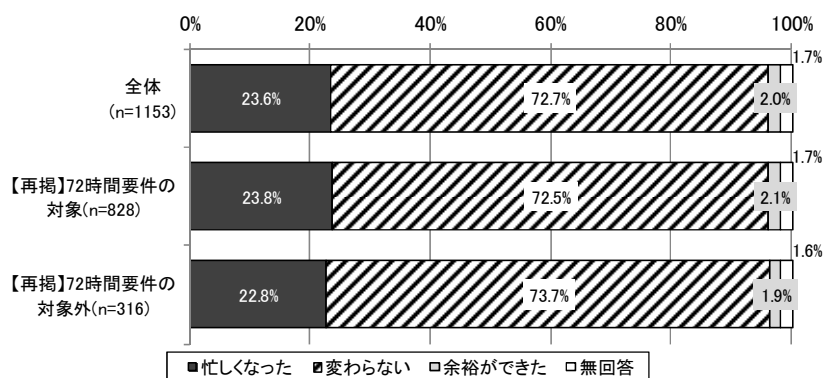
図表 251 夜勤時の受け持ち患者数



4) 夜勤時の繁忙度

夜勤時の繁忙度についてみると、全体では、「忙しくなった」が 23.6%、「変わらない」が 72.7%、「余裕ができた」が 2.0%であった。

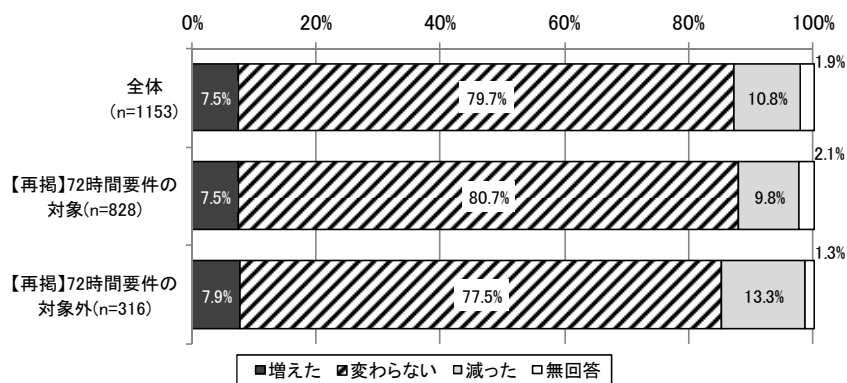
図表 252 夜勤時の繁忙度



5) 夜勤をする人数

夜勤をする人数についてみると、全体では、「増えた」が 7.5%、「変わらない」が 79.7%、「減った」が 10.8%であった。

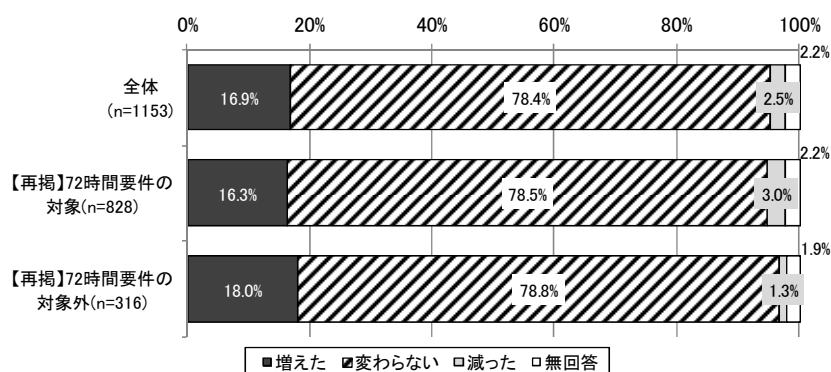
図表 253 夜勤をする人数



6) 一部の人への夜勤の負担

一部の人への夜勤の負担についてみると、全体では、「増えた」が16.9%、「変わらない」が78.4%、「減った」が2.5%であった。

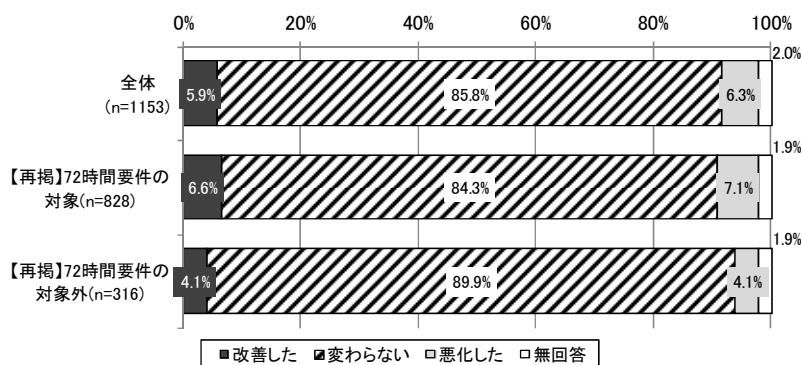
図表 254 一部の人への夜勤の負担



7) 夜勤シフトの組み方

夜勤シフトの組み方についてみると、全体では、「改善した」が5.9%、「変わらない」が85.8%、「悪化した」が6.3%であった。

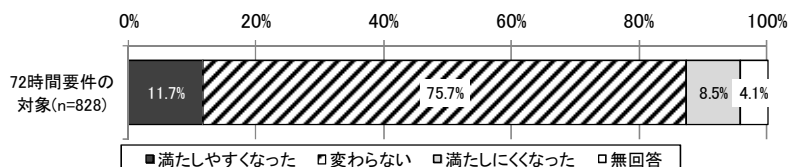
図表 255 夜勤シフトの組み方



8) 夜勤の 72 時間要件

夜勤の 72 時間要件についてみると、月平均夜勤時間超過減算の対象病棟では、「満たしやすくなった」が 11.7%、「変わらない」が 75.7%、「満たしにくくなった」が 8.5%であった。

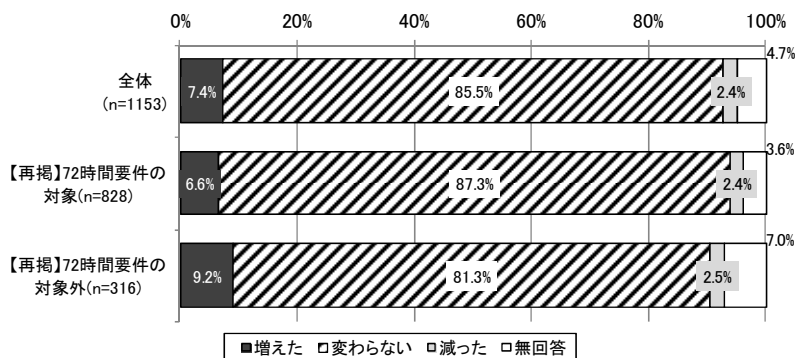
図表 256 夜勤の 72 時間要件



9) 他部署との兼務

他部署との兼務についてみると、全体では、「増えた」が 7.4%、「変わらない」が 85.5%、「減った」が 2.4%であった。

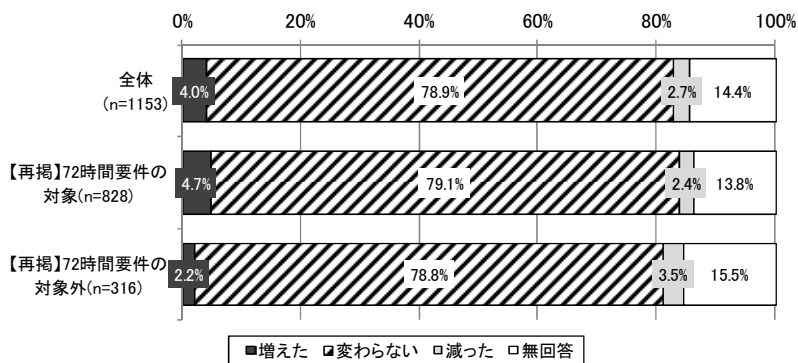
図表 257 他部署との兼務



10) 短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する人

短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する人についてみると、全体では、「増えた」が4.0%、「変わらない」が78.9%、「減った」が2.7%であった。

図表 258 短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する人

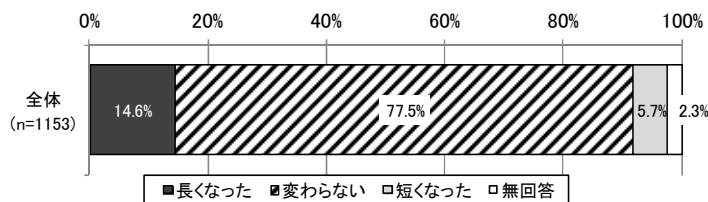


④1年前と比較した勤務状況の変化

1) 勤務時間

勤務時間についてみると、「長くなった」が14.6%、「変わらない」が77.5%、「短くなった」が5.7%であった。

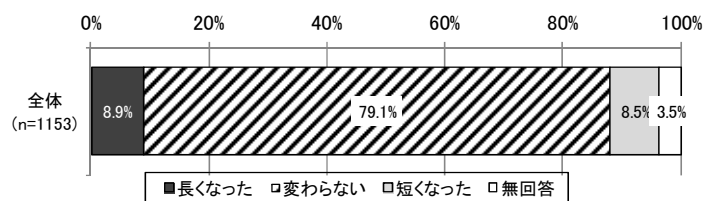
図表 259 勤務時間



2) 長時間連続勤務の状況

長時間連続勤務の状況についてみると、「長くなった」が8.9%、「変わらない」が79.1%、「短くなった」が8.5%であった。

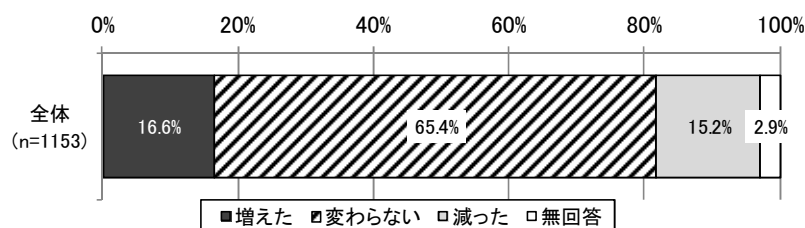
図表 260 長時間連続勤務の状況



3) 有給休暇の取得状況

有給休暇の取得状況についてみると、「増えた」が16.6%、「変わらない」が65.4%、「減った」が15.2%であった。

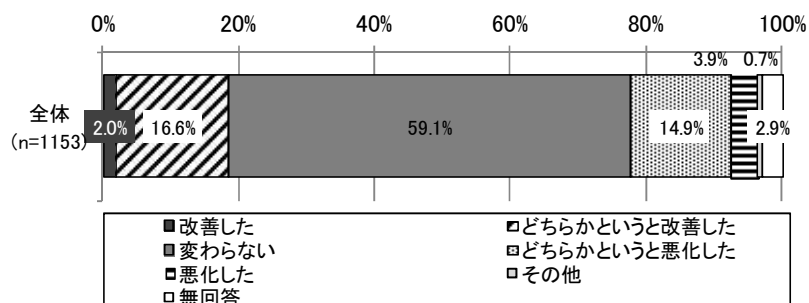
図表 261 有給休暇の取得状況



4) 総合的にみた勤務状況

総合的にみた勤務状況の変化についてみると、「改善した」「どちらかというと改善した」が18.6%、「変わらない」が59.1%、「悪化した」「どちらかというと悪化した」が18.8%であった。

図表 262 総合的にみた勤務状況

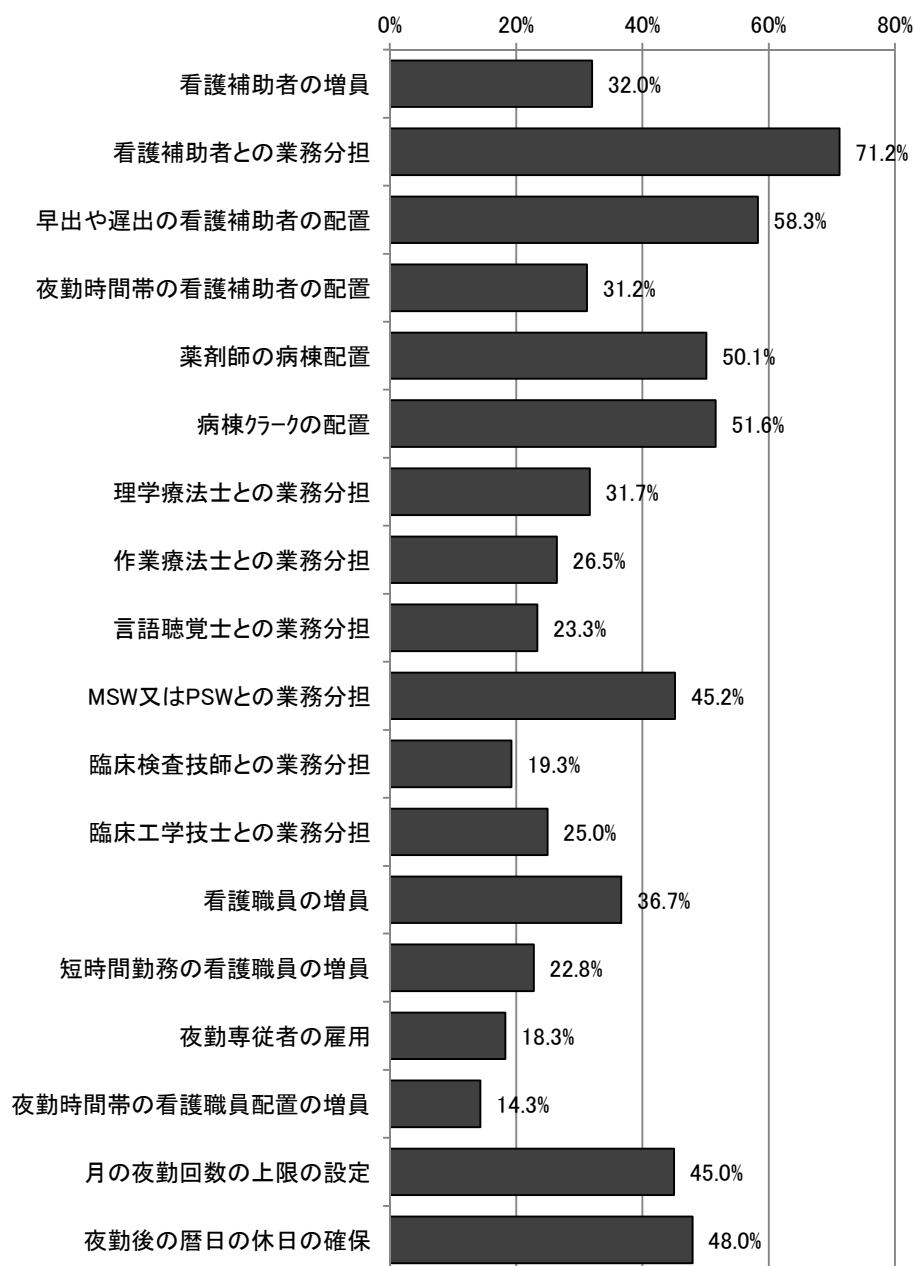


(3) 看護職員の負担軽減策の取組状況

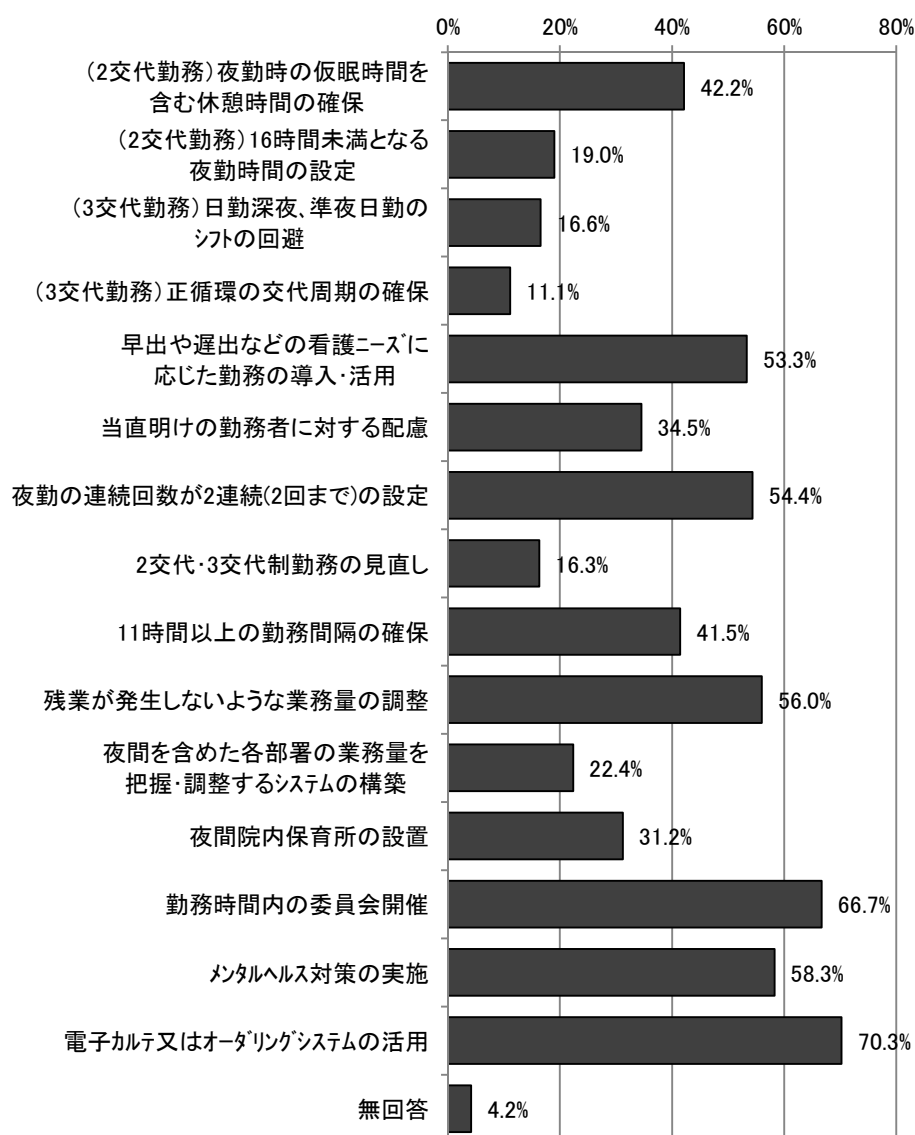
①看護職員の負担軽減策として実施している取組

看護職員の負担軽減策として実施している取組についてみると、「看護補助者との業務分担」が71.2%で最も高く、次いで「電子カルテ又はオーダーリングシステムの活用」(70.3%)、「勤務時間内の委員会開催」(66.7%)であった。

図表 263 看護職員の負担軽減策として実施している取組①（複数回答、n=1,153）

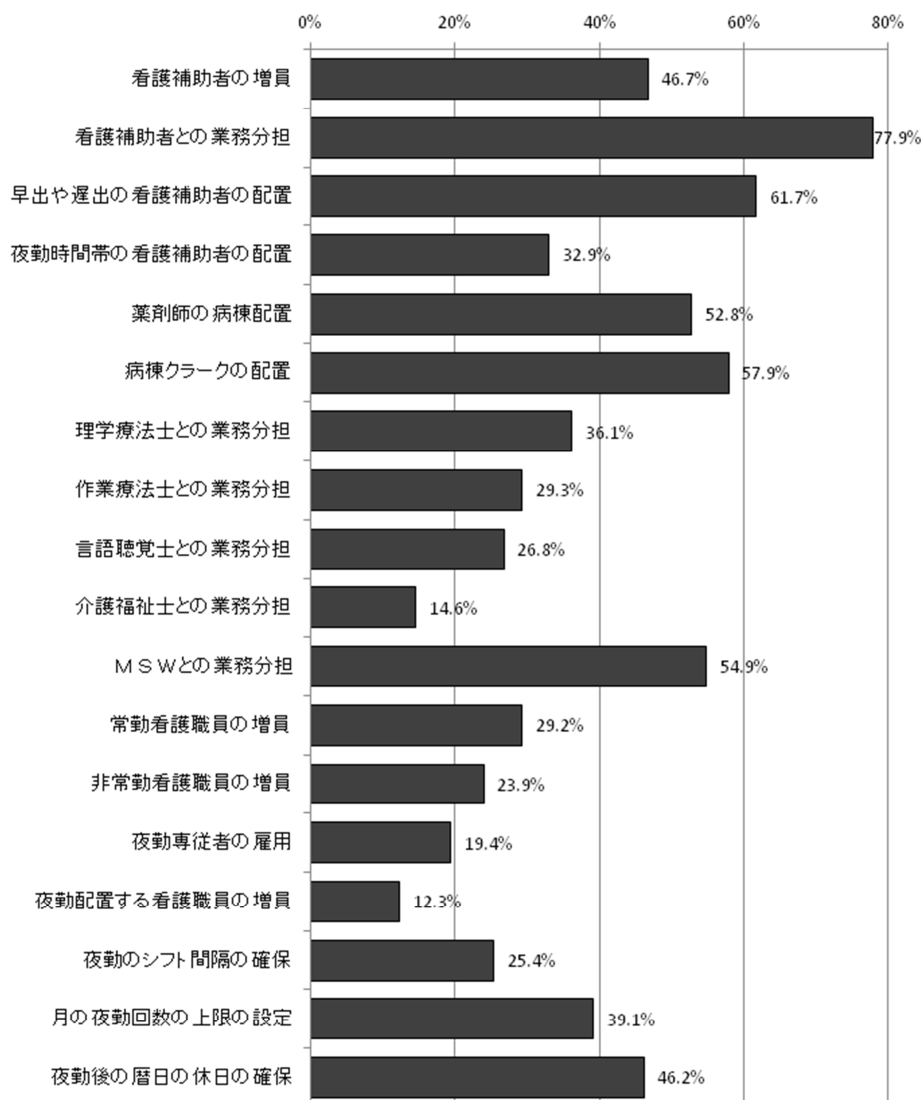


図表 264 看護職員の負担軽減策として実施している取組②（複数回答、n=1,153）



(参考 平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査結果)

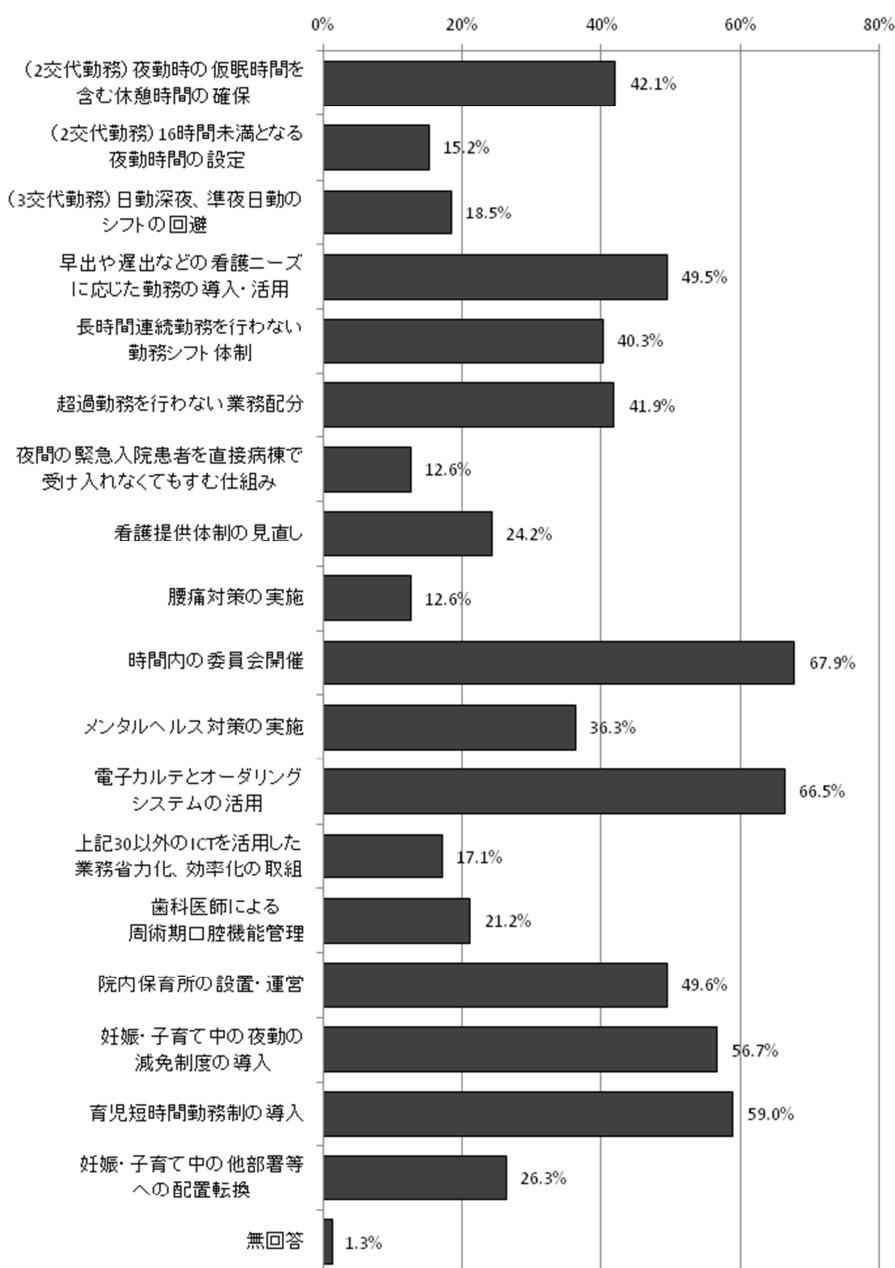
看護職員の負担軽減策として実施している取組① (複数回答、n=1,378)



(出所) 「平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査 (平成 26 年度調査) 『夜間の看護要員配置の評価や月平均夜勤時間 72 時間要件を満たさない場合の緩和措置による影響及びチーム医療の推進等を含む医療従事者の負担軽減措置の実施状況調査』」看護職員調査 (看護師長票) の結果

(注) 調査対象施設は、病院勤務医等の負担の軽減及び処遇の改善等を要件とする診療報酬項目 (例; 総合入院体制加算、急性期看護補助体制加算、医師事務作業補助体制加算等) を算定している病院、またはチーム医療に関する診療報酬項目 (例; 病棟薬剤業務実加算等) を算定している病院の中から無作為抽出した病院 1,000 施設であった。看護師長票の対象は、対象施設において無作為抽出した 4 病棟 (特定入院料を算定している病棟があれば当該病棟の中から 1 病棟) の看護師長それぞれ 1 名であった。

看護職員の負担軽減策として実施している取組②（複数回答、n=1,378）



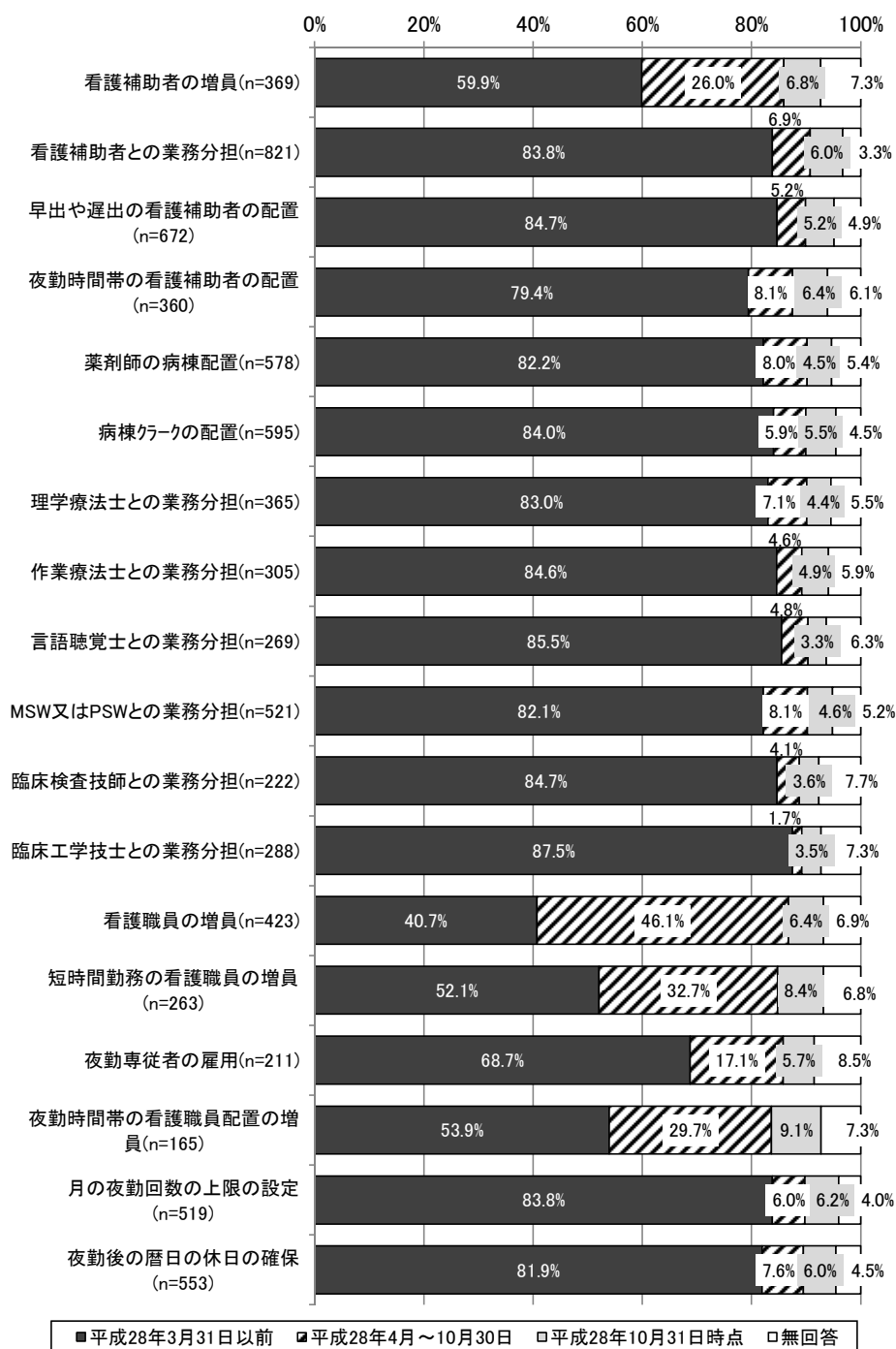
(出所) 「平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 26 年度調査）『夜間の看護要員配置の評価や月平均夜勤時間 72 時間要件を満たさない場合の緩和措置による影響及びチーム医療の推進等を含む医療従事者の負担軽減措置の実施状況調査』 看護職員調査（看護師長票）の結果

(注) 調査対象施設は、病院勤務医等の負担の軽減及び処遇の改善等を要件とする診療報酬項目（例；総合入院体制加算、急性期看護補助体制加算、医師事務作業補助体制加算等）を算定している病院、またはチーム医療に関する診療報酬項目（例；病棟薬剤業務実施加算等）を算定している病院の中から無作為抽出した病院 1,000 施設であった。看護師長票の対象は、対象施設において無作為抽出した 4 病棟（特定入院料を算定している病棟があれば当該病棟の中から 1 病棟）の看護師長それぞれ 1 名であった。

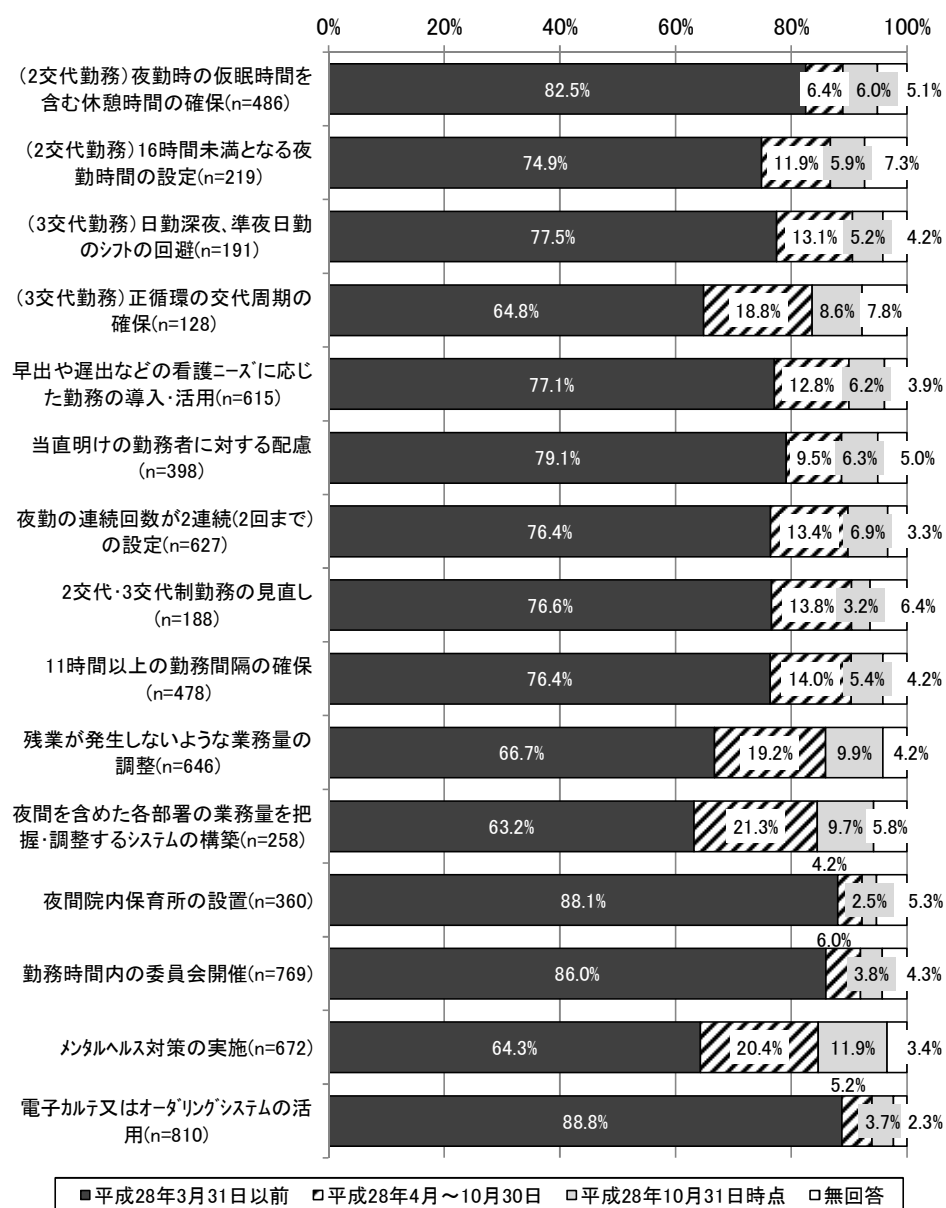
②看護職員の負担軽減策の実施時期

看護職員の負担軽減策の実施時期についてみると、平成28年4月以降の実施の割合が高かったのは、「看護職員の増員」(46.1%)、「短時間勤務の看護職員の増員」(32.7%)、「夜勤時間帯の看護職員配置の増員」(29.7%)、「看護補助者の増員」(26.0%)であった。

図表 265 看護職員の負担軽減策の実施時期①（当該負担軽減策を実施している病棟）



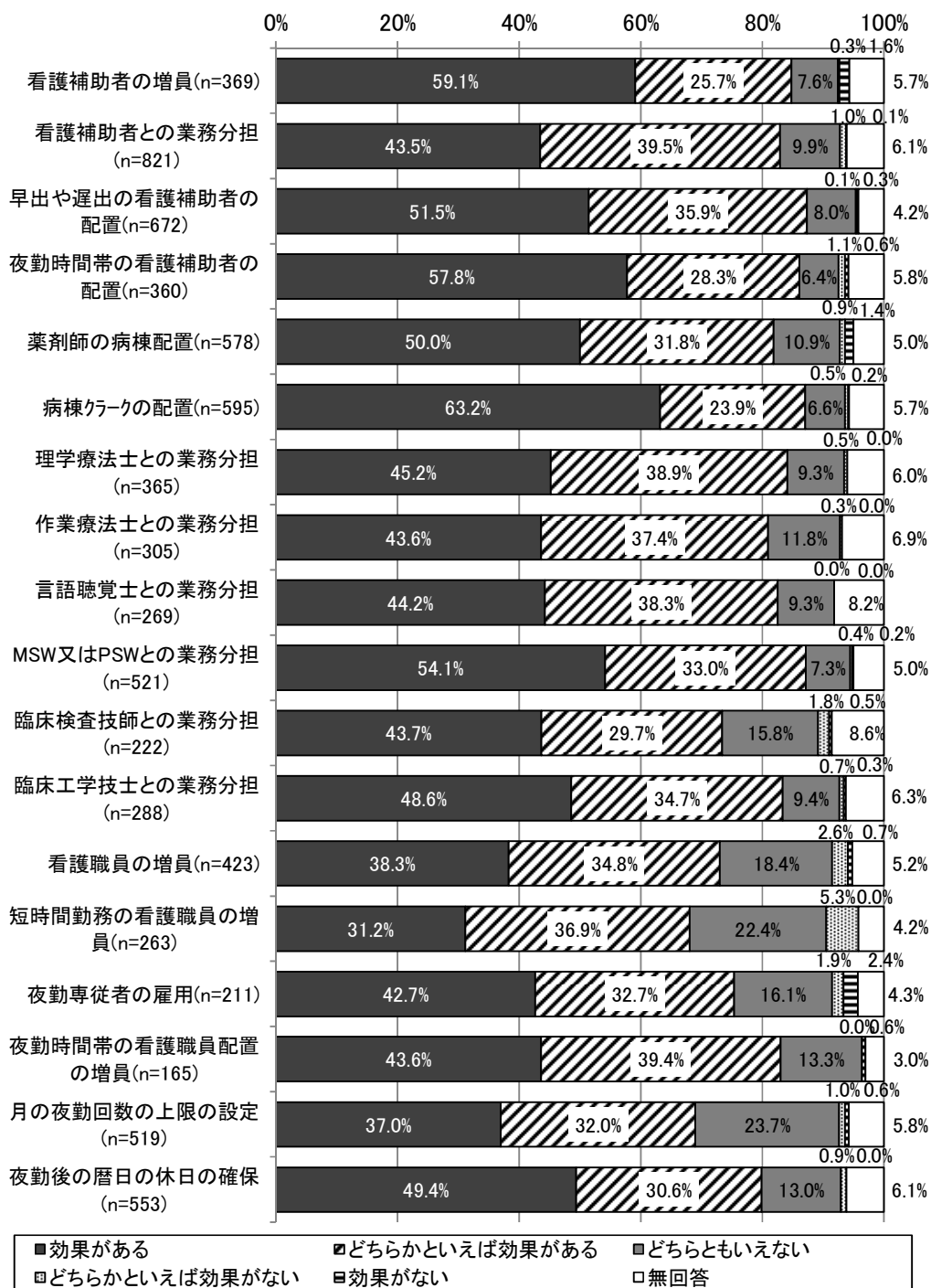
図表 266 看護職員の負担軽減策の実施時期②（当該負担軽減策を実施している病棟）



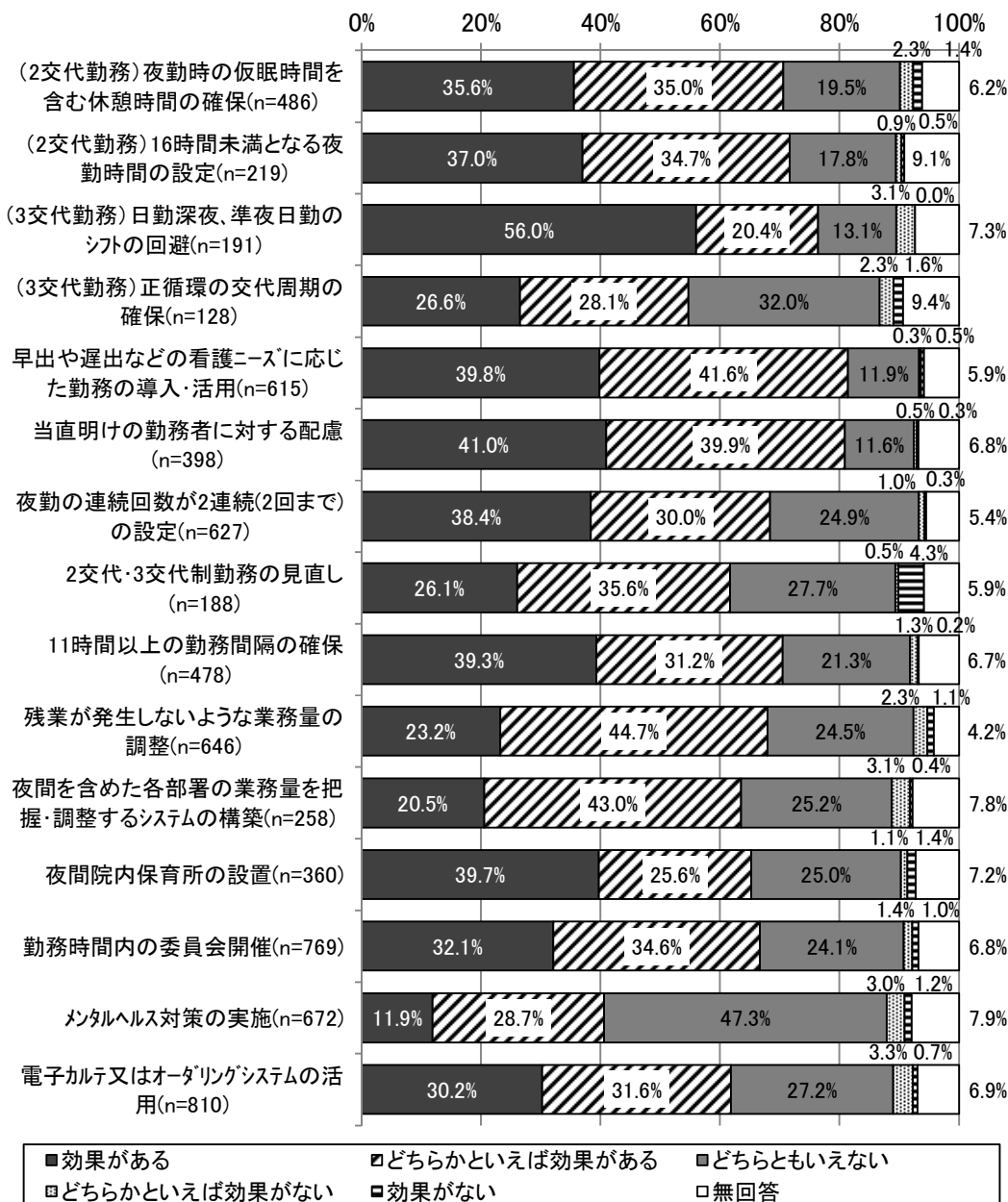
③看護職員の負担軽減策の効果

看護職員の負担軽減策についてみると、「効果がある」の割合が高かったのは、「病棟ク
ラークの配置」(63.2%)、「看護補助者の増員」(59.1%)、「夜勤時間帯の看護補助者の配置」
(57.8%)であった。

図表 267 看護職員の負担軽減策の効果①（当該負担軽減策を実施している病棟）

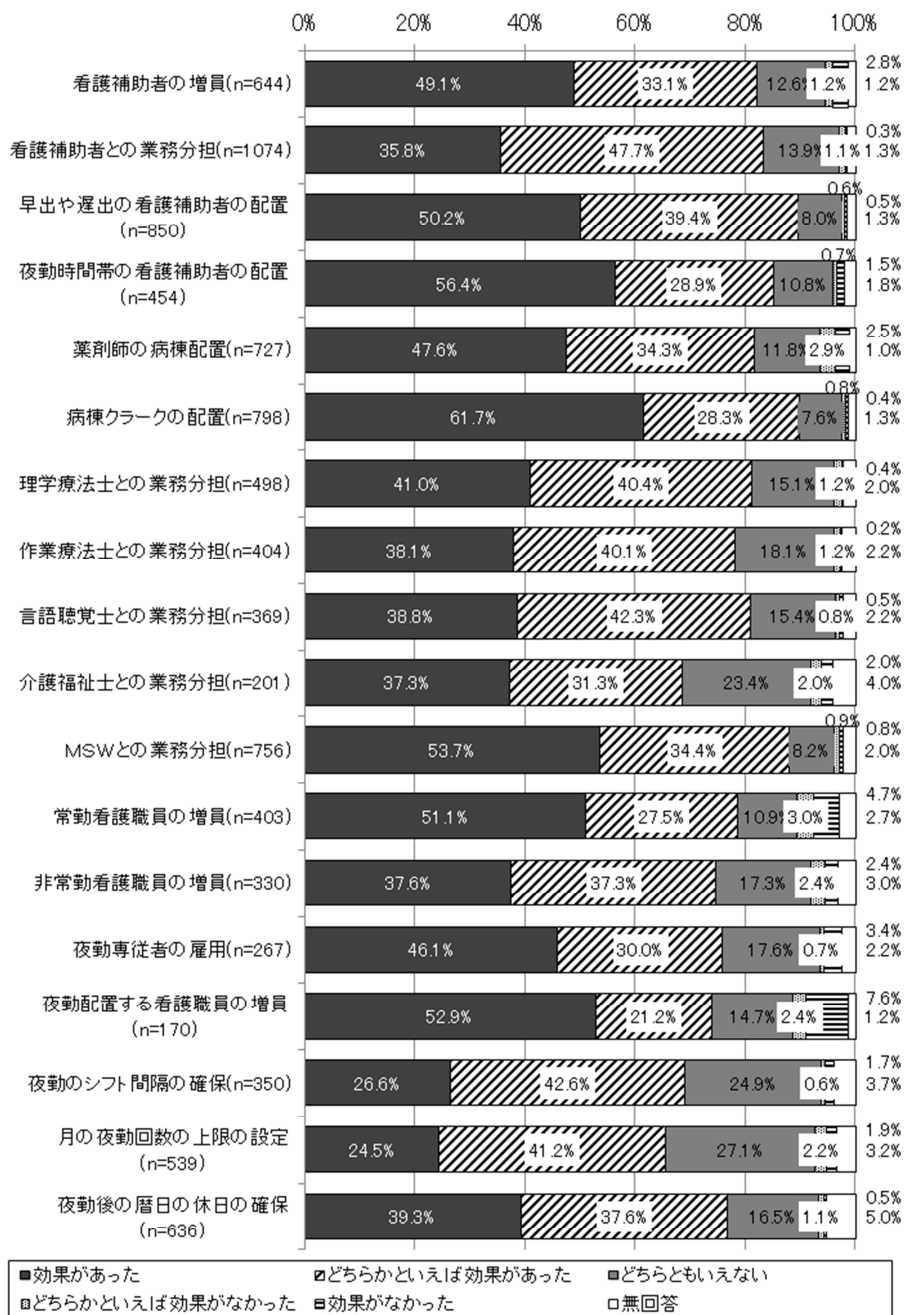


図表 268 看護職員の負担軽減策の効果②（当該負担軽減策を実施している病棟）



(参考 平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査結果)

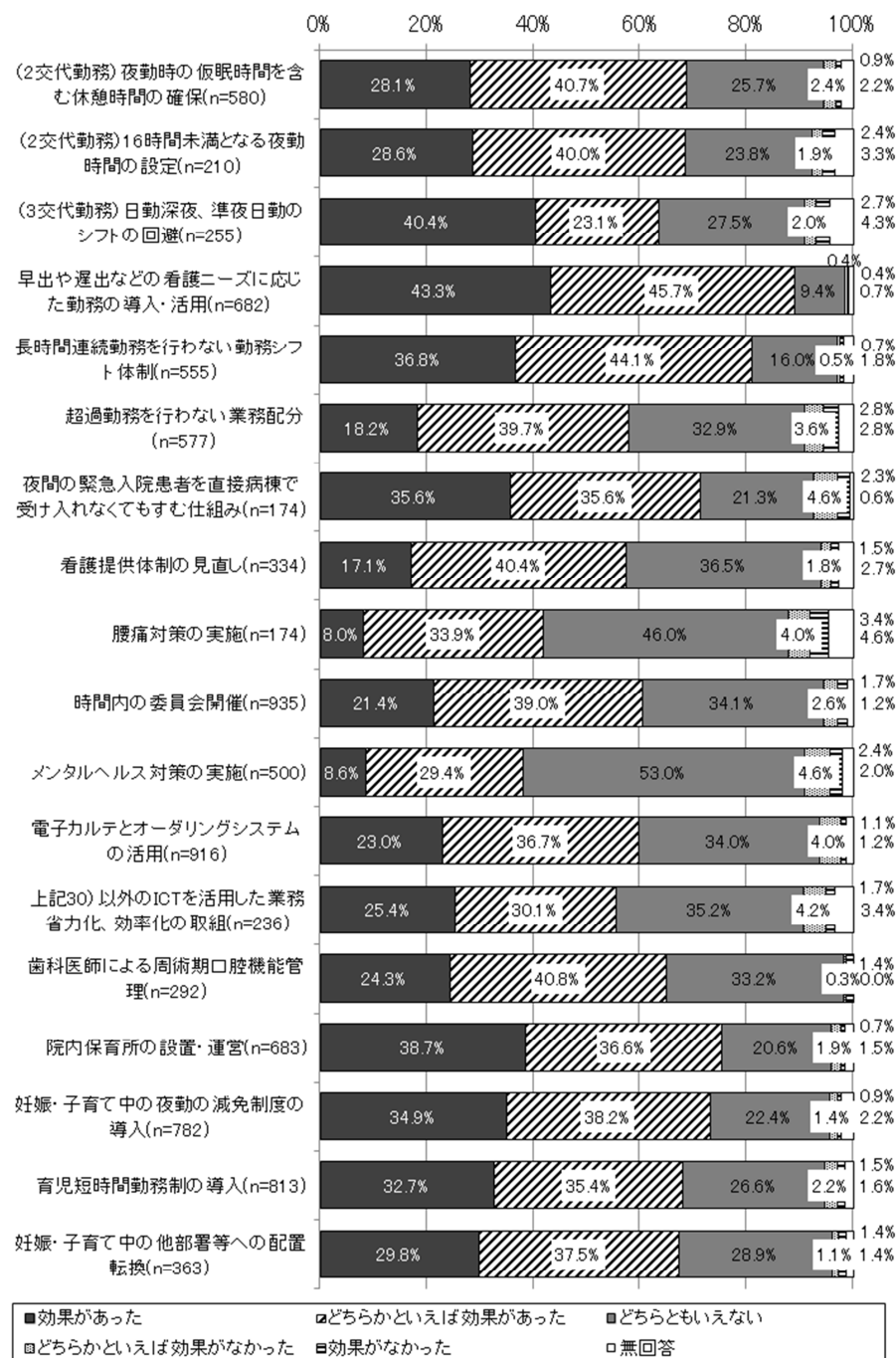
看護職員の負担軽減策の効果① (当該負担軽減策を実施している病棟)



(出所) 「平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査 (平成 26 年度調査) 『夜間の看護要員配置の評価や月平均夜勤時間 72 時間要件を満たさない場合の緩和措置による影響及びチーム医療の推進等を含む医療従事者の負担軽減措置の実施状況調査』 看護職員調査 (看護師長票) の結果

(注) 調査対象施設は、病院勤務医等の負担の軽減及び処遇の改善等を要件とする診療報酬項目 (例; 総合入院体制加算、急性期看護補助体制加算、医師事務作業補助体制加算等) を算定している病院、またはチーム医療に関する診療報酬項目 (例; 病棟薬剤業務実施加算等) を算定している病院の中から無作為抽出した病院 1,000 施設であった。看護師長票の対象は、対象施設において無作為抽出した 4 病棟 (特定入院料を算定している病棟があれば当該病棟の中から 1 病棟) の看護師長それぞれ 1 名であった。

看護職員の負担軽減策の効果②（当該負担軽減策を実施している病棟）



(出所)「平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 26 年度調査）『夜間の看護要員配置の評価や月平均夜勤時間 72 時間要件を満たさない場合の緩和措置による影響及びチーム医療の推進等を含む医療従事者の負担軽減措置の実施状況調査』看護職員調査（看護師長票）の結果

(注) 調査対象施設は、病院勤務医等の負担の軽減及び処遇の改善等を要件とする診療報酬項目（例；総合入院体制加算、急性期看護補助体制加算、医師事務作業補助体制加算等）を算定している病院、またはチーム医療に関する診療報酬項目（例；病棟薬剤業務実施加算等）を算定している病院の中から無作為抽出した病院 1,000 施設であった。看護師長票の対象は、対象施設において無作為抽出した 4 病棟（特定入院料を算定している病棟があれば当該病棟の中から 1 病棟）の看護師長それぞれ 1 名であった。

④看護職員の負担軽減に効果のあるその他の取組

看護職員の負担軽減に効果のあるその他の取組として、以下の内容が挙げられた。

図表 269 看護職員の負担軽減に効果のあるその他の取組（自由記述式）

- 業務の効率化
 - ・申し送りの時間短縮。
 - ・毎月会議で話し合い、PDCA サイクルを回す。残業の分析。 /等
- 看護職における分担
 - ・機能別看護の一部導入（注射担当等）。
 - ・常勤看護師と非常勤看護師との役割分担。 /等
- 他職種との分担
 - ・医師の協力。
 - ・院内専門チームの活用及び認知症認定看護師やカウンセラーとの協働。
 - ・介護福祉士の導入。
 - ・早期採血は検査技師が病室内で実施。
 - ・ヘルパーとの業務協力。
 - ・臨床心理士との業務分担。 /等
- 人員配置等
 - ・PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）の導入。
 - ・スタッフの増員。
 - ・認定看護師の横断的活動。
 - ・職員の体調や家庭状況と合わせた勤務調整。
 - ・夜勤看護に対しては院外待機者を配置。夜勤者に対する負担軽減にはなったが、院外待機時のストレスが発生している。夜勤定数の見直しに取り組んでいる。 /等
- 休暇取得の促進
 - ・リフレッシュ休暇の再導入。
 - ・年休取得率の向上。
 - ・連続2日以上の日確保（夜勤前後でない休日）。 /等
- その他
 - ・スタッフのスキルアップ（アセスメント力、実践能力）。
 - ・ボランティアによる遊びの提供、クリニックラウンによる笑いをもたらすケア。 /等

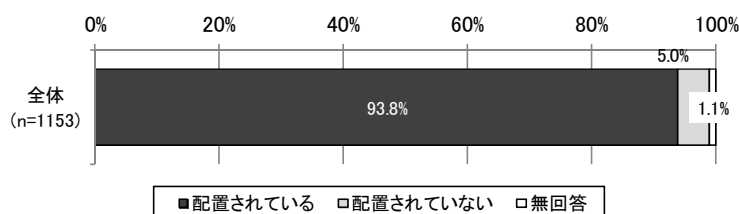
(4) 他職種との連携の状況等

①病棟における看護補助者の配置

1) 病棟における看護補助者の配置状況

看護補助者の配置状況についてみると、「配置されている」が 93.8%、「配置されていない」が 5.0%であった。

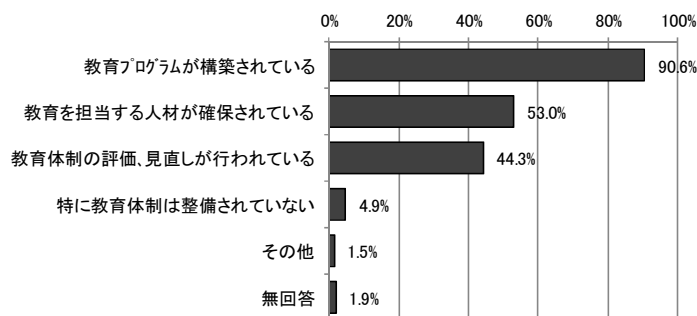
図表 270 病棟における看護補助者の配置状況



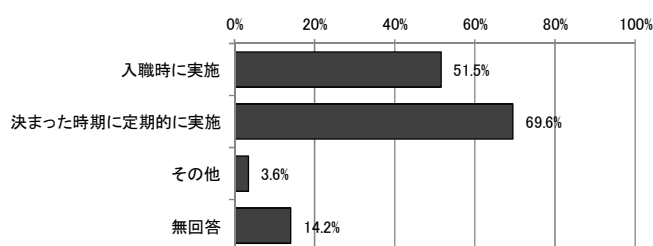
2) 看護補助者に対する教育体制とその運用状況

看護補助者が配置されている病棟における、看護補助者に対する教育体制とその運用状況等は次のとおりである。

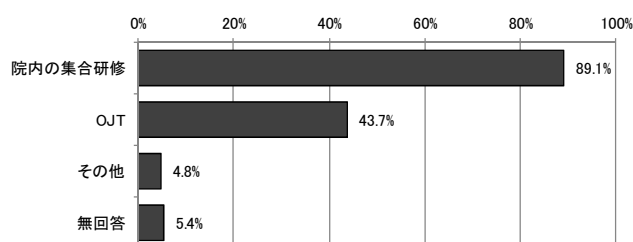
図表 271 看護補助者に対する教育体制とその運用状況
(看護補助者が配置されている病棟、複数回答、n=1,082)



図表 272 看護補助者に対する教育プログラムの実施時期
(教育プログラムが構築されている病棟、複数回答、n=980)



図表 273 看護補助者に対する教育プログラムの実施方法
(教育プログラムが構築されている病棟、複数回答、n=980)



図表 274 院内の集合研修の研修時間 (院内の集合研修を行っている病棟)

(単位：時間)

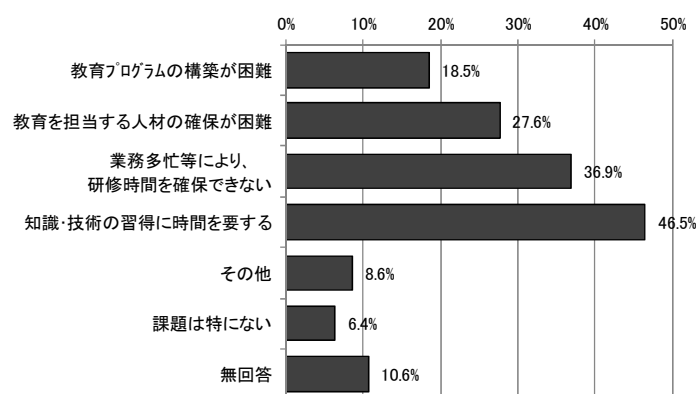
| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------|-----|------|-----|
| 477 | 6.7 | 10.8 | 4.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

3) 看護補助者の教育に関する課題

看護補助者が配置されている病棟における、看護補助者の教育に関する課題は次のとおりである。

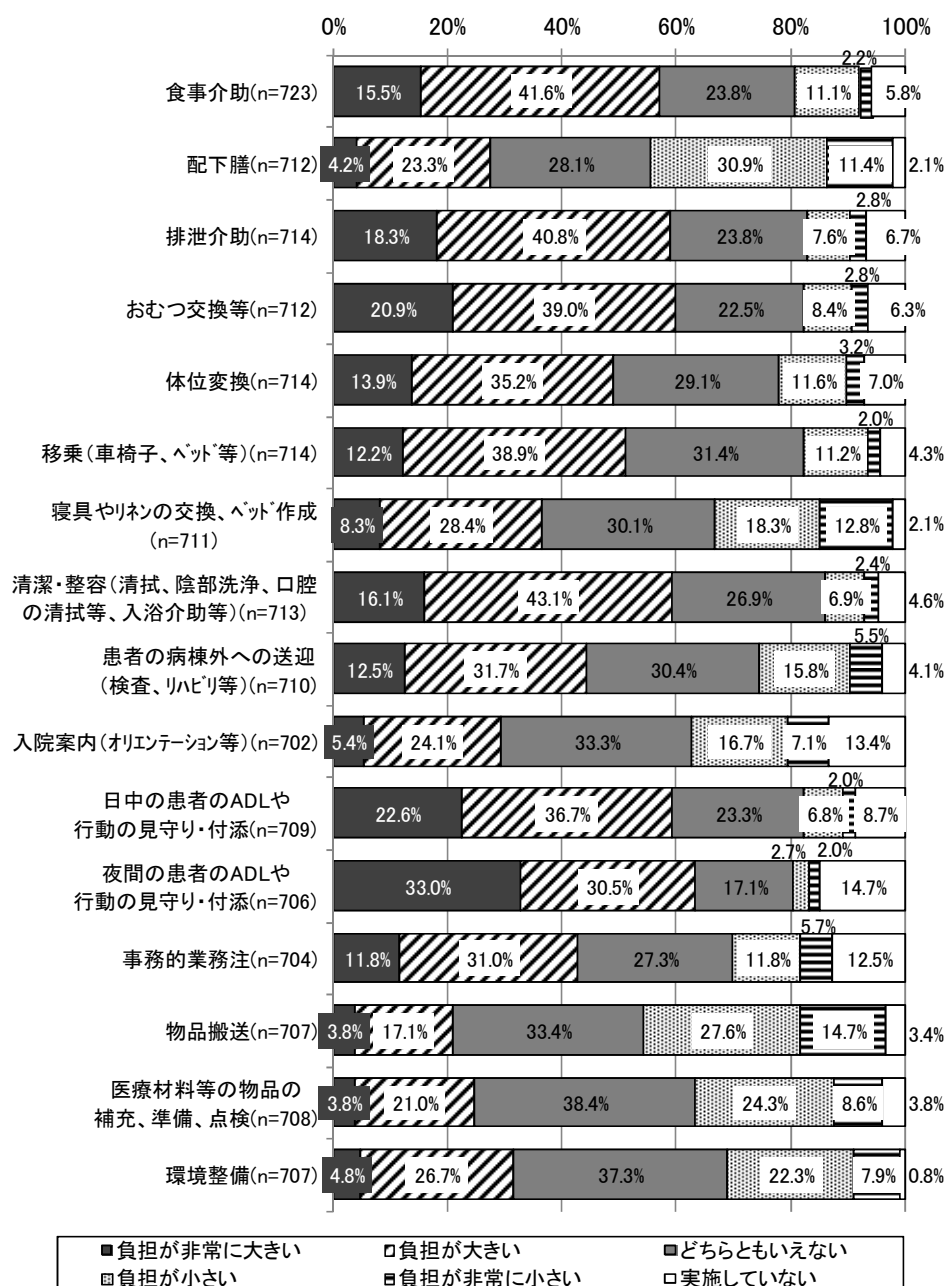
図表 275 看護補助者の教育に関する課題
(看護補助者が配置されている病棟、複数回答、n=1,082)



4) 看護職員の業務負担感

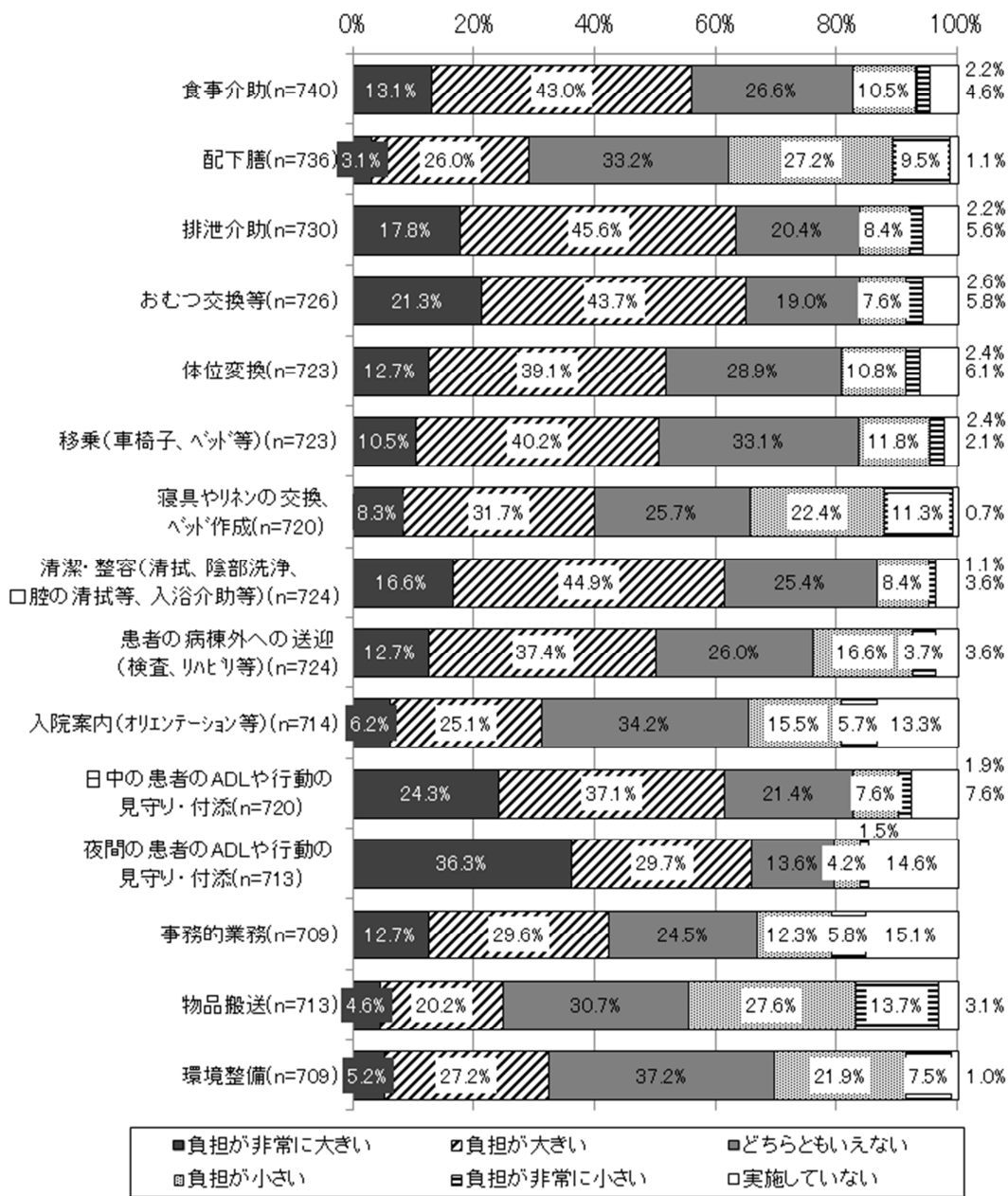
看護補助者が配置されている病棟における、看護職員の業務負担感についてみると、「負担が非常に大きい」の割合が高かったのは、「夜間の患者の ADL や行動の見守り・付添」(33.0%)、「日中の患者の ADL や行動の見守り・付添」(22.6%)、「おむつ交換等」(20.9%)であった。

図表 276 看護職員の業務負担感
(看護補助者が配置されている病棟) (無回答を除く)



(参考 平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査結果)

看護職員の業務負担感 (看護補助者が配置されている病棟) (無回答者を除く)



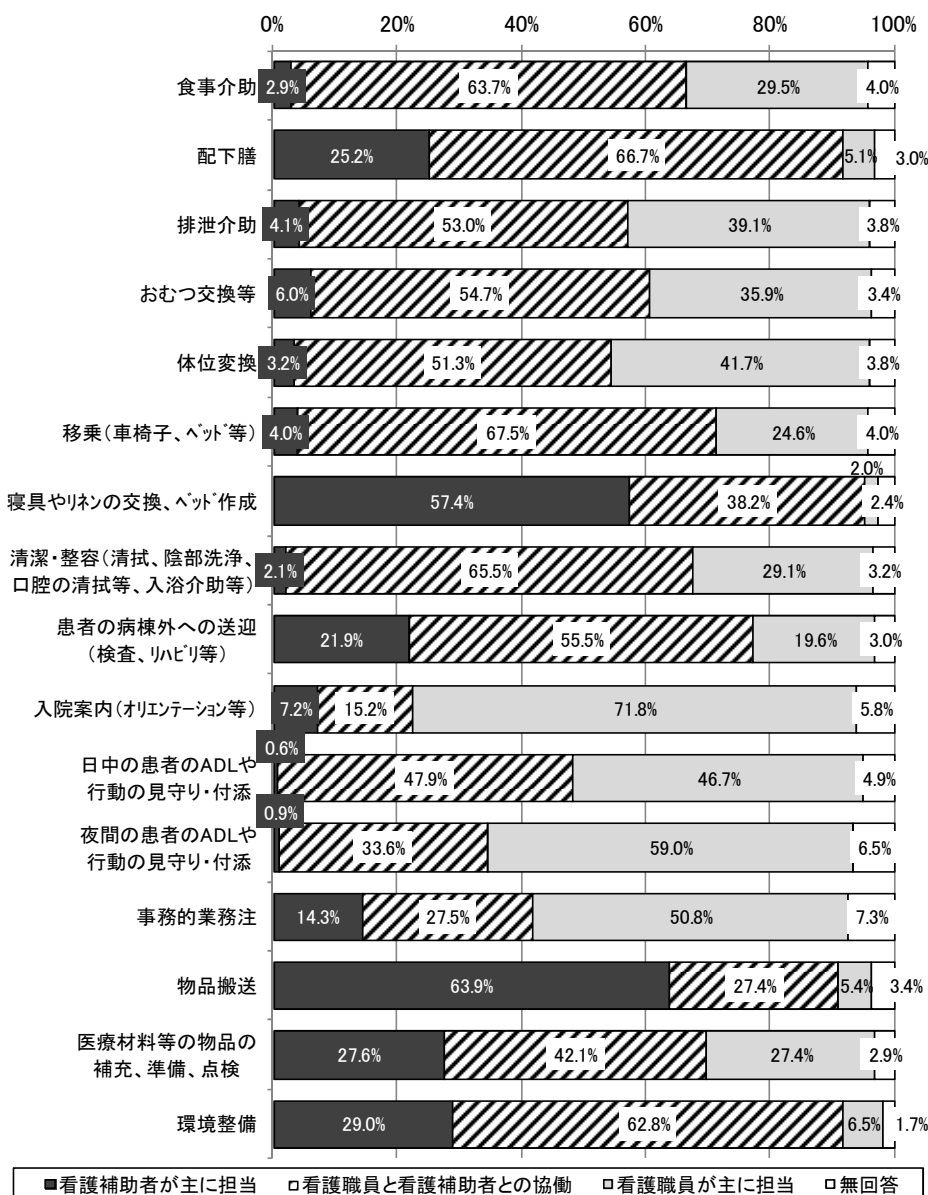
(出所) 「平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査 (平成 26 年度調査) 『夜間の看護要員配置の評価や月平均夜勤時間 72 時間要件を満たさない場合の緩和措置による影響及びチーム医療の推進等を含む医療従事者の負担軽減措置の実施状況調査』 看護職員調査 (看護師長票) の結果

(注) 調査対象施設は、病院勤務医等の負担の軽減及び処遇の改善等を要件とする診療報酬項目 (例; 総合入院体制加算、急性期看護補助体制加算、医師事務作業補助体制加算等) を算定している病院、またはチーム医療に関する診療報酬項目 (例; 病棟薬剤業務実施加算等) を算定している病院の中から無作為抽出した病院 1,000 施設であった。看護師長票の対象は、対象施設において無作為抽出した 4 病棟 (特定入院料を算定している病棟があれば当該病棟の中から 1 病棟) の看護師長それぞれ 1 名であった。

5) 看護補助者との業務分担状況

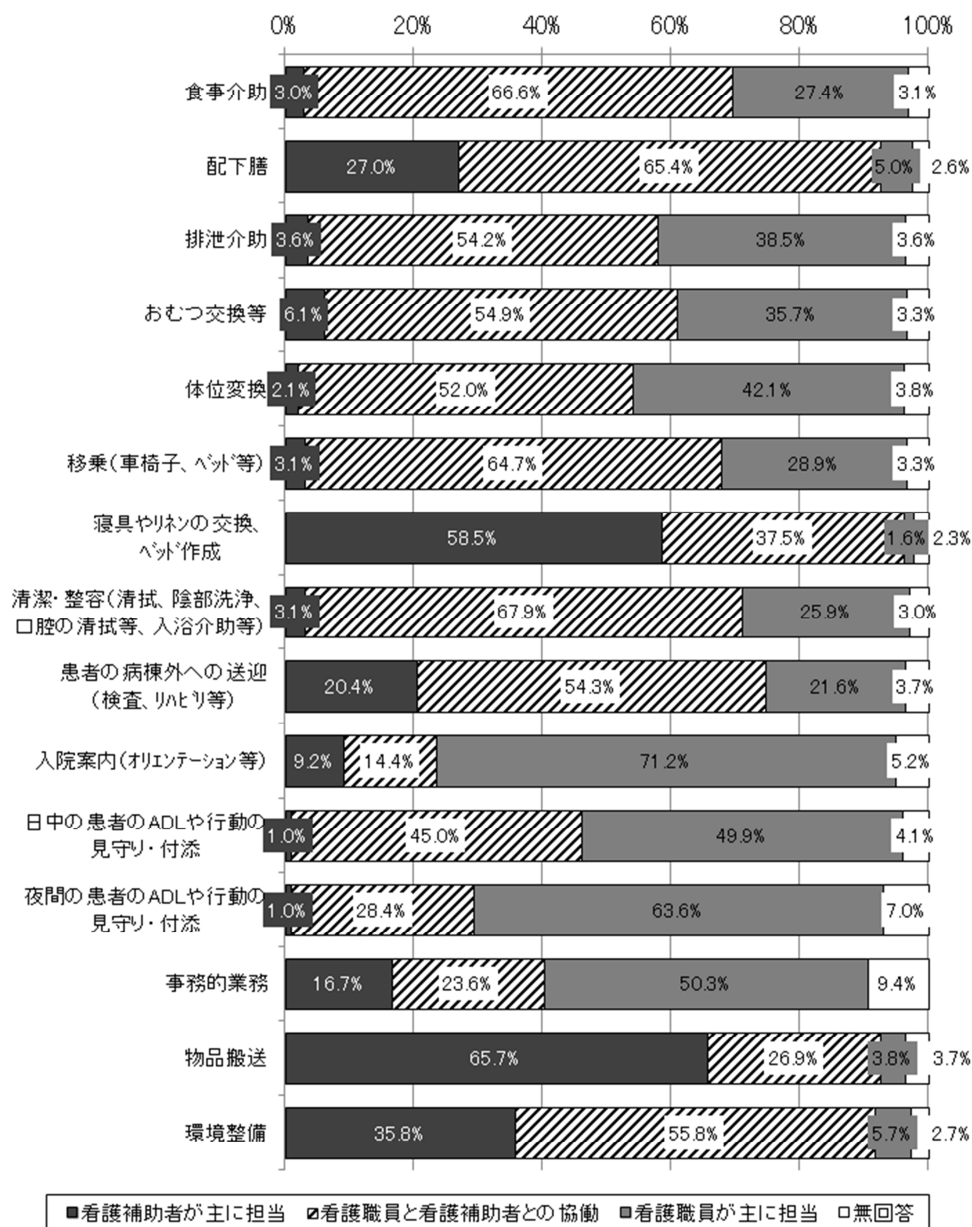
看護補助者が配置されている病棟における、看護補助者との業務分担状況についてみると、「看護補助者が主に担当」の割合が高いのは、「物品搬送」(63.9%)、「寝具やリネンの交換、ベッド作成」(57.4%)であった。また、「看護職員と看護補助者との協働」の割合が高いのは、「移乗(車椅子、ベッド等)」(67.5%)、「配下膳」(66.7%)、「清潔・整容(清拭、陰部洗浄、口腔の清拭等、入浴介助等)」(65.5%)であった。「看護職員が主に担当」の割合が高いのは、「入院案内(オリエンテーション等)」(71.8%)、「夜間の患者のADLや行動の見守り・付添」(59.0%)であった。

図表 277 看護補助者との業務分担状況(看護補助者が配置されている病棟、n=1,082)



(参考 平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査結果)

看護補助者との業務分担状況 (看護補助者が配置されている病棟、n=1322)



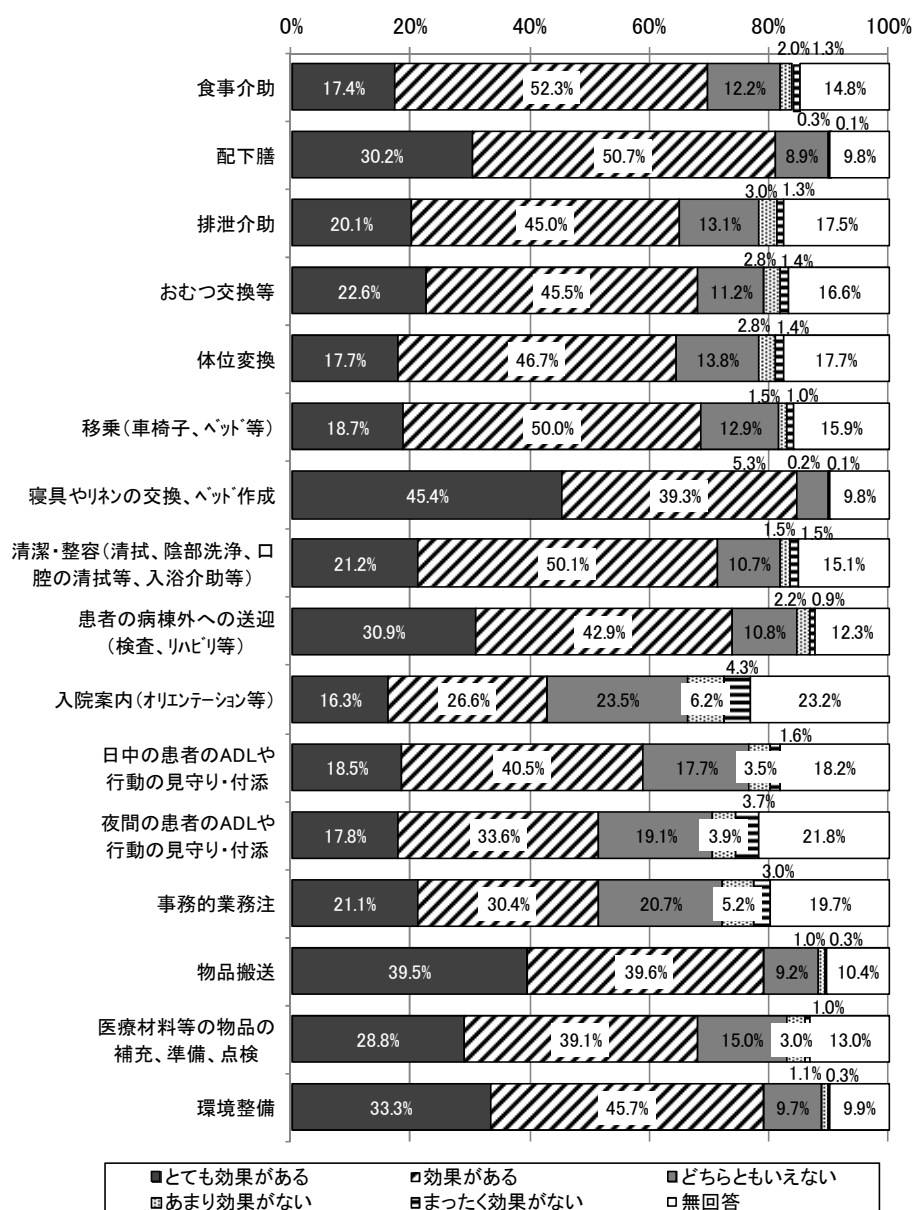
(出所) 「平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査 (平成 26 年度調査) 『夜間の看護要員配置の評価や月平均夜勤時間 72 時間要件を満たさない場合の緩和措置による影響及びチーム医療の推進等を含む医療従事者の負担軽減措置の実施状況調査』 看護職員調査 (看護師長票) の結果

(注) 調査対象施設は、病院勤務医等の負担の軽減及び処遇の改善等を要件とする診療報酬項目 (例; 総合入院体制加算、急性期看護補助体制加算、医師事務作業補助体制加算等) を算定している病院、またはチーム医療に関する診療報酬項目 (例; 病棟薬剤業務実施加算等) を算定している病院の中から無作為抽出した病院 1,000 施設であった。看護師長票の対象は、対象施設において無作為抽出した 4 病棟 (特定入院料を算定している病棟があれば当該病棟の中から 1 病棟) の看護師長それぞれ 1 名であった。

6) 看護補助者が業務を実施する場合の負担軽減効果

看護補助者が業務を実施する場合の負担軽減効果についてみると、「とても効果がある」の割合は、「寝具やリネンの交換、ベッド作成」が 45.4%で最も高く、次いで「物品搬送」(39.5%)であった。「とても効果がある」「効果がある」を合わせた割合をみると、「寝具やリネンの交換、ベッド作成」(84.7%)、「配下膳」(80.9%)、「環境整備」(79.0%)、「物品搬送」(79.1%)が高かった。

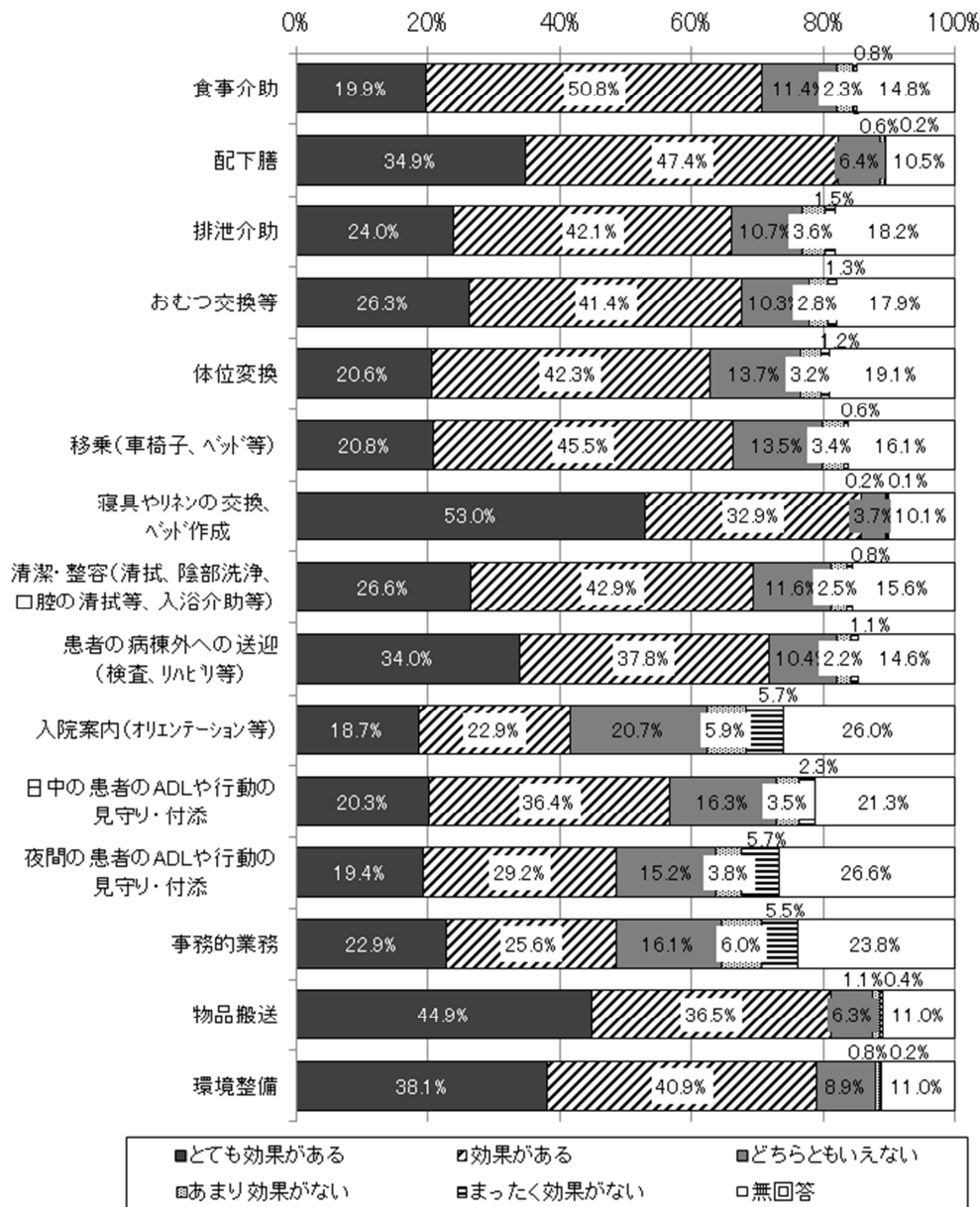
図表 278 看護補助者が業務を実施する場合の負担軽減効果
(看護補助者が配置されている病棟、n=1,082)



(参考 平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査結果)

看護補助者が業務を実施する場合の負担軽減効果

(看護補助者が配置されている病棟、n=1322)



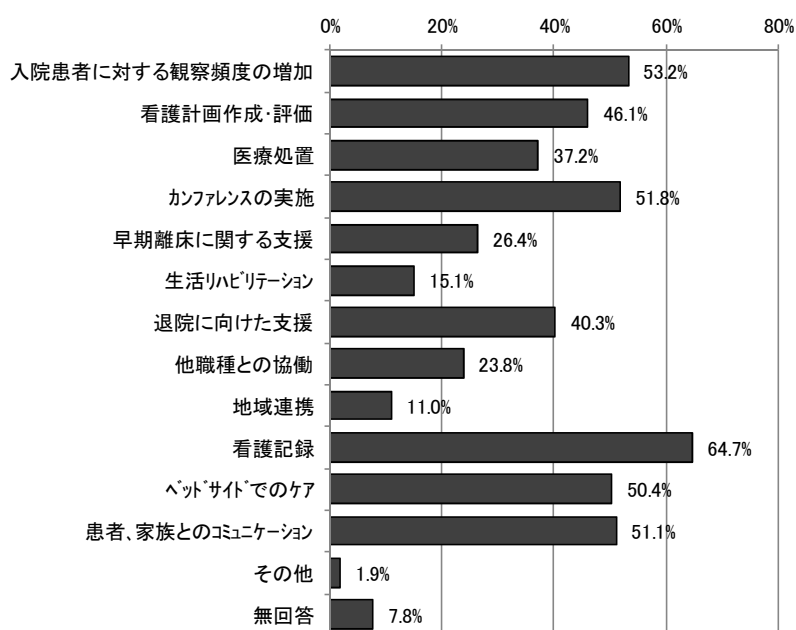
(出所) 「平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査 (平成 26 年度調査) 『夜間の看護要員配置の評価や月平均夜勤時間 72 時間要件を満たさない場合の緩和措置による影響及びチーム医療の推進等を含む医療従事者の負担軽減措置の実施状況調査』 看護職員調査 (看護師長票) の結果

(注) 調査対象施設は、病院勤務医等の負担の軽減及び処遇の改善等を要件とする診療報酬項目 (例; 総合入院体制加算、急性期看護補助体制加算、医師事務作業補助体制加算等) を算定している病院、またはチーム医療に関する診療報酬項目 (例; 病棟薬剤業務実施加算等) を算定している病院の中から無作為抽出した病院 1,000 施設であった。看護師長票の対象は、対象施設において無作為抽出した 4 病棟 (特定入院料を算定している病棟があれば当該病棟の中から 1 病棟) の看護師長それぞれ 1 名であった。

7) 看護補助者への業務委譲で業務時間が増加した業務

看護補助者が配置されている病棟における、看護補助者への業務委譲で業務時間が増加した業務についてみると、「看護記録」が64.7%で最も多く、次いで「入院患者に対する観察頻度の増加」(53.2%)、「カンファレンスの実施」(51.8%)であった。

図表 279 看護補助者への業務委譲で業務時間が増加した業務
(看護補助者が配置されている病棟、複数回答、n=1,082)

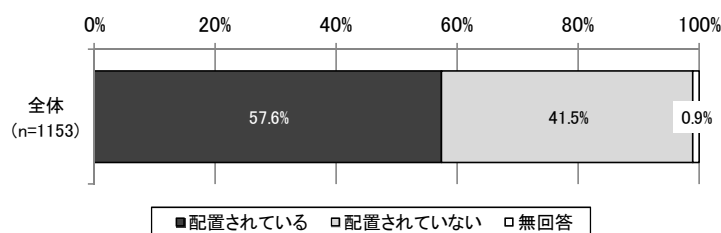


②病棟における薬剤師の配置

1) 病棟における薬剤師の配置状況

薬剤師の配置状況についてみると、「配置されている」が57.6%、「配置されていない」が41.5%であった。

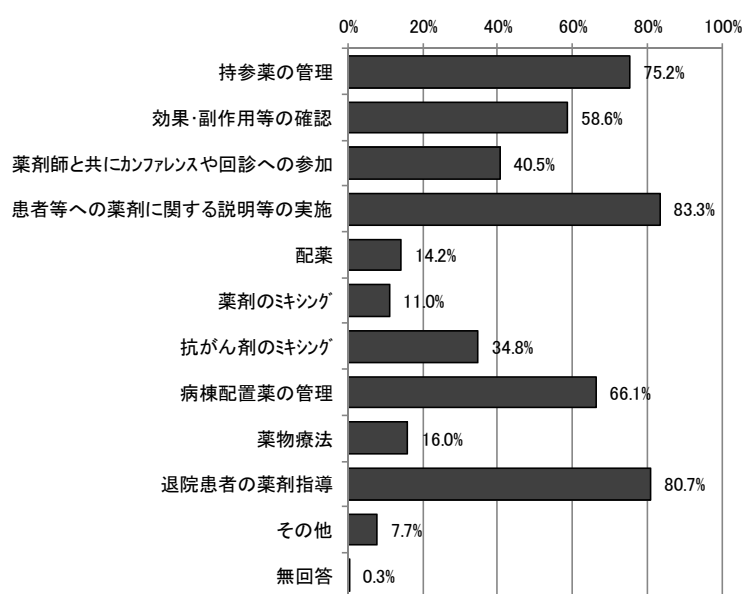
図表 280 病棟における薬剤師の配置状況



2) 病棟薬剤師が担っている業務、薬剤師と連携して実施している業務

薬剤師が配置されている病棟における、病棟薬剤師が担っている業務、薬剤師と連携して実施している業務についてみると、「患者等への薬剤に関する説明等の実施」が83.3%で最も多く、次いで「退院患者の薬剤指導」(80.7%)、「持参薬の管理」(75.2%)であった。

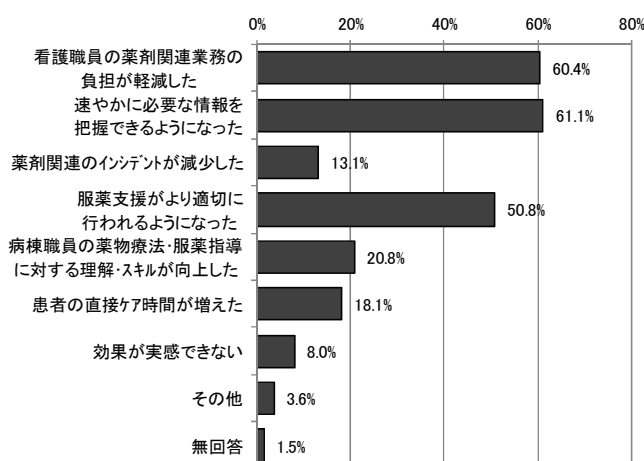
図表 281 病棟薬剤師が担っている業務、薬剤師と連携して実施している業務
(薬剤師が配置されている病棟、複数回答、n=664)



3) 病棟薬剤師の配置による効果

薬剤師が配置されている病棟における、病棟薬剤師の配置による効果についてみると、「速やかに必要な情報を把握できるようになった」が 61.1%で最も多く、次いで「看護職員の薬剤関連業務の負担が軽減した」(60.4%)であった。

図表 282 病棟薬剤師の配置による効果
(薬剤師が配置されている病棟、複数回答、n=664)

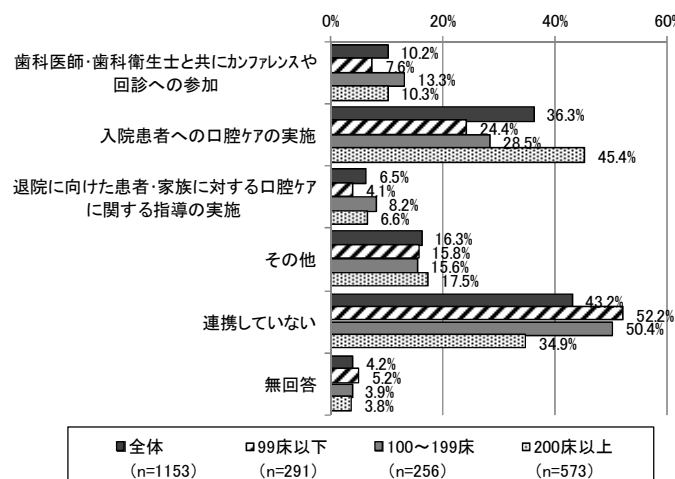


③ 歯科医師・歯科衛生士との連携状況

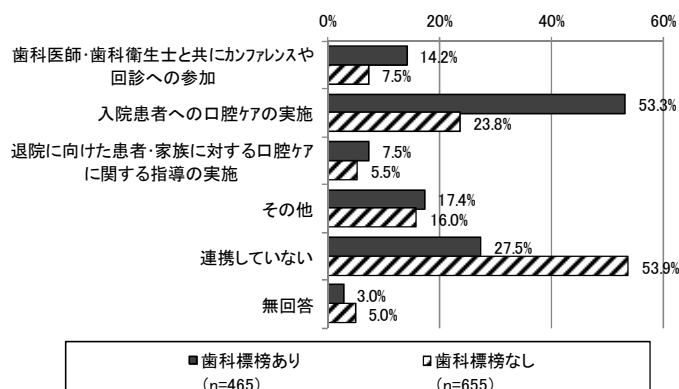
1) 歯科医師・歯科衛生士との連携状況

歯科医師・歯科衛生士との連携状況についてみると、全体では、「連携していない」が 43.2%で最も多く、次いで「入院患者への口腔ケアの実施」(36.3%)であった。

図表 283 歯科医師・歯科衛生士との連携状況 (複数回答)



図表 284 歯科医師・歯科衛生士との連携状況（歯科標榜の有無別）（複数回答）

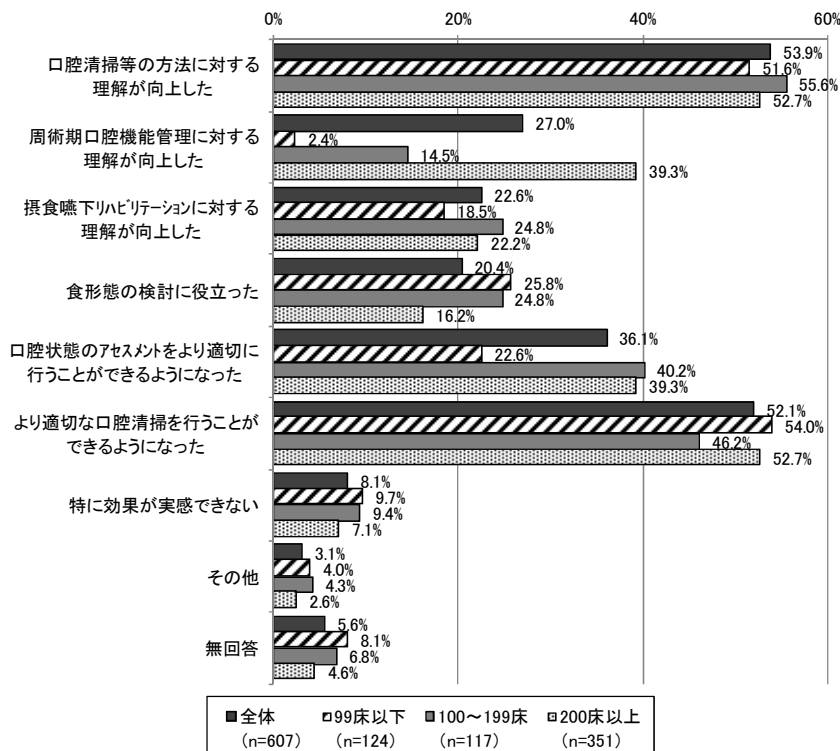


2) 歯科医師・歯科衛生士との連携による効果

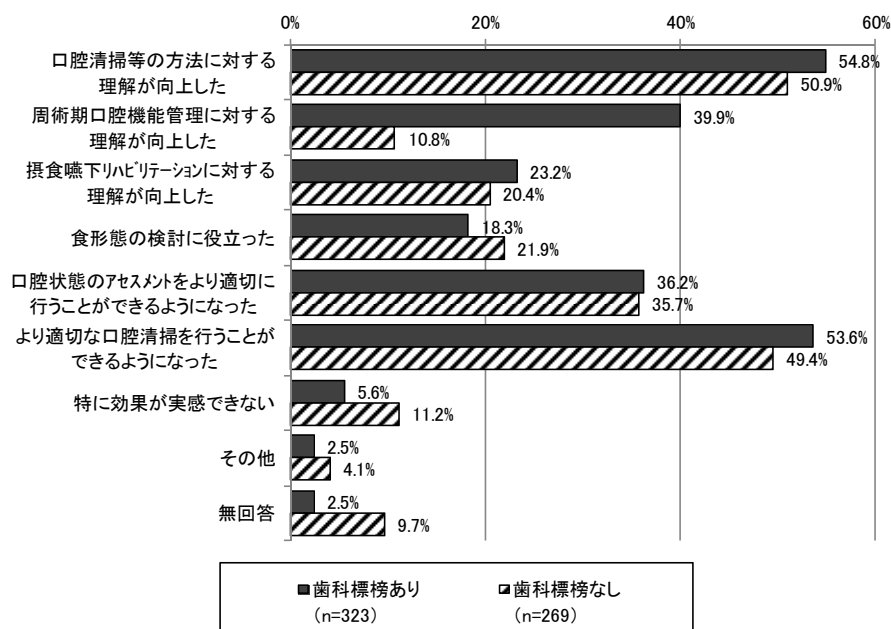
歯科医師・歯科衛生士との連携による効果についてみると、全体では、「口腔清掃等の方法に対する理解が向上した」が 53.9%で最も高く、次いで「より適切な口腔清掃を行うことができるようになった」(52.1%)であった。

図表 285 歯科医師・歯科衛生士との連携による効果

(歯科医師・歯科衛生士との連携がある病棟、複数回答)



図表 286 歯科医師・歯科衛生士との連携による効果（歯科標榜の有無別）
（歯科医師・歯科衛生士との連携がある病棟、複数回答）

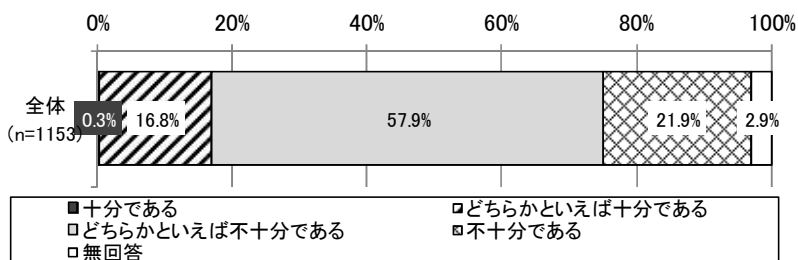


(5) 看護職員の負担軽減策に関する意見

①看護職員の勤務負担軽減策への評価

看護職員の勤務負担軽減策への評価についてみると、「十分である」「どちらかといえば十分である」が 17.1%、「どちらかといえば不十分である」「不十分である」が 79.8%であった。

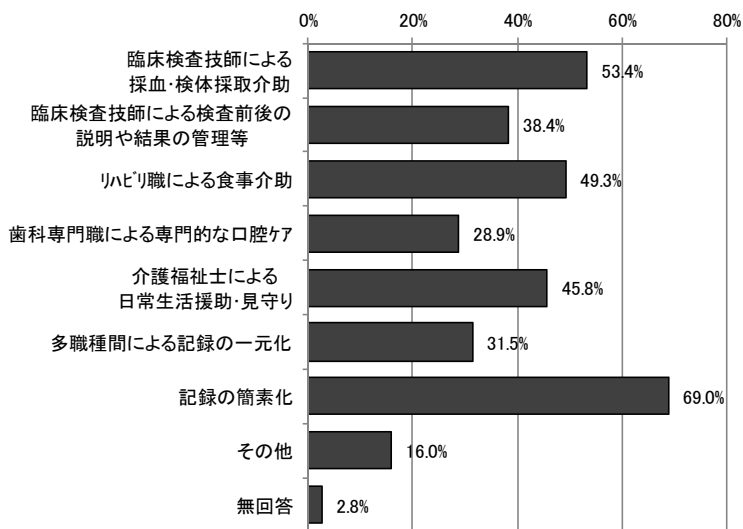
図表 287 看護職員の勤務負担軽減策への評価



②今後、看護職員の業務負担軽減のために必要な取組

今後、看護職員の業務負担軽減のために必要な取組についてみると、「記録の簡素化」が 69.0%で最も多く、次いで「臨床検査技師による採血・検体採取介助」(53.4%)であった。

図表 288 今後、看護職員の業務負担軽減のために必要な取組（複数回答、n=1,153）



5. 薬剤師調査の結果

【調査対象等】

調査対象：①薬剤部責任者票：施設調査の対象施設における薬剤部責任者1名を対象とした。

②病棟薬剤師調査：施設調査の対象施設において、病棟薬剤師が配置されている病棟のうち、1施設につき最大4病棟を対象とした。対象病棟は、ICU等の集中治療室等の病棟の中から1病棟、一般病棟の中から1病棟、療養病棟または精神病棟の中から1病棟、集中治療室以外の特定入院料の病棟の中から1病棟としたが、該当病棟がない場合は一般病棟の抽出数を増やすこととした。

回答数：①薬剤部責任者票：359件

②病棟薬剤師票：726件

回答者：①薬剤部責任者票：薬剤部門責任者

②病棟薬剤師票：対象病棟を担当する薬剤師

(1) 薬剤部責任者調査の結果

①施設の概要等

1) 1か月間の処方せん枚数

平成27年10月と平成28年10月の1か月間の処方せん枚数は次のとおりである。平成27年と平成28年を比較すると、すべての項目で処方せんの枚数が減少していた。

図表 289 1か月間の処方せんの枚数

(単位：枚)

| | 回答者数 | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|-----------|------|----------|--------|--------|----------|--------|--------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 外来の院外処方せん | 347 | 4369.7 | 5317.9 | 2630.0 | 4174.2 | 5054.5 | 2521.0 |
| 外来の院内処方せん | | 1171.5 | 2946.1 | 362.0 | 1093.2 | 2801.8 | 331.0 |
| 入院患者の処方せん | | 3441.8 | 4636.3 | 1725.0 | 3434.2 | 4623.0 | 1761.0 |

(注) すべての項目について記入のあった回答者を集計対象とした。

2) インシデント数

平成 27 年 10 月と平成 28 年 10 月の 1 か月間のインシデント数は次のとおりである。平成 27 年と平成 28 年を比較すると、レベル 2 以上のインシデント数が平均で 0.1 件増加したのに対し、療養病棟・精神病棟のインシデント数が平均で 0.2 件減少した。

図表 290 1 か月間のインシデント数

(単位：件)

| | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | |
|------------------------|------|--------------|------|------|--------------|------|------|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| レベル 2 以上のインシデント数 | 328 | 35.2 | 55.1 | 14.5 | 35.3 | 52.5 | 16.0 |
| このうち、薬剤に関するインシデント数 | | 9.1 | 18.8 | 3.0 | 9.1 | 18.4 | 3.0 |
| このうち、療養病棟・精神病棟のインシデント数 | | 0.9 | 4.4 | 0.0 | 0.7 | 3.6 | 0.0 |
| このうち、集中治療室等のインシデント数 | | 0.6 | 1.9 | 0.0 | 0.6 | 2.0 | 0.0 |

(注) ・すべての項目について記入のあった回答者を集計対象とした。

- ・レベル 2 とは、国立大学病院医療安全管理協議会の影響レベルを指す。
- ・集中治療室等とは、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料又は総合周産期特定集中治療室管理料を算定する治療室を指す。

3) 薬剤師が配置されている病棟数

平成 27 年 10 月と平成 28 年 10 月の薬剤師が配置されている病棟数は次のとおりである。平成 27 年と平成 28 年を比較すると、全病棟のうち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数が 0.2 病棟増加していた。

図表 291 薬剤師が配置されている病棟数

(単位：病棟)

| | 回答者数 | 平成 27 年 10 月 | | | 平成 28 年 10 月 | | |
|--------------------------|------|--------------|------|-----|--------------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 全病棟数 | 334 | 6.5 | 6.4 | 5.0 | 6.6 | 6.4 | 4.5 |
| このうち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数 | | 4.1 | 6.5 | 1.0 | 4.3 | 6.5 | 1.0 |
| 療養病棟・精神病棟の病棟数 | 327 | 1.0 | 2.1 | 0.0 | 1.0 | 2.1 | 0.0 |
| このうち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数 | | 0.3 | 1.2 | 0.0 | 0.3 | 1.2 | 0.0 |
| 集中治療室等の病棟数 | 326 | 0.7 | 1.5 | 0.0 | 0.8 | 1.6 | 0.0 |
| このうち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数 | | 0.4 | 1.1 | 0.0 | 0.4 | 1.2 | 0.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

4) 病棟に配置されている薬剤師数

平成27年10月と平成28年10月の病棟に配置されている薬剤師数は次のとおりである。平成27年10月と平成28年10月を比較すると、病棟に配置されている薬剤師はやや増加している。

図表 292 病棟に配置されている薬剤師数

(単位：人)

| | 回答者数 | 平成27年10月 | | | 平成28年10月 | | |
|----------------------------|------|----------|------|-----|----------|------|-----|
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 病棟専任の薬剤師数 | 350 | 4.7 | 8.4 | 1.0 | 5.1 | 8.9 | 1.0 |
| このうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数 | | 0.2 | 1.0 | 0.0 | 0.3 | 1.2 | 0.0 |
| このうち、集中治療室等に配置されている薬剤師数 | | 0.4 | 1.3 | 0.0 | 0.5 | 1.7 | 0.0 |

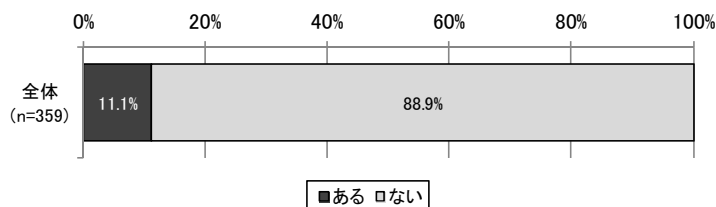
(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

②薬剤師の各業務の実施状況

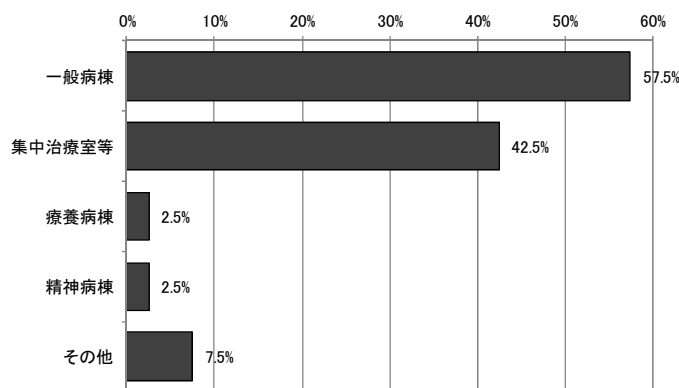
1) 平成28年4月以降の新たな薬剤師の病棟配置

平成28年4月以降の新たに薬剤師を配置した病棟の有無についてみると、「ある」は11.1%であった。

図表 293 平成28年4月以降の新たに薬剤師を配置した病棟の有無



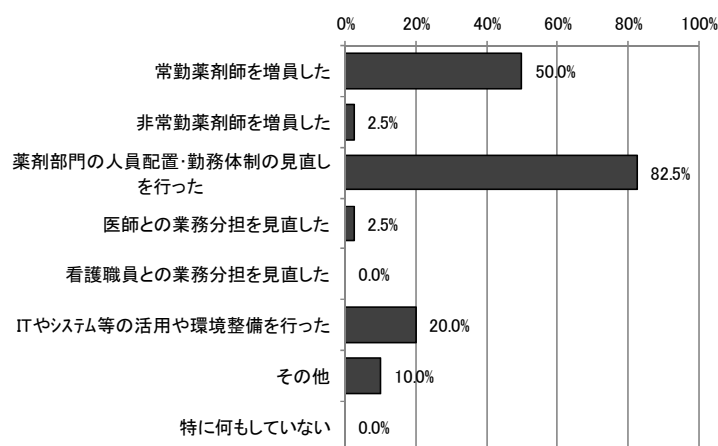
図表 294 新たに薬剤師を配置した病棟の種別
(新たに薬剤師を配置した施設、複数回答、n=40)



(注) 「その他」の内容としては「新生児治療回復室入院医学管理料を算定する治療室」、「回復期リハビリテーション病棟」、「地域包括ケア病棟」が挙げられた。

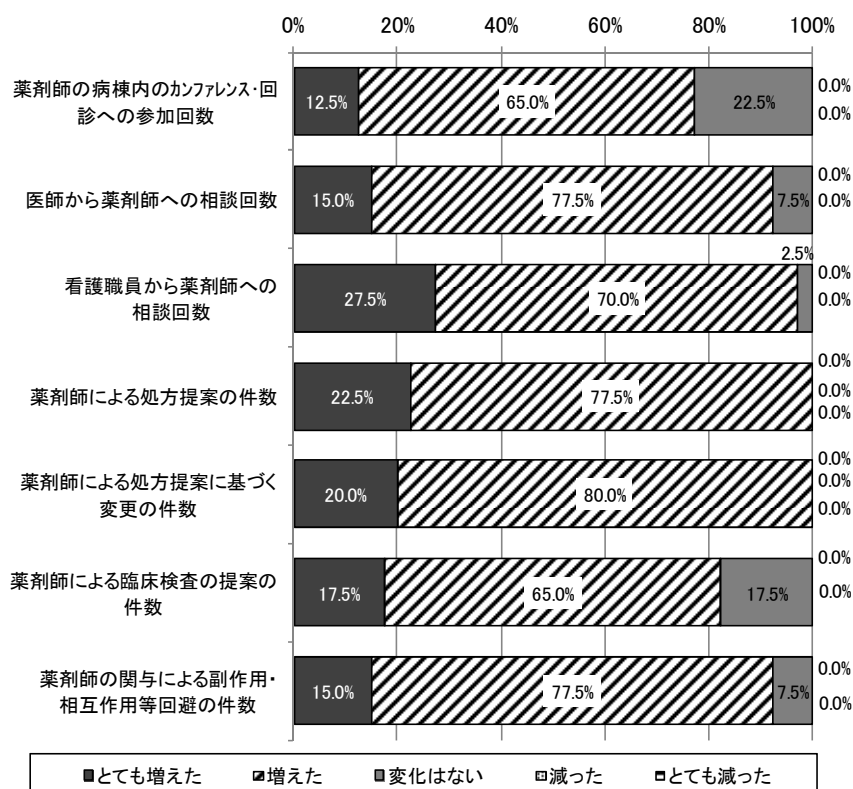
新たに薬剤師を配置するための対応についてみると、「薬剤部門の人員配置・勤務体制の見直しを行った」が82.5%で最も多かった。

図表 295 新たに薬剤師を配置するための対応
(新たに薬剤師を配置した施設、複数回答、n=40)



配置前後での変化は次のとおりである。

図表 296 配置前後での変化 (新たに薬剤師を配置した施設、n=40)

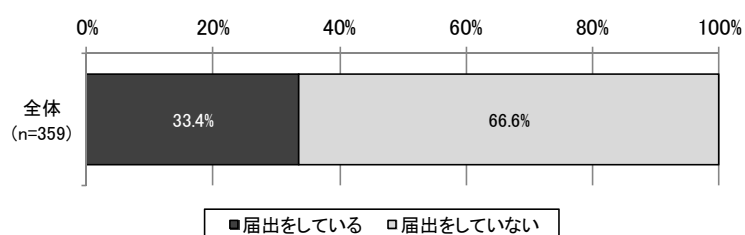


2) 病棟薬剤業務実施加算1の届出状況

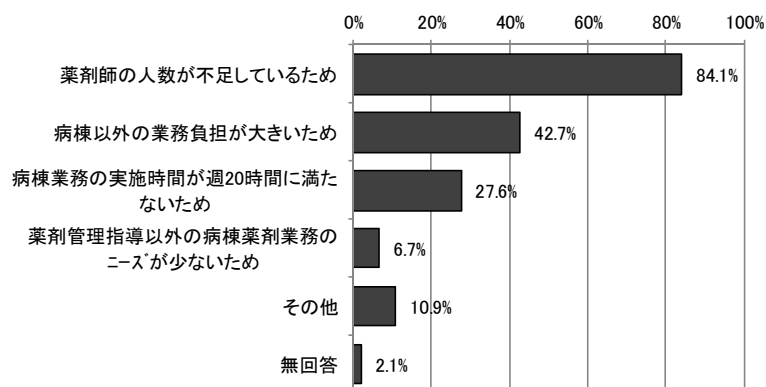
病棟薬剤業務実施加算1の届出状況についてみると、「届出をしている」が33.4%、「届出をしていない」が66.6%であった。

届出をしていない施設が病棟薬剤業務実施加算1の届出をしていない理由についてみると、「薬剤師の人数が不足しているため」が84.1%で最も多かった。

図表 297 病棟薬剤業務実施加算1の届出の有無



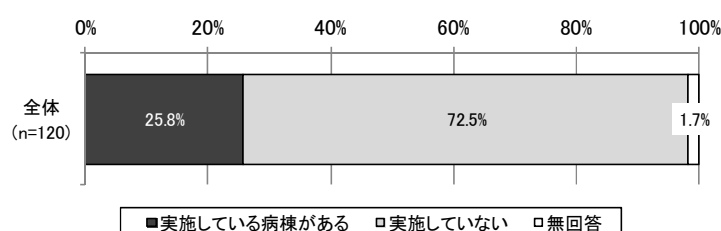
図表 298 病棟薬剤業務実施加算1の届出をしていない理由
(病棟薬剤業務実施加算1の届出をしていない施設、複数回答、n=239)



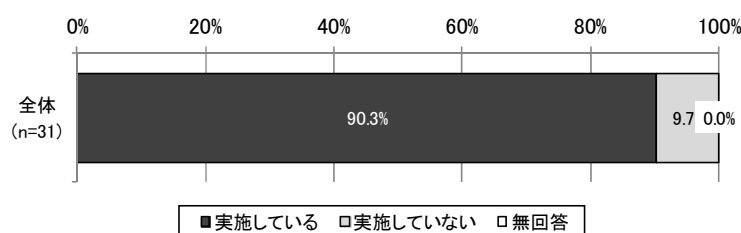
療養病棟・精神病棟での病棟薬剤業務実施の有無についてみると、「実施している病棟がある」が25.8%であった。

療養病棟・精神病棟で病棟薬剤業務を実施している施設について、療養病棟・精神病棟における9週目以降での病棟薬剤業務実施の有無についてみると、「実施している」が90.3%であった。

図表 299 療養病棟・精神病棟での病棟薬剤業務実施の有無
(病棟薬剤業務実施加算1の届出をしている施設)

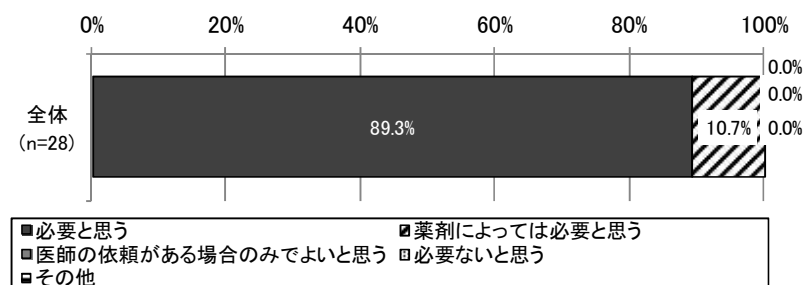


図表 300 療養病棟・精神病棟における9週目以降での病棟薬剤業務実施の有無
(療養病棟・精神病棟で病棟薬剤業務を実施している施設)



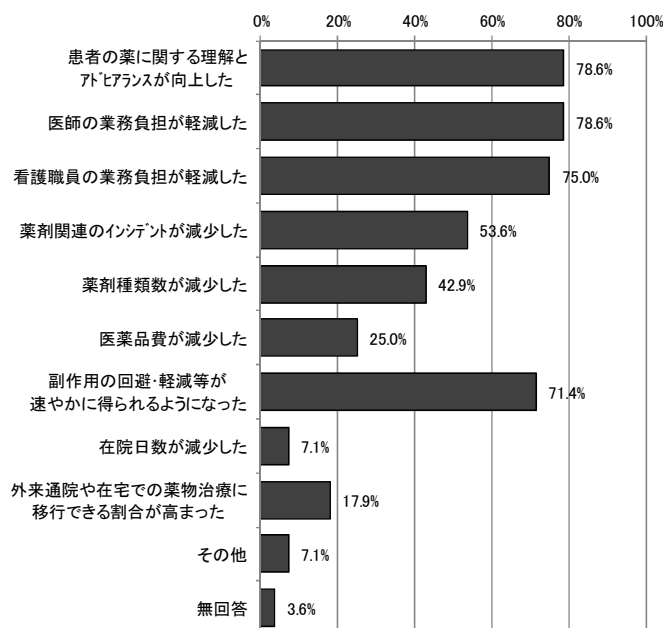
療養病棟・精神病棟で9週目以降も病棟薬剤業務を実施している施設について、9週目以降での病棟薬剤業務の必要性を尋ねたところ、「必要と思う」が89.3%であった。

図表 301 9週目以降での病棟薬剤業務の必要性
(療養病棟・精神病棟で9週目以降も病棟薬剤業務を実施している施設)



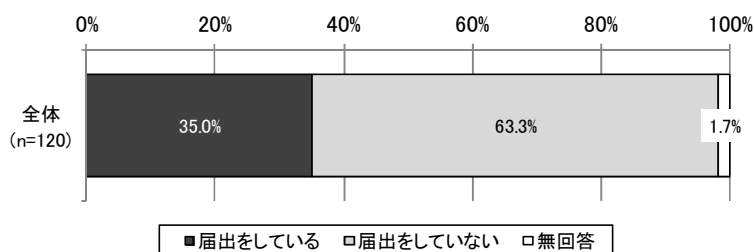
図表 302 9 週目以降での病棟薬剤業務の効果

(療養病棟・精神病棟で9週目以降も病棟薬剤業務を実施している施設、複数回答、n=28)

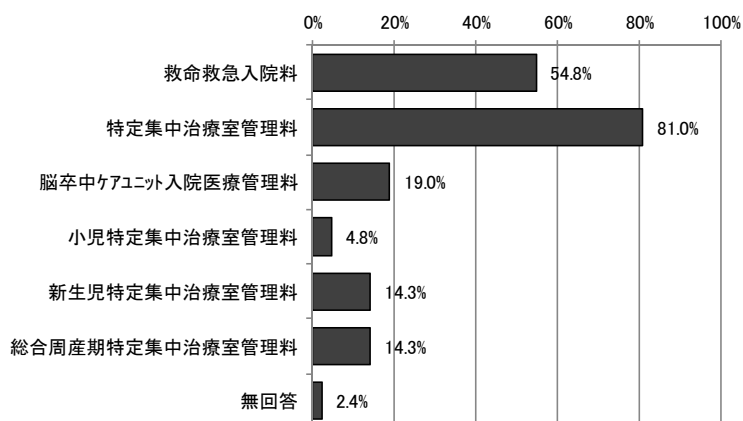


病棟薬剤業務実施加算 1 の届出をしている施設について、病棟薬剤業務実施加算 2 の届出の有無をみると、「届出をしている」が 35.0%、「届出をしていない」が 63.3%であった。薬剤師の配置は「特定集中治療室管理料」が 81.0%で最も多かった。

図表 303 病棟薬剤業務実施加算 2 の届出の有無
(病棟薬剤業務実施加算 1 の届出をしている施設)

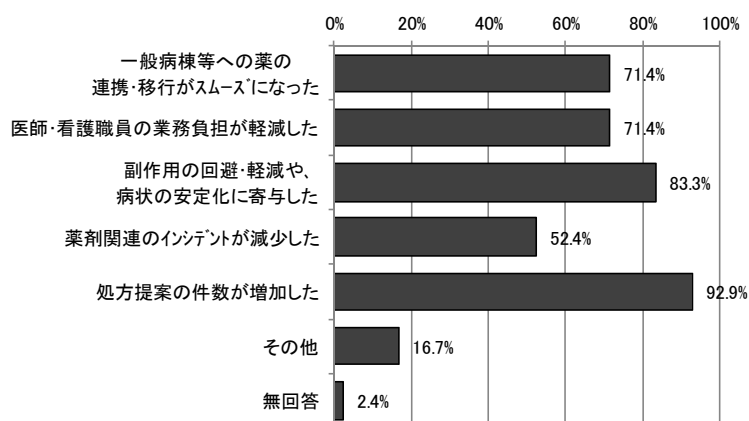


図表 304 病棟薬剤業務実施加算 2 として、どこに薬剤師を配置しているか
 (病棟薬剤業務実施加算 2 の届出をしている施設、複数回答、n=42)



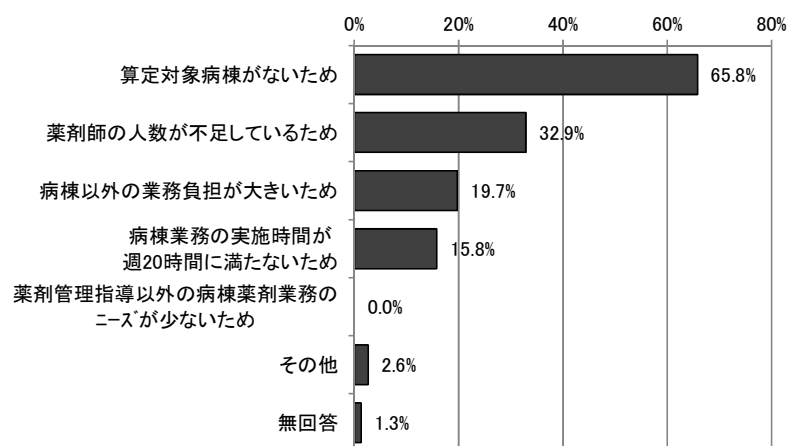
病棟薬剤業務実施加算 2 の届出をしている施設における実施体制構築による効果についてみると、「処方提案の件数が増加した」が 92.9% で最も多かった。

図表 305 病棟薬剤業務実施加算 2 の実施体制構築による効果
 (病棟薬剤業務実施加算 2 の届出をしている施設、複数回答、n=42)



病棟薬剤業務実施加算 2 の届出をしていない施設の届出をしていない理由についてみると、「算定対象病棟がないため」が 65.8%で最も多かった。

図表 306 病棟薬剤業務実施加算 2 の届出をしていない理由
 (病棟薬剤業務実施加算 2 の届出をしていない施設、複数回答、n=76)



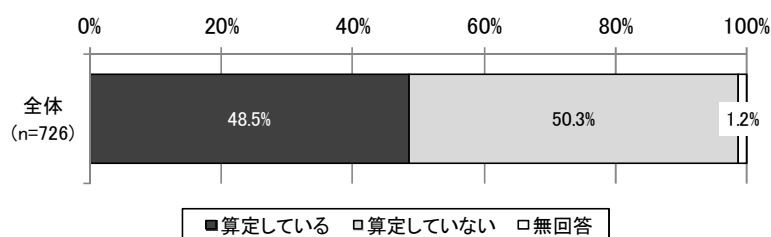
(2) 病棟薬剤師調査の結果

①病棟の状況等

1) 病棟薬剤業務実施加算の算定の有無

病棟薬剤業務実施加算の算定についてみると、「算定している」が 48.5%、「算定していない」が 50.3%であった。

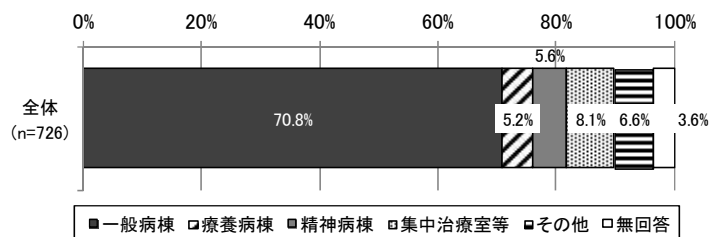
図表 307 病棟薬剤業務実施加算の算定の有無



2) 病棟種別

病棟種別は次のとおりである。

図表 308 病棟種別

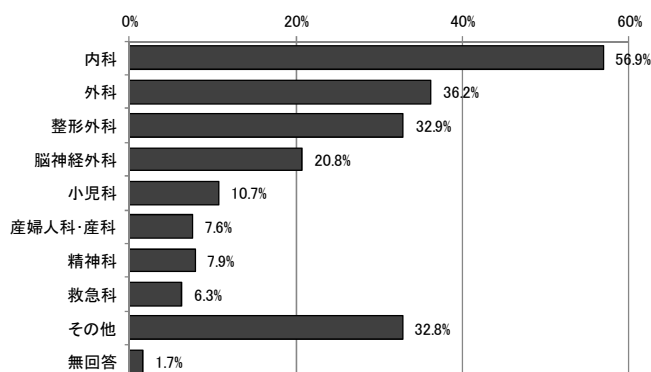


(注) 集中治療室等とは、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料又は総合周産期特定集中治療室管理料を算定する治療室を指す。

3) 診療科

病棟の診療科は次のとおりである。

図表 309 診療科（複数回答、n=726）



4) 病棟の病床数

病棟の病床数は次のとおりである。

図表 310 当該病棟の病床数

(単位：床)

| | 回答者数 | 平均 | 標準偏差 | 中央値 |
|------------|------|------|------|------|
| 全体 | 663 | 42.4 | 13.7 | 46.0 |
| 【再掲】一般病棟 | 479 | 46.1 | 9.2 | 48.0 |
| 【再掲】療養病棟 | 32 | 45.8 | 11.7 | 47.0 |
| 【再掲】精神病棟 | 35 | 46.1 | 13.5 | 46.0 |
| 【再掲】集中治療室等 | 58 | 14.5 | 9.1 | 11.0 |
| 【再掲】その他 | 43 | 36.2 | 15.9 | 38.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

5) 病棟の平均在院日数

病棟の平均在院日数は次のとおりである。

図表 311 当該病棟の平均在院日数

(単位：日)

| | 回答者数 | 平均 | 標準偏差 | 中央値 |
|------------|------|-------|-------|-------|
| 全体 | 662 | 41.2 | 116.7 | 15.3 |
| 【再掲】一般病棟 | 471 | 19.7 | 56.3 | 14.0 |
| 【再掲】療養病棟 | 36 | 183.4 | 195.7 | 112.6 |
| 【再掲】精神病棟 | 39 | 203.1 | 315.0 | 54.1 |
| 【再掲】集中治療室等 | 58 | 9.0 | 12.4 | 5.2 |
| 【再掲】その他 | 41 | 57.7 | 87.7 | 40.0 |

(注) 記入のあった回答者を集計対象とした。

6) 1 週間の入院延べ患者数

1 週間の入院延べ患者数は次のとおりである。

図表 312 1 週間の入院延べ患者数

(単位：人)

| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------|-------|-------|-------|
| 583 | 222.7 | 107.0 | 250.0 |

(注)・1 週間の入院延べ患者数と、このうち特定入院料を算定した患者数の両方に記入のあった回答者を集計対象とした。
 ・平成 28 年 11 月 13 日～平成 28 年 11 月 19 日の 1 週間。

図表 313 1 週間の入院延べ患者数のうち、特定入院料を算定した患者数

(単位：人)

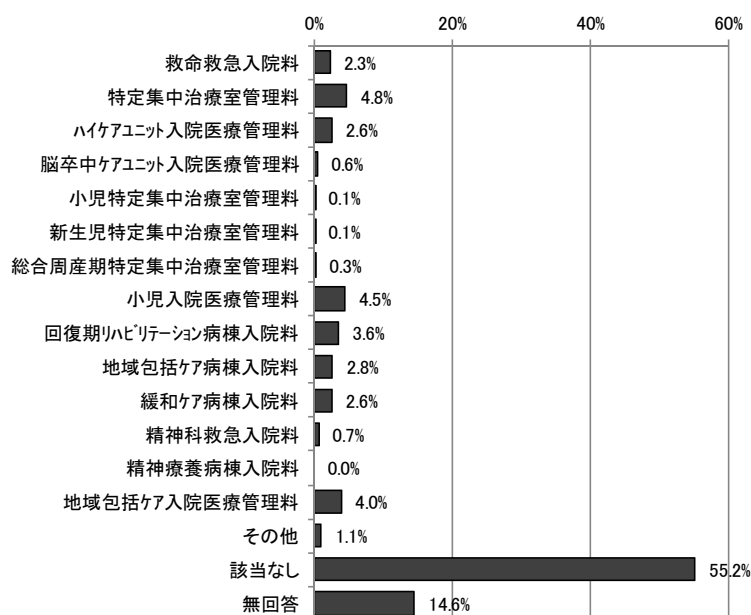
| 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------|------|------|-----|
| 583 | 36.2 | 78.5 | 0.0 |

(注)・1 週間の入院延べ患者数と、このうち特定入院料を算定した患者数の両方に記入のあった回答者を集計対象とした。
 ・平成 28 年 11 月 13 日～平成 28 年 11 月 19 日の 1 週間。

1 週間の入院延べ患者のうち、算定した患者数が最も多い特定入院料についてみると、「該当なし」が 55.2%で最も多く、次いで「特定集中治療室管理料」(4.8%)、「小児入院医療管理料」(4.5%)であった。

図表 314 1 週間の入院延べ患者のうち、算定した患者数が最も多い特定入院料

(単数回答、n=726)



算定した患者数が最も多い特定入院料別に、1週間の入院延べ患者数とそのうち特定入院料を算定した患者数についてみると、算定した患者数が最も多い特定入院料が「緩和ケア病棟入院料」の病棟では、1週間の入院延べ患者数が平均 87.9 人で、その全員が特定入院料を算定していた。算定した患者数が最も多い特定入院料が「回復期リハビリテーション病棟入院料」の病棟では、1週間の入院延べ患者が平均 254.7 人で、特定入院料を算定した患者数が平均 250.1 人であった。

図表 315 1週間の入院延べ患者数（算定した患者数が最も多い特定入院料別）

(単位：人)

| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-------------------------|-------|-------|-------|
| 救命救急入院料(n=14) | 130.4 | 98.7 | 97.0 |
| 特定集中治療室管理料(n=32) | 90.2 | 98.2 | 54.0 |
| ハイケアユニット入院医療管理料(n=18) | 160.4 | 101.7 | 142.0 |
| 脳卒中ケアユニット入院医療管理料(n=3) | 174.0 | 138.2 | 223.0 |
| 総合周産期特定集中治療室管理料(n=1) | 125.0 | - | 125.0 |
| 小児入院医療管理料(n=31) | 209.5 | 83.6 | 203.0 |
| 回復期リハビリテーション病棟入院料(n=18) | 254.7 | 101.4 | 253.5 |
| 地域包括ケア病棟入院料(n=16) | 183.9 | 85.8 | 201.0 |
| 緩和ケア病棟入院料(n=12) | 87.9 | 55.6 | 105.5 |
| 精神科救急入院料(n=4) | 270.5 | 93.5 | 254.0 |
| 地域包括ケア入院医療管理料(n=21) | 258.0 | 96.1 | 279.0 |

(注)・1週間の入院延べ患者数と、このうち特定入院料を算定した患者数の両方に記入のあった回答者を集計対象とした。

- ・平成 28 年 11 月 13 日～平成 28 年 11 月 19 日の 1 週間。
- ・算定した患者数が最も多い特定入院料が「小児特定集中治療室管理料」、「新生児特定集中治療室管理料」、「精神療養病棟入院料」については回答者がいなかった。

図表 316 1週間の入院延べ患者数のうち、特定入院料を算定した患者数
(算定した患者数が最も多い特定入院料別)

(単位：人)

| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-------------------------|-------|-------|-------|
| 救命救急入院料(n=14) | 55.8 | 41.1 | 50.0 |
| 特定集中治療室管理料(n=32) | 46.6 | 27.8 | 42.0 |
| ハイケアユニット入院医療管理料(n=18) | 37.7 | 29.8 | 25.5 |
| 脳卒中ケアユニット入院医療管理料(n=3) | 23.7 | 16.3 | 18.0 |
| 総合周産期特定集中治療室管理料(n=1) | 97.0 | - | 97.0 |
| 小児入院医療管理料(n=31) | 112.7 | 94.3 | 114.0 |
| 回復期リハビリテーション病棟入院料(n=18) | 250.1 | 101.3 | 234.0 |
| 地域包括ケア病棟入院料(n=16) | 156.2 | 98.9 | 199.5 |
| 緩和ケア病棟入院料(n=12) | 87.9 | 55.6 | 105.5 |
| 精神科救急入院料(n=4) | 245.3 | 113.3 | 221.5 |
| 地域包括ケア入院医療管理料(n=21) | 150.0 | 96.9 | 140.0 |

(注)・1週間の入院延べ患者数と、このうち特定入院料を算定した患者数の両方に記入のあった回答者を集計対象とした。

・平成28年11月13日～平成28年11月19日の1週間。

・算定した患者数が最も多い特定入院料が「小児特定集中治療室管理料」、「新生児特定集中治療室管理料」、「精神療養病棟入院料」については回答者がいなかった。

②当該病棟における薬剤師の病棟勤務状況

1) 薬剤師の1週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に該当する時間

当該病棟における薬剤師の1週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に該当する時間についてみると、全体では平均1,349.3分(中央値1,335.0)であった。

図表 317 当該病棟における薬剤師の1週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に
該当する時間

(単位：分)

| | 回答者数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|------------|------|---------|-------|---------|
| 全体 | 628 | 1,349.3 | 821.0 | 1,335.0 |
| 【再掲】一般病棟 | 447 | 1,455.2 | 796.7 | 1,425.0 |
| 【再掲】療養病棟 | 32 | 904.9 | 903.2 | 600.0 |
| 【再掲】精神病棟 | 34 | 854.3 | 588.6 | 880.0 |
| 【再掲】集中治療室等 | 54 | 1,477.9 | 712.1 | 1,455.0 |

(注)・記入のあった回答者を集計対象とした。

・平成28年11月13日～平成28年11月19日の1週間。

・当該病棟の病棟業務を実施するすべての薬剤師の合計時間。

図表 318 1週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に該当する時間内で実施している各業務の業務時間（当該病棟に勤務するすべての薬剤師の合計時間）（全体、n=628）

（単位：分）

| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|---|-------|-------|-------|
| ①医薬品の投薬・注射状況の把握 | 406.5 | 358.9 | 300.0 |
| ②使用している医薬品の医薬品安全性情報等の把握及び周知 | 70.9 | 114.0 | 30.0 |
| ③入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案 | 280.2 | 287.8 | 200.0 |
| ④2種以上（注射薬と内用薬を1種以上含む）の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認 | 89.1 | 118.3 | 60.0 |
| ⑤患者等に対するハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明 | 74.0 | 131.3 | 30.0 |
| ⑥薬剤の投与における、流量又は投与量の計算等の実施 | 58.6 | 91.7 | 30.0 |
| ⑦薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理 | 23.9 | 71.0 | 0.0 |
| ⑧患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方提案 | 54.9 | 81.9 | 30.0 |
| ⑨抗がん剤等の無菌調製 | 53.7 | 146.9 | 0.0 |
| ⑩他の医療スタッフへの助言や相談への応需 | 70.6 | 82.2 | 50.0 |
| ⑪カンファレンスへの参加及び回診への同行 | 74.2 | 110.1 | 30.0 |
| ⑫その他 | 92.6 | 203.9 | 0.0 |

（注）記入のあった回答者を集計対象とした。

図表 319 1週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に該当する時間内で実施している各業務の業務時間（当該病棟に勤務するすべての薬剤師の合計時間）

（一般病棟、n=447）

（単位：分）

| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|---|-------|-------|-------|
| ①医薬品の投薬・注射状況の把握 | 418.2 | 355.3 | 330.0 |
| ②使用している医薬品の医薬品安全性情報等の把握及び周知 | 76.8 | 123.5 | 40.0 |
| ③入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案 | 341.7 | 299.5 | 290.0 |
| ④2種以上（注射薬と内用薬を1種以上含む）の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認 | 88.9 | 118.5 | 60.0 |
| ⑤患者等に対するハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明 | 85.1 | 142.1 | 45.0 |
| ⑥薬剤の投与における、流量又は投与量の計算等の実施 | 55.6 | 79.9 | 30.0 |
| ⑦薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理 | 28.2 | 79.0 | 0.0 |
| ⑧患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方提案 | 57.5 | 83.8 | 30.0 |
| ⑨抗がん剤等の無菌調製 | 63.6 | 144.8 | 0.0 |
| ⑩他の医療スタッフへの助言や相談への応需 | 72.3 | 81.5 | 55.0 |
| ⑪カンファレンスへの参加及び回診への同行 | 71.1 | 106.4 | 30.0 |
| ⑫その他 | 96.2 | 203.6 | 0.0 |

（注）記入のあった回答者を集計対象とした。

図表 320 1週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に該当する時間内で実施している各業務の業務時間（当該病棟に勤務するすべての薬剤師の合計時間）
（療養病棟、n=32）

（単位：分）

| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|---|-------|-------|-------|
| ①医薬品の投薬・注射状況の把握 | 311.3 | 406.4 | 200.0 |
| ②使用している医薬品の医薬品安全性情報等の把握及び周知 | 82.7 | 112.8 | 47.5 |
| ③入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案 | 97.8 | 135.4 | 60.0 |
| ④2種以上（注射薬と内用薬を1種以上含む）の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認 | 75.0 | 102.1 | 40.0 |
| ⑤患者等に対するハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明 | 46.9 | 94.7 | 15.0 |
| ⑥薬剤の投与における、流量又は投与量の計算等の実施 | 30.8 | 49.4 | 0.0 |
| ⑦薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理 | 20.9 | 52.0 | 0.0 |
| ⑧患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方提案 | 55.6 | 65.5 | 30.0 |
| ⑨抗がん剤等の無菌調製 | 2.5 | 14.1 | 0.0 |
| ⑩他の医療スタッフへの助言や相談への応需 | 78.0 | 97.8 | 40.5 |
| ⑪カンファレンスへの参加及び回診への同行 | 41.1 | 78.0 | 0.0 |
| ⑫その他 | 62.3 | 227.3 | 0.0 |

（注）記入のあった回答者を集計対象とした。

図表 321 1週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に該当する時間内で実施している各業務の業務時間（当該病棟に勤務するすべての薬剤師の合計時間）
（精神病棟、n=34）

（単位：分）

| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|---|-------|-------|-------|
| ①医薬品の投薬・注射状況の把握 | 368.2 | 366.5 | 185.0 |
| ②使用している医薬品の医薬品安全性情報等の把握及び周知 | 49.1 | 65.2 | 25.0 |
| ③入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案 | 71.8 | 76.0 | 60.0 |
| ④2種以上（注射薬と内用薬を1種以上含む）の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認 | 63.7 | 91.8 | 30.0 |
| ⑤患者等に対するハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明 | 37.1 | 93.0 | 0.0 |
| ⑥薬剤の投与における、流量又は投与量の計算等の実施 | 26.6 | 63.1 | 0.0 |
| ⑦薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理 | 7.9 | 18.2 | 0.0 |
| ⑧患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方提案 | 32.4 | 58.0 | 10.0 |
| ⑨抗がん剤等の無菌調製 | 2.1 | 7.3 | 0.0 |
| ⑩他の医療スタッフへの助言や相談への応需 | 47.1 | 61.5 | 30.0 |
| ⑪カンファレンスへの参加及び回診への同行 | 87.4 | 98.5 | 50.0 |
| ⑫その他 | 61.1 | 123.3 | 0.0 |

（注）記入のあった回答者を集計対象とした。

図表 322 1週間あたりの病棟薬剤業務実施加算に該当する時間内で実施している各業務の業務時間（当該病棟に勤務するすべての薬剤師の合計時間）
（集中治療室、n=54）

（単位：分）

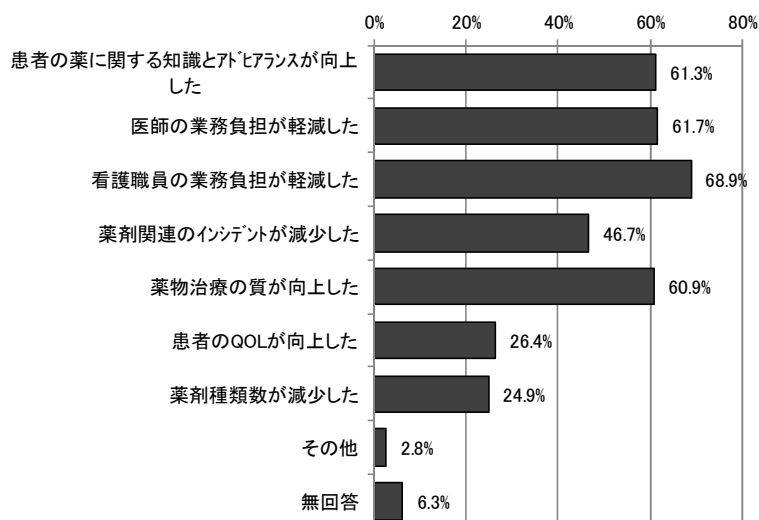
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|---|-------|-------|-------|
| ①医薬品の投薬・注射状況の把握 | 474.7 | 313.7 | 450.0 |
| ②使用している医薬品の医薬品安全性情報等の把握及び周知 | 51.7 | 62.9 | 30.0 |
| ③入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案 | 138.2 | 133.3 | 100.0 |
| ④2種以上（注射薬と内用薬を1種以上含む）の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認 | 135.5 | 133.2 | 100.0 |
| ⑤患者等に対するハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明 | 39.6 | 77.4 | 0.0 |
| ⑥薬剤の投与における、流量又は投与量の計算等の実施 | 125.8 | 145.3 | 70.0 |
| ⑦薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理 | 22.2 | 64.3 | 0.0 |
| ⑧患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方提案 | 71.5 | 100.0 | 47.5 |
| ⑨抗がん剤等の無菌調製 | 62.5 | 251.5 | 0.0 |
| ⑩他の医療スタッフへの助言や相談への応需 | 87.8 | 100.5 | 60.0 |
| ⑪カンファレンスへの参加及び回診への同行 | 123.2 | 152.0 | 62.5 |
| ⑫その他 | 145.2 | 261.7 | 0.0 |

（注）記入のあった回答者を集計対象とした。

2) 病棟薬剤業務を実施することによる効果

病棟薬剤業務を実施することによる効果についてみると、「看護職員の業務負担が軽減した」が68.9%で最も多く、次いで「医師の業務負担が軽減した」（61.7%）であった。

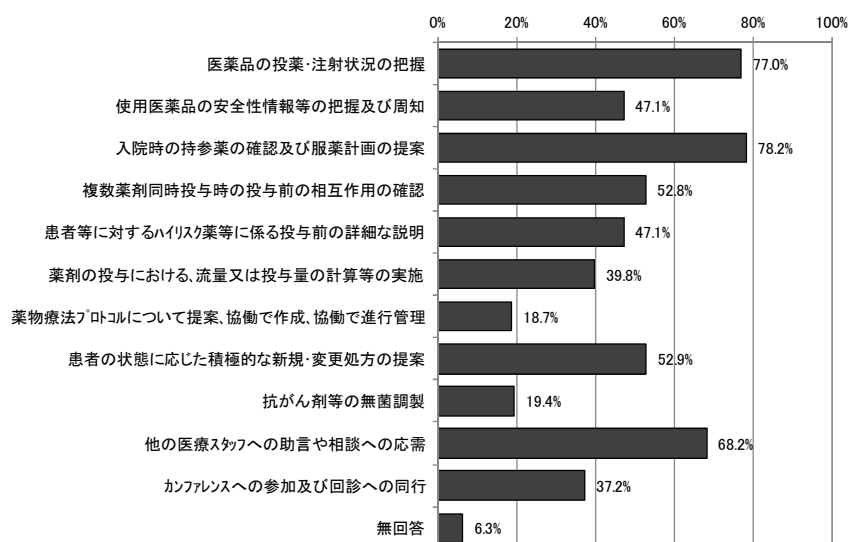
図表 323 病棟薬剤業務を実施することによる効果（複数回答、n=726）



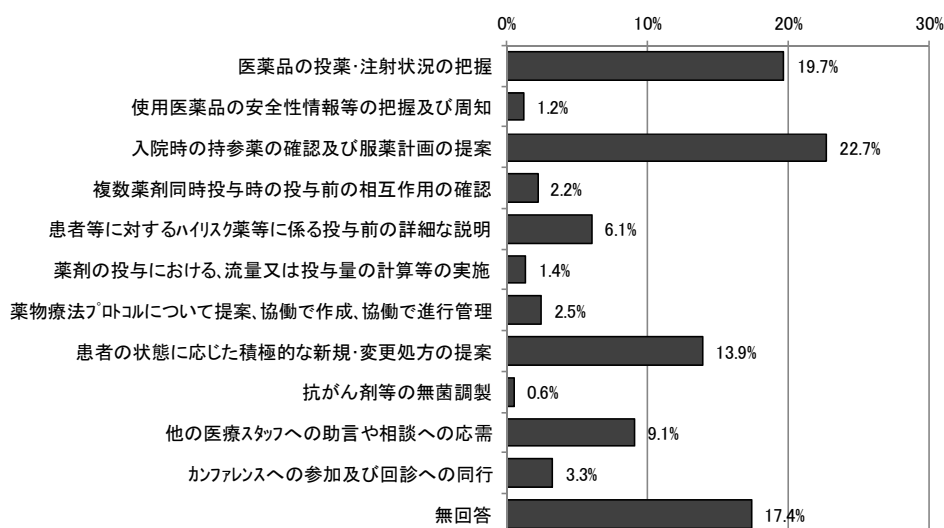
3) 効果に影響を与える業務

効果に影響を与える業務についてみると、「入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案」が78.2%で最も多く、次いで「医薬品の投薬・注射状況の把握」(77.0%)、「他の医療スタッフへの助言や相談への応需」(68.2%)であった。

図表 324 効果に影響を与える業務（複数回答、n=726）



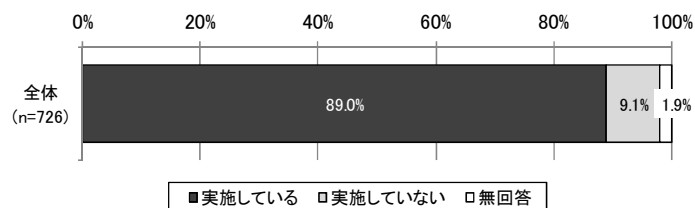
図表 325 効果に最も影響を与える業務（単数回答、n=726）



4) 薬剤師を積極的に活用することが望ましい業務

薬剤師を積極的に活用することが望ましい業務の実施状況についてみると、「実施している」が89.0%であった。

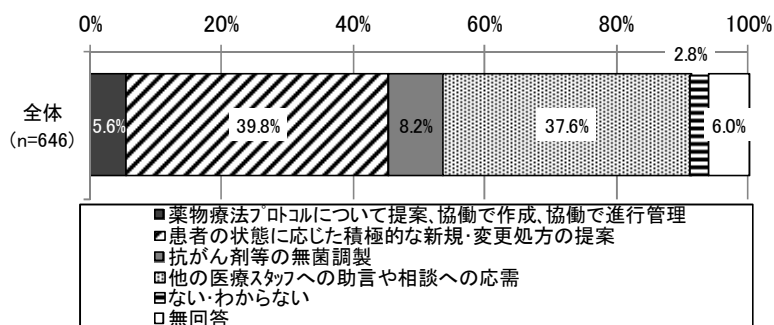
図表 326 薬剤師を積極的に活用することが望ましい業務の実施状況



(注)「薬剤師を積極的に活用することが望ましい業務」とは、「薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理」、「患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方案の提案」、「抗がん剤等の無菌調製」、「他の医療スタッフへの助言や相談への応需」である(「平成22年医政局長通知」)。

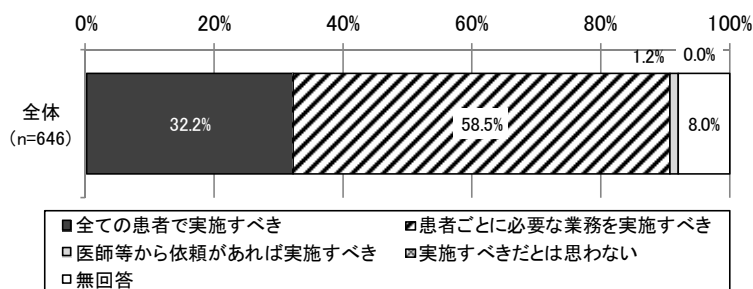
効果に最も影響を与える、薬剤師を積極的に活用することが望ましい業務についてみると、「患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方案の提案」が39.8%で最も多く、次いで「他の医療スタッフへの助言や相談への応需」(37.6%)であった。

図表 327 効果に最も影響を与える、薬剤師を積極的に活用することが望ましい業務 (実施施設)



薬剤師を積極的に活用することが望ましい業務をどのように実施すべきかを尋ねたところ、「患者ごとに必要な業務を実施すべき」が58.5%で最も多く、次いで「全ての患者で実施すべき」(32.2%)であった。

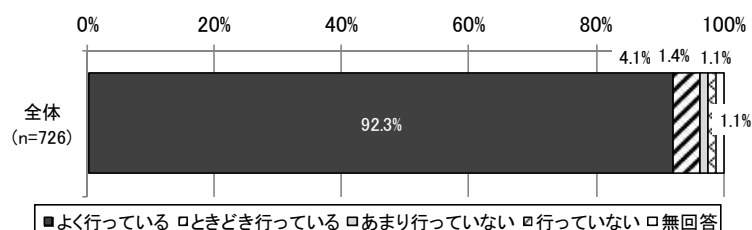
図表 328 薬剤師を積極的に活用することが望ましい業務をどのように実施すべきか (実施施設)



5) 入院時の持参薬の確認状況

入院時の持参薬の確認状況についてみると、「よく行っている」が92.3%で最も多かった。

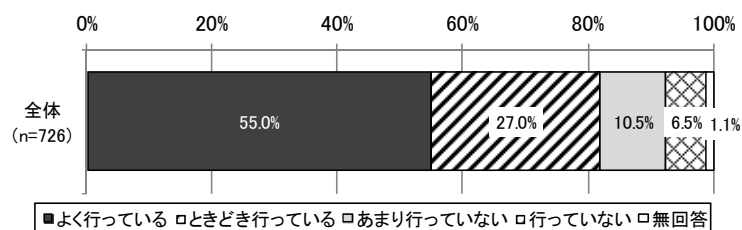
図表 329 入院時の持参薬の確認状況



6) 残薬の状況に関する医師への情報提供状況

残薬の状況に関する医師への情報提供状況は、「よく行っている」が55.0%で最も多く、次いで「ときどき行っている」(27.0%)であった。

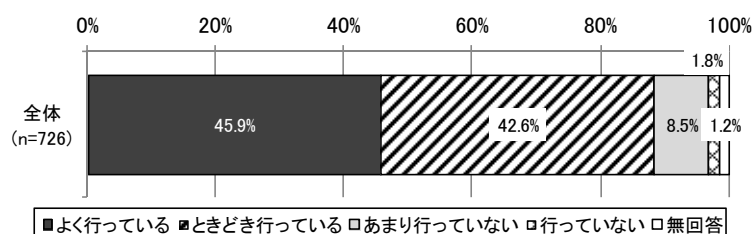
図表 330 残薬の状況に関する医師への情報提供状況



7) 多剤投与の患者の処方調整に関する医師への情報提供状況

多剤投与の患者の処方調整に関する医師への情報提供状況についてみると、「よく行っている」が45.9%で最も多く、次いで「ときどき行っている」(42.6%)であった。

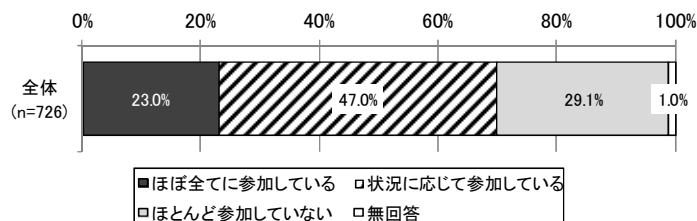
図表 331 多剤投与の患者の処方調整に関する医師への情報提供状況



8) 病棟でのカンファレンスへの参加状況

病棟でのカンファレンスへの参加状況についてみると、「状況に応じて参加している」が47.0%で最も多く、次いで「ほとんど参加していない」(29.1%)であった。

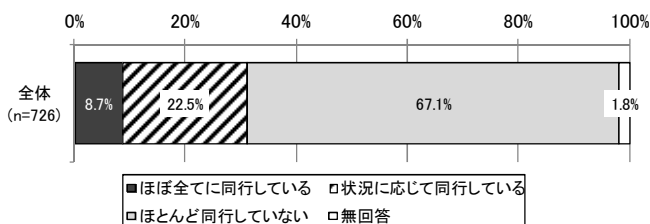
図表 332 病棟でのカンファレンスへの参加状況



9) 医師の回診への同行状況

医師の回診への同行状況についてみると、「ほとんど同行していない」が67.1%で最も多く、次いで「状況に応じて同行している」(22.5%)であった。

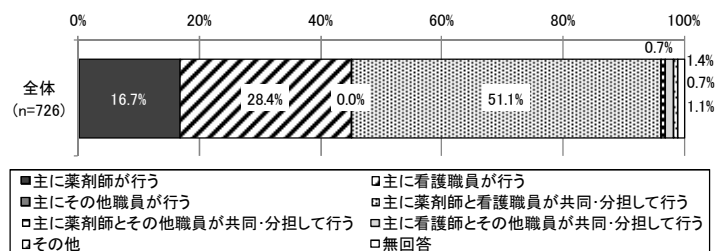
図表 333 医師の回診への同行状況



10) 処方内容の確認や薬剤の交付準備業務の実施者

処方内容の確認や薬剤の交付準備業務の実施者についてみると、「主に薬剤師と看護職員が共同・分担して行う」が51.1%で最も多く、次いで「主に看護職員が行う」(28.4%)であった。

図表 334 処方内容の確認や薬剤の交付準備業務の実施者



③病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟における薬剤師の業務の実施状況（該当施設のみ）

1) 算定している入院料

病棟薬剤業務実施加算を算定できない患者のみが入院している病棟であるが、病棟薬剤業務を実施している病棟の入院料は次のとおりである。

図表 335 病棟薬剤業務実施加算を算定できない患者のみが入院している病棟であるが、病棟薬剤業務を実施している病棟の入院料のうち最も多いもの（病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟で病棟薬剤業務を実施している病棟、記述式）

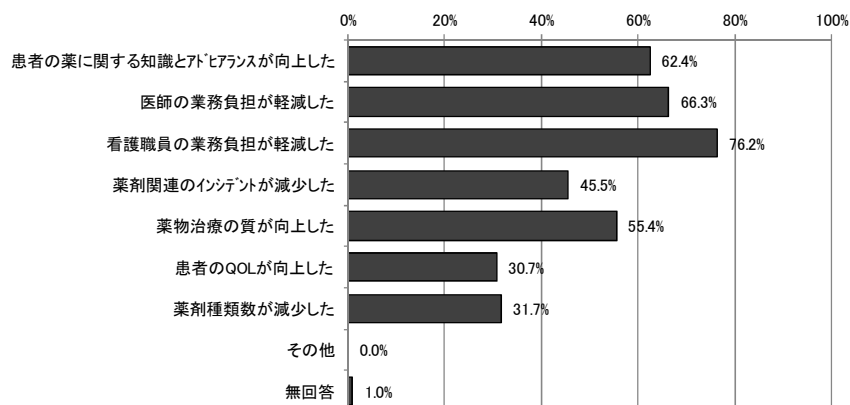
| 最も多い算定入院料 | 件数 | 割合 |
|-----------------|----|-------|
| 地域包括ケア病棟入院料 | 21 | 33.3% |
| 回復期リハビリテーション病棟 | 15 | 23.8% |
| 緩和ケア病棟入院料 | 12 | 19.0% |
| 小児入院医学管理料 | 4 | 6.3% |
| 地域包括ケア入院医療管理料 | 3 | 4.8% |
| ハイケアユニット入院医療管理料 | 2 | 3.2% |
| その他 | 6 | 9.5% |
| 全体 | 63 | |

（注）記入のあった回答者を集計対象とした。

2) 病棟薬剤業務を実施することによる効果

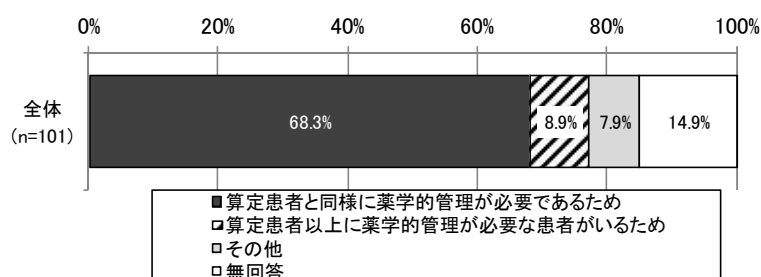
病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟で、病棟薬剤業務を実施することによる効果は次のとおりである。

図表 336 病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟で、病棟薬剤業務を実施することによる効果（病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟で病棟薬剤業務を実施している病棟、複数回答、n=101）



3) 病棟薬剤業務実施加算を算定できないにも関わらず、病棟薬剤業務を実施している理由
 病棟薬剤業務実施加算を算定できないにも関わらず、病棟薬剤業務を実施している理由
 についてみると、「算定患者と同様に薬学的管理が必要であるため」が68.3%で最も多かつ
 た。

図表 337 病棟薬剤業務実施加算を算定できないにも関わらず、
 病棟薬剤業務を実施している理由
 (病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟で病棟薬剤業務を実施している病棟)



4) 病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟で病棟薬剤業務の実施が重要な点

病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟で病棟薬剤業務の実施が重要な点を自由記述式で記載していただいた内容のうち、主なものをまとめたものが次の内容である。

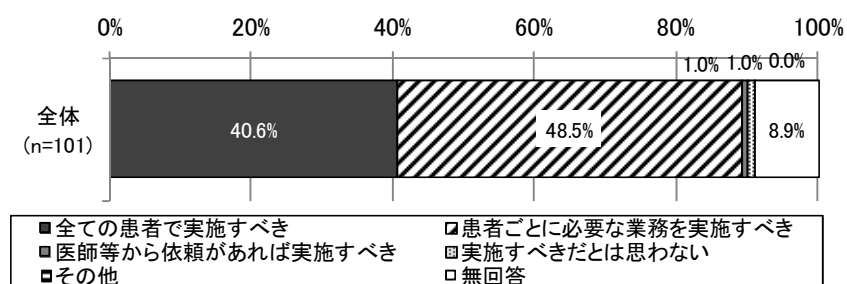
図表 338 病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟での病棟薬剤業務の実施が
 重要な点 (病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟で病棟薬剤業務を実施している病棟、
 自由記述式)

- ・薬学的観点からの処方提案。
- ・薬剤の重複処方や相互作用のある薬剤の処方の防止。
- ・緩和ケアの患者（全身状態が不良になり、肝臓や腎臓の機能が低下する患者）に対する薬剤の用量調節。
- ・処方前の治療計画に参画しやすい点。
- ・薬剤師も臨床経過を見られる。
- ・インシデントの減少。
- ・副作用の未然防止や早期発見。
- ・アドヒアランスの向上。
- ・退院に向けた患者の薬剤管理状況（自己管理能力、薬効・副作用の理解、用法の理解等）の確認。
- ・多職種とのタイムリーな意見交換。
- ・他職種が気兼ねなく相談できる。
- ・看護師の薬剤関連の業務負担軽減。 / 等

5) 病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟での病棟薬剤業務の実施についての考え

病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟での病棟薬剤業務の実施についてに考えについてみると、「患者ごとに必要な業務を実施すべき」が48.5%で最も多く、次いで「全ての患者で実施すべき」(40.6%)であった。

図表 339 病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟での病棟薬剤業務の実施についての考え
(病棟薬剤業務実施加算を算定できない病棟で病棟薬剤業務を実施している病棟)



参 考 资 料

(1) 施設調査

施設調査において、医師・看護職員等の医療従事者の負担軽減策、チーム医療の推進等についてご意見等を自由記述式で記載していただいた内容のうち、主な意見を取りまとめた。

○職員の確保・増員

- ・当直応援の人員や看護補助者の増員。
- ・医師や看護職員の増員については、負担軽減及び地域医療の充実の観点から早急に実施したいが、募集しても集まらず本当に苦慮している。また、医療スタッフの確保そのものが厳しいことに加え、人件費を上げないと人材を確保できないことは診療報酬の実質的な引下げと相まって病院経営が成り立たなくなる危機感がある。 /等

○医師事務作業補助者等

- ・医療補助者（クラーク）と看護補助者の活用により、チーム医療の推進に結びつけていく必要がある。
- ・医師の診察はもちろん、カルテ入力、予約取り、検査オーダーの入力、書類の作成等、医師事務作業補助者の役割は大きい。加算点数をアップすることで、採用する医療機関が増え、医師の負担は減ると思う。
- ・医師事務作業補助者・看護補助者の配置の促進と更なる評価の充実。医師事務作業補助者が行うことができる業務の範囲拡大。 /等

○書類作成等

- ・チーム医療自体は、医師・看護職員の負担軽減になっているが、加算の算定を行う条件の「記録」や会議が増えることによる負担は増えた。
- ・入院基本料に係る書類作成が多く、手間と時間をとられている。 /等

○その他

- ・手術・処置の休日・時間外・深夜加算の施設基準が厳しいため申請施設は限られ、十分に効果を発揮していない。基準の緩和を要望する。
- ・医師ごとの業務量のばらつきが大変大きい。また、女性医師が増えてくると当直や早番・遅番の負担が男性医師に偏る。平準化を図りたいが難しい。
- ・医師の偏在の解消、地方の病院に対する人間的・金銭的な補助が望まれる。
- ・退院後の訪問指導をチームで行った場合を評価するなど、今後もチーム医療を評価する点数の創設を要望する。 /等

(2) 医師調査

医師調査において、医師の負担を軽減することができる取組等を自由記述式で記載していただいた内容のうち、主な意見をとりまとめた。

○医師の増員やスキルアップ

- ・ 医師、特に常勤医の増員。
- ・ 若手医師（常勤）の確保。
- ・ 外部の当直医の確保。
- ・ 医師、若手医師の質の向上。 /等

○コメディカルの配置

- ・ 外来診療の際にクラークをつける。
- ・ 医師業務の代わりにしてくれる職員の配置。信頼関係も必要。
- ・ 外来・救急外来（病棟）での看護師の配置の増加。
- ・ 小児科救急・小児診療における看護師の人員配置を、成人患者の場合と同様に考えることは危険。
- ・ 医師ばかりでなく、薬剤師・検査技師などがバランスよく配置されていないと負担軽減につながらない。 /等

○業務の分担

- ・ 個々の医師の得意分野に合わせた業務の配分。
- ・ 医師の業務量を調整し公平化を図る。
- ・ 検査・処置について技師・看護師がもっと関わってほしい。
- ・ 診療記録の記載や検査・予約の入力業務の補助。 /等

○他施設との連携・役割分担

- ・ 確実な地域連携。病院の機能に合った医療サービスの提供により、患者が難民化しないような連携の取組が必要。また、病院として、自院の守備範囲をしっかりと実行できることが必要。
- ・ 病院同士の連携の強化により患者の重症度・病態に応じて役割分担を行う。
- ・ 開業医が時間外の一次救急をもっと診てくれたら負担は減る。 /等

○その他

- ・ 院内会議の効率化。
- ・ チーム医療としてのカルテ記録の充実。
- ・ 院内保育園の開設（病児保育室含む）。

- ・管理職が抱えるセクショナリズムの是正。
- ・医師が単独で主治医になるのではなく、複数の医師による主治医チーム制になると、負担軽減効果は大きいと思う。
- ・手術・診療などで多忙な上に、学術研究を課されている。一般病院では研究時間を設けるなど、業務負担軽減ができるとうい。 /等

(3) 看護師長調査

看護師長調査において、病棟における看護職員の勤務状況や負担軽減に関する今後の課題等を自由記述式で記載していただいた内容のうち、主な意見を取りまとめた。

○看護職員の配置・勤務シフト等

- ・時短勤務者の勤務調整。
- ・夜間従事者の休憩時間を確保し、申し送りを短縮することで規定時間に終わること。
- ・2交代日勤者の超過勤務軽減のための遅出の有効活用、業務の見直し。
- ・育児休暇希望者が常時多く、また急な病気休暇者がいると夜勤回数の増加や日勤者数の確保困難に伴い、時間外労働時間延長など看護師個々への負担の増大につながっている。
- ・急患当番制があるため、現在の2人夜勤では急患対応中の夜勤者の負担も大きい。3人夜勤での体制が望ましい。 /等

○人員不足

- ・看護人員の十分な確保。
- ・週末の日勤者の確保（保育園、就学児童がいる看護師が多い）。
- ・夜勤を行える看護師の人数が減少し、1人あたりの夜勤時間が増加している。スタッフの妊娠中や産休中に夜勤要員の増加を求めたい。
- ・看護補助者を増員したいが、募集しても応募がない。 /等

○人材育成

- ・若い人材の育成。看護師の平均年齢が高い。
- ・看護補助者の教育・マニュアルづくり。
- ・看護師・看護補助者の意識改革。 /等

○事務作業

- ・1人の患者に必要な書類が多すぎて、看護師が記録に費やす時間が長い。
- ・PC上の入力作業が非常に多い。1人の患者にスクリーニングやアセスメントシートなどが13~15項目もあり、入力作業（記録）が多すぎる。

- ・看護記録、重症度、医療看護必要度評価のための記録記載の負担が大きいので、多職種共同による記録の推進を進めてほしい。 /等

○院内での業務分担・連携

- ・他部署との柔軟なリリーフ体制。
- ・看護師ではなくてもできる仕事の分業（事務、会計関連、シーツ交換その他）。
- ・病棟薬剤師との連携強化。
- ・栄養士による食形態の確認やアレルギー等の確認。病棟担当栄養士がほしい。
- ・1人の患者につき4～6時間ごとの採血・値測定を行っている。臨床検査技師による採血介助が行われれば看護職員の負担は大幅に軽減する。
- ・介護福祉士の増員により看護師業務の負担軽減に努めたい。
- ・MSWとの連携について業務分担を検討することで、さらなる負担軽減につなげられると考える。 /等

○医師との協働

- ・医師と話し合う機会が持てず、チームとしての動きが難しい（常勤の医師数も非常に少ないため）。当直医も非常勤で、担当医が決まらず医師の不利益もある。
- ・医師が同意書を取れたかどうかを確認しないので、書類の確認（改修も含めて）が全て看護師の役割になっている。
- ・医師の指示出しが夜勤帯になってからのことが多く、日勤リーダーの時間外削減が難しい。 /等

○看護補助者との協働

- ・看護補助者のベッドサイドケアの拡大。
- ・看護補助者の夜間配置。
- ・看護補助者へ業務を移行しても、2名体制だったり1名体制だったり固定していないため、結果的に、看護師に戻ってきてしまう業務が多々ある。 /等

○その他

- ・地域連携に課題があり、大学病院への入院が適切とは言い難い患者（治療が終了し開業医や他病院へ紹介した）が入院することで、認知症や転院待ちの患者が増え、ケア度が上がる。
- ・PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）を効果的に運用するため、見直し・修正を行いながら、よりよい看護体制を構築していく。
- ・職員のモチベーションの維持のためのジョブローテーション。
- ・ハード面の改善・工夫。入浴介助の負担軽減するために、浴室・浴そうの工夫、改修。

- ・高齢者が多く、認知症の患者が急増しているため、院内デイサービスなどの設置。
- ・職員の高齢化や要介護の患者が多いため、職員が腰痛など体調を崩すことがある。補助具も不足（導入されていない）しているため対応が遅れている。 /等

（４）病棟薬剤師調査

病棟薬剤師調査において、病棟薬剤業務の実施の重要な点を自由記述式で記載していただいた内容のうち、主な意見を取りまとめた。

○医師の処方への助言、チェック

- ・各診療科の医師・看護師は専門性の高さにより、他疾患や薬剤について十分な情報を認識することが難しい。また薬剤相互作用、電解質、栄養管理にまで目が届かないことも多い。薬剤師はそうした部分をフォローする役割と考える。
- ・ハイリスク薬の投与が長期に行われていることも多い。また定期的な採血などの結果をフォローしていくことも大切な役目（その結果で薬の増減・変更・中止を進言）。
- ・薬剤の重複処方や相互作用のある薬剤の処方の防止、かつ患者の状態に応じて剤形の変更など適正かつ効果的な薬物治療の実施。
- ・小児は個別の投与量設計が必要となるケースが多い。医師の処方ミスによるインシデントの軽減や投与量調節への助言が必要。
- ・病棟において、薬剤師が患者の病態をみながら医師や看護師の相談にのることができる。 /等

○患者や家族への説明

- ・ハイリスク薬等に関して薬物治療が向上できるよう、患者や患者家族の理解を深め、継続して飲んでもらえるようにすることが重要。
- ・薬剤の整理、一包化、吸入薬の補助具使用の提案・指導などを行い、退院後も正しい薬物治療を継続できる状態にすること。
- ・薬剤師として、患者に服薬指導をすることで薬の知識向上や、医師・看護師にできない相談・疑問に応えることができる。 /等

○その他

- ・病棟にいなければ顔の見える関係がつかれない。処方から投薬までを通して関与する必要がある。 /等

